

河内長野市
第5次総合計画後期基本計画策定のための
市民アンケート
【結果報告書】

令和2年6月

河内長野市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
II. 調査の結果	5
1. 回答者について	5
2. 現在の河内長野市について	12
3. 河内長野市の取組について	25
4. 河内長野市への定住意向について	42
5. 地域活動への参加について	55
6. これからの河内長野市のまちづくりについて	72

1. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、河内長野市第5次総合計画の後期基本計画の策定にあたり、市民のみなさまのご意見を把握し、これからのまちづくりに反映するために実施しました。

2. 調査設計

調査区域：河内長野市全域

調査対象：18歳以上の市民の中から2,000人を無作為抽出

調査時期：令和元年10月

調査方法：郵送による配布・回収

3. 回収結果

配布数 (A)	回収数	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
2,000	924	922	46.1%

4. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は、小数点以下第2位で四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「不明・無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」（サンプル数）は、有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

II. 調査結果の概要

■施策の満足度・重要度

- ・満足度では「まちなみ・自然・歴史などの景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」「歴史文化遺産の保存・活用」などが高く、「商業地の賑わい」「身近な場での働きやすさ」「バスなどの公共交通サービス」などが低く、地域資源を活かした良好な環境に一定の評価がされている一方で、利便性や賑わい、雇用の場については不満を感じている人が多いことがうかがえます。
- ・前回調査結果と比較すると、調査項目は異なるものの概ね同様の傾向となっている一方、「歴史文化遺産の保存・活用」が上位に入ってきており、日本遺産に関連する取組などが市民に浸透していることがうかがえます。
- ・重要度では「防災」「消防・救急」「防犯」などが高く、「国際交流や多文化共生社会の推進」「文化芸術活動などの環境」「男女共同参画の推進」「各種講座や施設など生涯学習の環境」などが低くなっており、前回調査と同様の傾向となっており、安心して暮らせる環境の充実を求めるニーズが高いことがうかがえます。
- ・「福祉・社会保障に関する分野」では満足度が低く、重要度が高く、「安心・安全に関する分野」では満足度も重要度も高くなっており、これらは特に力を入れていくべき施策であると言えます。また、特に満足度が高い「生活環境・景観・自然に関する分野」は本市の強みとして、さらに活用が期待される施策であると言えます。

■定住意向

- ・『住み続けたい』市民が5割となっており、前回調査と比べその割合が若干低下しています。
- ・性別では男性が、年代別では年齢が上がるほど『住み続けたい』の割合が高くなっており、小学校区別でも割合に差がみられます。
- ・住み続けたい理由は「自然環境」「愛着」が高くなっており、前回調査との比較では「田舎の良さが残っているから」の割合が上昇しており、ゆったりとした暮らし方に価値を見出す人が増えていることがうかがえます。
- ・住み続けたくない理由は「買い物や日常生活に不便」「通勤・通学に不便」などの割合が高く、その他回答では、移動や医療に関する内容が多くなっており、生活の利便性に対する不満がうかがえます。
- ・住み続けるために必要なこととして、住み続けたくない理由になっている「買い物など日常生活の便利さ」と合わせて、「福祉サービスの充実」の割合が高く、特に高齢期の生活の安心を求めるニーズが高いことがうかがえます。

■「安全・安心・支えあい」に関する内容

- ・「防災」は満足度・重要度ともに高くなっており、力を入れるべき取組として「災害時における連絡体制の充実」「防災資機材の備蓄・整備の充実」など、特に災害発生後の対策の充実が求められているとともに、「耐震診断や改修などの補助制度や施設の耐震化の充実」の割合も高く、地震への不安が大きいことがうかがえます。
- ・「消防・救急」「防犯」についても満足度・重要度ともに高く、安全・安心のまちづくりのさらなる強化が求められていることがうかがえます。また、力を入れるべき取組として「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」「警察・行政・市民等による情報共有など、関連機関・団体の連携促進」「地域における見まわりや声掛けなど、防犯対策の充実」など、犯罪が起りにくい地域づくりに関する取組が求められていることがうかがえます。特に「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」は前回調査と比べ割合が高くなっています。
- ・「高齢者・障がい者にとっての暮らしやすさ」「社会保障」では満足度と比べ重要度が高く、今後の高齢化の進行を見据えて、医療体制や介護サービス、地域における支え合い等のさらなる充実や障がい者に対する理解の浸透が求められていることがうかがえます。また、力を入れるべき取組として「高齢者や障がい者が入所（入居）できる施設の整備」「福祉制度など経済面での生活支援の充実」「休日急病診療や救急など医療の充実」などの割合が高く、特に「福祉制度など経済面での生活支援の充実」「高齢者や障がい者などが生活しやすいバリアフリー化の推進」は前回調査と比べ割合が高くなっています。

■「育み・学び・思いやり」に関する内容

- ・「小中学校の教育環境」「子育てのしやすさ」「児童に対する福祉」などでは満足度・重要度ともに比較的高くなっており、子どもを産み育てる環境の充実が求められており、力を入れるべき取組として「いざという時に子どもを預けられる保育サービスの実施」「子育て家庭に対する経済的支援の充実」や「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」などの割合が高くなっており、また、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」「子育て家庭に対する経済的支援の充実」は前回調査と比べ割合が高くなっています。
- ・「各種講座や施設など生涯学習の環境」「文化芸術活動などの環境」では重要度が低く、満足度が高くなっており、一定の評価を受けていることがうかがえます。また、力をいれるべき取組として「多様なニーズに対応した生涯学習（図書館含む）の活動ができる機会の確保」「いくつになっても取り組める生涯スポーツ活動の推進」などの割合が高くなっています。
- ・「人権の尊重と平和意識の高揚」「男女共同参画の推進」「国際交流や多文化共生社会の推進」では重要度が低くなっており、力をいれるべき取組として「学校教育における人権教育の充実」「ネット社会における人権擁護活動の推進」の割合が高くなっています。

■「潤い・快適・活力」に関する内容

- ・「自然環境への配慮」「リサイクル施策など循環型社会への取組」「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」では満足度も重要度も高く、これまでの取組が一定の評価を得ていることがうかがえます。また、力を入れるべき取組として「ごみを減らし、ものを大事に使うライフスタイルの定着」「公園や緑地などの整備・保全」「リユース（再使用）・リサイクルなど資源循環利用の促進」などの割合が高くなっており、身近な取組への関心が高いことがうかがえます。
- ・「住環境」「上下水道」などでは満足度も重要度も高く、現在の整備状況で一定満足している状況がうかがえる一方、「市街地の整備」「バスなどの公共交通サービス」「道路や橋などの交通網」では満足度が低く、重要度が高くなっており、生活の利便性や移動手段の確保の重要性が高まっていることがうかがえます。
- ・「商業地の賑わい」「身近な場所での働きやすさ」「農林業の振興」「観光事業」では満足度、重要度ともに低くなっており、力を入れるべき取組として「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」「歴史・文化・自然などを活かし、交流人口の増加による観光振興」「企業や研究機関などの誘致」などの割合が高くなっています。

■「都市魅力の創造と効果的な発信」に関する内容

- ・「都市ブランドの創出・都市魅力の発信」では満足度、重要度ともに低くなっており、力を入れるべき取組として、「新規移住者の受け入れ体制の構築」「まちの魅力の効果的なプロモーション」などの割合が高くなっています。

■まちづくりを支える政策に関する内容

- ・「適正で透明性の高い財政運営」では満足度が低く、重要度が高くなっており、力を入れるべき取組として、「事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」「市民ニーズに合わせて市役所の組織を作り直す」などの割合が高くなっています。また、市民意向を市政に反映させるため必要な取組として「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」などの割合が高くなっています。
- ・地域やまちづくり活動への参加状況では月1回以上の参加は2割弱にとどまっており、前回調査よりも割合が若干低下していますが、協働によるまちづくりを「推進すべき」割合は4割程度と前回調査よりも高くなっています。

■土地利用、中心市街地のまちづくりに関する内容

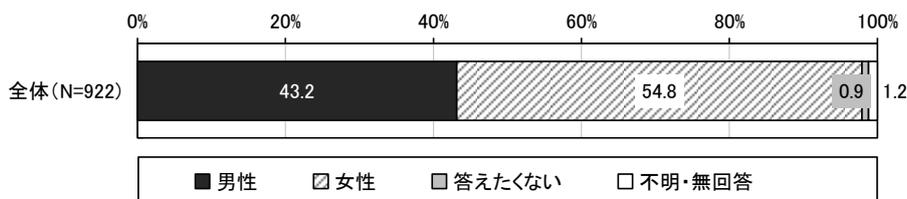
- ・将来のまちの姿について「自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち」「自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち」が高くなっている一方、「大都市や高速道路へのアクセスがよい交通の便利なまち」が前回調査よりも高くなっています。
- ・中心市街地のまちづくりについて、「現在の空店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち」や「高野街道や町家などの歴史的景観を活かした風情のあるまち」が高くなっています。

III. 調査の結果

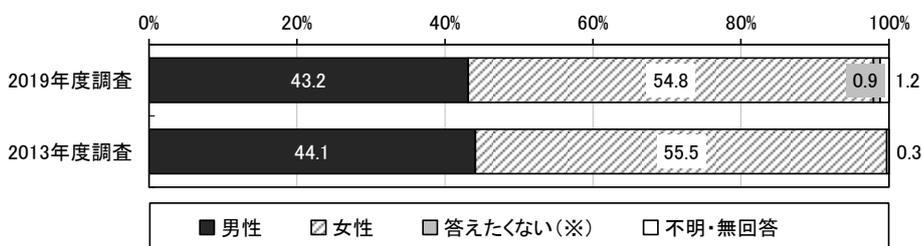
1. 回答者について

■性別 (SA)

性別は、「男性」が43.2%、「女性」が54.8%、「答えたくない」が0.9%となっています。



◆前回調査との比較〔性別〕

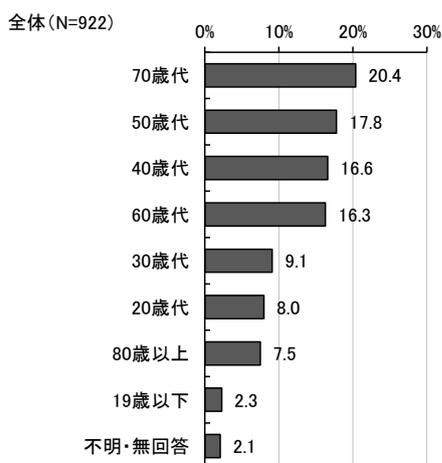


※2019年度調査のみの選択肢

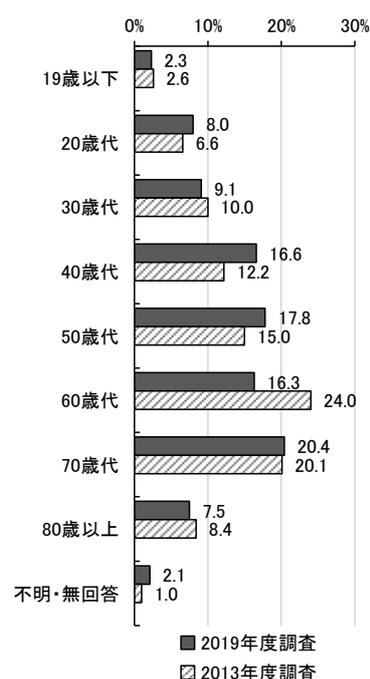
■年齢 (NA)

年齢は、「70歳代」が20.4%と最も高く、次いで「50歳代」が17.8%、「40歳代」が16.6%となっています。

前回調査と比較すると、「40歳代」の割合が高く、「60歳代」の割合が低くなっています。



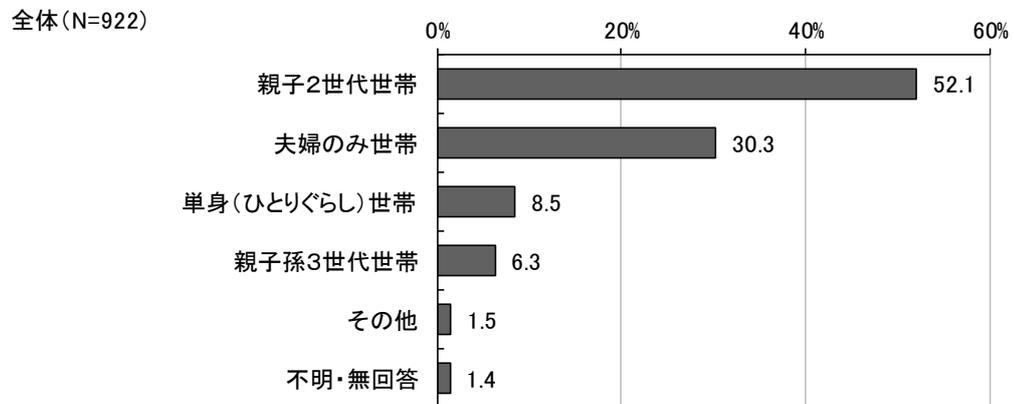
◆前回調査との比較〔年齢〕



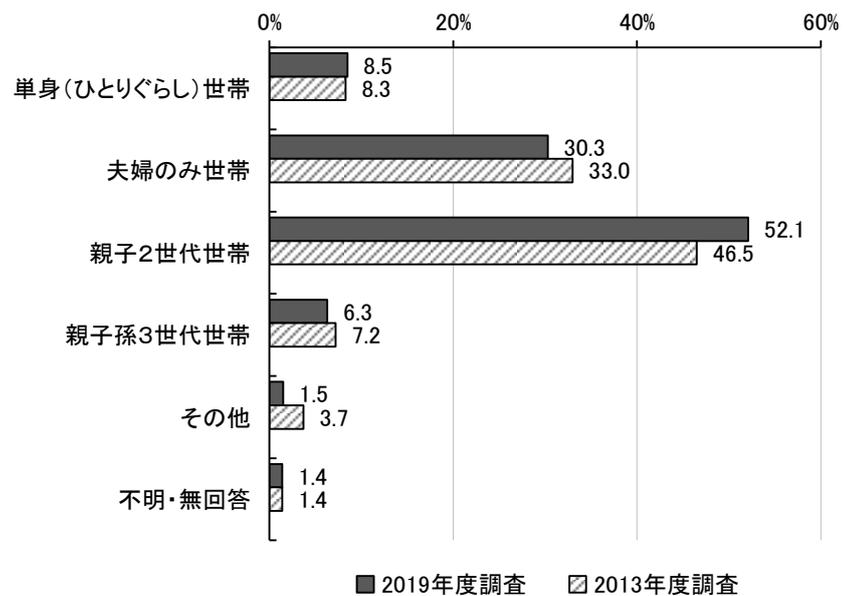
■家族構成 (SA)

家族構成は、「親子2世代世帯」が52.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.3%、「単身(ひとりぐらし)世帯」が8.5%となっています。

前回調査と比較すると、「親子2世代世帯」の割合が高くなっています。



◆前回調査との比較〔家族構成〕

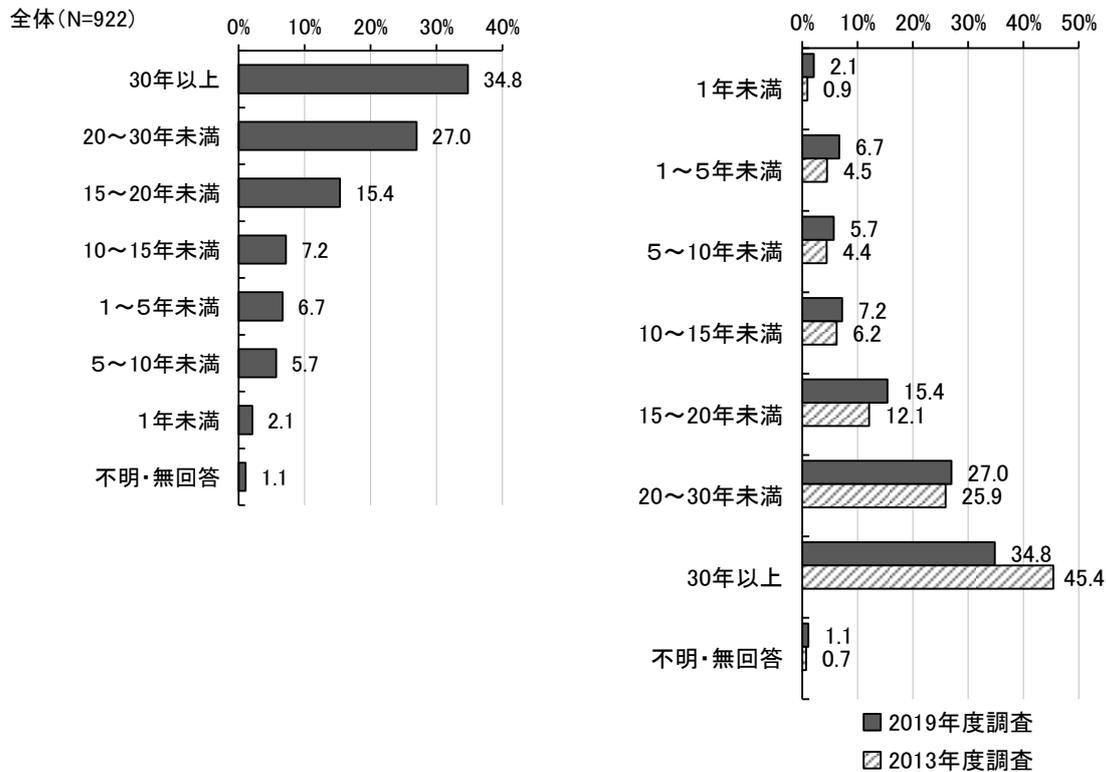


■居住年数（SA）

居住年数は、「30年以上」が34.8%と最も高く、次いで「20～30年未満」が27.0%、「15～20年未満」が15.4%となっています。

前回調査と比較すると、「30年以上」の割合が低くなっています。

◆前回調査との比較〔居住年数〕



年代別で見ると、『19歳以下』では「15～20年未満」、『20歳代』『50歳代』では「20～30年未満」、『30歳代』では「1～5年未満」「30年以上」、『40歳代』、60歳代以上では「30年以上」の割合が最も高くなっています。

<居住年数 年代別クロス集計>

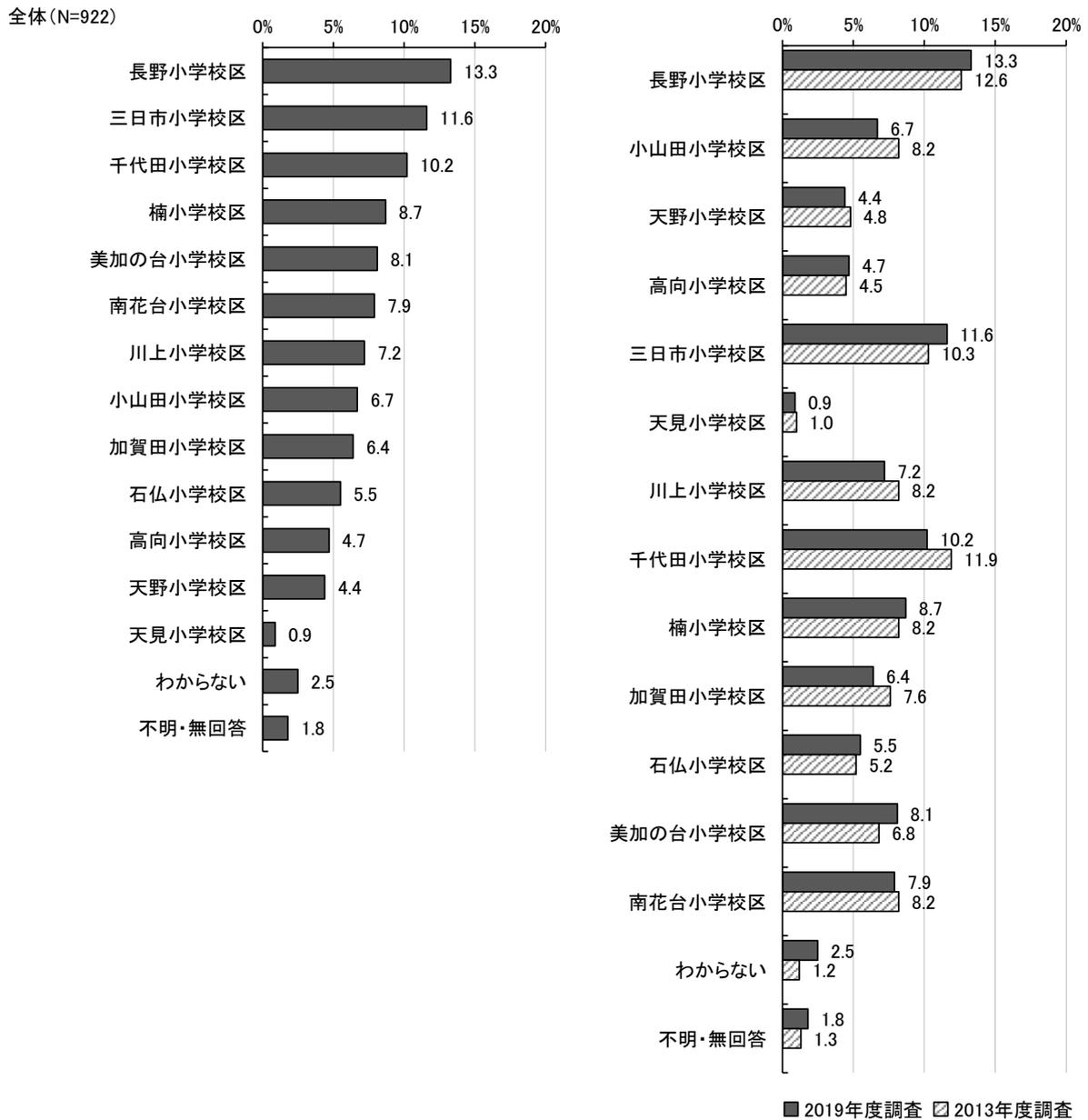
上段:件数 下段:%	合計	1年未満	1～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	不明・ 無回答
全 体	922 100.0	19 2.1	62 6.7	53 5.7	66 7.2	142 15.4	249 27.0	321 34.8	10 1.1
年 代 別	19歳以下	21 100.0	1 4.8	1 4.8	-	-	18 85.7	1 4.8	-
	20歳代	74 100.0	4 5.4	5 6.8	2 2.7	1 1.4	15 20.3	47 63.5	-
	30歳代	84 100.0	6 7.1	19 22.6	13 15.5	10 11.9	8 9.5	9 10.7	19 22.6
	40歳代	153 100.0	2 1.3	11 7.2	18 11.8	16 10.5	37 24.2	29 19.0	40 26.1
	50歳代	164 100.0	2 1.2	5 3.0	6 3.7	16 9.8	32 19.5	68 41.5	35 21.3
	60歳代	150 100.0	3 2.0	9 6.0	4 2.7	10 6.7	12 8.0	53 35.3	59 39.3
	70歳代	188 100.0	1 0.5	11 5.9	5 2.7	8 4.3	17 9.0	34 18.1	112 59.6
	80歳以上	69 100.0	-	-	4 5.8	3 4.3	3 4.3	7 10.1	52 75.4

■お住まいの小学校区（SA）

お住まいの小学校区は、「長野小学校区」が13.3%と最も高く、次いで「三日市小学校区」が11.6%、「千代田小学校区」が10.2%となっています。

前回調査との比較では、大きな変化はみられませんでした。

◆前回調査との比較〔お住まいの小学校区〕

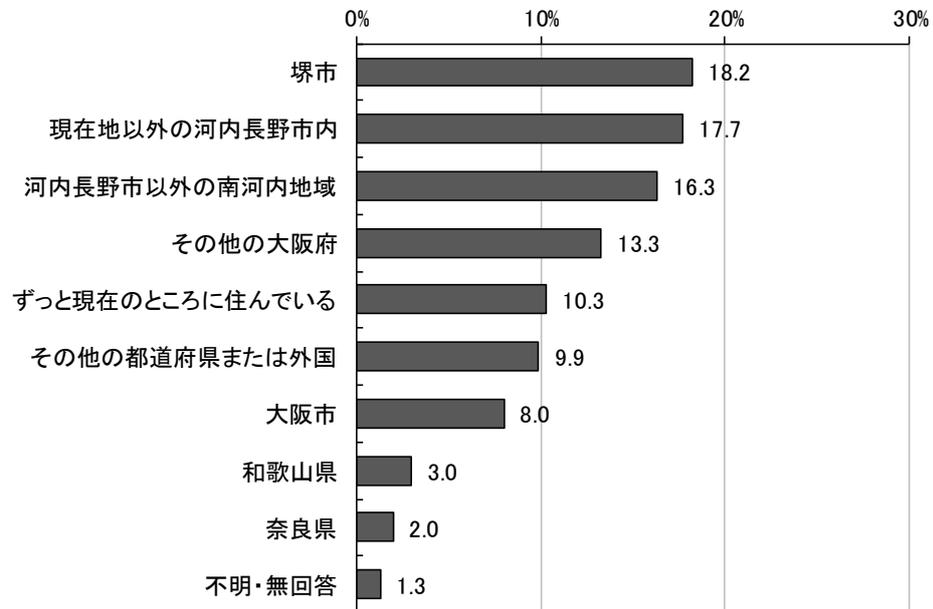


■以前の居住地（SA）

以前の居住地は、「堺市」が18.2%と最も高く、次いで「現在地以外の河内長野市内」が17.7%、「河内長野市以外の南河内地域」が16.3%となっています。

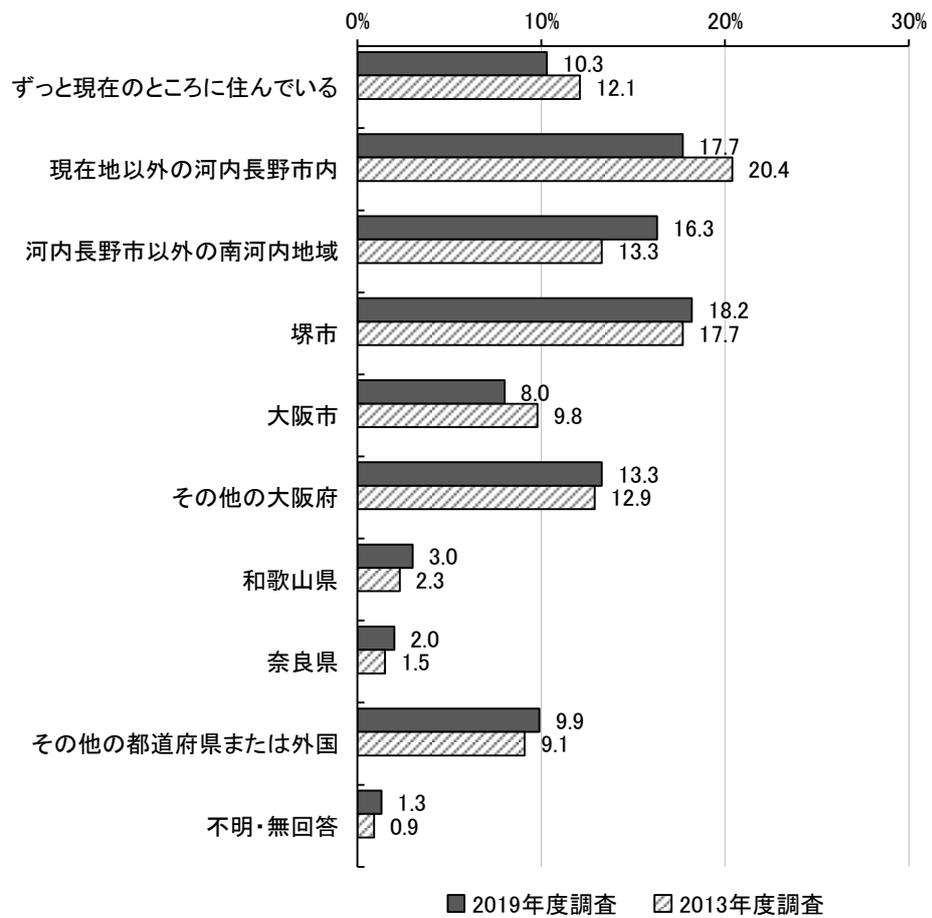
前回調査との比較では、大きな変化はみられませんでした。

全体(N=922)



主な回答(その他の都道府県または外国)	件数
兵庫県	20
東京都	10
京都府	5
愛知県	3
神奈川県	3
千葉県	3
埼玉県	3
香川県	3
石川県	2
新潟県	2
三重県	2
佐賀県	2

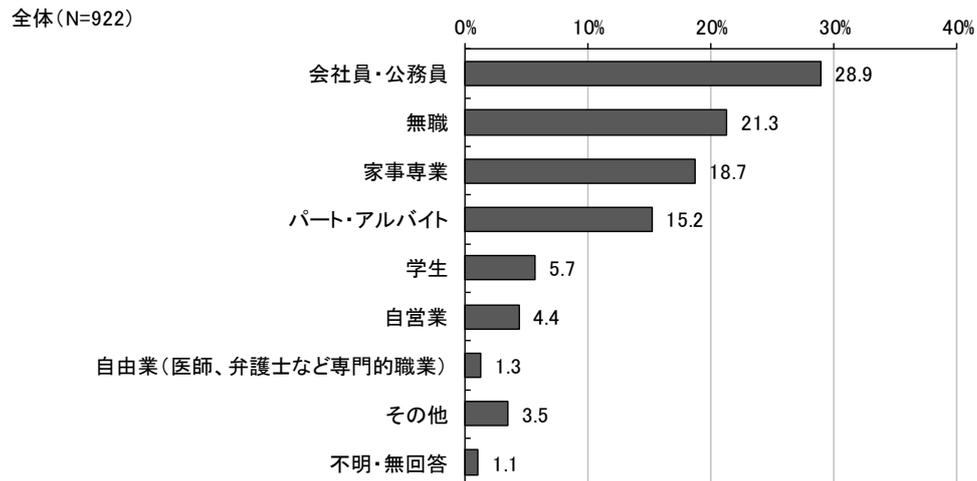
◆前回調査との比較〔以前の居住地〕



■職業 (SA)

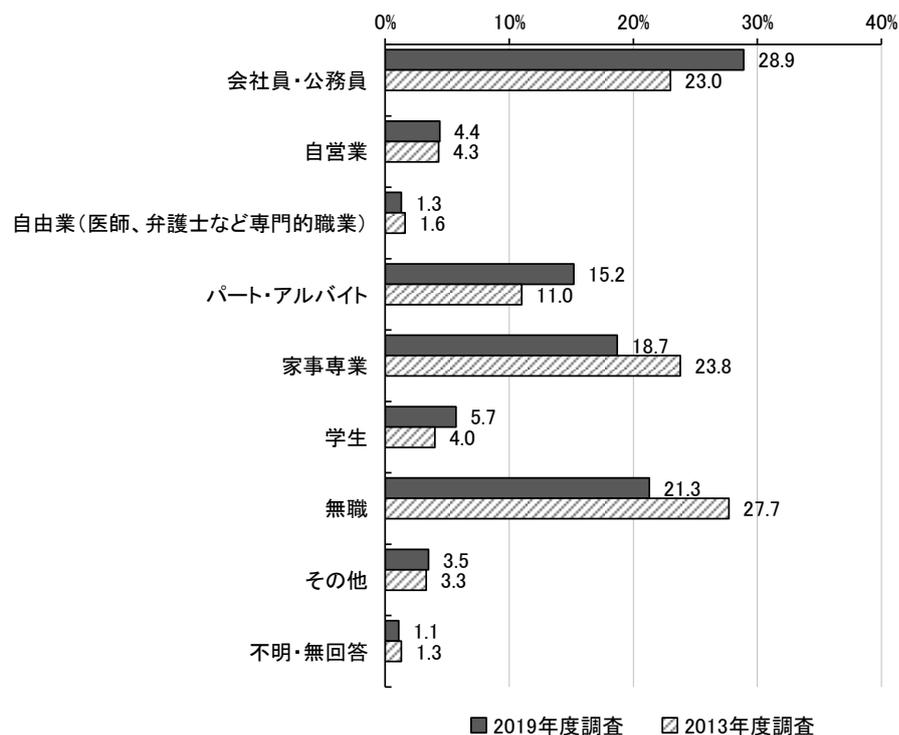
職業は、「会社員・公務員」が28.9%と最も高く、次いで「無職」が21.3%、「家事専業」が18.7%となっています。

前回調査と比較すると、「会社員・公務員」「パート・アルバイト」の割合が高く、「無職」「家事専業」の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
団体職員	3
看護師	2

◆前回調査との比較〔職業〕

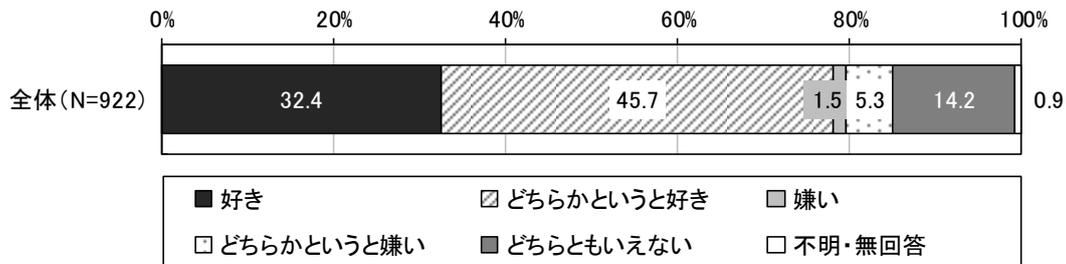


2. 現在の河内長野市について

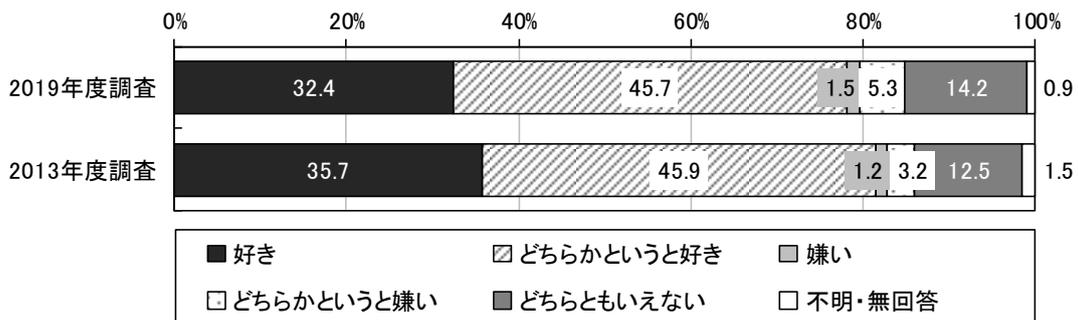
問1 あなたは、現在の河内長野市が好きですか？あてはまる番号1つに○をつけてください。(SA)

現在の河内長野市が好きかについてみると、「どちらかという好き」が45.7%と最も高く、次いで「好き」が32.4%、「どちらともいえない」が14.2%となっています。

前回調査と比較すると、「好き」の割合が低くなっています。

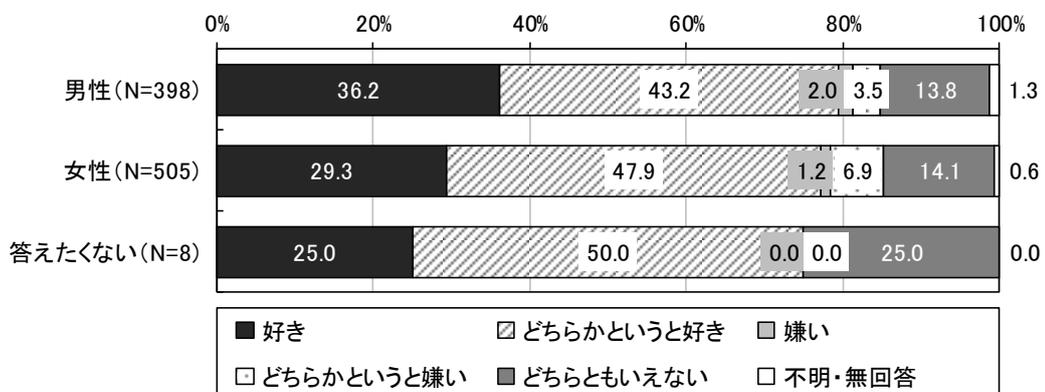


◆前回調査との比較〔問1〕



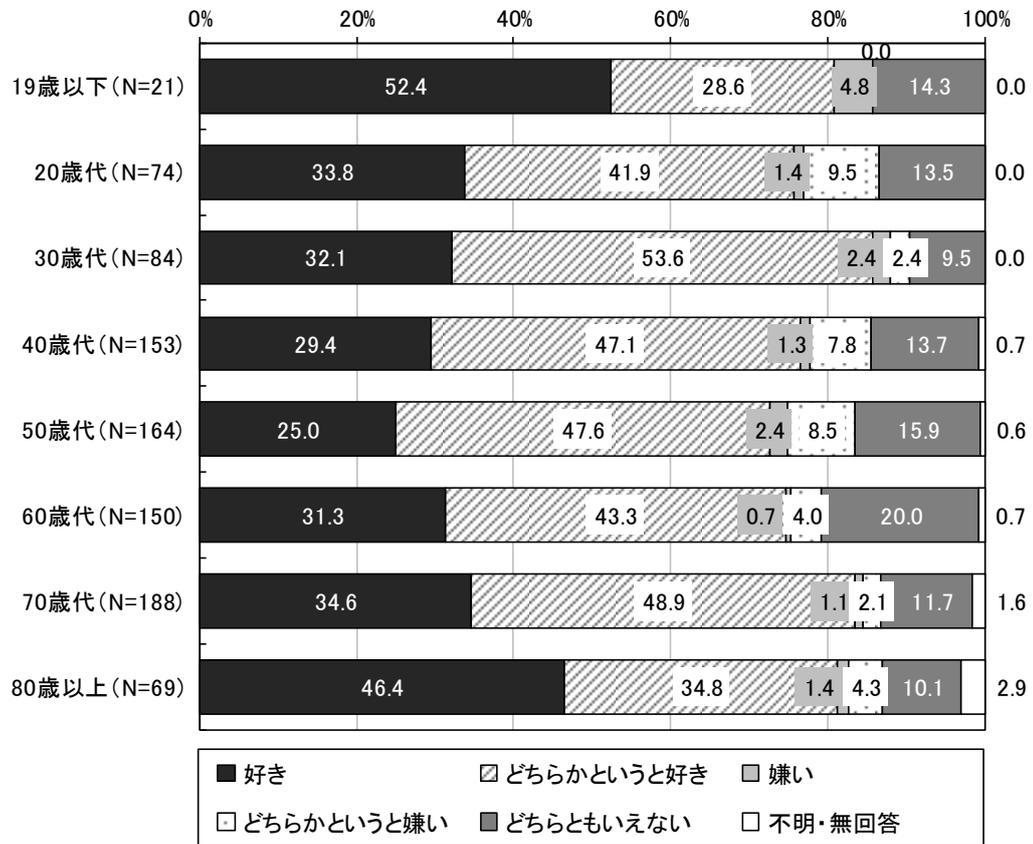
性別でみると、男女ともに「どちらかという好き」の割合が最も高くなっています。「好き」の割合は女性より男性の方が高くなっています。

<問1 性別クロス集計>



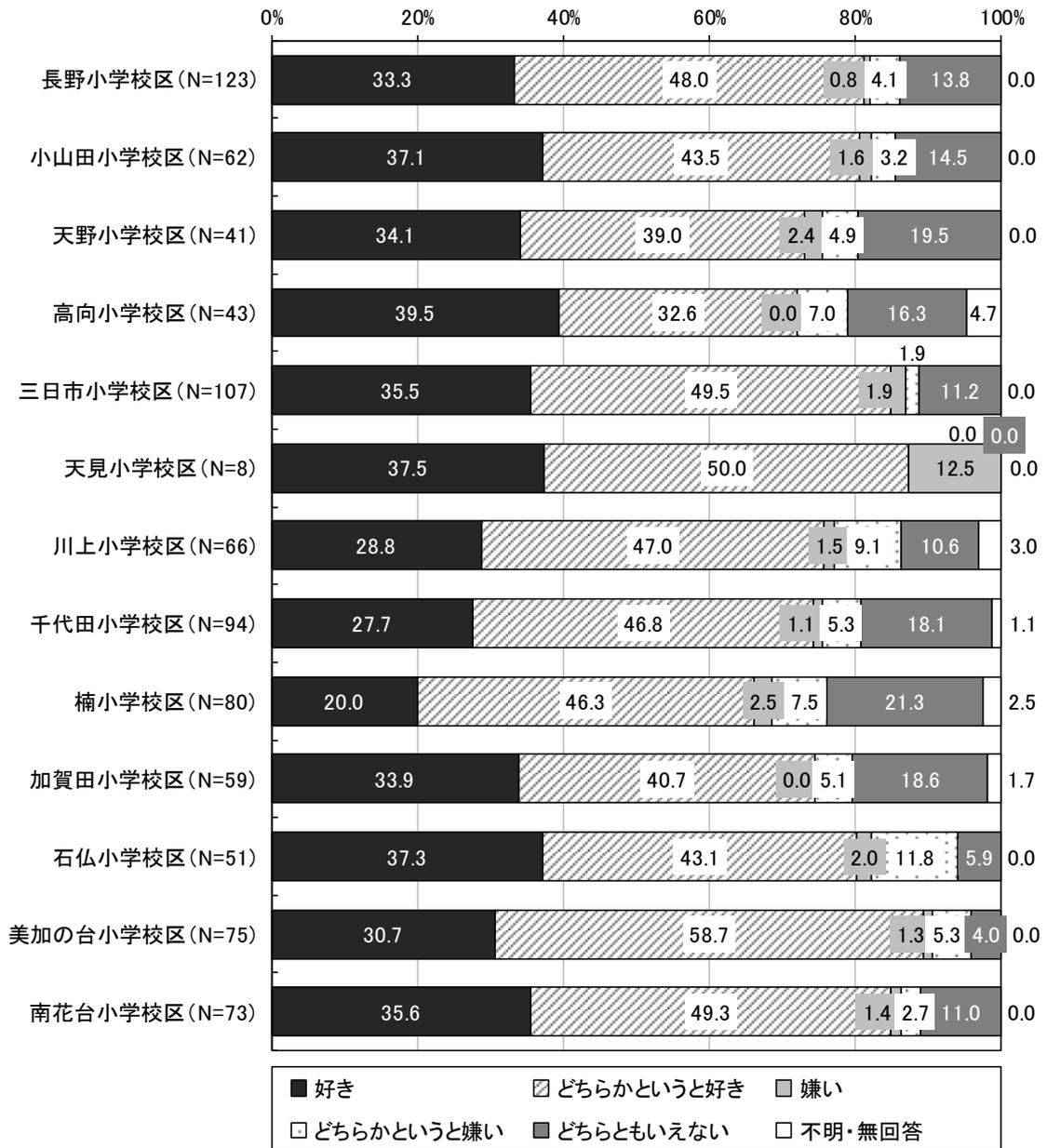
年代別でみると、すべての年代で「好き」「どちらかという好き」の合計が7割を超えている一方、『40歳代』『50歳代』では「好き」の割合が3割を下回っています。

＜問1 年代別クロス集計＞



小学校区代別でみると、『楠小学校区』を除く小学校区で「好き」「どちらかというが好き」の合計が7割を超えています。

<問1 小学校区別クロス集計>

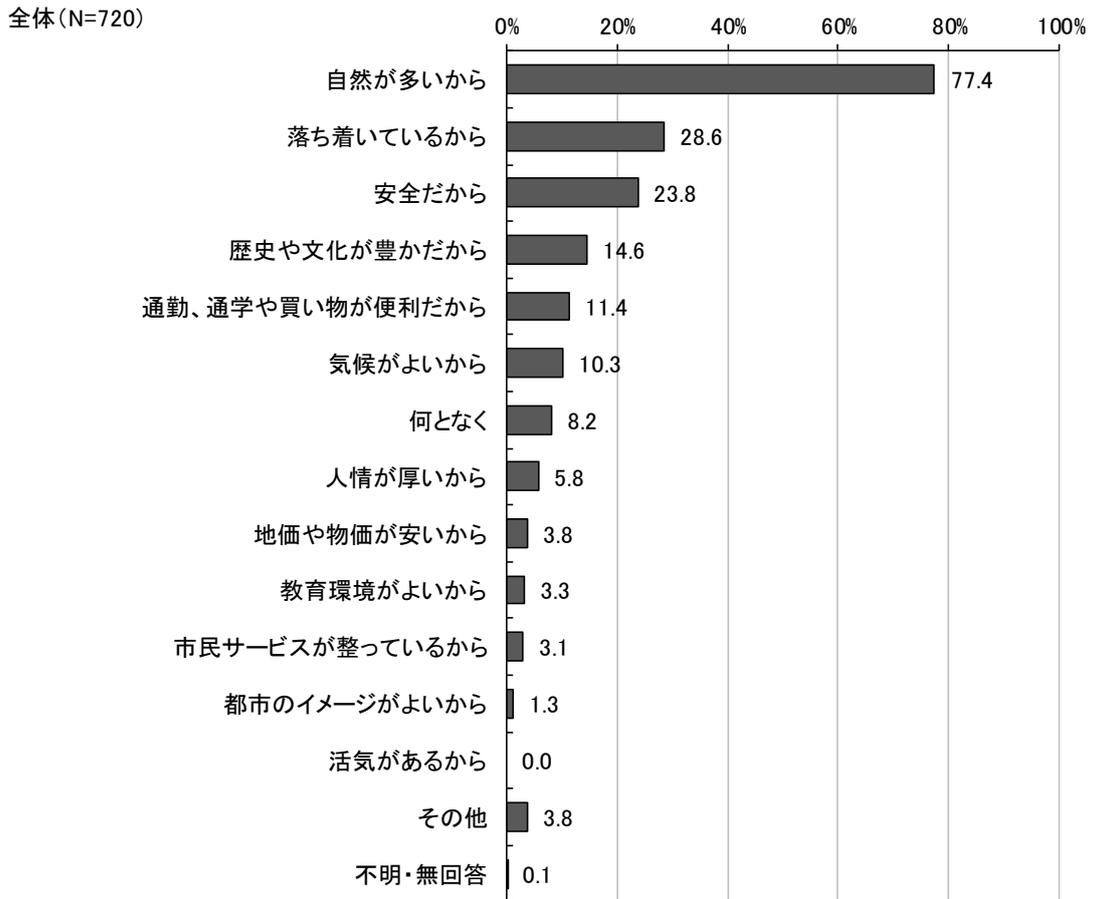


問1で「好き」「どちらかという好き」と答えた方

問2 河内長野市が好きな理由を2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

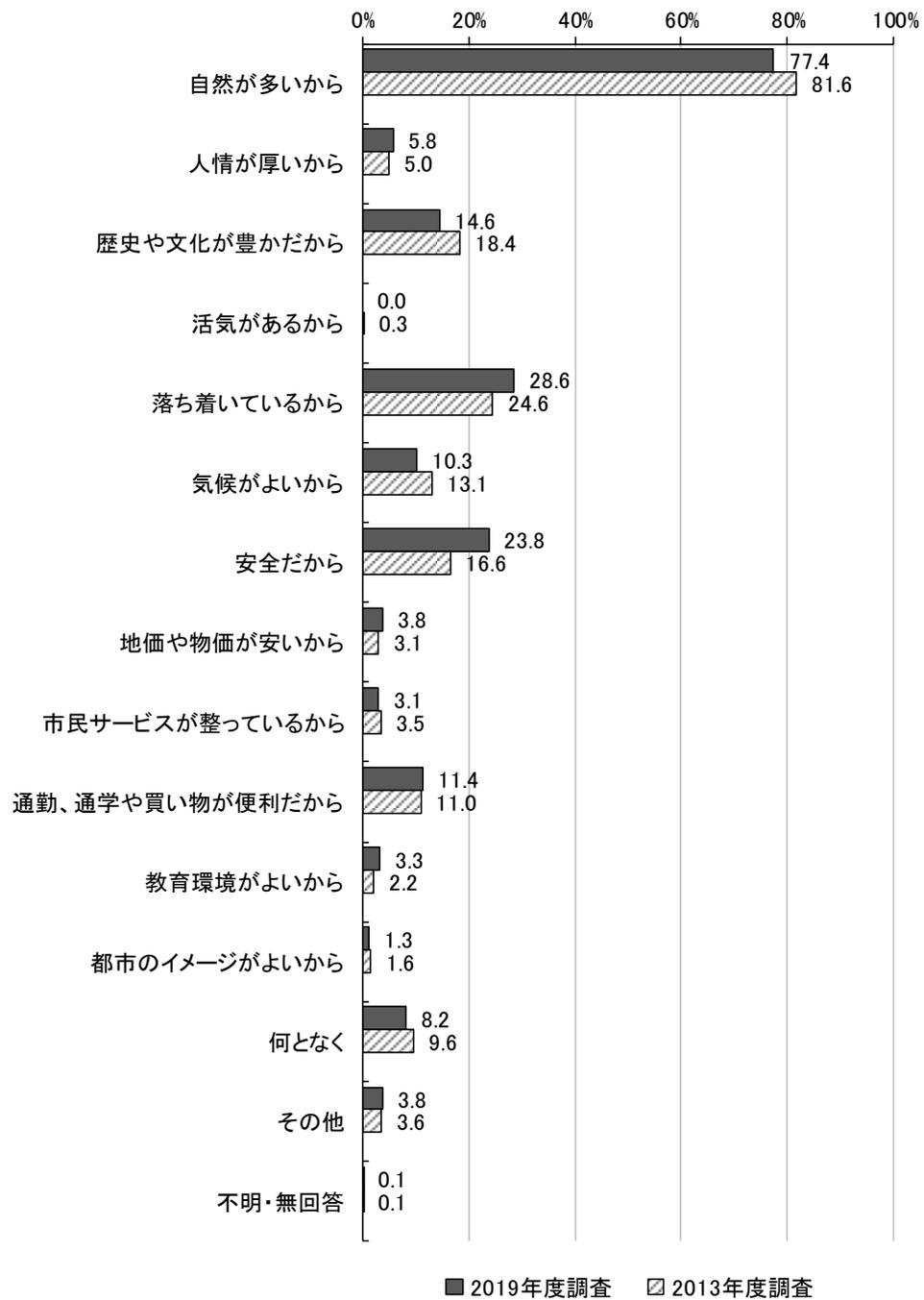
河内長野市が好きな理由についてみると、「自然が多いから」が77.4%と最も高く、次いで「落ち着いているから」が28.6%、「安全だから」が23.8%となっています。

前回調査と比較すると、「安全だから」「落ち着いているから」の割合が高く、「自然が多いから」「歴史や文化が豊かだから」の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
生まれ育った場所だから	5
子育て支援が充実しているから	2
ずっと住んでいるから	2
先祖代々住んでいるから	1
身内が近くに住んでいるから	1
友人が多くいるから	1
田舎過ぎず都会過ぎないから	1

◆前回調査との比較〔問2〕



河内長野市が好きな理由についてみると、すべての年代で「自然が多いから」の割合が最も高くなっています。

＜問2 年代別クロス集計＞

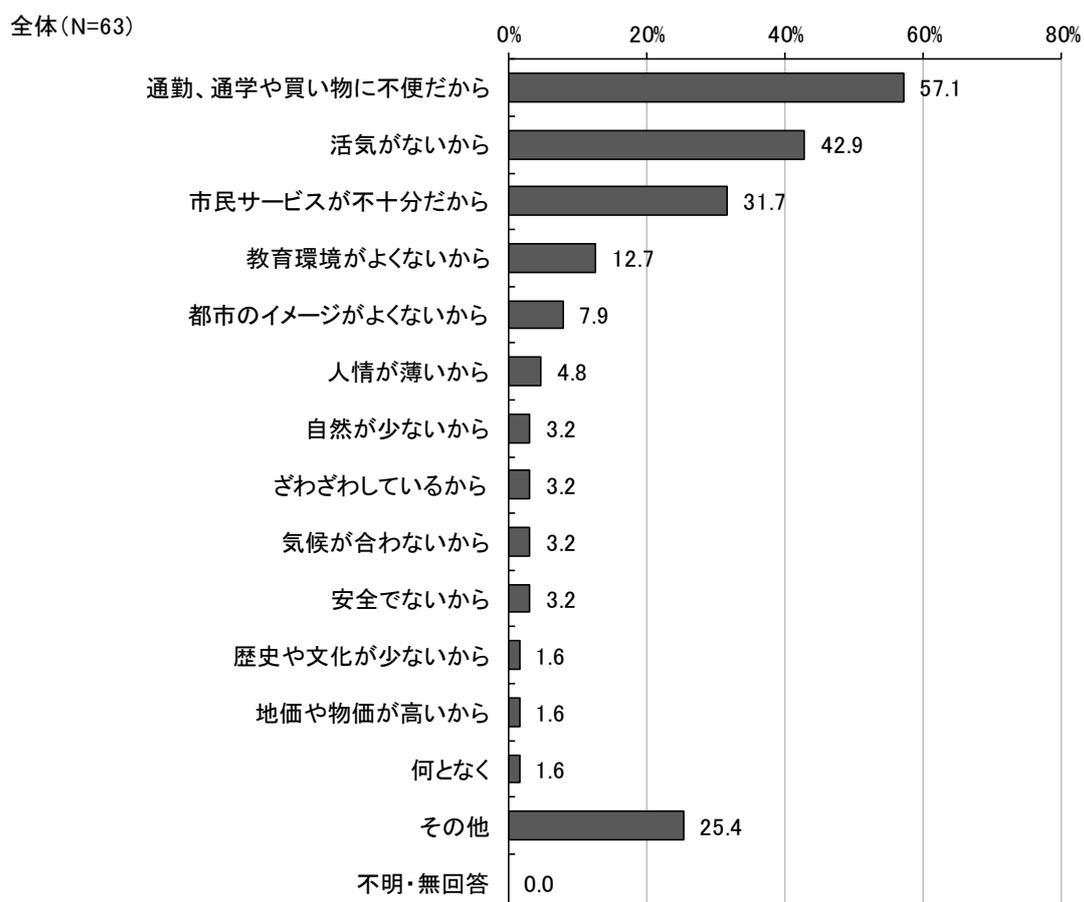
上段:件数 下段:%	合計	自然が多い から	人情が厚い から	歴史や 文化が豊か だから	活気がある から	落ち着いた いるから	気候がよい から	安全だから	
全 体	720 100.0	557 77.4	42 5.8	105 14.6	- -	206 28.6	74 10.3	171 23.8	
年代別	19歳以下	17 100.0	11 64.7	2 11.8	2 11.8	- -	8 47.1	3 17.6	4 23.5
	20歳代	56 100.0	37 66.1	4 7.1	5 8.9	- -	24 42.9	3 5.4	10 17.9
	30歳代	72 100.0	47 65.3	8 11.1	3 4.2	- -	22 30.6	3 4.2	17 23.6
	40歳代	117 100.0	94 80.3	4 3.4	7 6.0	- -	39 33.3	18 15.4	26 22.2
	50歳代	119 100.0	91 76.5	5 4.2	17 14.3	- -	41 34.5	5 4.2	22 18.5
	60歳代	112 100.0	86 76.8	7 6.3	17 15.2	- -	30 26.8	14 12.5	23 20.5
	70歳代	157 100.0	136 86.6	6 3.8	38 24.2	- -	28 17.8	20 12.7	41 26.1
	80歳以上	56 100.0	42 75.0	5 8.9	13 23.2	- -	10 17.9	6 10.7	21 37.5
上段:件数 下段:%	地価や物価 が安いから	市民サービ スが整って いるから	通勤、通学 や買い物 が便利だから	教育環境が よいから	都市の イメージが よいから	何となく	その他	不明・ 無回答	
全 体	27 3.8	22 3.1	82 11.4	24 3.3	9 1.3	59 8.2	27 3.8	1 0.1	
年代別	19歳以下	1 5.9	- -	2 11.8	- -	- -	- -	- -	- -
	20歳代	2 3.6	1 1.8	10 17.9	3 5.4	- -	9 16.1	1 1.8	- -
	30歳代	3 4.2	3 4.2	12 16.7	9 12.5	- -	10 13.9	2 2.8	- -
	40歳代	10 8.5	4 3.4	16 13.7	7 6.0	2 1.7	7 6.0	4 3.4	- -
	50歳代	6 5.0	6 5.0	17 14.3	3 2.5	3 2.5	10 8.4	4 3.4	- -
	60歳代	- -	3 2.7	12 10.7	- -	3 2.7	10 8.9	7 6.3	1 0.9
	70歳代	3 1.9	3 1.9	8 5.1	2 1.3	- -	10 6.4	8 5.1	- -
	80歳以上	1 1.8	1 1.8	4 7.1	- -	- -	2 3.6	1 1.8	- -

問2で「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた方

問3 河内長野市が嫌いな理由を2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

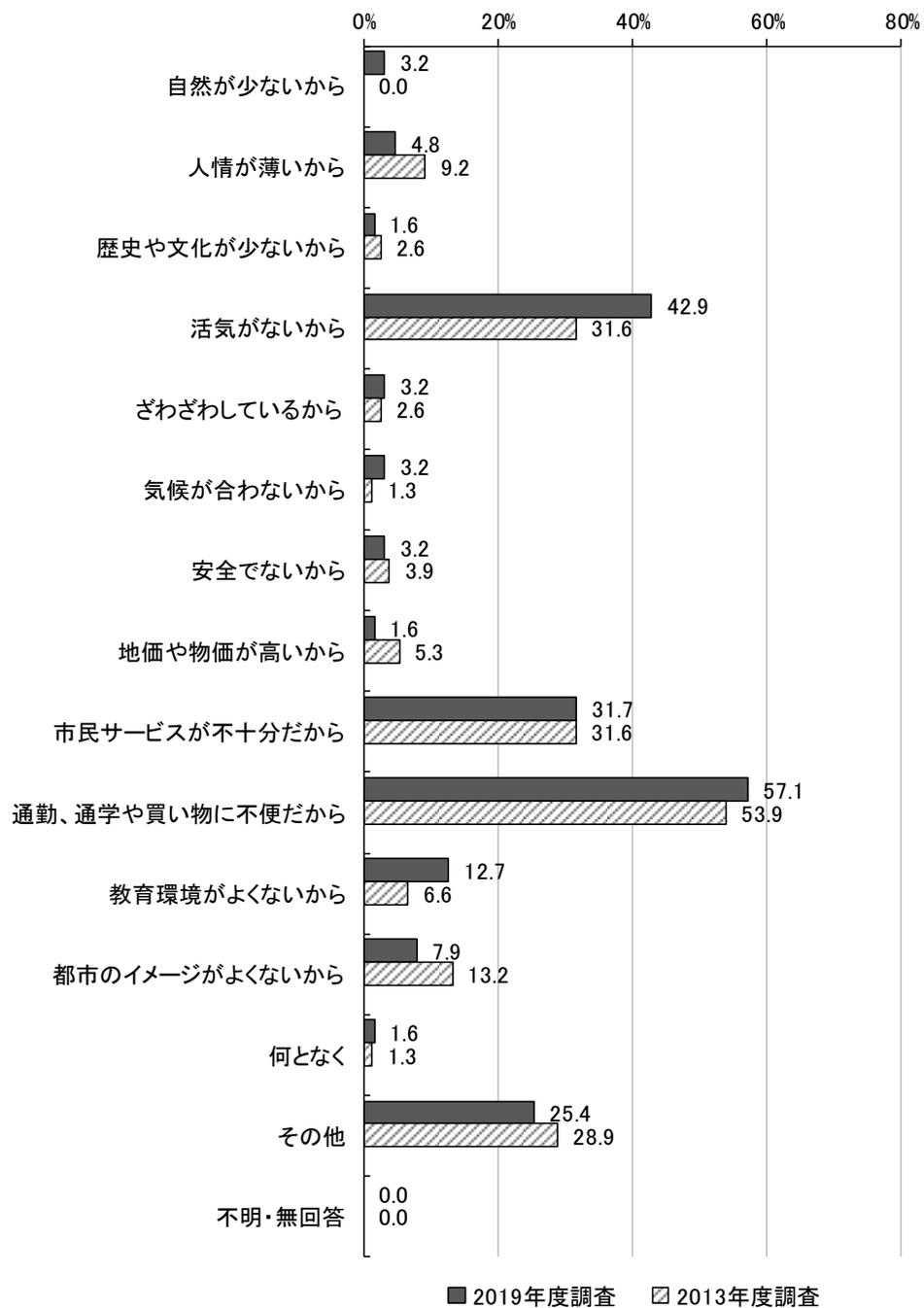
河内長野市が嫌いな理由についてみると、「通勤、通学や買い物に不便だから」が57.1%と最も高く、次いで「活気がないから」が42.9%、「市民サービスが不十分だから」が31.7%となっています。

前回調査と比較すると、「活気がないから」「教育環境がよくないから」等の割合が高く、「都市のイメージがよくないから」「人情が薄いから」等の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
商業施設や娯楽施設がないから	4
坂が多いから	2
高速が近くにないから	1
公立幼稚園がなくなったから	1

◆前回調査との比較〔問3〕



性別でみると、男女ともに「通勤、通学や買い物に不便だから」の割合が最も高くなっています。

＜問3 性別クロス集計＞

上段:件数 下段:%		合計	自然が 少ないから	人情が薄い から	歴史や 文化が 少ないから	活気が ないから	ざわざわして いるから	気候が合わ ないから	安全でない から
全 体		63 100.0	2 3.2	3 4.8	1 1.6	27 42.9	2 3.2	2 3.2	2 3.2
性別	男性	22 100.0	-	1 4.5	1 4.5	8 36.4	1 4.5	-	1 4.5
	女性	41 100.0	2 4.9	2 4.9	-	19 46.3	1 2.4	2 4.9	1 2.4
	答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-
上段:件数 下段:%		地価や物価 が高いから	市民サービ スが不十分 だから	通勤、通学 や買い物に 不便だから	教育環境が よくないから	都市の イメージが よくないから	何となく	その他	不明・ 無回答
全 体		1 1.6	20 31.7	36 57.1	8 12.7	5 7.9	1 1.6	16 25.4	-
性別	男性	-	7 31.8	13 59.1	1 4.5	4 18.2	1 4.5	6 27.3	-
	女性	1 2.4	13 31.7	23 56.1	7 17.1	1 2.4	-	10 24.4	-
	答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-

年代別でみると、20歳代以下、『40歳代』では「活気がないから」「通勤、通学や買い物に不便だから」、『30歳代』では「教育環境がよくないから」、50歳代から70歳代では「通勤、通学や買い物に不便だから」、『80歳以上』では「活気がないから」「市民サービスが不十分だから」の割合が最も高くなっています。

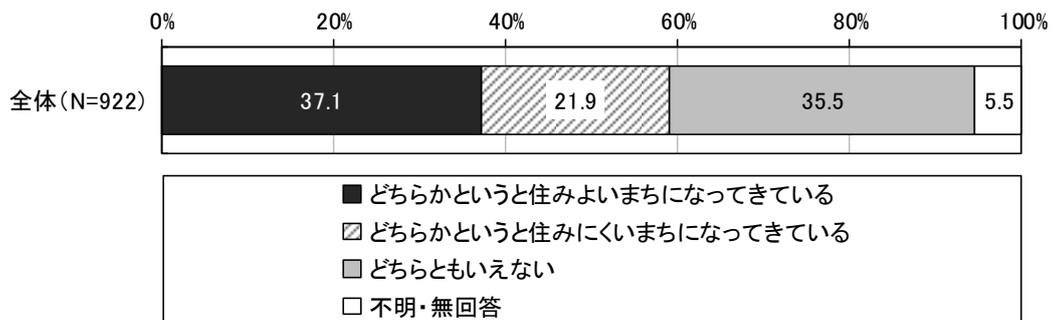
＜問3 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	自然が 少ないから	人情が薄い から	歴史や 文化が 少ないから	活気が ないから	ざわざわして いるから	気候が合わ ないから	安全でない から	
全 体	63 100.0	2 3.2	3 4.8	1 1.6	27 42.9	2 3.2	2 3.2	2 3.2	
年 代 別	19歳以下	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	
	20歳代	8 100.0	-	-	-	5 62.5	-	-	
	30歳代	4 100.0	-	-	-	1 25.0	-	-	
	40歳代	14 100.0	-	-	-	8 57.1	-	-	
	50歳代	18 100.0	1 5.6	-	1 5.6	6 33.3	1 5.6	-	
	60歳代	7 100.0	-	-	-	3 42.9	-	1 14.3	
	70歳代	6 100.0	-	2 33.3	-	1 16.7	-	1 16.7	
	80歳以上	4 100.0	1 25.0	-	-	2 50.0	1 25.0	-	
上段:件数 下段:%		地価や物価 が高いから	市民サー ビスが不十分 だから	通勤、通学 や買い物に 不便だから	教育環境が よくないから	都市の イメージが よくないから	何となく	その他	不明・ 無回答
全 体	1 1.6	20 31.7	36 57.1	8 12.7	5 7.9	1 1.6	16 25.4	-	
年 代 別	19歳以下	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	20歳代	-	3 37.5	5 62.5	1 12.5	-	-	1 12.5	-
	30歳代	-	2 50.0	-	3 75.0	-	-	1 25.0	-
	40歳代	-	4 28.6	8 57.1	2 14.3	1 7.1	-	4 28.6	-
	50歳代	-	5 27.8	13 72.2	-	2 11.1	-	6 33.3	-
	60歳代	1 14.3	3 42.9	4 57.1	1 14.3	-	-	3 42.9	-
	70歳代	-	1 16.7	3 50.0	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7	-
	80歳以上	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-

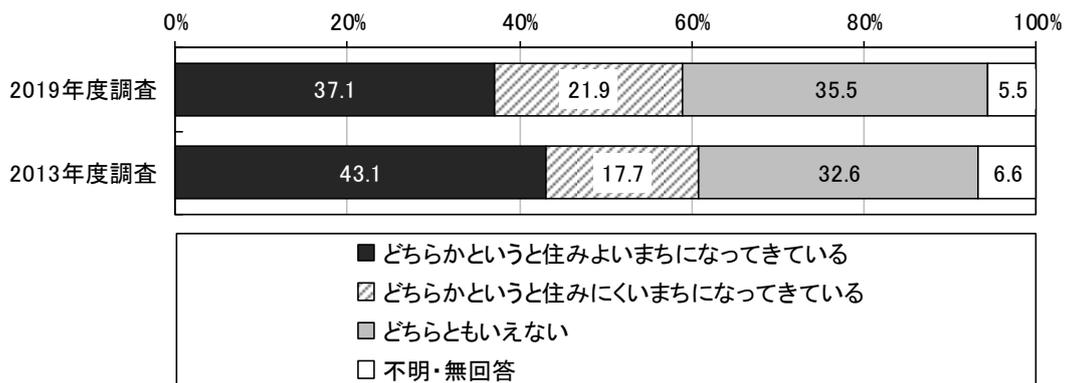
問4 あなたは、現在の河内長野市をどのように感じていますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。(SA)

現在の河内長野市をどのように感じているかについてみると、「どちらかというに住みよいまちになってきている」が37.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.5%となっています。

前回調査と比較すると、「どちらかというに住みよいまちになってきている」の割合が低くなっています。

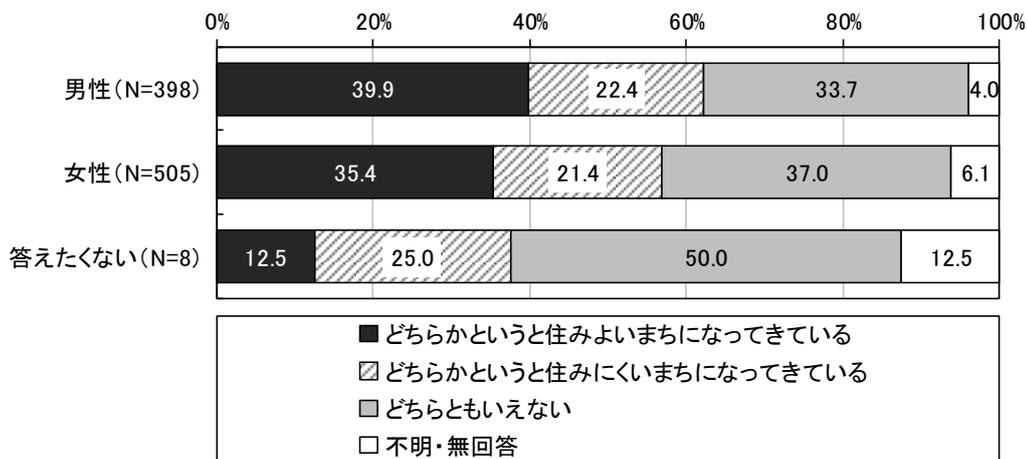


◆前回調査との比較〔問4〕



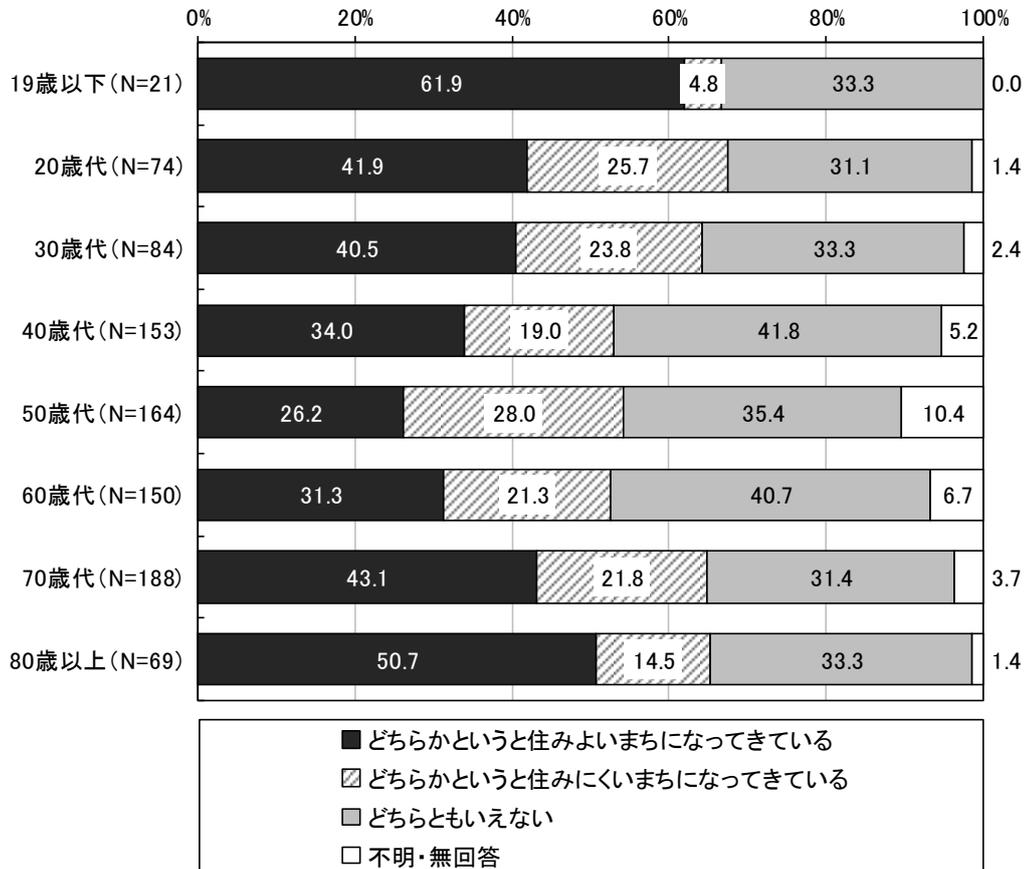
性別でみると、『男性』では「どちらかというと住みよいまちになってきている」、『女性』では「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

＜問4 性別クロス集計＞



年代別にみると、30歳代以下、70歳代以上では「どちらかというと住みよいまちになってきている」、40歳代から60歳代では「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

＜問4 年代別クロス集計＞



問5 あなたは、河内長野市を知り合いに紹介するとき、自慢したいこと（特産品、観光資源、住民気質、風土等）は何ですか。（FA）

※回答数が多いものを抜粋

河内長野市を知り合いに紹介するとき、自慢したいことについてみると、「自然が豊か、自然が近い、緑が多い、四季を感じられる」が最も多く、次いで「静か、落ち着いている、穏やか、のんびりしている」「観心寺・延命寺・金剛寺等のお寺」となっています。

主な自慢したいこと	類似回答数
自然が豊か、自然が近い、緑が多い、四季を感じられる	346
静か、落ち着いている、穏やか、のんびりしている	62
観心寺・延命寺・金剛寺等のお寺	58
空気がきれい、空気が良い、空気がおいしい	45
交通の便が良い、都心へのアクセスが良い	37
住民の気質が良い、人が温かい、親切	37
自然災害が少ない、災害に強い	36
観光資源が豊富	34
風土	28
桃・梨・ぶどうなどの果物	28
気候が良い、夏は涼しい	25
つまようじ、すだれ	23
住みやすい、住みよい	22
水がきれい、水がおいしい	21
お酒、天野酒	18
滝畑ダム、滝畑	17
歴史・文化が豊か	16
子育てしやすい、子育て環境が良い、子育て支援が整っている	15
治安が良い	15
新鮮な野菜や果物が安く手に入る、野菜や果物がおいしい	15
関西サイクルスポーツセンター	13
生活環境が整っている、生活するのに便利	13
国宝、重要文化財が多い	10
桜	10
金剛山	9
歴史・文化遺産	9
安全	8
岩湧山	8
田舎	7
特産品	7
図書館、図書館が充実している	7
花の文化園	7
蛍	6
くろまろの郷	5
都会過ぎず田舎過ぎない、程よく田舎、適度に都会	5
川、川遊び	5

3. 河内長野市の取組について

問6-1 次にあげる項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、②将来に向けて重要な項目だと思いますか。1から41のそれぞれについて、お考えに近い番号に○をつけてください。(SA)

<調査内容>

41の項目に対して、「現在の満足度」「今後の重要度」の2つのポイントを軸に回答をいただきました。

<分析方法>

[現在の満足度]の点数化については、「非常に満足」=5点、「やや満足」=4点、「普通」=3点、「やや不満」=2点、「不満」=1点として「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

[今後の重要度]の点数化については、「非常に重要」=5点、「やや重要」=4点、「あまり重要でない」=2点、「重要でない」=1点、として「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

今回は市の取組やサービスの分野39項目について、上記の基準で点数化し、グラフ化及び散布図化することで分析しています。

[現在の満足度/今後の重要度]のクロス分析

「現在の満足度」の平均値は2.94、「今後の重要度」の平均値は4.18となっています。

満足度が高い項目は、「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」「歴史文化遺産の保存・活用」、重要度が高い項目は「防災」「消防・救急」「防犯」となっています。

<「現在の満足度」「今後の重要度」の上位・下位3項目>

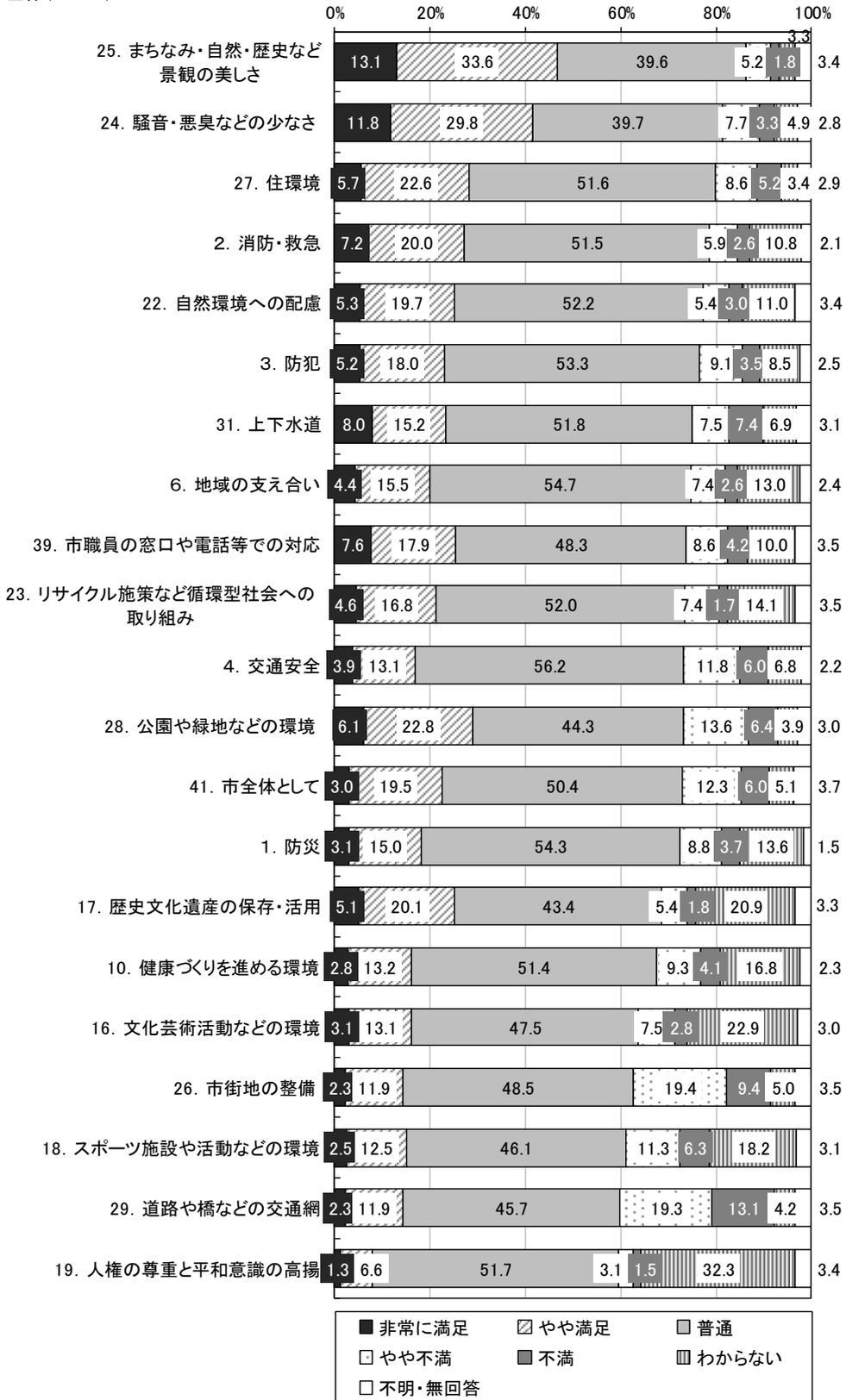
		1位	2位	3位
満足度	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.55)	騒音・悪臭などの少なさ(3.43)	歴史文化遺産の保存・活用(3.28)
	下位	商業地などの賑わい(2.14)	身近な場での働きやすさ(2.41)	バスなどの公共交通サービス(2.51)
重要度	上位	防災(4.64)	消防・救急(4.57)	防犯(4.50)
	下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.64)	文化芸術活動などの環境(3.67) 男女共同参画の推進(3.67)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.78)

<各項目のポイント数>

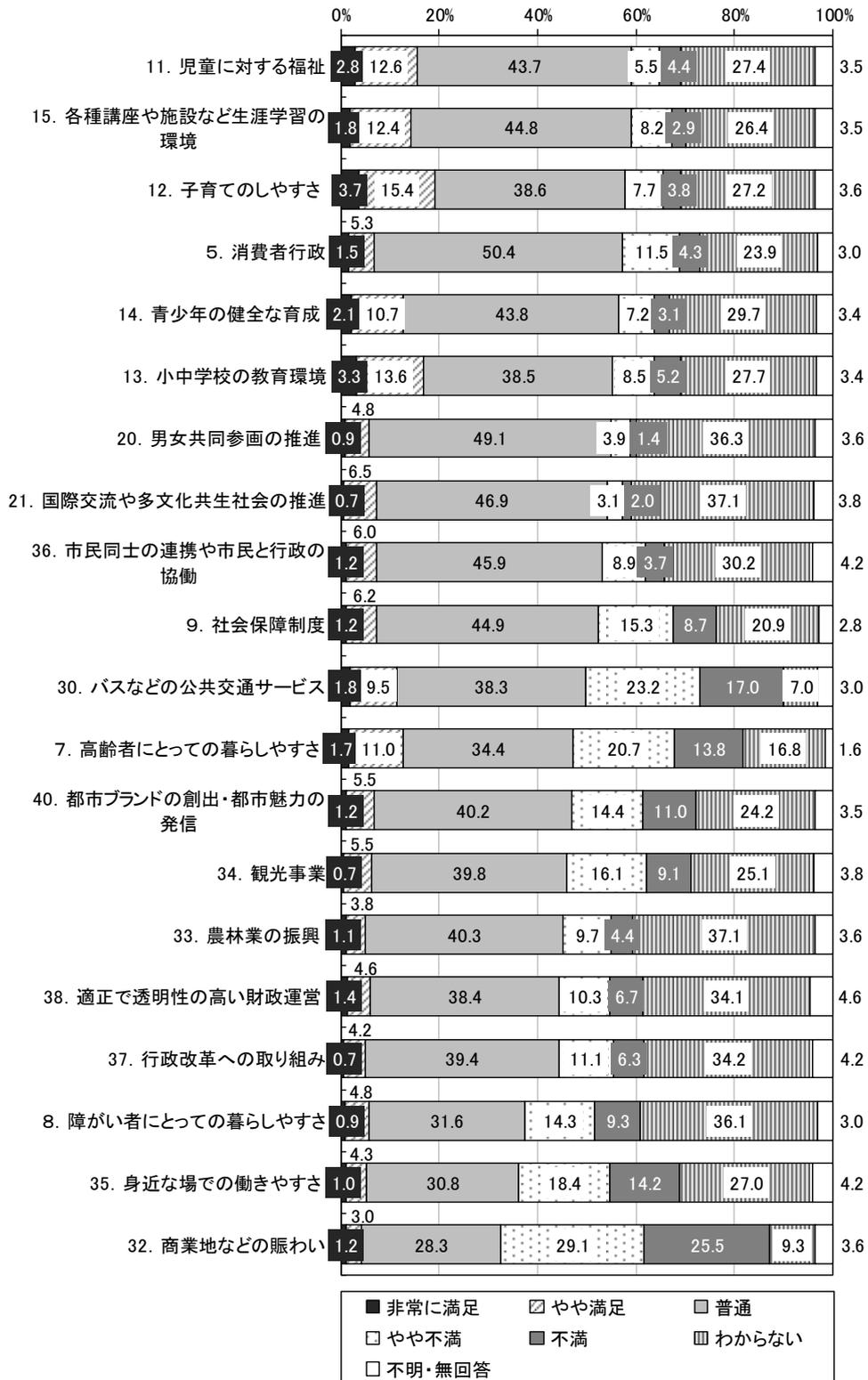
No.	項目名	満足度	重要度	No.	項目名	満足度	重要度
1	防災	3.06	4.64	22	自然環境への配慮	3.22	4.30
2	消防・救急	3.27	4.57	23	リサイクル施策など循環型社会への取り組み	3.18	4.20
3	防犯	3.14	4.50	24	騒音・悪臭などの少なさ	3.43	4.21
4	交通安全	2.97	4.38	25	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	3.55	4.25
5	消費者行政	2.84	4.23	26	市街地の整備	2.76	4.20
6	地域の支え合い	3.14	4.18	27	住環境	3.16	4.30
7	高齢者にとっての暮らしやすさ	2.59	4.46	28	公園や緑地などの環境	3.09	4.11
8	障がい者にとっての暮らしやすさ	2.57	4.41	29	道路や橋などの交通網	2.69	4.30
9	社会保障制度	2.68	4.46	30	バスなどの公共交通サービス	2.51	4.36
10	健康づくりを進める環境	3.02	4.06	31	上下水道	3.10	4.27
11	児童に対する福祉	3.05	4.37	32	商業地などの賑わい	2.14	4.15
12	子育てのしやすさ	3.11	4.45	33	農林業の振興	2.79	3.88
13	小中学校の教育環境	3.02	4.45	34	観光事業	2.61	3.87
14	青少年の健全な育成	3.02	4.36	35	身近な場での働きやすさ	2.41	4.13
15	各種講座や施設など生涯学習の環境	3.03	3.78	36	市民同士の連携や市民と行政の協働	2.88	3.99
16	文化芸術活動などの環境	3.08	3.67	37	行政改革への取り組み	2.71	4.16
17	歴史文化遺産の保存・活用	3.28	3.98	38	適正で透明性の高い財政運営	2.73	4.33
18	スポーツ施設や活動などの環境	2.92	3.85	39	市職員の窓口や電話等での対応	3.19	-
19	人権の尊重と平和意識の高揚	3.05	3.92	40	都市ブランドの創出・都市魅力の発信	2.61	4.01
20	男女共同参画の推進	3.00	3.67	41	市全体として	3.02	-
21	国際交流や多文化共生社会の推進	3.01	3.64	平均値		2.94	4.18

<現在の満足度割合（「非常に満足」「やや満足」「普通」の合計順①）>

全体(N=922)

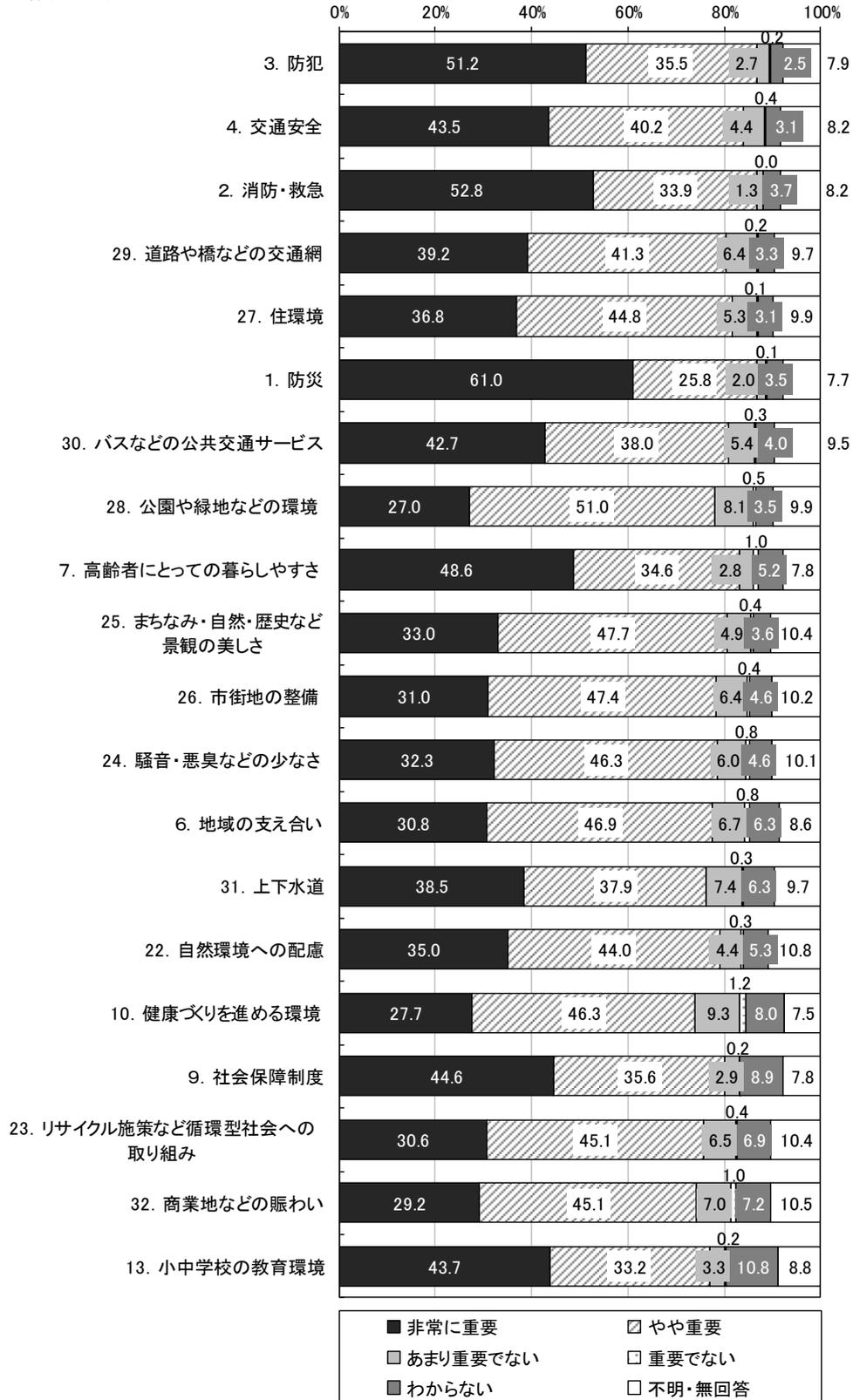


<現在の満足度割合（「非常に満足」「やや満足」「普通」の合計順②）>

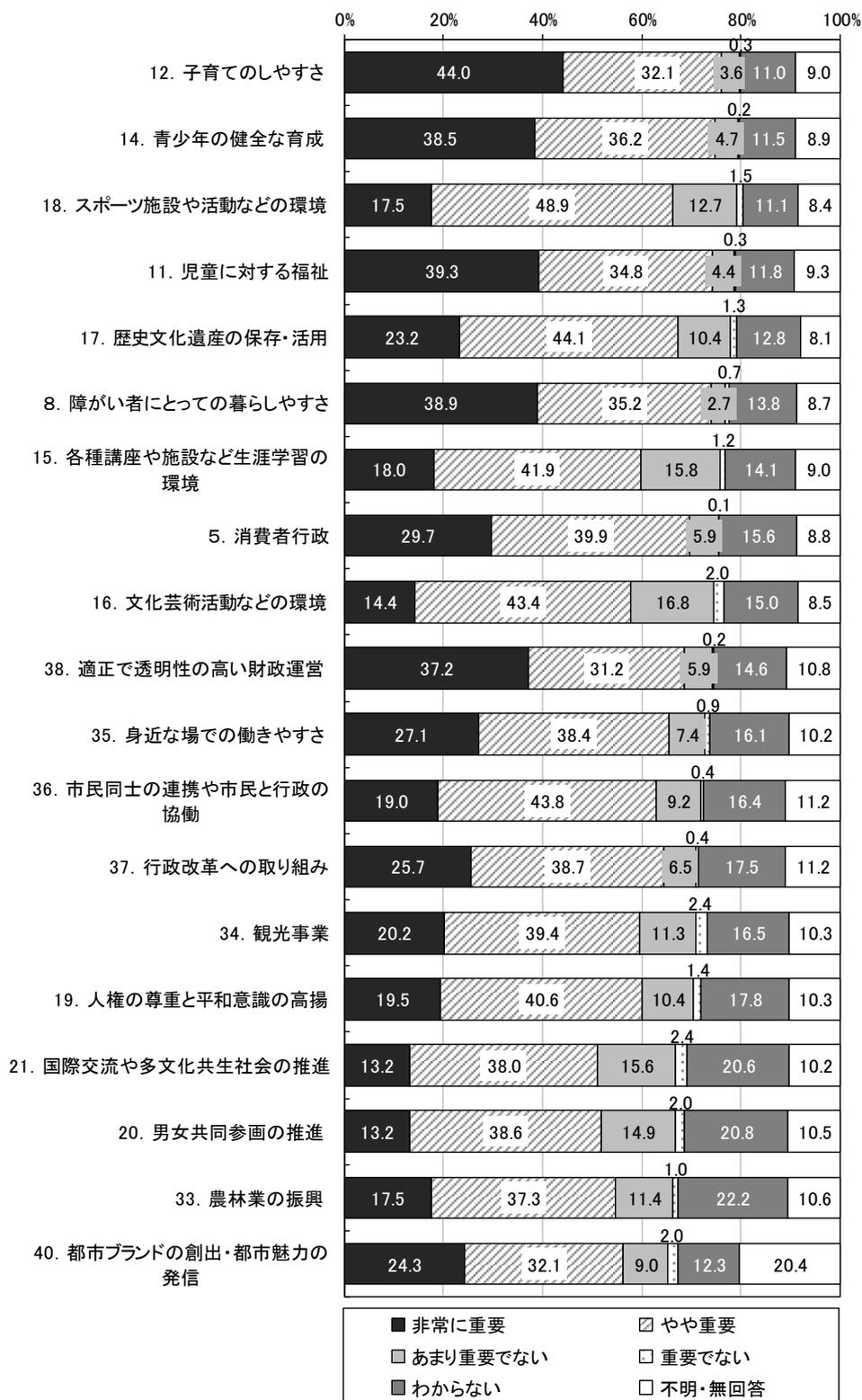


＜今後の重要度割合（「非常に重要」「やや重要」の合計順①）＞

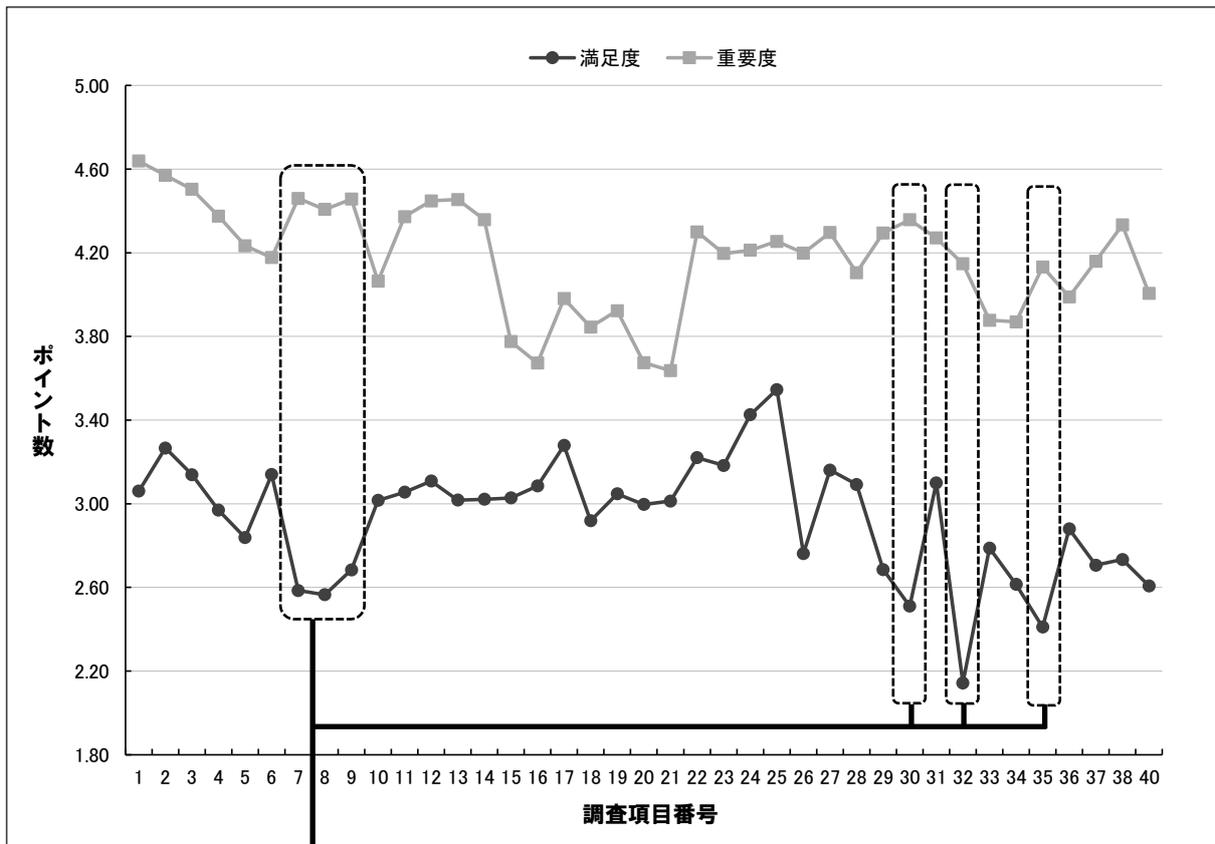
全体(N=922)



＜今後の重要度割合（「非常に重要」「やや重要」の合計順②）＞



<「満足度」と「重要度」のギャップ>



【満足度と重要度のギャップが特に大きい項目】

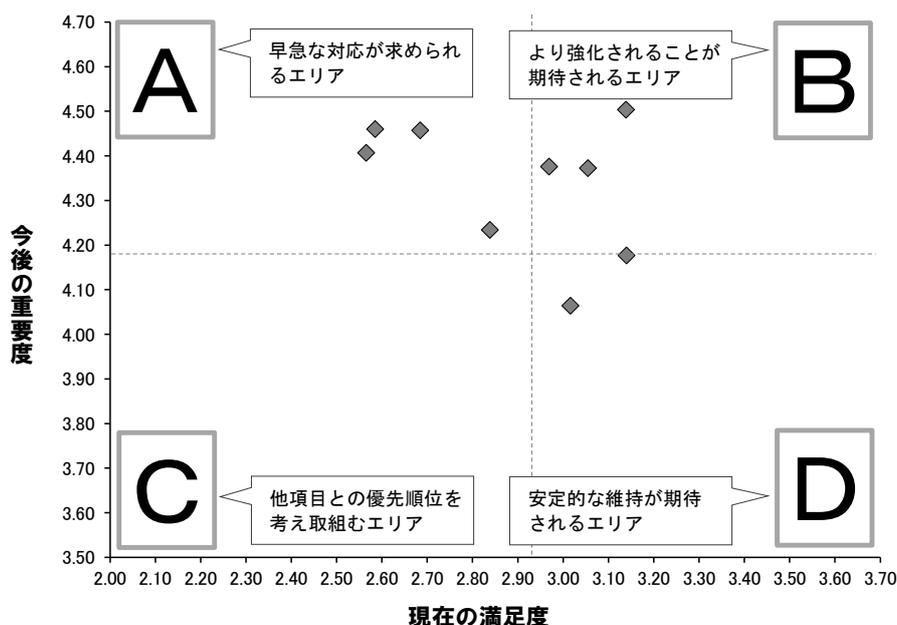
- 7. 高齢者にとっての暮らしやすさ
- 8. 障がい者にとっての暮らしやすさ
- 9. 社会保障制度
- 30. バスなどの公共交通サービス
- 32. 商業地などの賑わい
- 35. 身近な場での働きやすさ

[現在の満足度/今後の重要度] クロス分析散布図について

満足度と重要度の結果を散布図に落とし込み、「A」から「D」に分類することで、各エリアに所属する項目への対応の方向性を示しています。

特に「A」のエリアに関しては重要度が高いが、満足度が低いエリアであり、ここに示される項目に対しては優先順位を高めた対応がまちづくりに必要であると考えられます。

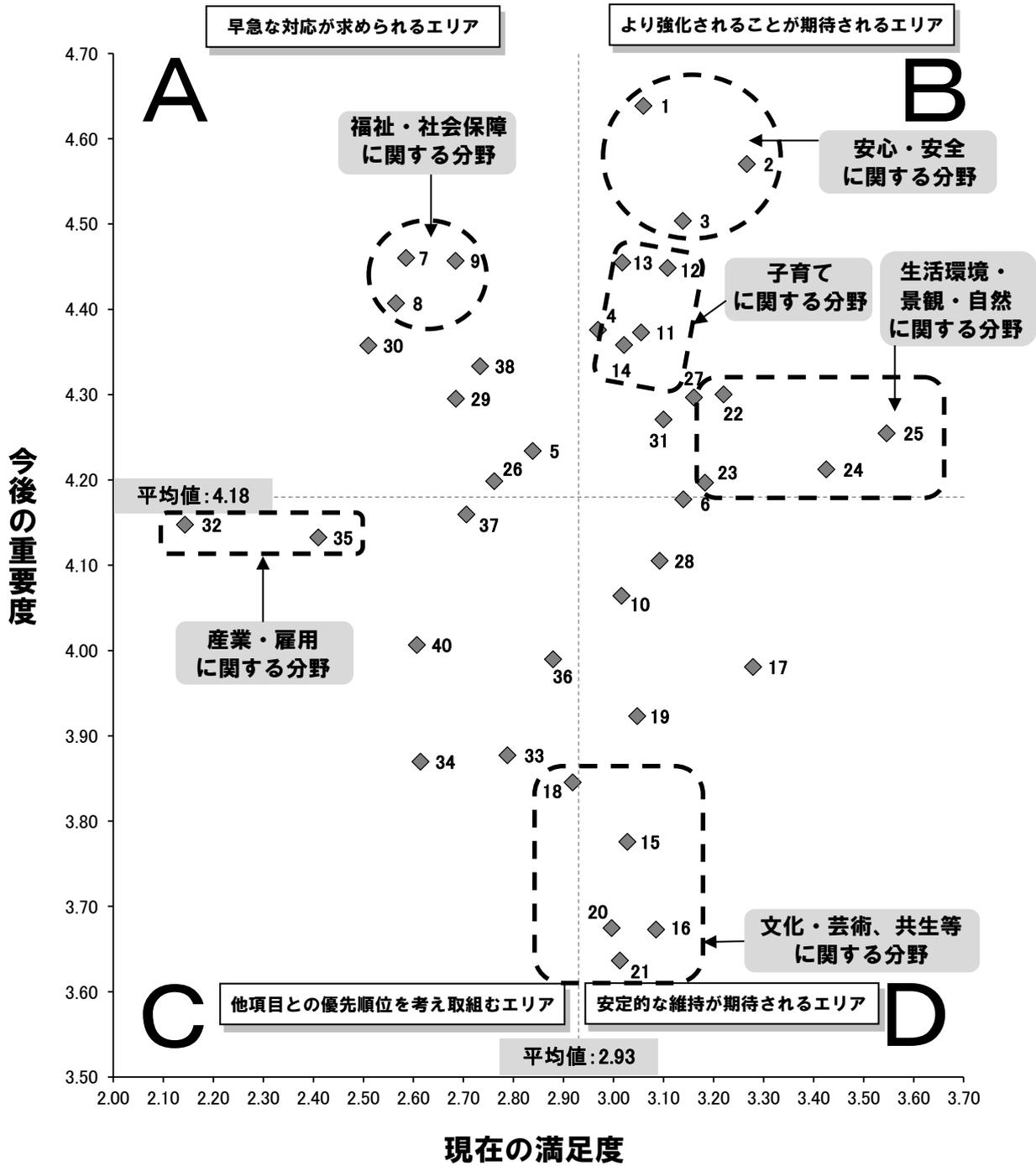
<散布図内の各エリアの見方>



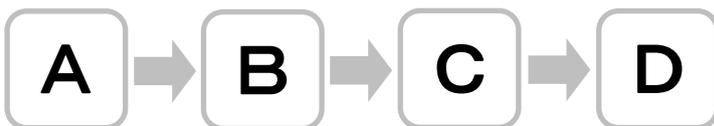
<各エリアに所属する項目一覧>

エリア	項目
A 早急な対応が求められるエリア	7. 高齢者にとっての暮らしやすさ／9. 社会保障制度／8. 障がい者にとっての暮らしやすさ／30. バスなどの公共交通サービス／38. 適正で透明性の高い財政運営／29. 道路や橋などの交通網／5. 消費者行政／26. 市街地の整備
B より強化されることが期待されるエリア	1. 防災／2. 消防・救急／3. 防犯／13. 小中学校の教育環境／12. 子育てのしやすさ／4. 交通安全／11. 児童に対する福祉／14. 青少年の健全な育成／22. 自然環境への配慮／27. 住環境／31. 上下水道／25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ／24. 騒音・悪臭などの少なさ／23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み
C 他項目との優先順位を考え取組むエリア	37. 行政改革への取り組み／32. 商業地などの賑わい／35. 身近な場での働きやすさ／40. 都市ブランドの創出・都市魅力の発信／36. 市民同士の連携や市民と行政の協働／33. 農林業の振興／34. 観光事業／18. スポーツ施設や活動などの環境
D 安定的な維持が期待されるエリア	6. 地域の支え合い／28. 公園や緑地などの環境／10. 健康づくりを進める環境／17. 歴史文化遺産の保存・活用／19. 人権の尊重と平和意識の高揚／15. 各種講座や施設など生涯学習の環境／20. 男女共同参画の推進／16. 文化芸術活動などの環境／21. 国際交流や多文化共生社会の推進

＜「現在の満足度」と「今後の重要度」のクロス分析＞散布図



【施策の優先度の参考】



回答者の属性別データ

① 満足度×性別

満足度を性別でみると、男女ともに「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」といった『環境』に関する項目が高くなっている一方、「商業地などの賑わい」「身近な場での働きやすさ」といった『産業』に関する項目が低くなっています。

			1 位	2 位	3 位
現在の満足度(5点満点)	男性	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.53)	騒音・悪臭などの少なさ(3.42)	消防・救急(3.29)
		下位	商業地などの賑わい(2.13)	身近な場での働きやすさ(2.37)	都市ブランドの創出・都市魅力の発信(2.46)
	女性	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.56)	騒音・悪臭などの少なさ(3.43)	歴史文化遺産の保存・活用(3.31)
		下位	商業地などの賑わい(2.15)	身近な場での働きやすさ(2.45)	バスなどの公共交通サービス(2.46)
	答えたくない	上位	歴史文化遺産の保存・活用(3.50)	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.33)	文化芸術活動などの環境(3.20) 市職員の窓口や電話等での対応(3.20)
		下位	バスなどの公共交通サービス(1.80)	商業地などの賑わい(2.00)	交通安全(2.17)
	全体	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.55)	騒音・悪臭などの少なさ(3.43)	歴史文化遺産の保存・活用(3.28)
		下位	商業地などの賑わい(2.14)	身近な場での働きやすさ(2.41)	バスなどの公共交通サービス(2.51)

② 今後の重要度×性別

今後の重要度を性別でみると、男女ともに「防災」「消防・救急」「防犯」といった『安全・安心』に関する項目が高くなっています。

			1 位	2 位	3 位
今後の重要度(5点満点)	男性	上位	防災(4.66)	消防・救急(4.51)	防犯(4.46)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.53)	文化芸術活動などの環境(3.57) 男女共同参画の推進(3.57)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.65)
	女性	上位	防災(4.62)	消防・救急(4.61)	防犯(4.53)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.72)	文化芸術活動などの環境(3.76) 男女共同参画の推進(3.76)	スポーツ施設や活動などの環境(3.82)
	答えたくない	上位	消費者行政(4.80)	騒音・悪臭などの少なさ(4.67) 上下水道(4.67) 適正で透明性の高い財政運営(4.67)	消防・救急(4.60)
		下位	観光事業(1.75)	農林業の振興(2.50) スポーツ施設や活動などの環境(2.50)	地域の支え合い(2.60)
	全体	上位	防災(4.64)	消防・救急(4.57)	防犯(4.50)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.64)	文化芸術活動などの環境(3.67) 男女共同参画の推進(3.67)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.78)

③ 満足度×年代別

満足度を年代別でみると、ほとんどの年代で「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」など『環境』に関する項目が高くなっています。一方で、「商業地などの賑わい」「身近な場での働きやすさ」はほとんどの年代において下位を占めています。

		1 位	2 位	3 位	
現在の満足度(5点満点)	19 歳以下	上位	騒音・悪臭などの少なさ(3.63) まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.63)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.59)	公園や緑地などの環境(3.53)
		下位	商業地などの賑わい(2.18)	身近な場での働きやすさ(2.53)	適正で透明性の高い財政運営(2.67) 障がい者にとっての暮らしやすさ(2.67)
	20 歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の 美しさ(3.77)	上下水道(3.61)	防犯(3.52)
		下位	商業地などの賑わい(2.25)	障がい者にとっての暮らしやすさ(2.69) 観光事業(2.69) 身近な場での働きやすさ(2.69)	都市ブランドの創出・都市魅力 の発信(2.70)
	30 歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の 美しさ(3.52)	騒音・悪臭などの少なさ(3.36)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.32)
		下位	商業地などの賑わい(2.15)	身近な場での働きやすさ(2.23)	バスなどの公共交通サービス (2.37)
	40 歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の 美しさ(3.55)	騒音・悪臭などの少なさ(3.51)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.25)
		下位	商業地などの賑わい(2.00)	身近な場での働きやすさ(2.27)	都市ブランドの創出・都市魅力 の発信(2.45)
	50 歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の 美しさ(3.43)	騒音・悪臭などの少なさ(3.28)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.20)
		下位	商業地などの賑わい(2.00)	身近な場での働きやすさ(2.43)	バスなどの公共交通サービス (2.44)
	60 歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の 美しさ(3.46)	騒音・悪臭などの少なさ(3.32)	住環境(3.20)
		下位	商業地などの賑わい(2.04)	身近な場での働きやすさ(2.31)	障がい者にとっての暮らしやすさ(2.41) バスなどの公共交通サービス(2.41)
	70 歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の 美しさ(3.55)	消防・救急(3.51)	騒音・悪臭などの少なさ(3.48)
		下位	商業地などの賑わい(2.41)	バスなどの公共交通サービス (2.55)	身近な場での働きやすさ(2.57)
	80 歳以上	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の 美しさ(3.75)	市職員の窓口や電話等での対応 (3.65)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.61)
		下位	商業地などの賑わい(2.21)	高齢者にとっての暮らしやすさ (2.44)	障がい者にとっての暮らしやすさ (2.48)
	全 体	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の 美しさ(3.55)	騒音・悪臭などの少なさ(3.43)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.28)
		下位	商業地などの賑わい(2.14)	身近な場での働きやすさ(2.41)	バスなどの公共交通サービス (2.51)

④ 今後の重要度×年代別

今後の重要度を年代別で見ると、ほとんどの年代で「防災」「消防・救急」など『安全・安心』に関する項目が高くなっています。また、40歳代以下では「小中学校の教育環境」、「60歳代」「70歳代」では「高齢者にとっての暮らしやすさ」も上位に位置しています。

		1位	2位	3位	
今後の重要度(5点満点)	19歳以下	上位	防犯(4.70)	社会保障制度(4.60) 小中学校の教育環境(4.60)	子育てのしやすさ(4.58)
		下位	文化芸術活動などの環境(3.61)	スポーツ施設や活動などの環境(3.63)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.69)
	20歳代	上位	防災(4.65)	消防・救急(4.57)	小中学校の教育環境(4.41)
		下位	文化芸術活動などの環境(3.36)	国際交流や多文化共生社会の推進(3.54)	男女共同参画の推進(3.65)
	30歳代	上位	子育てのしやすさ(4.63)	防災(4.60)	小中学校の教育環境(4.52)
		下位	観光事業(3.35)	国際交流や多文化共生社会の推進(3.38)	文化芸術活動などの環境(3.50)
	40歳代	上位	防災(4.66)	小中学校の教育環境(4.54)	消防・救急(4.53)
		下位	男女共同参画の推進(3.47)	国際交流や多文化共生社会の推進(3.62)	文化芸術活動などの環境(3.65)
	50歳代	上位	防災(4.65)	消防・救急(4.59)	防犯(4.51)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.46)	男女共同参画の推進(3.50)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.51)
	60歳代	上位	防災(4.61)	消防・救急(4.57)	高齢者にとっての暮らしやすさ(4.55)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.68)	男女共同参画の推進(3.72)	文化芸術活動などの環境(3.76)
	70歳代	上位	防災(4.65)	消防・救急(4.59)	高齢者にとっての暮らしやすさ(4.58)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.72)	男女共同参画の推進(3.85)	文化芸術活動などの環境(3.86)
	80歳以上	上位	上下水道(4.68)	障がい者にとっての暮らしやすさ(4.63)	バスなどの公共交通サービス(4.62)
		下位	文化芸術活動などの環境(3.92)	男女共同参画の推進(4.00)	各種講座や施設など生涯学習の環境(4.08)
	全体	上位	防災(4.64)	消防・救急(4.57)	防犯(4.50)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.64)	文化芸術活動などの環境(3.67) 男女共同参画の推進(3.67)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.78)

⑤ 満足度×小学校区別

満足度を小学校区別でみると、ほとんどの小学校区で「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」など『環境』に関する項目が高くなっています。一方で、「商業地などの賑わい」「身近な場での働きやすさ」などの『産業』に関する項目の満足度は低くなっています。また、半数以上の小学校区で「バスなどの公共交通サービス」の満足度が低くなっています。

		1 位	2 位	3 位	
現在の満足度(5点満点)	長野小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.38)	消防・救急(3.28)	騒音・悪臭などの少なさ(3.24)
		下位	商業地などの賑わい(1.90)	身近な場での働きやすさ(2.37)	観光事業(2.55)
	小山田小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.55)	公園や緑地などの環境(3.43)	騒音・悪臭などの少なさ(3.41)
		下位	商業地などの賑わい(2.09)	バスなどの公共交通サービス(2.35)	観光事業(2.49)
	天野小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.68)	騒音・悪臭などの少なさ(3.63)	歴史文化遺産の保存・活用(3.48)
		下位	バスなどの公共交通サービス(2.25)	商業地などの賑わい(2.26)	高齢者にとっての暮らしやすさ(2.32)
	高向小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.43)	消防・救急(3.32)	歴史文化遺産の保存・活用(3.31)
		下位	商業地などの賑わい(1.97)	農林業の振興(2.35)	バスなどの公共交通サービス(2.43)
	三日市小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.59)	騒音・悪臭などの少なさ(3.55)	子育てのしやすさ(3.36)
		下位	商業地などの賑わい(2.26)	身近な場での働きやすさ(2.45)	高齢者にとっての暮らしやすさ(2.64)
	天見小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.38)	地域の支え合い(3.33)	騒音・悪臭などの少なさ(3.29)
		下位	農林業の振興(1.50)	バスなどの公共交通サービス(1.83)	商業地などの賑わい(2.00)
	川上小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.56)	歴史文化遺産の保存・活用(3.43)	市職員の窓口や電話等での対応(3.33)
		下位	商業地などの賑わい(2.00)	高齢者にとっての暮らしやすさ(2.38)	社会保障制度(2.51)
	千代田小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.37)	歴史文化遺産の保存・活用(3.34)	消防・救急(3.21)
		下位	商業地などの賑わい(2.26)	バスなどの公共交通サービス(2.36)	身近な場での働きやすさ(2.39)
	楠小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.44)	歴史文化遺産の保存・活用(3.33)	騒音・悪臭などの少なさ(3.29)
		下位	商業地などの賑わい(2.31)	身近な場での働きやすさ(2.32)	観光事業(2.49)
	加賀田小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.72)	騒音・悪臭などの少なさ(3.65)	自然環境への配慮(3.38)
		下位	高齢者にとっての暮らしやすさ(2.15)	商業地などの賑わい(2.22)	身近な場での働きやすさ(2.25) 障がい者にとっての暮らしやすさ(2.25)
石仏小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.71)	騒音・悪臭などの少なさ(3.67)	市職員の窓口や電話等での対応(3.46)	
	下位	商業地などの賑わい(2.13)	身近な場での働きやすさ(2.39)	都市ブランドの創出・都市魅力の発信(2.54)	
美加の台小学校区	上位	騒音・悪臭などの少なさ(3.83)	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.78)	公園や緑地などの環境(3.66)	
	下位	商業地などの賑わい(2.07)	バスなどの公共交通サービス(2.28)	身近な場での働きやすさ(2.30)	
南花台小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.63)	騒音・悪臭などの少なさ(3.58)	住環境(3.36)	
	下位	商業地などの賑わい(2.25)	身近な場での働きやすさ(2.36)	バスなどの公共交通サービス(2.50)	
全体	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ(3.55)	騒音・悪臭などの少なさ(3.43)	歴史文化遺産の保存・活用(3.28)	
	下位	商業地などの賑わい(2.14)	身近な場での働きやすさ(2.41)	バスなどの公共交通サービス(2.51)	

⑥ 今後の重要度×小学校区別

今後の重要度を小学校区別でみると、ほとんどの小学校区で「防災」や「消防・救急」「防犯」といった『安全・安心』に関する項目が高くなっています。また、『子育て・教育』や『福祉・健康』に関する項目も高くなっています。

		1 位	2 位	3 位	
今後の重要度 (5点満点)	長野 小学校区	上位	防災(4.66)	小中学校の教育環境(4.53)	消防・救急(4.50)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.49)	男女共同参画の推進(3.56)	文化芸術活動などの環境(3.58)
	小山田 小学校区	上位	防災(4.62)	障がい者にとっての暮らしやすさ(4.54)	消防・救急(4.53)
		下位	文化芸術活動などの環境(3.51)	国際交流や多文化共生社会の推進(3.59)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.68)
	天野 小学校区	上位	交通安全(4.71)	高齢者にとっての暮らしやすさ(4.70) 適正で透明性の高い財政運営(4.70)	防災(4.69) 消防・救急(4.69)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.54)	男女共同参画の推進(3.83)	文化芸術活動などの環境(3.87)
	高向 小学校区	上位	防災(4.70)	高齢者にとっての暮らしやすさ(4.66)	消防・救急(4.63) 社会保障制度(4.63)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.54)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.59)	文化芸術活動などの環境(3.68)
	三日市 小学校区	上位	防災(4.67)	消防・救急(4.62)	社会保障制度(4.50)
		下位	文化芸術活動などの環境(3.55)	男女共同参画の推進(3.57)	国際交流や多文化共生社会の推進(3.61)
	天見 小学校区	上位	障がい者にとっての暮らしやすさ(4.60) バスなどの公共交通サービス(4.60)	消防・救急(4.57)	道路や橋などの交通網(4.43)
		下位	騒音・悪臭などの少なさ(3.00) 文化芸術活動などの環境(3.00)	歴史文化遺産の保存・活用(3.20)	都市ブランドの創出・都市魅力の発信(3.33)
	川上 小学校区	上位	子育てのしやすさ(4.60)	防犯(4.56)	防災(4.55)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.58)	男女共同参画の推進(3.65)	観光事業(3.77)
	千代田 小学校区	上位	防災(4.56)	消防・救急(4.51)	社会保障制度(4.50)
		下位	男女共同参画の推進(3.48)	文化芸術活動などの環境(3.53)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.64)
	楠 小学校区	上位	防災(4.81)	消防・救急(4.68)	防犯(4.61)
		下位	文化芸術活動などの環境(3.75)	観光事業(3.79) 国際交流や多文化共生社会の推進(3.79)	都市ブランドの創出・都市魅力の発信(3.81) 男女共同参画の推進(3.81)
	加賀田 小学校区	上位	防災(4.61)	高齢者にとっての暮らしやすさ(4.59)	バスなどの公共交通サービス(4.58)
		下位	文化芸術活動などの環境(3.51)	農林業の振興(3.58)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.66)
石仏 小学校区	上位	防災(4.69)	小中学校の教育環境(4.65)	障がい者にとっての暮らしやすさ(4.58)	
	下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.70)	農林業の振興(3.92)	男女共同参画の推進(3.93)	
美加の台 小学校区	上位	消防・救急(4.59)	防犯(4.58)	高齢者にとっての暮らしやすさ(4.56)	
	下位	男女共同参画の推進(3.53)	文化芸術活動などの環境(3.58) 農林業の振興(3.58)	観光事業(3.71)	
南花台 小学校区	上位	消防・救急(4.59)	防災(4.57)	障がい者にとっての暮らしやすさ(4.55)	
	下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.58)	農林業の振興(3.63)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.71)	
全体	上位	防災(4.64)	消防・救急(4.57)	防犯(4.50)	
	下位	国際交流や多文化共生社会の推進(3.64)	文化芸術活動などの環境(3.67) 男女共同参画の推進(3.67)	各種講座や施設など生涯学習の環境(3.78)	

問6-1で「やや不満」「不満」と答えた方

問6-2 特に不満を感じられている項目の番号を2つまで選んで、それぞれについて不満を感じる理由を記入してください。(FA) ※回答数が多いもの、主なものを抜粋

特に不満を感じている項目についてみると、「商業地などの賑わい」が最も多く、次いで「バスなどの公共交通サービス」「道路や橋などの交通網」となっています。

1. 防災 (23件)

主な意見
水害、土砂災害、がけ崩れが心配
避難場所までの足がない、避難所が遠い
大きな災害に備えての地域ごとの説明や準備が不十分

2. 消防・救急 (15件)

主な意見
救急指定の病院が少ない、受け入れてくれる病院が少ない、遠い
近畿大学病院移転に伴う、救急対応への不安
子どもの救急医療体制が不十分

3. 防犯 (15件)

主な意見
街灯が少なく暗い
盗難や空き巣がある
人通りの少ない道のパトロール、夜間の見回りが不十分

4. 交通安全 (32件)

主な意見
ドライバーのマナーが悪い、交通ルールを守らない人が多い
道路のメンテナンスが必要、路面標示が消えている、道路に木や草が伸びていて危険
河内長野駅周辺のメインストリートに歩道がない、歩道がない場所があり危険

5. 消費者行政 (12件)

主な意見
サービス制度が少ない、小さい
物価の上昇が家計を圧迫
買い物難民になっている現実がある

6. 地域の支え合い (7件)

主な意見
高齢者の思い(希望)と若い人との思い(希望)がマッチングしない
地域の支え合いが一部の住人だけになっている
自治会から脱退する世帯が増えつつある

7. 高齢者にとっての暮らしやすさ (47件)

主な意見
坂が多い、坂が多く不便
バスなどの公共交通が不便、不十分、交通手段がない
買い物不便、買い物難民になりそう

8. 障がい者にとっての暮らしやすさ (20件)

主な意見
車椅子が安全に使える道路の整備
障がい者に対する思いやりがない

9. 社会保障制度 (15件)

主な意見
高齢者に対する保障制度が不十分
年金生活者には生活しにくい

10. 健康づくりを進める環境 (7件)

主な意見
乳がん検診無料の市が増加しているのに、河内長野市は遅れている
がん検診が有料(他市は無料)。健診項目が少ない

11. 児童に対する福祉 (8件)

主な意見
大阪市や堺市はもっと手厚い。不妊治療なども含む補助金など
18歳まで医療費助成してほしい

12. 子育てのしやすさ (14件)

主な意見
子育て世代に対する医療費や諸経費の負担軽減や子どもの成長過程に合わせた支援の充実
子どもの居場所やのびのび遊べる場所がない
公立の保育園が少ない、公立の幼稚園がない

13. 小中学校の教育環境 (42件)

主な意見
教師の資質、指導力、教職員の意識の低さ
中学校の全員給食を実現してほしい
教育設備(クーラーやIC機器)の対応遅れ
教育レベルの向上、学力の底上げ

14. 青少年の健全な育成 (8件)

主な意見
中学生がコンビニにたまっている
SNSなどの問題が出ているので、そういった行動にも目を向けてほしい
若者の常識(モラル)がない人が多く、先が思いやられる

15. 各種講座や施設など生涯学習の環境（6件）

主な意見
語学学習や歴史の講義がない
講座の種類、日にちが少ない

16. 文化芸術活動などの環境（3件）

主な意見
画廊、ギャラリーが少ない
文化を守り、伝えるための教育（人材を含めて）活動者が安定的に活用できる拠点の不足

17. 歴史文化遺産の保存・活用（3件）

主な意見
取組が遅すぎ
たくさんある文化資産をうまく観光につなげることができればと思う

18. スポーツ施設や活動などの環境（20件）

主な意見
スポーツ施設が少ない
総合体育館の道具の劣化、器具の種類の少なさ、クーラーがない
子どもが気軽に体を動かせる場所や施設がない
総合体育館などの駐車場が有料、駐車場が狭い

19. 人権の尊重と平和意識の高揚（4件）

主な意見
人権尊重についての具体策が見えない

20. 男女共同参画の推進（2件）

主な意見
窓口の問題、人の集まり方

21. 国際交流や多文化共生社会の推進（6件）

主な意見
国際交流のイベントや取組が少ない、外国人住民との交流がない
外国人観光客の受け入れが少ない

22. 自然環境への配慮（13件）

主な意見
タバコの吸殻やごみのポイ捨て、歩きタバコ、ペットの糞未処理
樹木伐採のやりすぎ

23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み（8件）

主な意見
市民への啓発活動が不十分
資源物の回収日、回収場所が少ない

24. 騒音・悪臭などの少なさ（18件）

主な意見
深夜のバイクの音、バイクがうるさい
野焼きによる煙やにおい、住宅地での野焼き
外環の騒音

25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ（11件）

主な意見
公園や空き地、道路脇などに雑草が生い茂っている
景観の美しさは、観光とも結びつくのでトータルで考えなければならない
電線や美しさを無視した景観、川には大量のゴミが捨てられ、豊かな生態系が奪われている。景観保全に投資すべき

26. 市街地の整備（47件）

主な意見
歩道の整備不足、歩道が歩きにくい
道路が悪い、狭い
河内長野駅前の景観が悪い、河内長野駅周辺を整備すべき
空き家や空き地が多い、空き家が放置されている

27. 住環境（14件）

主な意見
ゴミの放置
築年数の古い住宅がたくさんあるので、市でしっかり管理・整備すれば安心

28. 公園や緑地などの環境（45件）

主な意見
公園の整備・管理ができていない（ゴミ、雑草が多い、木の手入れがされていない、砂場が糞だらけ、トイレが汚い）
公園や広場、緑地が少ない
公園の遊具が少ない、遊具が劣化している、設備が古い

29. 道路や橋などの交通網（87件）

主な意見
高速道路がない、高速道路へのアクセスが悪い
渋滞が多い、渋滞を解消してほしい
歩道が整備されていないところがある、歩道が狭い
道路の舗装が悪い、橋の傷みがひどい、橋の老朽化
道路が狭い

30. バスなどの公共交通サービス（142件）

主な意見
バスの本数が少ない、バスの便数減少
公共交通機関が少ない、交通の便が悪い、高齢者の交通手段の確保が必要
車がないと不便なのに公共交通機関の配慮がない、車がないと生活できない
バス停まで遠い、停留所が少ない
バスと電車の連携が悪い

31. 上下水道（28件）

主な意見
水道料金が、上下水道が高い
下水道がきていない、普及が遅い

33. 農林業の振興（8件）

主な意見
高い固定資産税、農業が続けられない
農林業を活性化するための政策が必要

35. 身近な場での働きやすさ（45件）

主な意見
働ける企業が少なく、仕事がない、近くに働ける場所がない、求人が少ない
子育てしながら、子育てが落ち着いて仕事をしなくても求人が少ない
市外に出た方が良い条件の仕事がある

37. 行政改革への取り組み（6件）

主な意見
何を実施しているか見えない

39. 市職員の窓口や電話等での対応（26件）

主な意見
対応が悪い、窓口対応で嫌な思いをした
窓口の対応が遅い

41. 市全体として（12件）

主な意見
人口減少、高齢化への対策が不十分
企業誘致が進まない

32. 商業地などの賑わい（156件）

主な意見
河内長野駅前、周辺の賑わいが、駅前が寂れている、駅前にお店がない
商店街に活気がない、閑散としている、シャッター商店街
商業施設がない、ショッピングモールがない
買い物が不便、買い物できる場所が少ない

34. 観光事業（26件）

主な意見
PR不足、魅力を十分に発信できていない
観光客が少ない、観光客を呼び込むための取組が必要

36. 市民同士の連携や市民と行政の協働（4件）

主な意見
市民の意識に問題があると思うが、その気にさせる施策が少ない
高齢化や住民同士の連帯感の欠如等が要因で、自治会から脱退する世帯が増えつつある

38. 適正で透明性の高い財政運営（11件）

主な意見
市民税が高い
信用できない
透明性がない

40. 都市ブランドの創出・都市魅力の発信（22件）

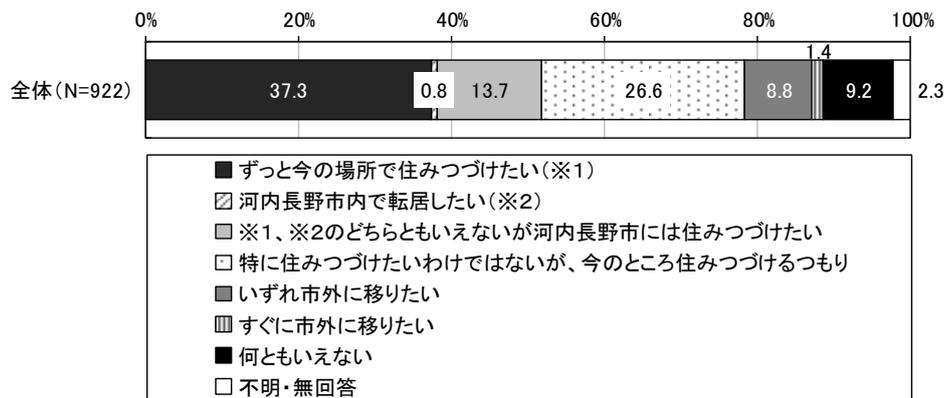
主な意見
魅力の発信が下手、アピール不足
都市ブランドや魅力については何も無い、すべてが普通

4. 河内長野市への定住意向について

問7 あなたは、これからも河内長野市に住みつづけたいと思いますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。(SA)

これからも河内長野市に住みつづけたいと思うかについてみると、「ずっと今の場所で住みつづけたい」が37.3%と最も高く、次いで「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住みつづけるつもり」が26.6%、「※1、※2のどちらともいえないが河内長野市には住みつづけたい」が13.7%となっています。

前回調査と比較すると、「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が低くなっています。



「河内長野市内で転居したい」と答えた方

転居したい地域	件数
南花台	1

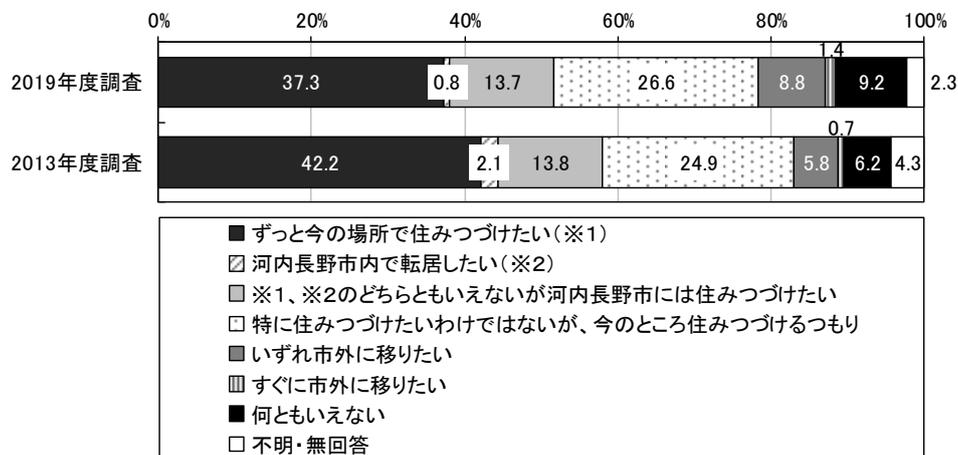
「いずれ市外に移りたい」と答えた方

移りたい都市・地域	件数
大阪市	14
堺市	14
北摂	3

「すぐに市外に移りたい」と答えた方

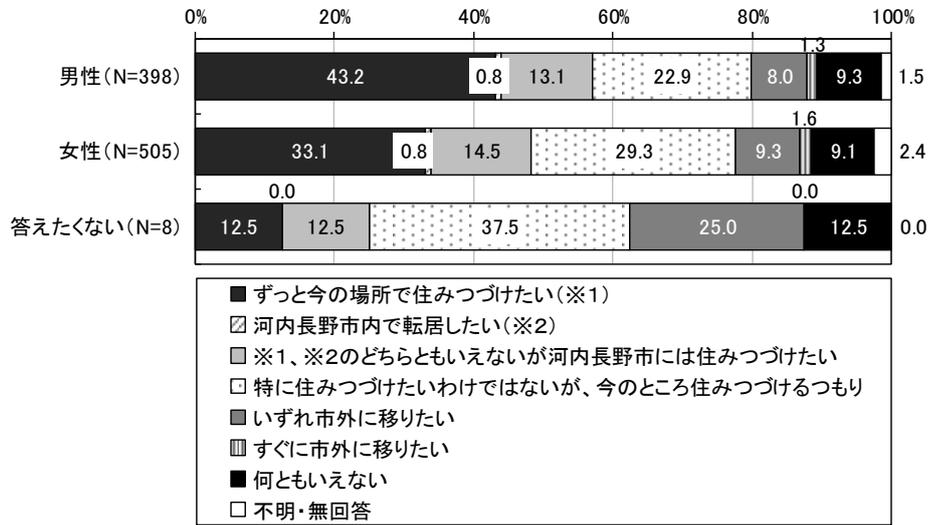
移りたい都市・地域	件数
大阪市	7
その他	5

◆前回調査との比較〔問7〕



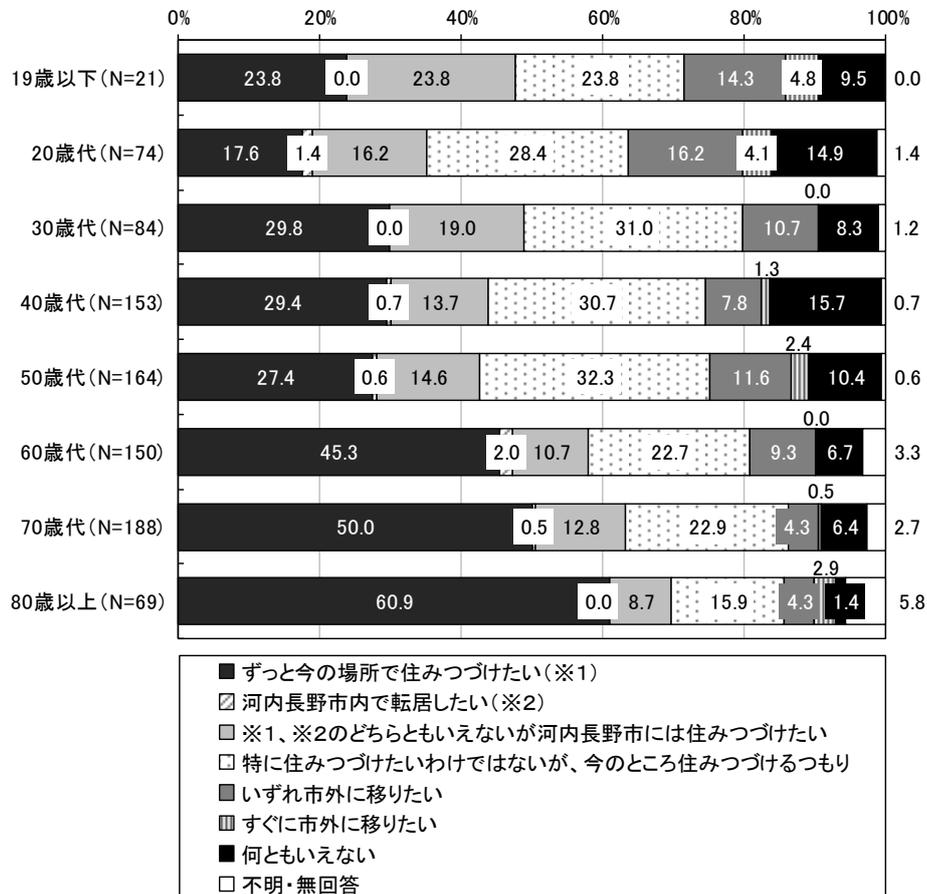
性別でみると、男女ともに「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が最も高く、その割合は女性より男性の方が高くなっています。

＜問7 性別クロス集計＞



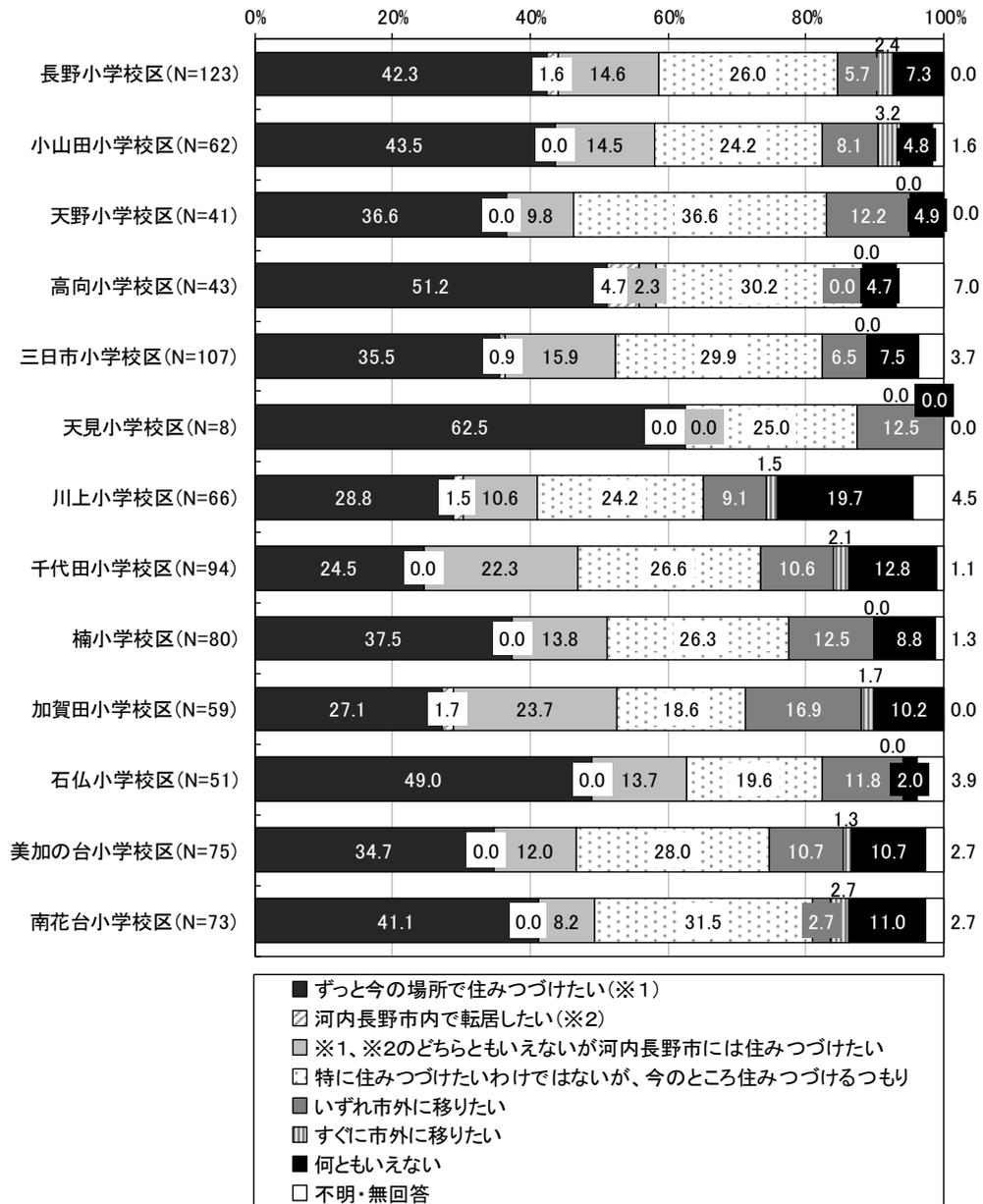
年代別でみると、20歳代から50歳代では「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住み続けるつもり」、60歳代以上では「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が最も高くなっています。

＜問7 年代別クロス集計＞



小学校区別でみると、『天野小学校区』では「ずっと今の場所で住みつづけたい」「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住み続けるつもり」、『千代田小学校区』では「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住み続けるつもり」、それ以外の小学校区では「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が最も高くなっています。

<問7 小学校区別クロス集計>

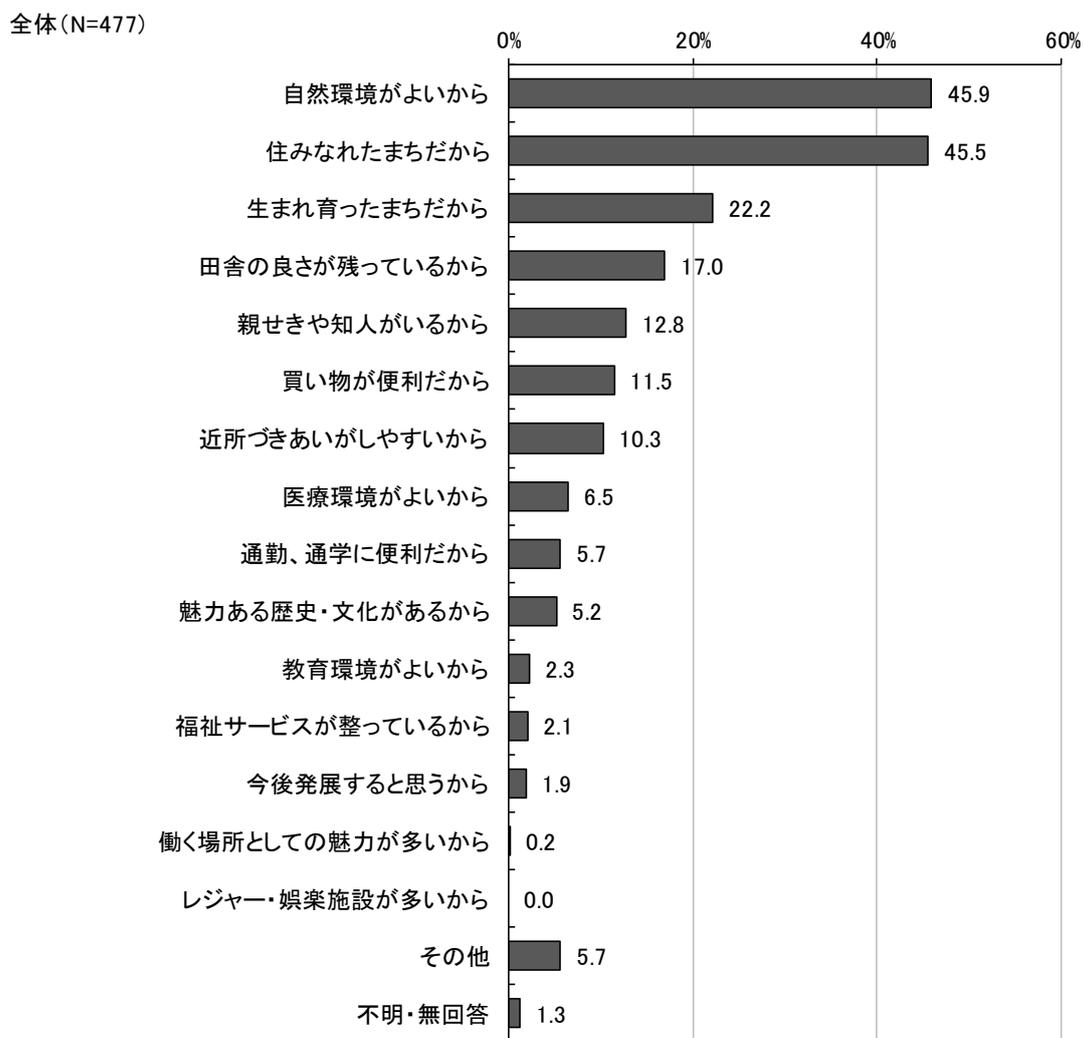


問7で「住みつづけた」と答えた方

問8 住みつづけた理由を2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

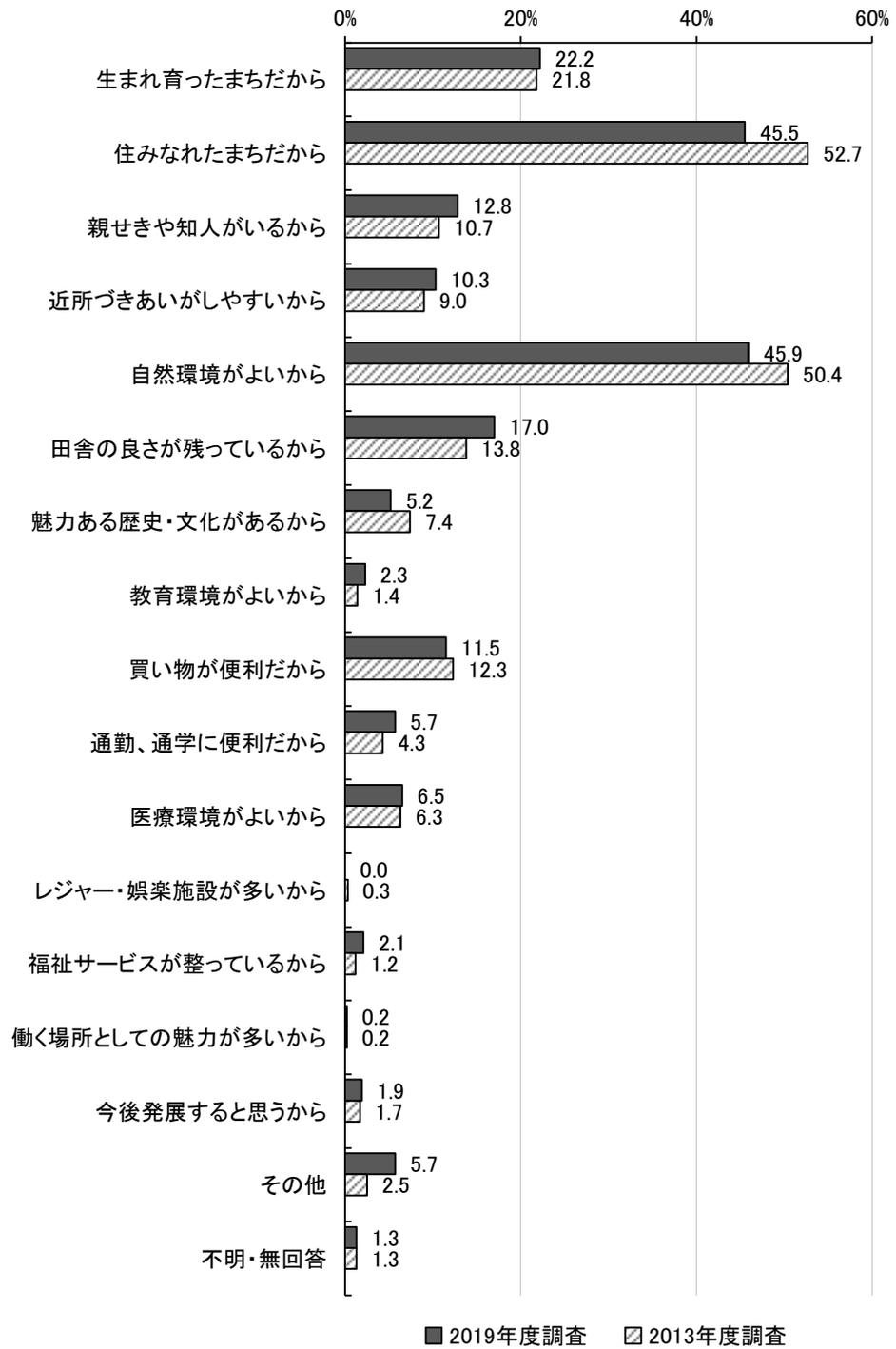
住みつづけた理由についてみると、「自然環境がよいから」が45.9%と最も高く、次いで「住みなれたまちだから」が45.5%、「生まれ育ったまちだから」が22.2%となっています。

前回調査と比較すると、「住みなれたまちだから」「自然環境がよいから」の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
家を建てた、持ち家がある	8
災害が少ない、災害に強い	3
年齢的に動けない、高齢になるので	3
他に移るには資金が必要	2
治安が良い	2
住環境が整っている	2

◆前回調査との比較〔問8〕



性別でみると、『男性』では「自然環境がよいから」、『女性』では「住みなれたまちだから」の割合が最も高くなっています。

＜問 8 性別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	生まれ育ったまちだから	住みなれたまちだから	親せきや知人がいるから	近所づきあいがしやすいから	自然環境がよいから	田舎の良さが残っているから	魅力ある歴史・文化があるから	教育環境がよいから
全 体	477 100.0	106 22.2	217 45.5	61 12.8	49 10.3	219 45.9	81 17.0	25 5.2	11 2.3
性別	男性	50 100.0	99 43.6	23 10.1	14 6.2	106 46.7	38 16.7	14 6.2	4 1.8
	女性	244 100.0	55 22.5	112 45.9	38 15.6	32 13.1	110 45.1	43 17.6	11 4.5
	答えたくない	2 100.0	1 50.0	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-
上段:件数 下段:%	買い物 が便利だから	通勤、通学 に便利だから	医療環境が よいから	レジャー・ 娯楽施設が 多いから	福祉サービ スが整って いるから	働く場所とし ての魅力が 多いから	今後 発展すると 思うから	その他	不明・ 無回答
全 体	55 11.5	27 5.7	31 6.5	-	10 2.1	1 0.2	9 1.9	27 5.7	6 1.3
性別	男性	24 10.6	17 7.5	19 8.4	-	3 1.3	1 0.4	6 2.6	14 6.2
	女性	31 12.7	10 4.1	12 4.9	-	6 2.5	-	3 1.2	13 5.3
	答えたくない	-	-	-	-	-	-	-	-

年代別でみると、『19歳以下』では「生まれ育ったまちだから」「住みなれたまちだから」、『20歳代』『40歳代』『50歳代』では「住みなれたまちだから」、『30歳代』、60歳代から80歳以上では「自然環境がよいから」の割合が最も高くなっています。

＜問8 年代別クロス集計＞

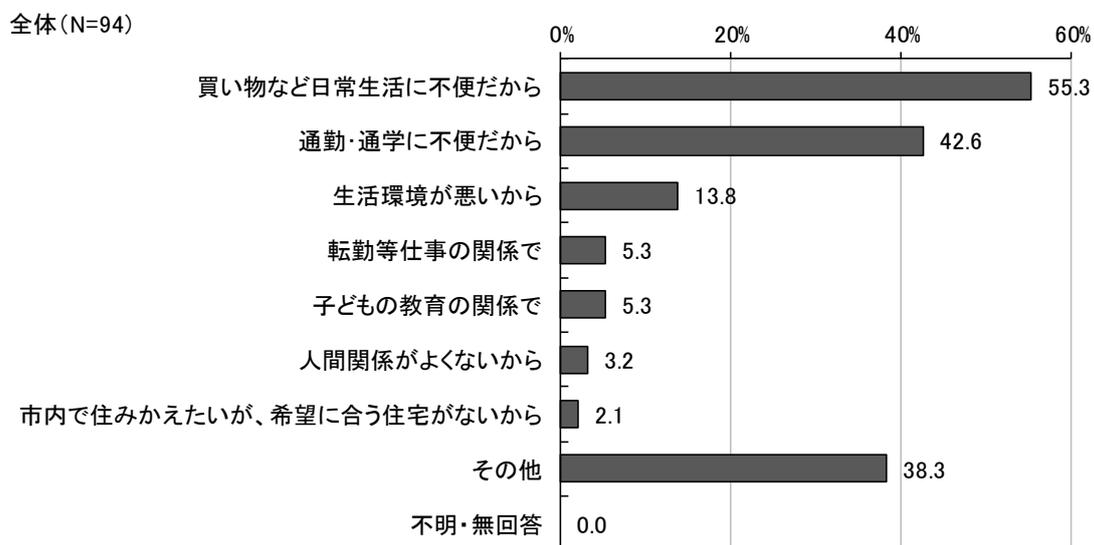
上段:件数 下段:%	合計	生まれ育ったまちだから	住みなれたまちだから	親せきや知人がいるから	近所づきあいがしやすいから	自然環境がよいから	田舎の良さが残っているから	魅力ある歴史・文化があるから	教育環境がよいから
全体	477 100.0	106 22.2	217 45.5	61 12.8	49 10.3	219 45.9	81 17.0	25 5.2	11 2.3
年代別	19歳以下	10 100.0	6 60.0	6 60.0	-	1 10.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0
	20歳代	26 100.0	12 46.2	15 57.7	2 7.7	-	8 30.8	4 15.4	2 7.7
	30歳代	41 100.0	14 34.1	11 26.8	11 26.8	6 14.6	19 46.3	8 19.5	-
	40歳代	67 100.0	20 29.9	32 47.8	11 16.4	1 1.5	28 41.8	13 19.4	2 3.0
	50歳代	70 100.0	17 24.3	32 45.7	11 15.7	3 4.3	31 44.3	13 18.6	3 4.3
	60歳代	87 100.0	15 17.2	39 44.8	5 5.7	5 5.7	41 47.1	20 23.0	3 3.4
	70歳代	119 100.0	16 13.4	52 43.7	15 12.6	19 16.0	59 49.6	15 12.6	7 5.9
	80歳以上	48 100.0	6 12.5	22 45.8	6 12.5	10 20.8	25 52.1	7 14.6	7 14.6
上段:件数 下段:%	買い物が便利だから	通勤、通学に便利だから	医療環境がよいから	レジャー・娯楽施設が多いから	福祉サービスが整っているから	働く場所としての魅力が多いから	今後発展すると思うから	その他	不明・無回答
全体	55 11.5	27 5.7	31 6.5	-	10 2.1	1 0.2	9 1.9	27 5.7	6 1.3
年代別	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	1 10.0
	20歳代	2 7.7	2 7.7	1 3.8	-	-	-	1 3.8	-
	30歳代	2 4.9	6 14.6	1 2.4	-	1 2.4	-	2 4.9	-
	40歳代	10 14.9	8 11.9	6 9.0	-	-	-	2 3.0	5 7.5
	50歳代	8 11.4	5 7.1	3 4.3	-	1 1.4	1 1.4	1 1.4	7 10.0
	60歳代	13 14.9	5 5.7	7 8.0	-	-	-	4 4.6	4 4.6
	70歳代	16 13.4	-	7 5.9	-	4 3.4	-	-	8 6.7
	80歳以上	3 6.3	1 2.1	6 12.5	-	2 4.2	-	-	-

問7で「いずれ市外に移りたい」「すぐに市外に移りたい」と答えた方

問9 市外に移りたい理由を2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

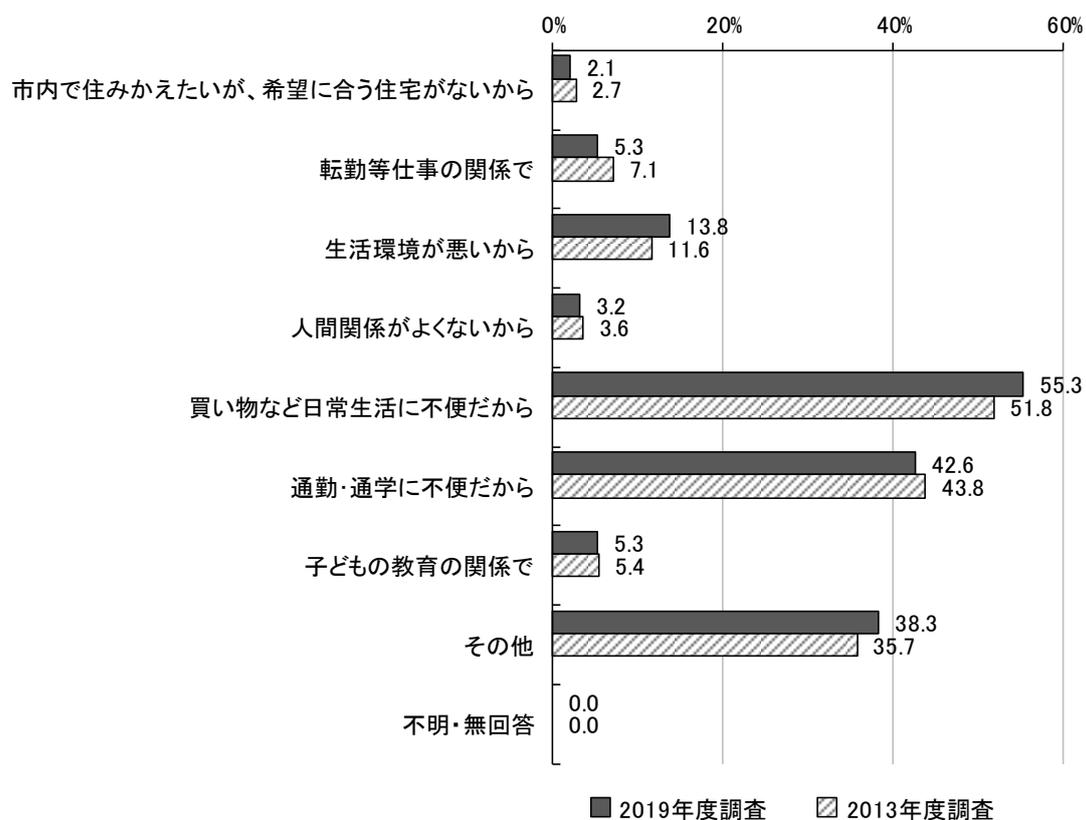
市外に移りたい理由についてみると、「買い物など日常生活に不便だから」が55.3%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」が42.6%、「生活環境が悪いから」が13.8%となっています。

前回調査と比較すると、「買い物など日常生活に不便だから」の割合が高くなっています。



主なその他回答	件数
交通の便が悪い、バスが少ない	5
医療の問題、医療関係が不安	3
子どもの近くに住みたい	3
坂が多い	2
交通費がかかる	2
市民税が高い	2
車の移動ができなくなれば不便、都会は車がなくても生活しやすい	2
市内で気に入る高齢者施設が見つからない	1
希望する仕事がある	1
結婚するときは市外に出たい	1
年老いてからは、自力で生活することが困難になりそう	1

◆前回調査との比較〔問9〕



性別でみると、男女ともに「買い物など日常生活に不便だから」の割合が最も高くなっています。

<問9 性別クロス集計>

上段:件数 下段:%	合計	市内で住みかえたいが、希望に合う住宅がないから	転勤等仕事 の関係で	生活環境が 悪いから	人間関係が よくないから	買い物など 日常生活に 不便だから	通勤・通学 に不便 だから	子どもの教育 の関係で	その他	不明・ 無回答
全 体	94 100.0	2 2.1	5 5.3	13 13.8	3 3.2	52 55.3	40 42.6	5 5.3	36 38.3	-
性別										
男性	37 100.0	1 2.7	4 10.8	6 16.2	1 2.7	17 45.9	13 35.1	3 8.1	14 37.8	-
女性	55 100.0	1 1.8	1 1.8	6 10.9	2 3.6	33 60.0	27 49.1	2 3.6	21 38.2	-
答えたくない	2 100.0	-	-	1 50.0	-	2 100.0	-	-	1 50.0	-

年代別でみると、20歳代以下では「通勤・通学に不便だから」、30歳代から50歳代、『80歳以上』では「買い物など日常生活に不便だから」の割合が最も高くなっています。

＜問9 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	市内で住みかえたいが、希望に合う住宅がないから	転勤等仕事の関係で	生活環境が悪いから	人間関係がよくないから	買い物など日常生活に不便だから	通勤・通学に不便だから	子どもの教育の関係で	その他	不明・無回答
全体	94 100.0	2 2.1	5 5.3	13 13.8	3 3.2	52 55.3	40 42.6	5 5.3	36 38.3	-
年代別	19歳以下	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-	-	-
	20歳代	15 100.0	-	2 13.3	1 6.7	-	6 40.0	11 73.3	1 6.7	5 33.3
	30歳代	9 100.0	-	-	3 33.3	1 11.1	4 44.4	2 22.2	2 22.2	3 33.3
	40歳代	14 100.0	-	-	-	-	11 78.6	7 50.0	1 7.1	6 42.9
	50歳代	23 100.0	1 4.3	2 8.7	2 8.7	-	15 65.2	14 60.9	1 4.3	6 26.1
	60歳代	14 100.0	1 7.1	-	2 14.3	1 7.1	8 57.1	3 21.4	-	9 64.3
	70歳代	9 100.0	-	-	3 33.3	-	4 44.4	1 11.1	-	5 55.6
	80歳以上	5 100.0	-	-	1 20.0	-	3 60.0	-	-	1 20.0

小学校区別でみると、『千代田小学校区』『加賀田小学校区』『石仏小学校区』『美加の台小学校区』『南花台小学校区』では「買い物など日常生活に不便だから」の割合が最も高くなっています。

＜問9 小学校区別クロス集計＞

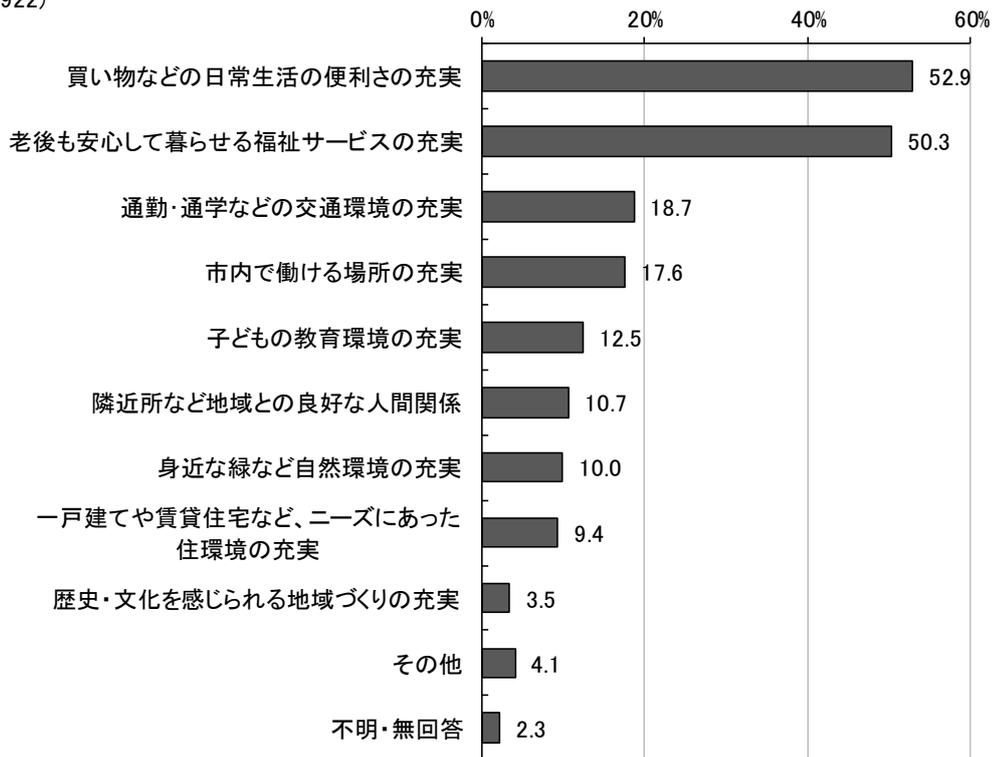
上段:件数 下段:%	合計	市内で住みかえたいが、希望に合う住宅がないから	転勤等仕事の関係で	生活環境が悪いから	人間関係がよくないから	買い物など日常生活に不便だから	通勤・通学に不便だから	子どもの教育の関係で	その他	不明・無回答
全体	94 100.0	2 2.1	5 5.3	13 13.8	3 3.2	52 55.3	40 42.6	5 5.3	36 38.3	-
小学校区別	長野小学校区	10 100.0	-	-	1 10.0	-	4 40.0	3 30.0	2 20.0	5 50.0
	小山田小学校区	7 100.0	-	-	1 14.3	1 14.3	4 57.1	3 42.9	-	4 57.1
	天野小学校区	5 100.0	-	1 20.0	-	-	3 60.0	3 60.0	-	1 20.0
	高向小学校区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三日市小学校区	7 100.0	-	1 14.3	2 28.6	-	2 28.6	4 57.1	-	2 28.6
	天見小学校区	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	川上小学校区	7 100.0	-	-	3 42.9	-	2 28.6	3 42.9	-	3 42.9
	千代田小学校区	12 100.0	-	1 8.3	1 8.3	-	6 50.0	4 33.3	1 8.3	5 41.7
	楠小学校区	10 100.0	-	1 10.0	1 10.0	-	5 50.0	4 40.0	1 10.0	5 50.0
	加賀田小学校区	11 100.0	1 9.1	-	-	1 9.1	9 81.8	4 36.4	-	3 27.3
	石仏小学校区	6 100.0	-	-	1 16.7	-	6 100.0	4 66.7	-	1 16.7
	美加の台小学校区	9 100.0	-	-	2 22.2	-	8 88.9	4 44.4	1 11.1	2 22.2
	南花台小学校区	4 100.0	-	-	1 25.0	-	3 75.0	2 50.0	-	2 50.0

**問 10 これからも河内長野市に住みつづけるためには、どんなことが必要だと思いますか？
2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)**

河内長野市に住みつづけるために必要だと思うことについてみると、「買い物などの日常生活の便利さの充実」が 52.9%と最も高く、次いで「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」が 50.3%、「通勤・通学などの交通環境の充実」が 18.7%となっています。

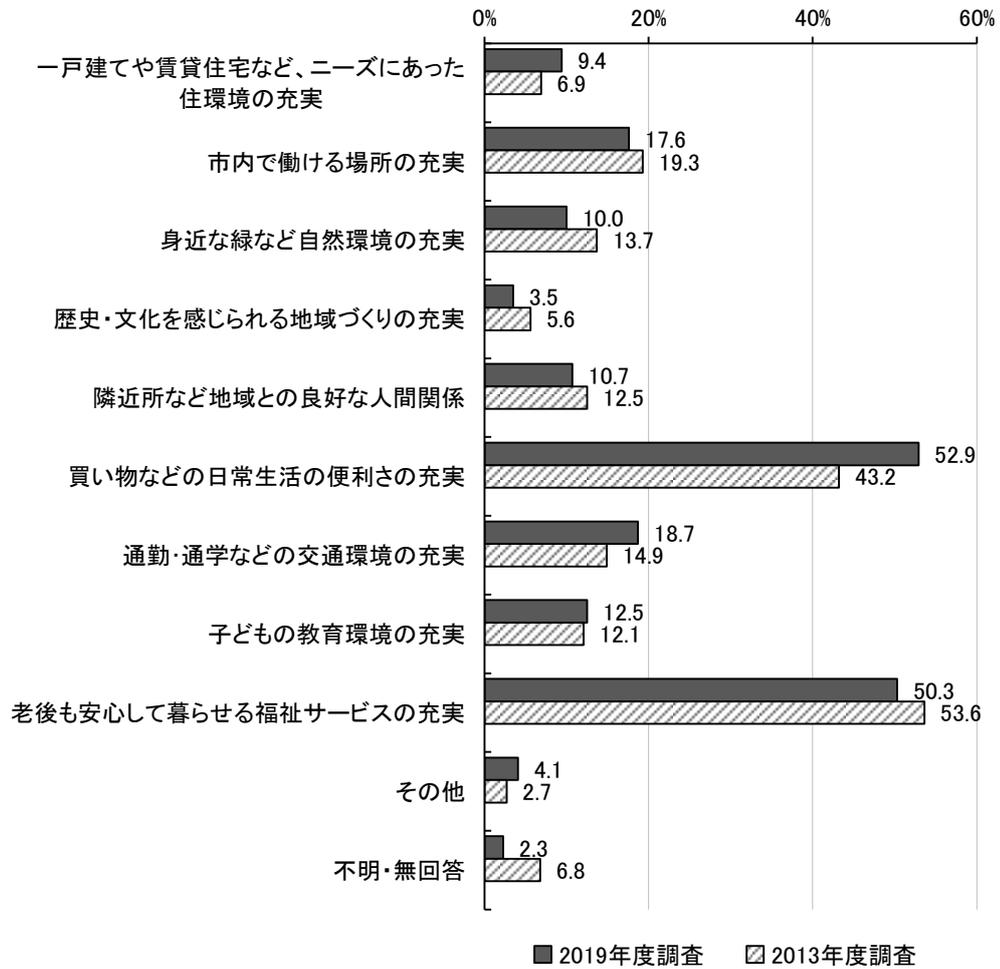
前回調査と比較すると、「買い物などの日常生活の便利さの充実」の割合が高くなっています。

全体(N=922)



主なその他回答	件数
地域医療の充実、病院の充実	4
高速道路の整備	3
ショッピングモール、商業施設の充実	3
公共交通の充実、モックルバスのきめ細やかな対応	3
若い世代の定住促進のための魅力づくり、若い世帯を増やす	2
災害時などの住民の生活等、災害対策の充実	1
企業・商業施設等誘致し、人口増・税収増を促進する	1

◆前回調査との比較〔問10〕



年代別でみると、20歳代以下、『30歳代』『50歳代』『60歳代』では「買い物などの日常生活の便利さの充実」、『40歳代』では「買い物などの日常生活の便利さの充実」「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」、70歳代以上では「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」の割合が最も高くなっています。

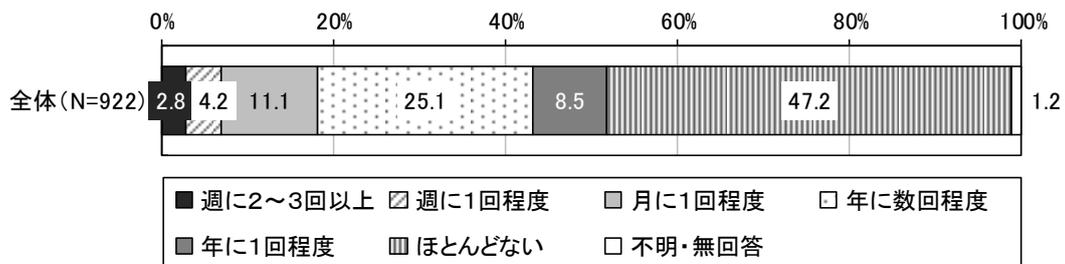
＜問 10 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	一戸建てや 賃貸住宅 など、ニーズ にあった住 環境の充実	市内で 働ける場所 の充実	身近な緑な ど自然環境 の充実	歴史・文化 を感じられる 地域づくりの 充実	隣近所など 地域との 良好な人間 関係	
全 体	922 100.0	87 9.4	162 17.6	92 10.0	32 3.5	99 10.7	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	3 14.3	7 33.3	2 9.5	1 4.8	1 4.8
	20歳代	74 100.0	10 13.5	21 28.4	5 6.8	1 1.4	2 2.7
	30歳代	84 100.0	18 21.4	23 27.4	8 9.5	1 1.2	5 6.0
	40歳代	153 100.0	20 13.1	31 20.3	11 7.2	1 0.7	11 7.2
	50歳代	164 100.0	16 9.8	34 20.7	14 8.5	5 3.0	12 7.3
	60歳代	150 100.0	9 6.0	19 12.7	10 6.7	9 6.0	19 12.7
	70歳代	188 100.0	5 2.7	18 9.6	26 13.8	8 4.3	32 17.0
	80歳以上	69 100.0	4 5.8	6 8.7	15 21.7	5 7.2	13 18.8
上段:件数 下段:%	買い物など の日常生活 の便利さの 充実	通勤・通学 などの交通 環境の充実	子どもの 教育環境の 充実	老後も安心 して暮らせ る福祉サー ビスの充実	その他	不明・ 無回答	
全 体	488 52.9	172 18.7	115 12.5	464 50.3	38 4.1	21 2.3	
年 代 別	19歳以下	12 57.1	11 52.4	3 14.3	1 4.8	-	-
	20歳代	36 48.6	26 35.1	16 21.6	14 18.9	3 4.1	1 1.4
	30歳代	38 45.2	22 26.2	34 40.5	15 17.9	3 3.6	3 3.6
	40歳代	72 47.1	42 27.5	31 20.3	72 47.1	7 4.6	1 0.7
	50歳代	94 57.3	36 22.0	7 4.3	85 51.8	8 4.9	3 1.8
	60歳代	95 63.3	16 10.7	12 8.0	93 62.0	3 2.0	3 2.0
	70歳代	100 53.2	16 8.5	10 5.3	128 68.1	11 5.9	4 2.1
	80歳以上	29 42.0	2 2.9	2 2.9	49 71.0	2 2.9	3 4.3

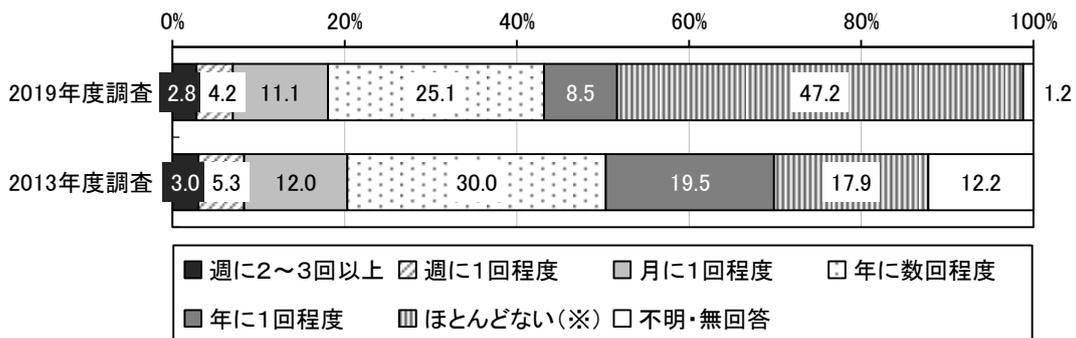
5. 地域活動への参加について

問 11 あなたはこの1年で、市内の「地域やまちづくり活動」にどの程度参加されましたか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。(SA)

この1年の市内の「地域やまちづくり活動」への参加頻度についてみると、「ほとんどない」が47.2%と最も高く、次いで「年に数回程度」が25.1%「月に1回程度」が11.1%となっています。



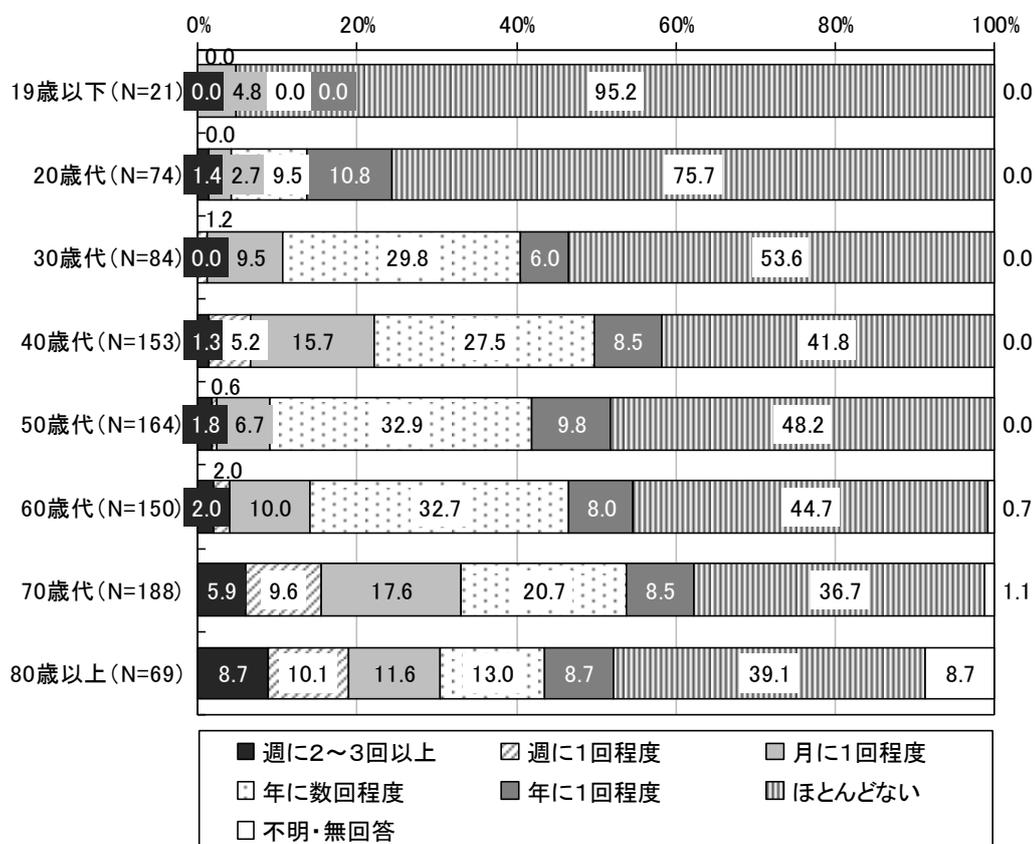
◆前回調査との比較〔問11〕



※2013年度調査の選択肢…「その他」

年代別でみると、すべての年代で「ほとんどない」の割合が最も高くなっています。次いで、30歳代以上では「年に数回程度」の割合が高くなっています。

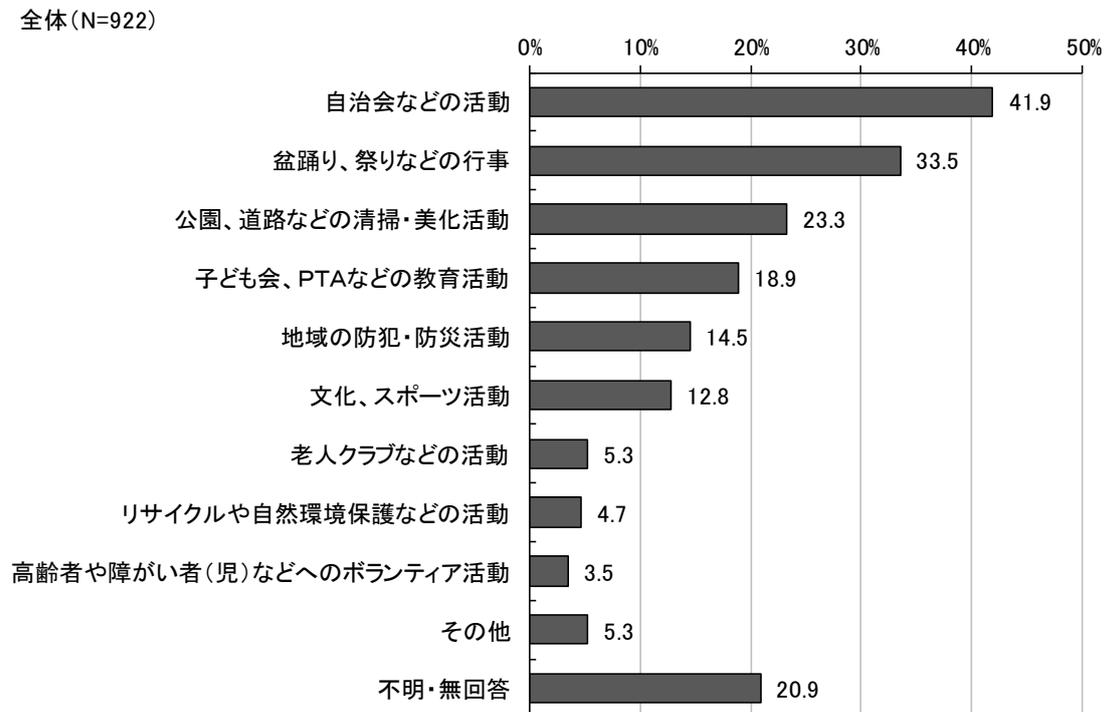
＜問 11 年代別クロス集計＞



問 12 あなたが参加したことがある活動はどんなものですか。あてはまる番号すべて選んで○をつけてください。(MA)

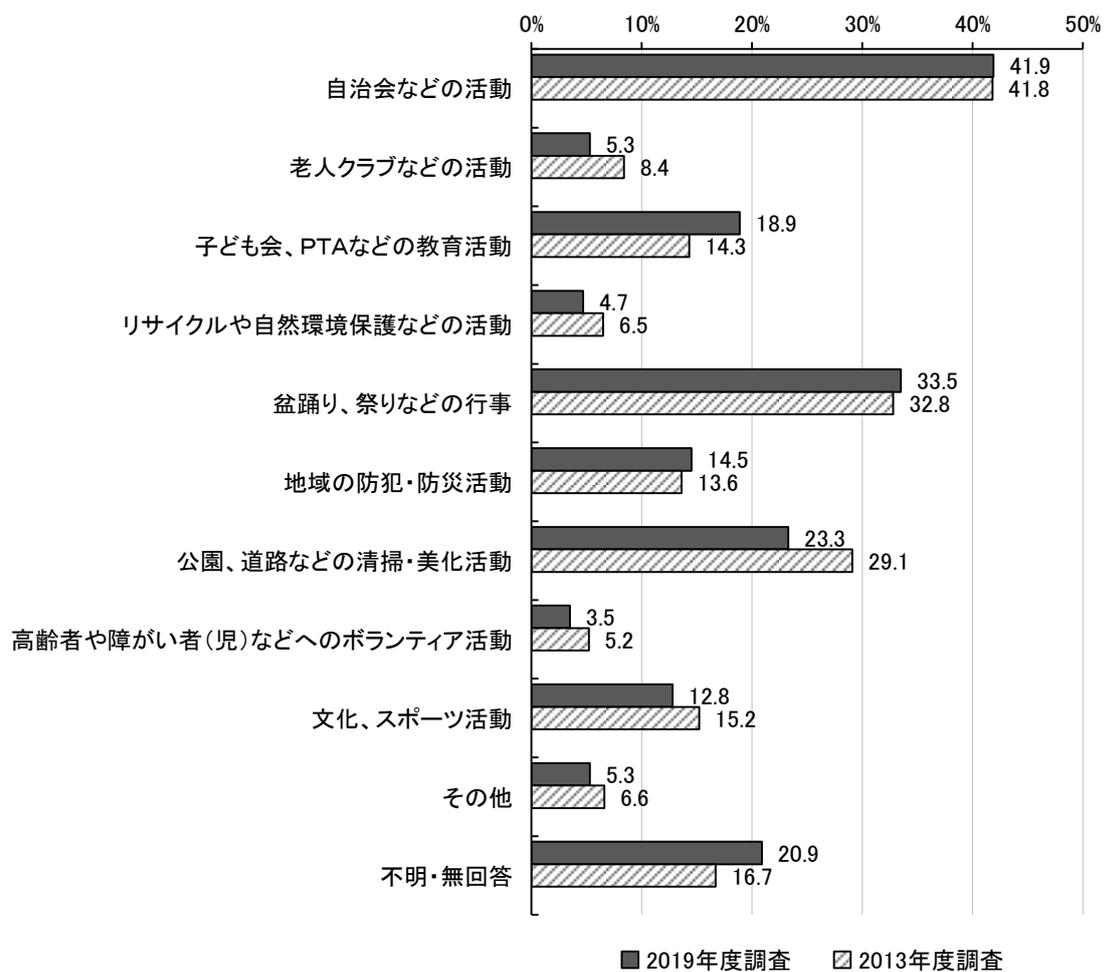
参加したことがある活動についてみると、「自治会などの活動」が41.9%と最も高く、次いで「盆踊り、祭りなどの行事」が33.5%、「公園、道路などの清掃・美化活動」が23.3%となっています。

前回調査と比較すると、「子ども会、PTAなどの教育活動」の割合が高く、「公園、道路などの清掃・美化活動」の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
参加したことがない	17
福祉委員	2
まちづくり協議会	2
買い物バスサポーター	1
子ども見守り隊	1
福祉ティーサロン	1
放課後子ども会へのボランティア	1

◆前回調査との比較〔問 12〕



年代別でみると、30歳代以下では「盆踊り、祭りなどの行事」、『40歳代』では「子ども会、PTAなどの教育活動」、50歳代以上では「自治会などの活動」の割合が最も高くなっています。

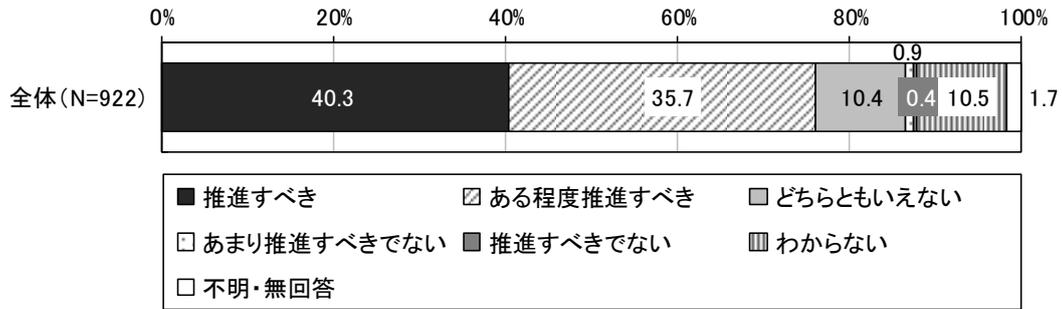
＜問 12 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	自治会などの活動	老人クラブなどの活動	子ども会、PTAなどの教育活動	リサイクルや自然環境保護などの活動	盆踊り、祭りなどの行事	
全 体	922 100.0	386 41.9	49 5.3	174 18.9	43 4.7	309 33.5	
年代別	19歳以下	21 100.0	3 14.3	- -	5 23.8	- -	11 52.4
	20歳代	74 100.0	5 6.8	- -	9 12.2	3 4.1	35 47.3
	30歳代	84 100.0	22 26.2	- -	27 32.1	3 3.6	42 50.0
	40歳代	153 100.0	54 35.3	1 0.7	64 41.8	4 2.6	45 29.4
	50歳代	164 100.0	82 50.0	2 1.2	35 21.3	6 3.7	45 27.4
	60歳代	150 100.0	84 56.0	5 3.3	21 14.0	11 7.3	49 32.7
	70歳代	188 100.0	100 53.2	23 12.2	13 6.9	11 5.9	62 33.0
	80歳以上	69 100.0	29 42.0	16 23.2	- -	5 7.2	15 21.7
上段:件数 下段:%	地域の防犯・防災活動	公園、道路などの清掃・美化活動	高齢者や障がい者(児)などへのボランティア活動	文化、スポーツ活動	その他	不明・無回答	
全 体	134 14.5	215 23.3	32 3.5	118 12.8	49 5.3	193 20.9	
年代別	19歳以下	2 9.5	2 9.5	- -	4 19.0	- -	7 33.3
	20歳代	3 4.1	10 13.5	- -	12 16.2	6 8.1	19 25.7
	30歳代	7 8.3	12 14.3	- -	8 9.5	2 2.4	22 26.2
	40歳代	16 10.5	26 17.0	5 3.3	23 15.0	5 3.3	25 16.3
	50歳代	29 17.7	41 25.0	6 3.7	23 14.0	8 4.9	33 20.1
	60歳代	25 16.7	48 32.0	7 4.7	19 12.7	8 5.3	30 20.0
	70歳代	35 18.6	49 26.1	12 6.4	18 9.6	17 9.0	27 14.4
	80歳以上	15 21.7	22 31.9	1 1.4	10 14.5	3 4.3	21 30.4

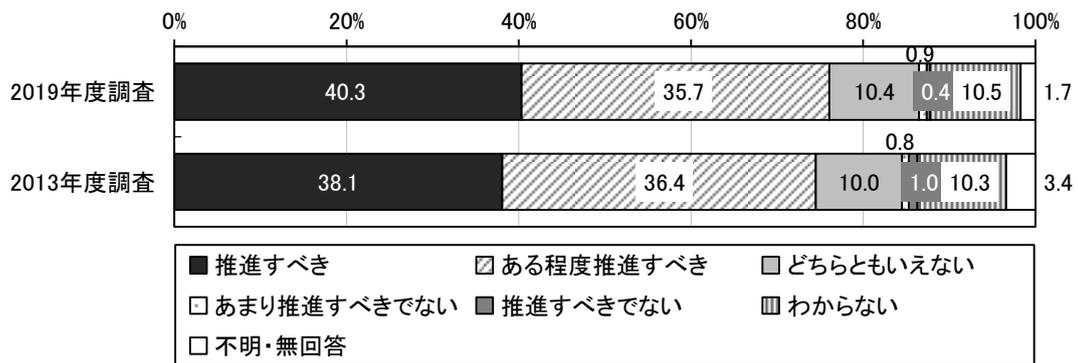
問 13 市では、協働によるまちづくり（市民の皆さんと市がともに役割を担いながらまちづくりを進めていくこと）を目指しています。あなたは、このことについてどう考えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（SA）

協働によるまちづくりについてどう考えるかについてみると、「推進すべき」が40.3%と最も高く、次いで「ある程度推進すべき」が35.7%、「わからない」が10.5%となっています。

前回調査との比較では、大きな変化はみられませんでした。

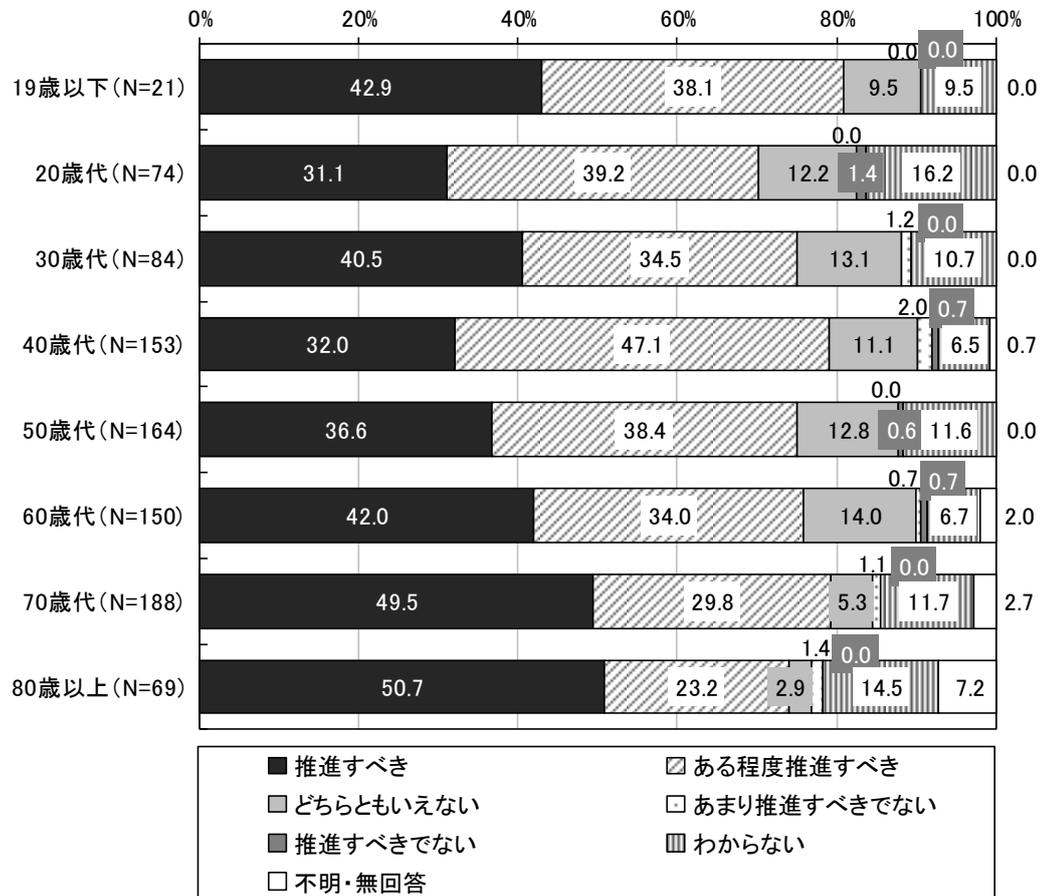


◆前回調査との比較〔問 13〕



年代別で見ると、すべての年代で「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計が7割を超えています。

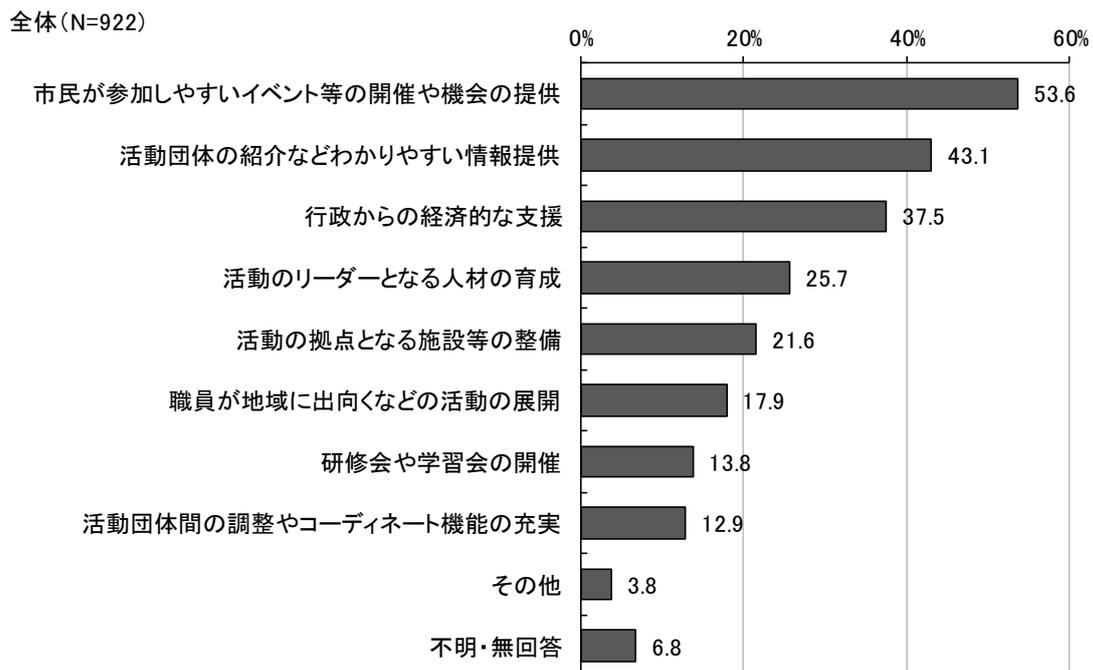
＜問 13 年代別クロス集計＞



問 14 協働を進めるために必要なことは何ですか。あてはまる番号すべて選んで○をつけてください。(MA)

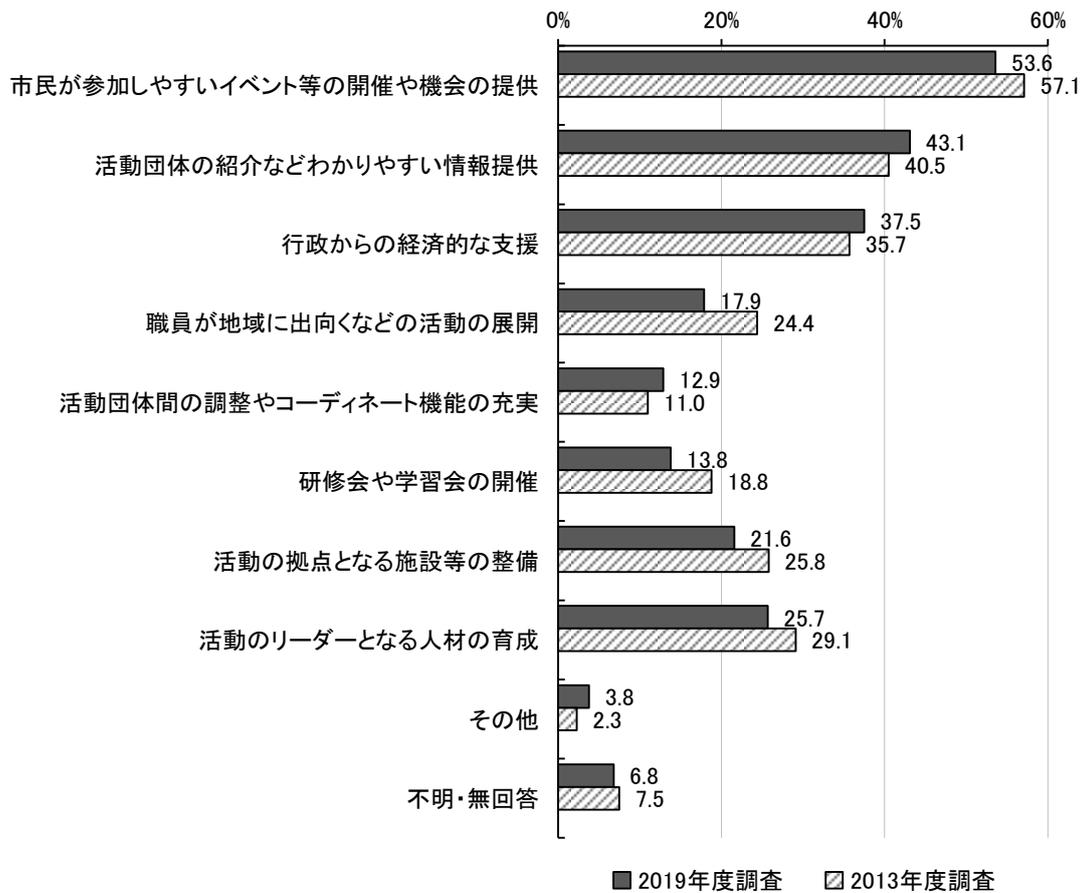
協働を進めるために必要なことについてみると、「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」が 53.6%と最も高く、次いで「活動団体の紹介などわかりやすい情報提供」が 43.1%、「行政からの経済的な支援」が 37.5%となっています。

前回調査と比較すると、「職員が地域に出向くなどの活動の展開」「研修会や学習会の開催」等の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
高齢者も参加しやすい交通手段、交通の便の改善	2
行政からの積極的な広報	1
地域でスキルを持っている人の活用	1
市民の声や提案を積極的に取り入れる行政の意識	1

◆前回調査との比較〔問14〕



年代別でみると、すべての年代で「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」の割合が最も高くなっています。

＜問 14 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	市民が参加 しやすいイ ベント等の 開催や機会 の提供	活動団体の 紹介などわ かりやすい 情報提供	行政からの 経済的な 支援	職員が地域 に外向く などの活動 の展開	活動団体間 の調整や コーディネ ート機能の 充実	
全 体	922 100.0	494 53.6	397 43.1	346 37.5	165 17.9	119 12.9	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	16 76.2	9 42.9	10 47.6	1 4.8	- -
	20歳代	74 100.0	45 60.8	31 41.9	20 27.0	10 13.5	4 5.4
	30歳代	84 100.0	52 61.9	36 42.9	39 46.4	16 19.0	9 10.7
	40歳代	153 100.0	83 54.2	61 39.9	57 37.3	23 15.0	26 17.0
	50歳代	164 100.0	92 56.1	79 48.2	62 37.8	28 17.1	32 19.5
	60歳代	150 100.0	72 48.0	71 47.3	58 38.7	30 20.0	23 15.3
	70歳代	188 100.0	91 48.4	86 45.7	73 38.8	43 22.9	18 9.6
	80歳以上	69 100.0	32 46.4	18 26.1	19 27.5	13 18.8	4 5.8
上段:件数 下段:%	研修会や 学習会の 開催	活動の拠点 となる施設 等の整備	活動のリー ダーとなる 人材の育成	その他	不明・ 無回答		
全 体	127 13.8	199 21.6	237 25.7	35 3.8	63 6.8		
年 代 別	19歳以下	1 4.8	2 9.5	5 23.8	- -	1 4.8	
	20歳代	6 8.1	9 12.2	11 14.9	4 5.4	4 5.4	
	30歳代	7 8.3	12 14.3	19 22.6	2 2.4	1 1.2	
	40歳代	21 13.7	40 26.1	42 27.5	9 5.9	6 3.9	
	50歳代	21 12.8	35 21.3	43 26.2	7 4.3	8 4.9	
	60歳代	18 12.0	34 22.7	37 24.7	3 2.0	12 8.0	
	70歳代	39 20.7	50 26.6	61 32.4	9 4.8	8 4.3	
	80歳以上	11 15.9	14 20.3	16 23.2	1 1.4	20 29.0	

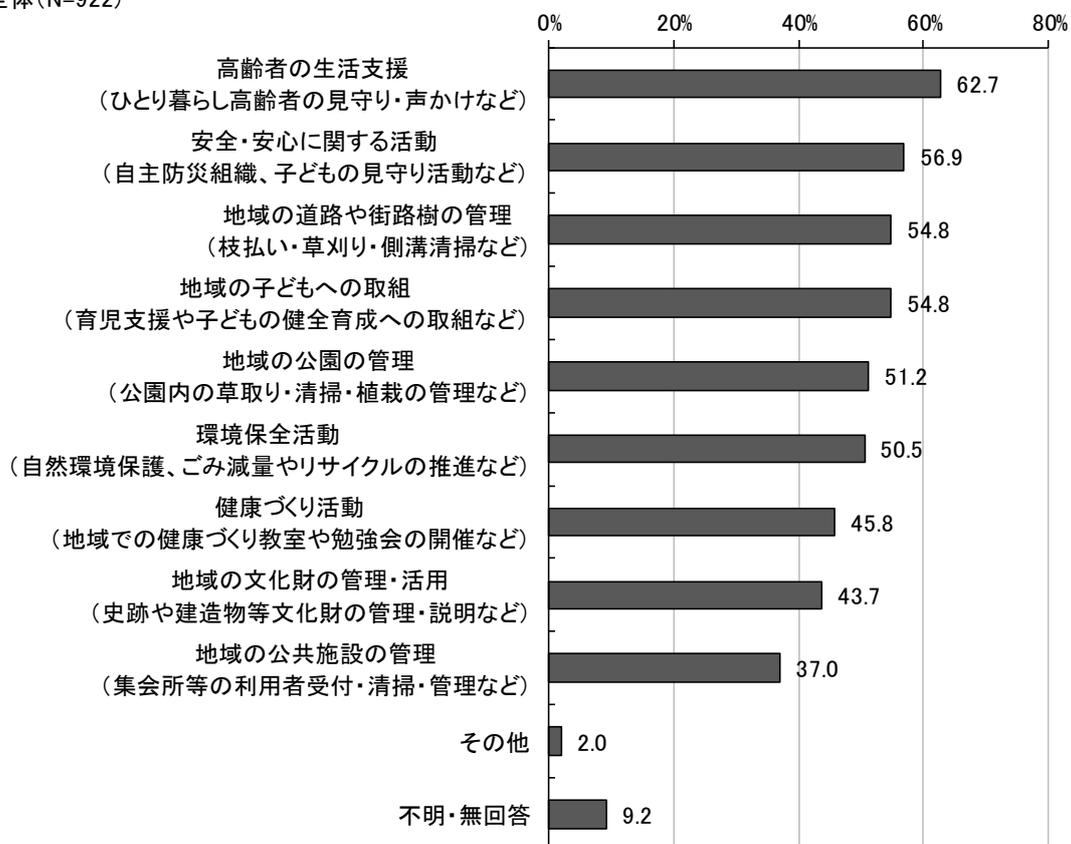
**問 15 次のうち「市民と行政が協働で取り組んだ方がよいもの」、「あなたが取り組めると思
うもの」について、それぞれあてはまる項目の空欄すべてに○をつけてください。(MA)**

協働で取り組んだ方がよいものについてみると、「高齢者の生活支援（ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど）」が62.7%と最も高く、次いで「安全・安心に関する活動（自主防災組織、子どもの見守り活動など）」が56.9%、「地域の道路や街路樹の管理（枝払い・草刈り・側溝清掃など）」、「地域の子どもへの取組（育児支援や子どもの健全育成への取組など）」が54.8%となっています。

前回調査と比較すると、「地域の公共施設の管理（集会所等の利用者受付・清掃・管理など）」「健康づくり活動（地域での健康づくり教室や勉強会の開催など）」等の割合が低くなっています。

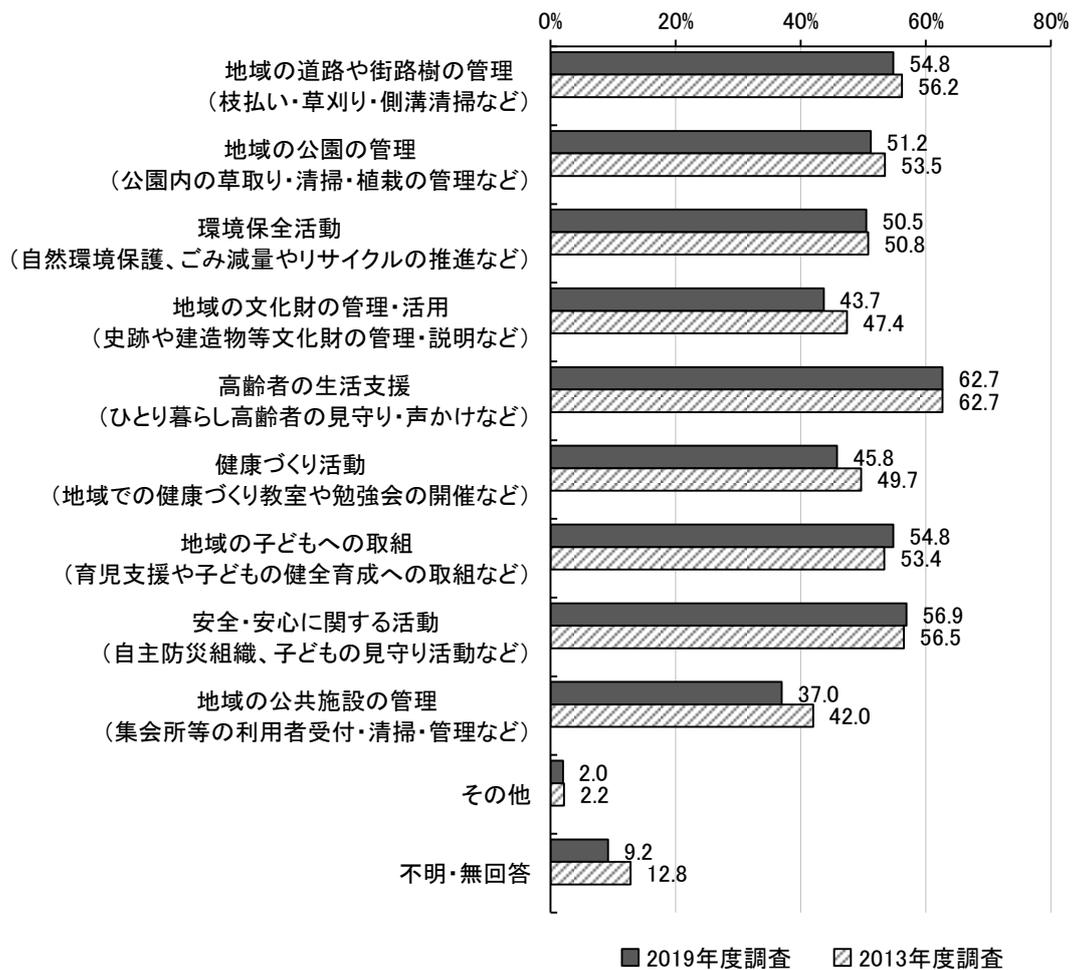
【市民と行政が協働で取り組んだ方がよいもの】

全体(N=922)



主なその他回答	件数
空き家の草刈り、樹木の整備	1
移動支援、食事のできる居場所づくり	1
国際交流活動のボランティア、通訳など	1

◆前回調査との比較〔問 15 市民と行政が協働で取り組んだ方がよいもの〕



年代別でみると、『19歳以下』では「環境保全活動」、『20歳代』では「地域の子どもへの取組」、『30歳代』では「地域の公園の管理」、『40歳代』『60歳代』『70歳代』では「高齢者の生活支援」、『50歳代』では「地域の道路や街路樹の管理」「高齢者の生活支援」、『80歳以上』では「健康づくり活動」の割合が最も高くなっています。

＜問 15 市民と行政が協働で取り組んだ方がよいもの 年代別クロス集計＞

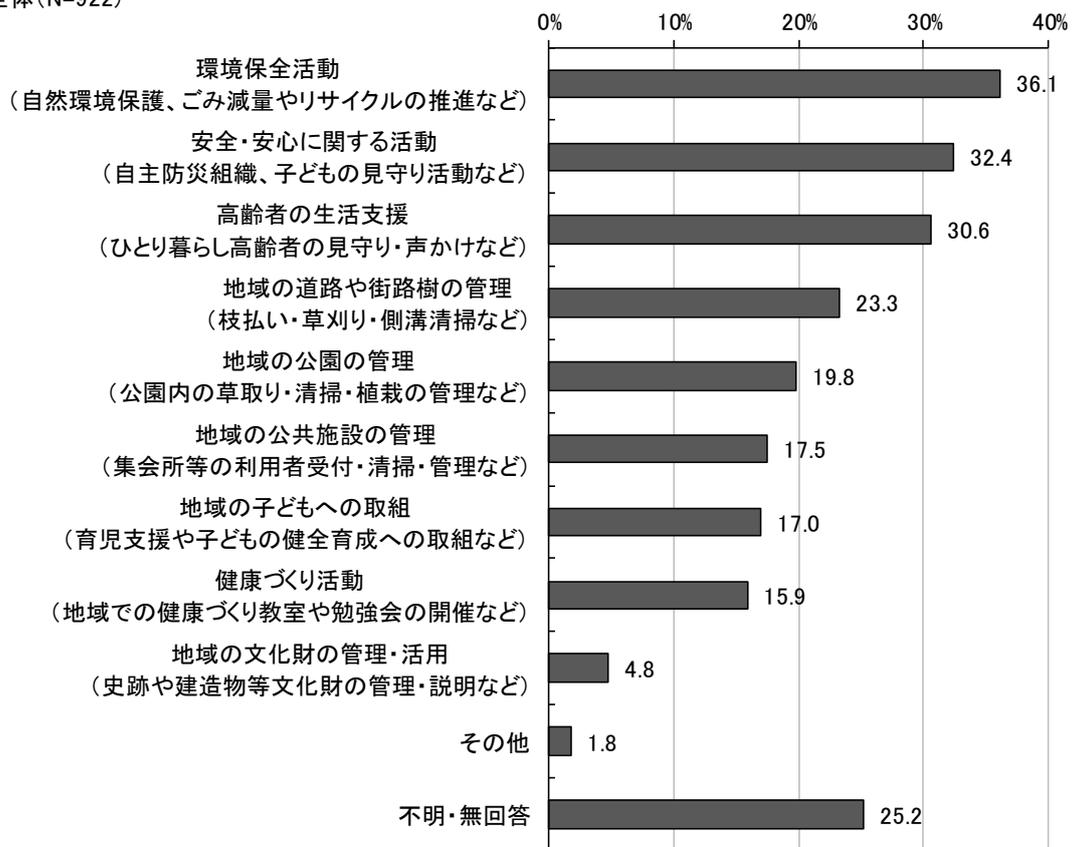
上段:件数 下段:%	合計	地域の道路 や街路樹の 管理	地域の公園 の管理	環境保全 活動	地域の文化 財の管理・ 活用	高齢者の 生活支援	
全 体	922 100.0	505 54.8	472 51.2	466 50.5	403 43.7	578 62.7	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	10 47.6	13 61.9	16 76.2	13 61.9	15 71.4
	20歳代	74 100.0	42 56.8	45 60.8	42 56.8	36 48.6	49 66.2
	30歳代	84 100.0	55 65.5	58 69.0	46 54.8	42 50.0	49 58.3
	40歳代	153 100.0	87 56.9	85 55.6	79 51.6	76 49.7	104 68.0
	50歳代	164 100.0	103 62.8	85 51.8	94 57.3	70 42.7	103 62.8
	60歳代	150 100.0	80 53.3	74 49.3	68 45.3	64 42.7	97 64.7
	70歳代	188 100.0	94 50.0	84 44.7	85 45.2	74 39.4	119 63.3
	80歳以上	69 100.0	25 36.2	21 30.4	24 34.8	22 31.9	29 42.0
上段:件数 下段:%	健康づくり 活動	地域の子ど もへの取組	安全・安心 に関する 活動	地域の公共 施設の管理	その他	不明・ 無回答	
全 体	422 45.8	505 54.8	525 56.9	341 37.0	18 2.0	85 9.2	
年 代 別	19歳以下	11 52.4	14 66.7	15 71.4	14 66.7	-	1 4.8
	20歳代	32 43.2	50 67.6	49 66.2	26 35.1	1 1.4	10 13.5
	30歳代	42 50.0	57 67.9	55 65.5	34 40.5	1 1.2	4 4.8
	40歳代	74 48.4	95 62.1	103 67.3	65 42.5	1 0.7	6 3.9
	50歳代	70 42.7	89 54.3	100 61.0	68 41.5	5 3.0	12 7.3
	60歳代	67 44.7	82 54.7	86 57.3	56 37.3	2 1.3	16 10.7
	70歳代	87 46.3	87 46.3	85 45.2	54 28.7	6 3.2	14 7.4
	80歳以上	31 44.9	23 33.3	23 33.3	18 26.1	2 2.9	19 27.5

あなたが取り組めると思うものについてみると、「環境保全活動（自然環境保護、ごみ減量やリサイクルの推進など）」が36.1%と最も高く、次いで「安全・安心に関する活動（自主防災組織、子どもの見守り活動など）」が32.4%、「高齢者の生活支援（ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど）」が30.6%となっています。

前回調査と比較すると、「地域の公園の管理（公園内の草取り・清掃・植栽の管理など）」「地域の公共施設の管理（集会所等の利用者受付・清掃・管理など）」の割合が低くなっています。

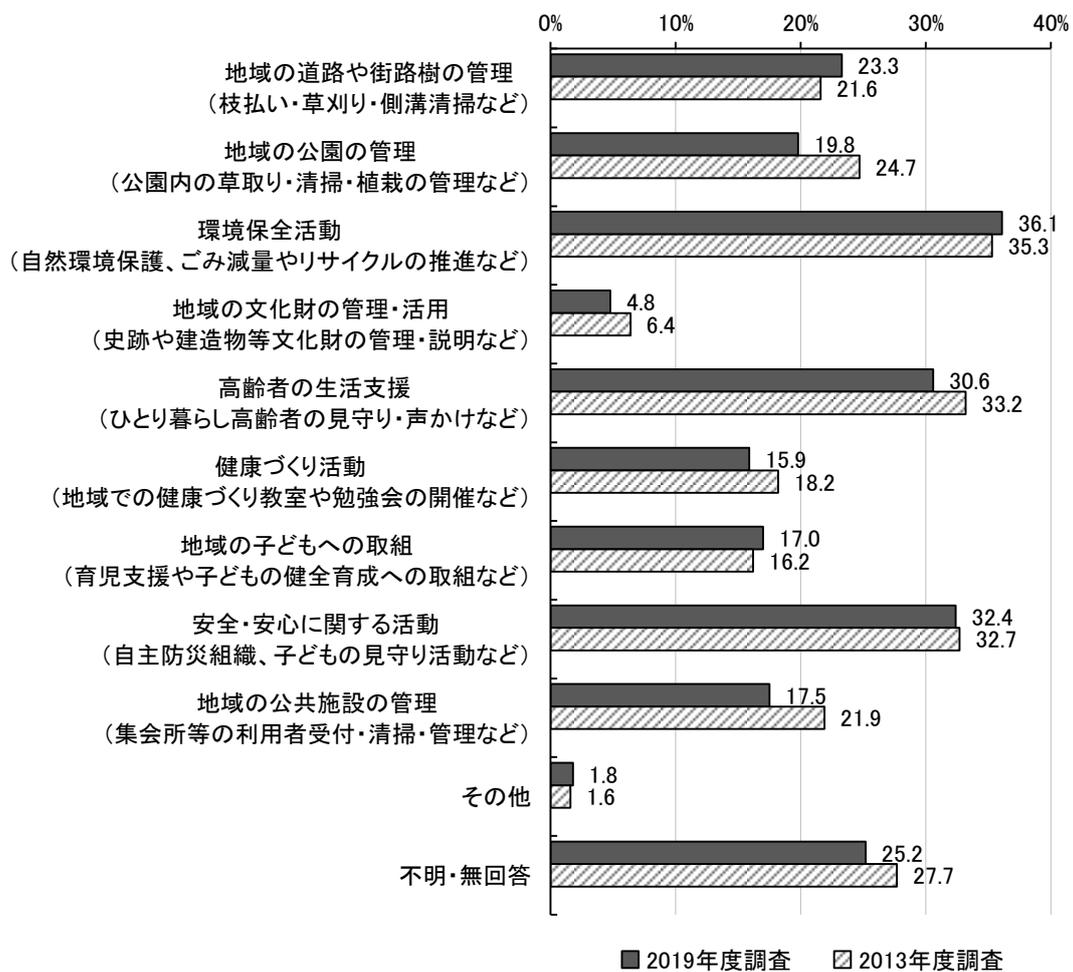
【あなたが取り組めると思うもの】

全体(N=922)



主なその他回答	件数
生ごみを庭に埋める	1
外で出たゴミは持ち帰って処分する	1
防犯の取組として買い物やウォーキングのときに「見守り中」などの腕章をする	1

◆前回調査との比較〔問 15 あなたが取り組めると思うもの〕



年代別でみると、『30歳代』『40歳代』では「安全・安心に関する活動」、70歳代以上では「高齢者の生活支援」、それ以外の年代では「環境保全活動」の割合が最も高くなっています。

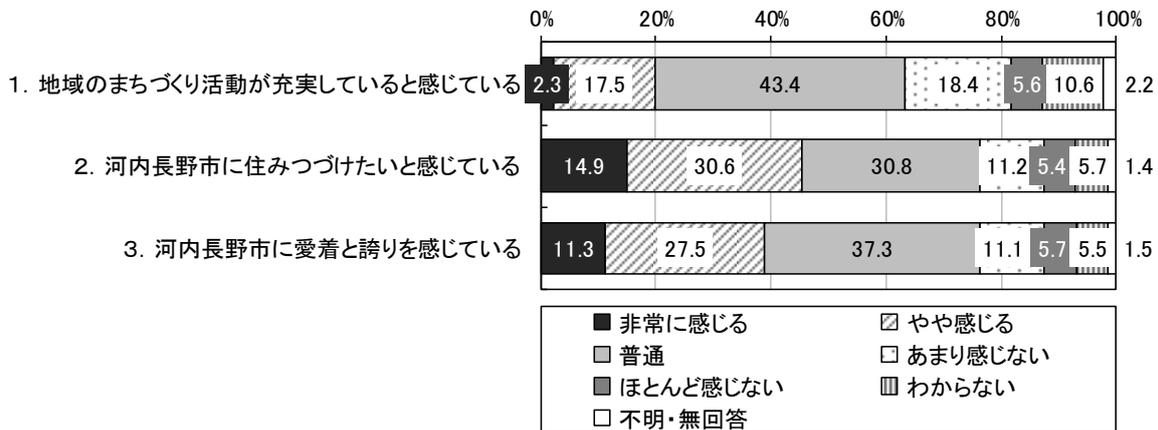
＜問 15 あなたが取り組めると思うもの 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	地域の道路 や街路樹の 管理	地域の公園 の管理	環境保全 活動	地域の文化 財の管理・ 活用	高齢者の 生活支援	
全 体	922 100.0	215 23.3	183 19.8	333 36.1	44 4.8	282 30.6	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	8 38.1	8 38.1	11 52.4	1 4.8	4 19.0
	20歳代	74 100.0	18 24.3	17 23.0	28 37.8	4 5.4	17 23.0
	30歳代	84 100.0	21 25.0	19 22.6	33 39.3	4 4.8	24 28.6
	40歳代	153 100.0	29 19.0	23 15.0	57 37.3	4 2.6	40 26.1
	50歳代	164 100.0	43 26.2	31 18.9	64 39.0	4 2.4	39 23.8
	60歳代	150 100.0	31 20.7	33 22.0	55 36.7	10 6.7	54 36.0
	70歳代	188 100.0	51 27.1	42 22.3	64 34.0	8 4.3	77 41.0
	80歳以上	69 100.0	11 15.9	9 13.0	13 18.8	7 10.1	23 33.3
上段:件数 下段:%	健康づくり 活動	地域の子ど もへの取組	安全・安心 に関する 活動	地域の公共 施設の管理	その他	不明・ 無回答	
全 体	147 15.9	157 17.0	299 32.4	161 17.5	17 1.8	232 25.2	
年 代 別	19歳以下	2 9.5	5 23.8	10 47.6	4 19.0	-	4 19.0
	20歳代	12 16.2	18 24.3	19 25.7	12 16.2	-	17 23.0
	30歳代	7 8.3	23 27.4	36 42.9	13 15.5	1 1.2	17 20.2
	40歳代	21 13.7	39 25.5	58 37.9	26 17.0	3 2.0	30 19.6
	50歳代	27 16.5	19 11.6	54 32.9	20 12.2	3 1.8	48 29.3
	60歳代	28 18.7	28 18.7	48 32.0	30 20.0	2 1.3	35 23.3
	70歳代	36 19.1	19 10.1	58 30.9	43 22.9	6 3.2	41 21.8
	80歳以上	12 17.4	6 8.7	14 20.3	10 14.5	2 2.9	31 44.9

問 16 次の項目について、どのように感じていますか。各項目について、あなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(SA)

すべての項目において「普通」が最も高く、次いで「1. 地域のまちづくり活動が充実していると感じている」では「あまり感じない」、[2. 河内長野市に住みつづけたいと感じている] [3. 河内長野市に愛着と誇りを感じている] では「やや感じる」が高くなっています。

全体(N=922)

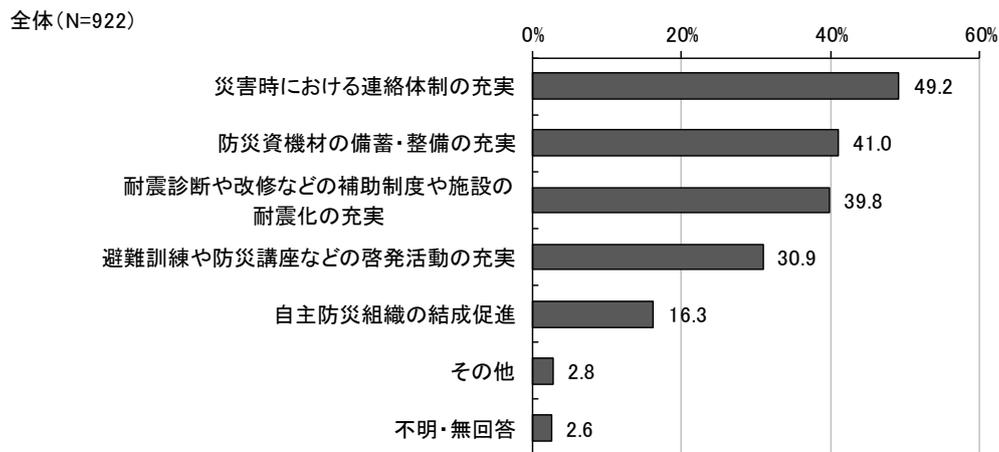


6. これからの河内長野市のまちづくりについて

**問 17 あなたは、防災に対する取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。
次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)**

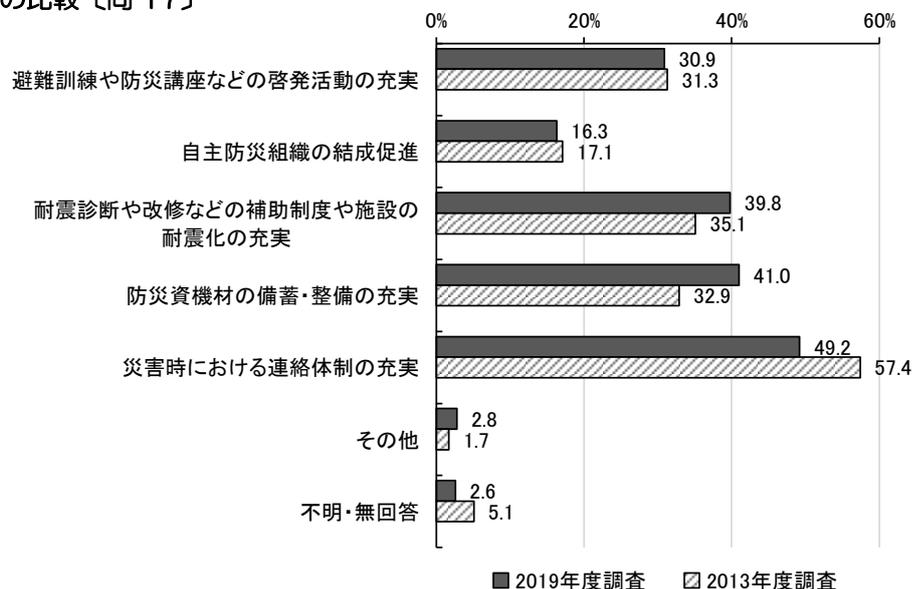
防災に対する取り組みとして力を入れるべきことについてみると、「災害時における連絡体制の充実」が49.2%と最も高く、次いで「防災資機材の備蓄・整備の充実」が41.0%、「耐震診断や改修などの補助制度や施設の耐震化の充実」が39.8%となっています。

前回調査と比較すると、「防災資機材の備蓄・整備の充実」「耐震診断や改修などの補助制度や施設の耐震化の充実」の割合が高く、「災害時における連絡体制の充実」の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
避難場所の整備、充実(プライバシー・トイレ・食事の対策など)	4
どこでどのような危険があるか、ハザードマップの周知	2
避難場所までの移動手段	2
河内長野市は災害に強いとの思いに油断なく、啓発や防災マップの見直しを進める	1
高齢者の避難対策を具体的に考える	1

◆前回調査との比較〔問17〕



年代別でみると、『20歳代』『40歳代』『50歳代』では「防災資機材の備蓄・整備の充実」、それ以外の年代では「災害時における連絡体制の充実」の割合が最も高くなっています。

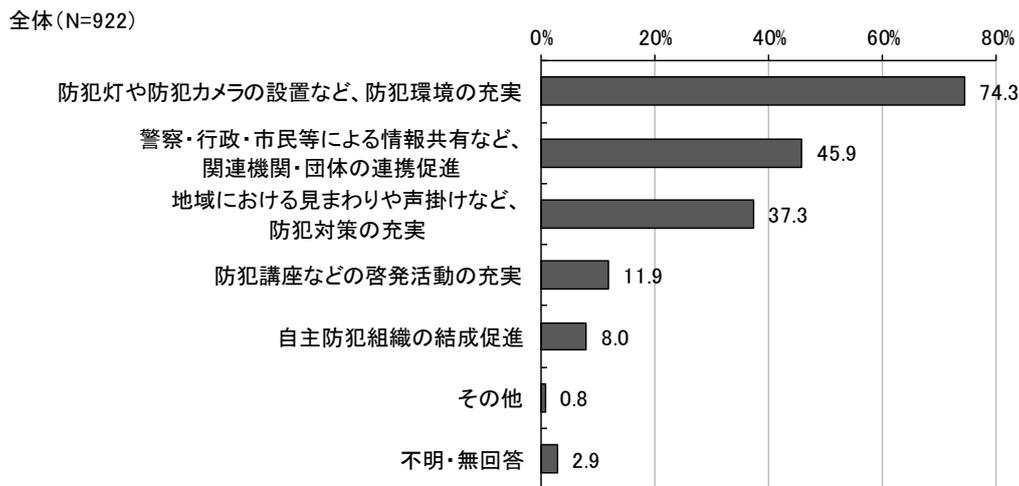
＜問 17 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	避難訓練や 防災講座 などの啓発 活動の充実	自主防災 組織の結成 促進	耐震診断や 改修などの 補助制度や 施設の耐震 化の充実	防災資機材 の備蓄・ 整備の充実	災害時に おける連絡 体制の充実	その他	不明・ 無回答	
全 体	922 100.0	285 30.9	150 16.3	367 39.8	378 41.0	454 49.2	26 2.8	24 2.6	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	9 42.9	3 14.3	9 42.9	6 28.6	10 47.6	- -	2 9.5
	20歳代	74 100.0	29 39.2	7 9.5	35 47.3	36 48.6	23 31.1	1 1.4	- -
	30歳代	84 100.0	24 28.6	10 11.9	39 46.4	39 46.4	42 50.0	4 4.8	- -
	40歳代	153 100.0	42 27.5	23 15.0	68 44.4	77 50.3	72 47.1	1 0.7	2 1.3
	50歳代	164 100.0	48 29.3	24 14.6	69 42.1	82 50.0	62 37.8	1 0.6	6 3.7
	60歳代	150 100.0	41 27.3	30 20.0	49 32.7	62 41.3	84 56.0	3 2.0	- -
	70歳代	188 100.0	67 35.6	38 20.2	65 34.6	54 28.7	110 58.5	14 7.4	5 2.7
	80歳以上	69 100.0	21 30.4	14 20.3	20 29.0	19 27.5	38 55.1	2 2.9	8 11.6

**問 18 あなたは、防犯に対する取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。
次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)**

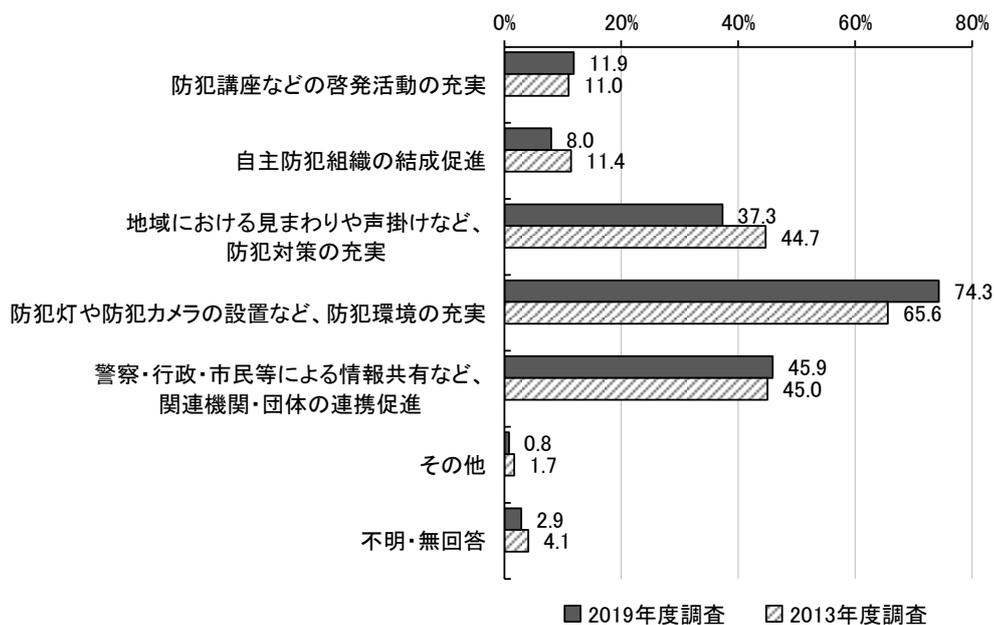
防犯に対する取り組みとして力を入れるべきことについてみると、「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」が74.3%と最も高く、次いで「警察・行政・市民等による情報共有など、関連機関・団体の連携促進」が45.9%、「地域における見まわりや声掛けなど、防犯対策の充実」が37.3%となっています。

前回調査と比較すると、「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」の割合が高く、「地域における見まわりや声掛けなど、防犯対策の充実」の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
夜道が暗すぎるので、街灯を増やす	1
高齢者等への啓発	1

◆前回調査との比較〔問18〕



年代別でみると、すべての年代で「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」の割合が最も高くなっています。

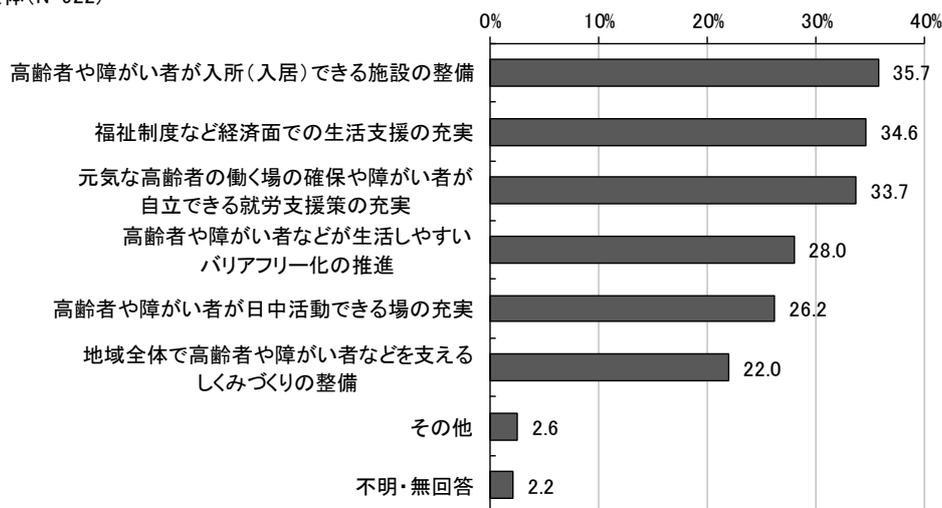
＜問 18 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	防犯講座 などの啓発 活動の充実	自主防犯 組織の結成 促進	地域におけ る見まわり や声掛け など、防犯 対策の充実	防犯灯や 防犯カメラの 設置など、 防犯環境の 充実	警察・行政・ 市民等によ る情報共有 など、関連 機関・団体 の連携促進	その他	不明・ 無回答	
全 体	922 100.0	110 11.9	74 8.0	344 37.3	685 74.3	423 45.9	7 0.8	27 2.9	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	2 9.5	4 19.0	6 28.6	14 66.7	10 47.6	- -	1 4.8
	20歳代	74 100.0	12 16.2	4 5.4	31 41.9	60 81.1	22 29.7	- -	- -
	30歳代	84 100.0	7 8.3	7 9.5	30 35.7	64 76.2	45 53.6	- -	1 1.2
	40歳代	153 100.0	14 9.2	10 6.5	54 35.3	125 81.7	80 52.3	1 0.7	- -
	50歳代	164 100.0	19 11.6	10 6.1	51 31.1	126 76.8	81 49.4	1 0.6	9 5.5
	60歳代	150 100.0	15 10.0	13 8.7	66 44.0	115 76.7	68 45.3	1 0.7	1 0.7
	70歳代	188 100.0	29 15.4	18 9.6	72 38.3	122 64.9	85 45.2	4 2.1	8 4.3
	80歳以上	69 100.0	8 11.6	6 8.7	26 37.7	45 65.2	24 34.8	- -	6 8.7

**問 19 あなたは、福祉を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)**

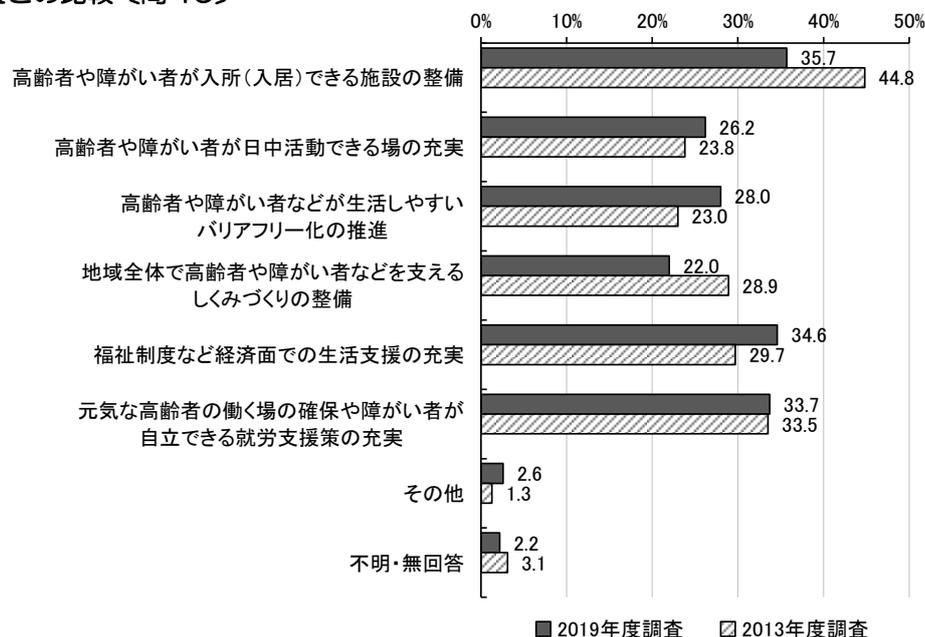
福祉を充実させるために今後力を入れるべきことについてみると、「高齢者や障がい者が入所(入居)できる施設の整備」が35.7%と最も高く、次いで「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が34.6%、「元気な高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実」が33.7%となっています。前回調査と比較すると、「高齢者や障がい者などが生活しやすいバリアフリー化の推進」「福祉制度など経済面での生活支援の充実」の割合が高く、「高齢者や障がい者が入所(入居)できる施設の整備」「地域全体で高齢者や障がい者などを支えるしくみづくりの整備」の割合が低くなっています。

全体(N=922)



主なその他回答	件数
バス、乗り合いタクシーなど公共交通サービスの充実	2
高齢者や障がい者と子ども、若者の交流の場づくり	2
医療機関の充実	1
介護、看護人材の増強	1

◆前回調査との比較〔問 19〕



年代別でみると、20歳代以下では「高齢者や障がい者などが生活しやすいバリアフリー化の推進」、30歳代から50歳代では「元気な高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実」、60歳代以上では「高齢者や障がい者が入所（入居）できる施設の整備」が最も高くなっています。

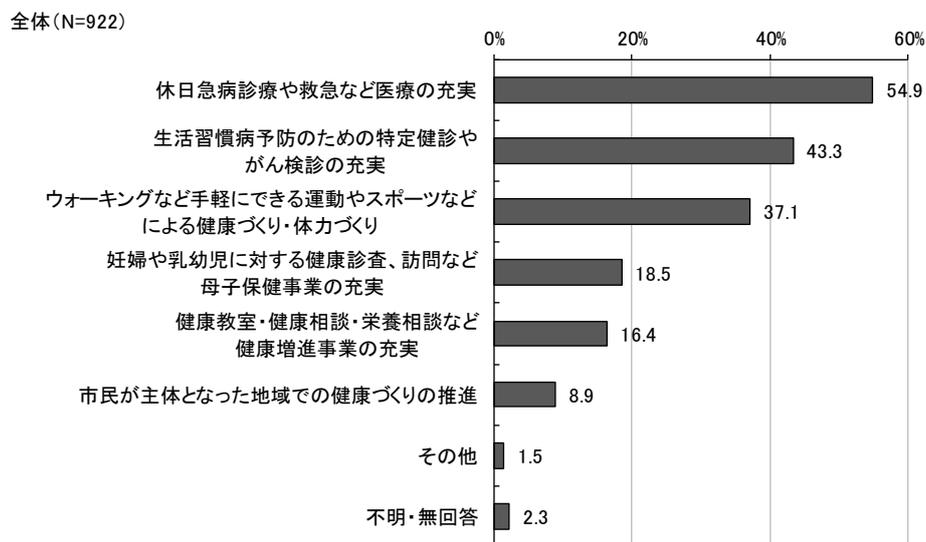
＜問 19 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	高齢者や障がい者が入所(入居)できる施設の整備	高齢者や障がい者が日中活動できる場の充実	高齢者や障がい者などが生活しやすいバリアフリー化の推進	地域全体で高齢者や障がい者などを支えるしくみづくりの整備	福祉制度など経済面で生活支援の充実	元気な高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実	その他	不明・無回答	
全 体	922 100.0	329 35.7	242 26.2	258 28.0	203 22.0	319 34.6	311 33.7	24 2.6	20 2.2	
年代別	19歳以下	21 100.0	4 19.0	6 28.6	12 57.1	2 9.5	4 19.0	6 28.6	- -	1 4.8
	20歳代	74 100.0	23 31.1	20 27.0	34 45.9	7 9.5	25 33.8	17 23.0	3 4.1	3 4.1
	30歳代	84 100.0	18 21.4	19 22.6	31 36.9	22 26.2	27 32.1	36 42.9	2 2.4	- -
	40歳代	153 100.0	50 32.7	35 22.9	48 31.4	27 17.6	56 36.6	63 41.2	5 3.3	1 0.7
	50歳代	164 100.0	56 34.1	39 23.8	39 23.8	38 23.2	56 34.1	72 43.9	1 0.6	3 1.8
	60歳代	150 100.0	56 37.3	53 35.3	42 28.0	25 16.7	55 36.7	53 35.3	2 1.3	- -
	70歳代	188 100.0	83 44.1	45 23.9	38 20.2	54 28.7	65 34.6	50 26.6	10 5.3	4 2.1
	80歳以上	69 100.0	35 50.7	18 26.1	11 15.9	23 33.3	24 34.8	8 11.6	1 1.4	7 10.1

問 20 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

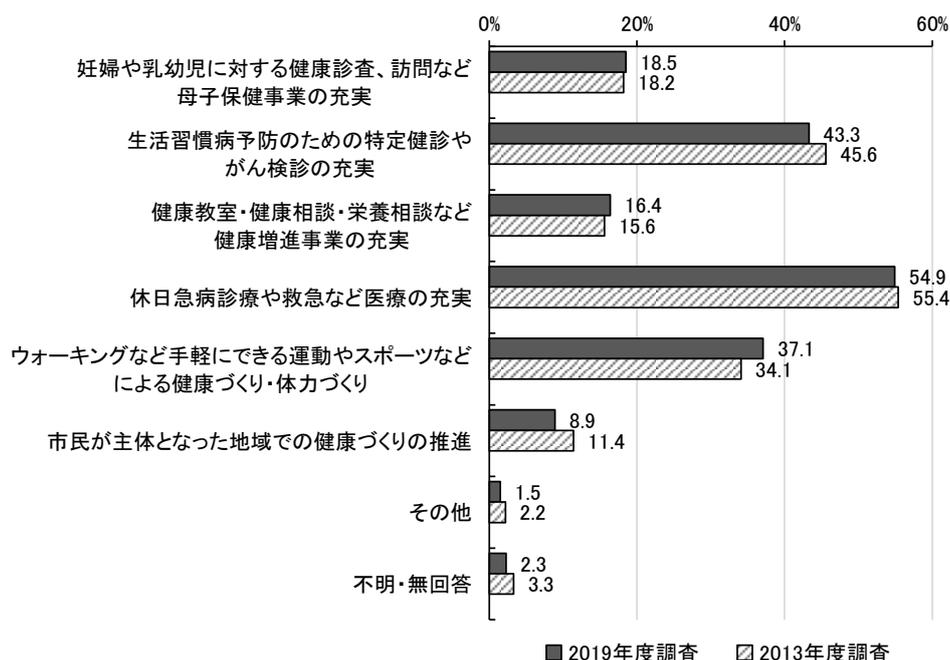
健康づくりを充実させるために力を入れるべきことについてみると、「休日急病診療や救急など医療の充実」が54.9%と最も高く、次いで「生活習慣病予防のための特定健診やがん検診の充実」が43.3%となっています。

前回調査との比較では、大きな変化はみられませんでした。



主なその他回答	件数
安価なスポーツジムやスタジオの各駅近くへの設置、スポーツクラブの誘致	2
気軽に利用できる運動施設、スポーツをする場所の提供	2
近大移動後の通院・救急体制の充実	1
個人の健康に対する意識の高揚を図る啓発	1

◆前回調査との比較〔問20〕



年代別でみると、『19歳以下』では「生活習慣病予防のための特定検診やがん検診の充実」「休日急病診療や救急など医療の充実」、『20歳代』では「生活習慣病予防のための特定検診やがん検診の充実」、30歳代以上では「休日急病診療や救急など医療の充実」の割合が最も高くなっています。

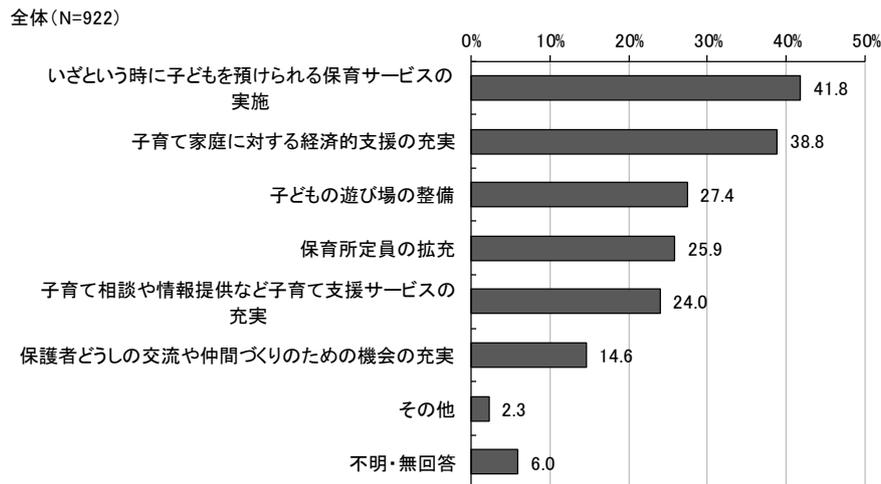
＜問 20 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	妊婦や乳幼児に対する健康診査、訪問など母子保健事業の充実	生活習慣病予防のための特定健診やがん検診の充実	健康教室・健康相談・栄養相談など健康増進事業の充実	休日急病診療や救急など医療の充実	ウォーキングなど手軽にできる運動やスポーツなどによる健康づくり・体づくり	市民が主体となった地域での健康づくりの推進	その他	不明・無回答	
全 体	922 100.0	171 18.5	399 43.3	151 16.4	506 54.9	342 37.1	82 8.9	14 1.5	21 2.3	
年代別	19歳以下	21 100.0	4 19.0	10 47.6	4 19.0	10 47.6	6 28.6	1 4.8	2 9.5	1 4.8
	20歳代	74 100.0	27 36.5	40 54.1	8 10.8	34 45.9	21 28.4	2 2.7	- -	1 1.4
	30歳代	84 100.0	29 34.5	44 52.4	7 8.3	52 61.9	23 27.4	2 2.4	1 1.2	- -
	40歳代	153 100.0	29 19.0	80 52.3	19 12.4	101 66.0	50 32.7	12 7.8	1 0.7	- -
	50歳代	164 100.0	22 13.4	78 47.6	26 15.9	91 55.5	63 38.4	10 6.1	3 1.8	4 2.4
	60歳代	150 100.0	29 19.3	45 30.0	28 18.7	84 56.0	70 46.7	14 9.3	2 1.3	1 0.7
	70歳代	188 100.0	21 11.2	73 38.8	42 22.3	97 51.6	78 41.5	27 14.4	4 2.1	5 2.7
	80歳以上	69 100.0	9 13.0	22 31.9	13 18.8	28 40.6	26 37.7	10 14.5	1 1.4	7 10.1

問 21 あなたは、子育て環境を充実するためにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

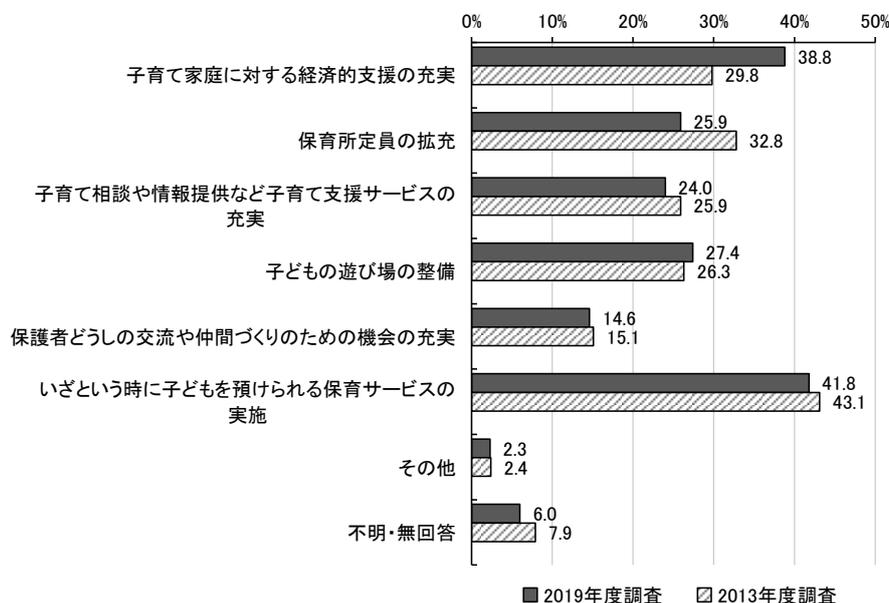
子育て環境を充実するために力を入れるべきことについてみると、「いざという時に子どもを預けられる保育サービスの実施」が41.8%と最も高く、次いで「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が38.8%、「子どもの遊び場の整備」が27.4%となっています。

前回調査と比較すると、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」の割合が高く、「保育所定員の拡充」の割合が低くなっています。



主なその他回答	件数
病児保育の受け入れ、病気の際の保育サービスの充実	2
小中学校の自校調理による給食の実施、給食の充実	2
小児科など医療の充実	2
使わなくなった三輪車や自転車・ベビー用品・おもちゃ等、リサイクルとして持って行ける場所	1
一時預かり所の増設	1
保育士の待遇改善	1

◆前回調査との比較〔問21〕



年代別でみると、40歳代以下では「子育て家庭に対する経済的支援の充実」、50歳代から70歳代では「いざという時に子どもを預けられる保育サービスの実施」の割合が最も高くなっています。

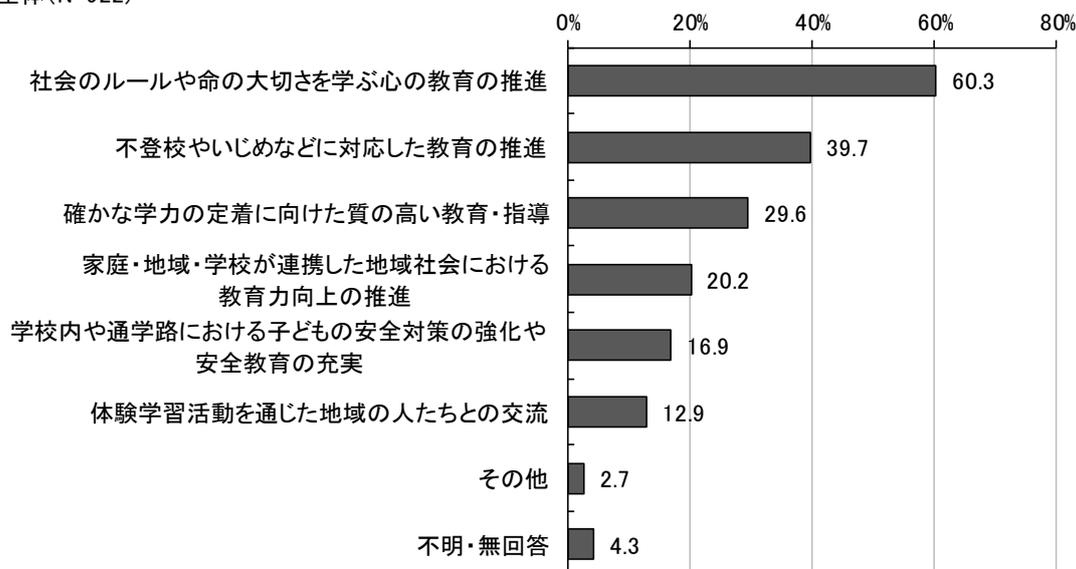
＜問 21 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	子育て家庭 に対する 経済的支援 の充実	保育所定員 の拡充	子育て相談 や情報提供 など子育て 支援サービ スの充実	子どもの 遊び場の 整備	保護者どうし の交流や 仲間づくりの ための機会 の充実	いざという時 に子どもを 預けられる 保育サービ スの実施	その他	不明・ 無回答	
全 体	922 100.0	358 38.8	239 25.9	221 24.0	253 27.4	135 14.6	385 41.8	21 2.3	55 6.0	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	13 61.9	10 47.6	2 9.5	4 19.0	3 14.3	7 33.3	- -	1 4.8
	20歳代	74 100.0	39 52.7	18 24.3	19 25.7	24 32.4	9 12.2	24 32.4	- -	2 2.7
	30歳代	84 100.0	53 63.1	15 17.9	9 10.7	45 53.6	9 10.7	28 33.3	3 3.6	- -
	40歳代	153 100.0	68 44.4	36 23.5	26 17.0	62 40.5	14 9.2	66 43.1	7 4.6	- -
	50歳代	164 100.0	58 35.4	44 26.8	39 23.8	40 24.4	23 14.0	70 42.7	6 3.7	11 6.7
	60歳代	150 100.0	42 28.0	58 38.7	48 32.0	27 18.0	27 18.0	69 46.0	- -	3 2.0
	70歳代	188 100.0	62 33.0	43 22.9	60 31.9	34 18.1	32 17.0	94 50.0	3 1.6	16 8.5
	80歳以上	69 100.0	19 27.5	10 14.5	13 18.8	14 20.3	11 15.9	19 27.5	2 2.9	20 29.0

問 22 あなたは、教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

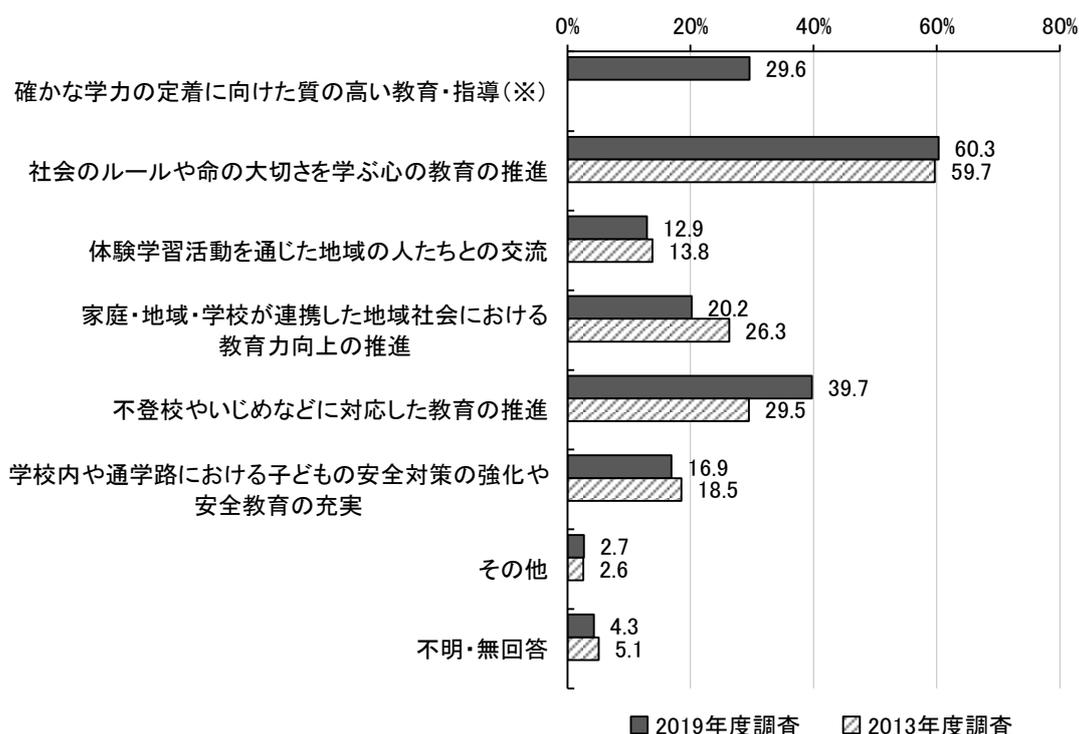
教育を充実させるために力を入れるべきことについてみると、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が60.3%と最も高く、次いで「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が39.7%、「確かな学力の定着に向けた質の高い教育・指導」が29.6%となっています。

全体(N=922)



主なその他回答	件数
教職員の資質向上、レベルアップ	3
主体性を育む教育	2
英会話、パソコンに特化した教育を行い、市の強みとしてアピール	1
教員一人あたりの生徒数を減らす。教員の労働環境の改善	1
社会性を育む教育	1
一人ひとりに目が届くような少人数または先生数人のクラス編成	1

◆前回調査との比較〔問 22〕



※2019年度調査のみの選択肢

2013年度調査は生涯学習についての選択肢もあり。

(参考)多様なニーズに対応した生涯学習(図書館含む)の活動ができる機会の確保(15.4%)

生涯学習活動の推進のための指導者の育成(7.0%)

文化・芸術活動や国際交流活動の推進(8.3%)

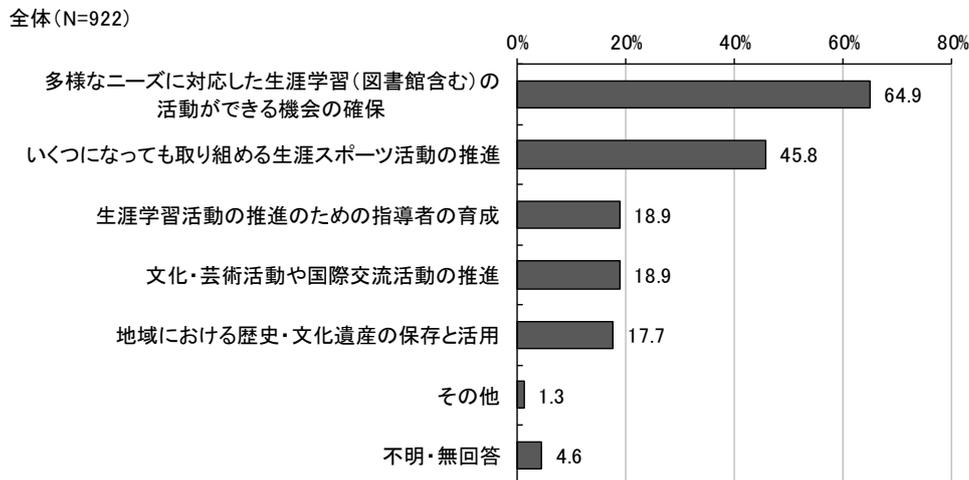
年代別でみると、『19歳以下』では「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」、それ以外の年代では「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」の割合が最も高くなっています。

<問 22 年代別クロス集計>

上段:件数 下段:%	合計	確かな学力の定着に向けた質の高い教育・指導	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流	家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進	不登校やいじめなどに対応した教育の推進	学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実	その他	不明・無回答
全 体	922 100.0	273 29.6	556 60.3	119 12.9	186 20.2	366 39.7	156 16.9	25 2.7	40 4.3
年代別	19歳以下	21 100.0	7 33.3	11 52.4	3 14.3	5 23.8	11 52.4	1 4.8	- 4.8
	20歳代	74 100.0	24 32.4	39 52.7	9 12.2	14 18.9	35 47.3	11 14.9	3 4.1
	30歳代	84 100.0	26 31.0	48 57.1	16 19.0	14 16.7	29 34.5	28 33.3	3 3.6
	40歳代	153 100.0	57 37.3	86 56.2	23 15.0	40 26.1	55 35.9	30 19.6	5 3.3
	50歳代	164 100.0	52 31.7	100 61.0	19 11.6	31 18.9	66 40.2	22 13.4	5 3.0
	60歳代	150 100.0	45 30.0	99 66.0	24 16.0	25 16.7	59 39.3	24 16.0	3 2.0
	70歳代	188 100.0	43 22.9	124 66.0	17 9.0	39 20.7	84 44.7	26 13.8	4 2.1
	80歳以上	69 100.0	15 21.7	36 52.2	5 7.2	15 21.7	17 24.6	11 15.9	2 2.9

**問 23 あなたは、生涯学習を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。
次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)**

生涯学習を充実させるために力を入れるべきことについてみると、「多様なニーズに対応した生涯学習（図書館含む）の活動ができる機会の確保」が64.9%と最も高く、次いで「いくつになっても取り組める生涯スポーツ活動の推進」が45.8%となっています。



主なその他回答	件数
南花台公民館の男談、川上公民館の男 DAY などの取り組みの支援・拡大	1

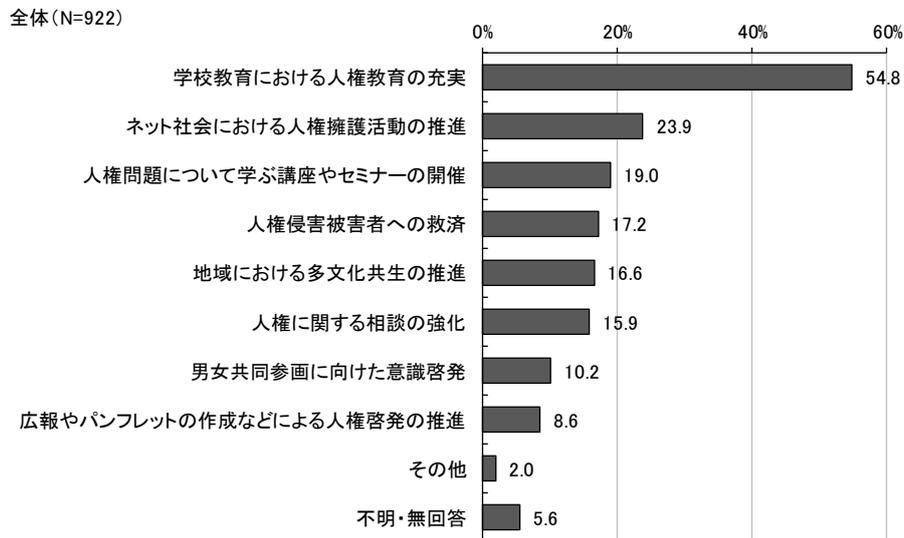
年代別で見ると、すべての年代で「多様なニーズに対応した生涯学習（図書館含む）の活動ができる機会の確保」の割合が最も高くなっています。

<問 23 年代別クロス集計>

上段:件数 下段:%	合計	多様なニーズ に対応した生 涯学習(図書 館含む)の 活動ができる 機会の確保	生涯学習 活動の推進 のための指 導者の育成	地域に おける歴史・ 文化遺産の 保存と活用	文化・芸術 活動や国際 交流活動の 推進	いくつに なっても取り 組める生涯 スポーツの 推進	その他	不明・ 無回答	
全 体	922 100.0	598 64.9	174 18.9	163 17.7	174 18.9	422 45.8	12 1.3	42 4.6	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	15 71.4	3 14.3	5 23.8	2 9.5	8 38.1	- -	1 4.8
	20歳代	74 100.0	50 67.6	13 17.6	12 16.2	16 21.6	31 41.9	- -	2 2.7
	30歳代	84 100.0	63 75.0	17 20.2	14 16.7	18 21.4	33 39.3	1 1.2	- -
	40歳代	153 100.0	111 72.5	22 14.4	23 15.0	31 20.3	81 52.9	2 1.3	1 0.7
	50歳代	164 100.0	114 69.5	23 14.0	22 13.4	32 19.5	79 48.2	3 1.8	11 6.7
	60歳代	150 100.0	94 62.7	32 21.3	30 20.0	29 19.3	72 48.0	- -	3 2.0
	70歳代	188 100.0	111 59.0	45 23.9	35 18.6	32 17.0	90 47.9	3 1.6	10 5.3
	80歳以上	69 100.0	28 40.6	14 20.3	18 26.1	10 14.5	23 33.3	3 4.3	12 17.4

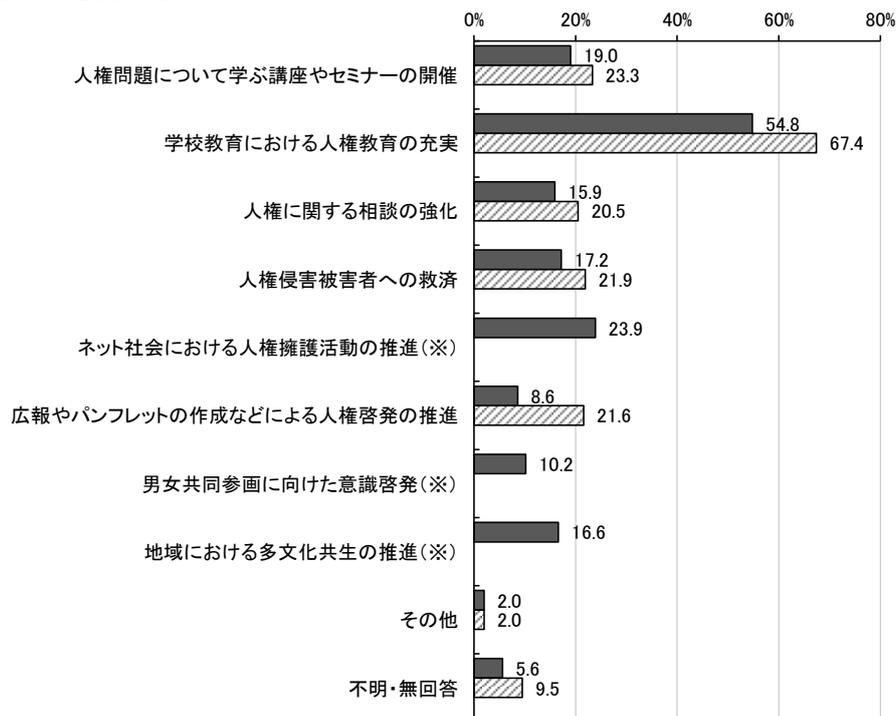
問 24 あなたは、人権問題を解決するためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

人権問題を解決するために今後力を入れるべきことについてみると、「学校教育における人権教育の充実」が54.8%と最も高く、次いで「ネット社会における人権擁護活動の推進」が23.9%、「人権問題について学ぶ講座やセミナーの開催」が19.0%となっています。



主なその他回答	件数
子どもからの教育	3
主となって取り組むリーダーが正しい知識を得るための講座や話し合いの場	1
教員への教育の充実	1

◆前回調査との比較〔問24〕



※2019年度調査のみの選択肢

■ 2019年度調査 ▨ 2013年度調査

年代別でみると、すべての年代で「学校教育における人権教育の充実」の割合が最も高くなっています。

＜問 24 年代別クロス集計＞

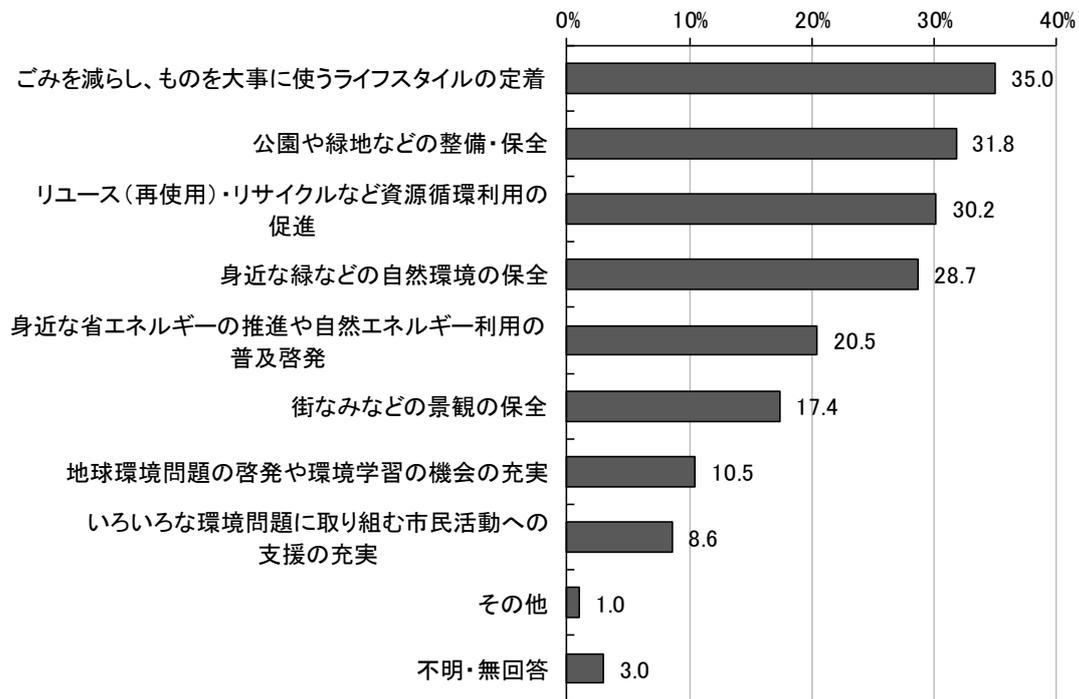
上段:件数 下段:%	合計	人権問題について学ぶ講座やセミナーの開催	学校教育における人権教育の充実	人権に関する相談の強化	人権侵害被害者への救済	ネット社会における人権擁護活動の推進	
全 体	922 100.0	175 19.0	505 54.8	147 15.9	159 17.2	220 23.9	
年代別	19歳以下	21 100.0	2 9.5	9 42.9	5 23.8	4 19.0	5 23.8
	20歳代	74 100.0	12 16.2	39 52.7	12 16.2	13 17.6	22 29.7
	30歳代	84 100.0	12 14.3	54 64.3	12 14.3	16 19.0	23 27.4
	40歳代	153 100.0	25 16.3	91 59.5	23 15.0	32 20.9	42 27.5
	50歳代	164 100.0	28 17.1	96 58.5	31 18.9	24 14.6	34 20.7
	60歳代	150 100.0	25 16.7	73 48.7	23 15.3	21 14.0	47 31.3
	70歳代	188 100.0	41 21.8	105 55.9	29 15.4	36 19.1	41 21.8
	80歳以上	69 100.0	25 36.2	29 42.0	10 14.5	6 8.7	2 2.9
上段:件数 下段:%	広報やパンフレットの作成などによる人権啓発の推進	男女共同参画に向けた意識啓発	地域における多文化共生の推進	その他	不明・無回答		
全 体	79 8.6	94 10.2	153 16.6	18 2.0	52 5.6		
年代別	19歳以下	1 4.8	2 9.5	4 19.0	-	1 4.8	
	20歳代	6 8.1	8 10.8	14 18.9	2 2.7	1 1.4	
	30歳代	3 3.6	7 8.3	14 16.7	4 4.8	-	
	40歳代	9 5.9	17 11.1	33 21.6	1 0.7	2 1.3	
	50歳代	5 3.0	11 6.7	28 17.1	3 1.8	16 9.8	
	60歳代	16 10.7	22 14.7	27 18.0	-	7 4.7	
	70歳代	25 13.3	19 10.1	28 14.9	4 2.1	11 5.9	
	80歳以上	12 17.4	8 11.6	4 5.8	4 5.8	12 17.4	

問 25 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

環境を良くするために力を入れるべきことについてみると、「ごみを減らし、ものを大事に使うライフスタイルの定着」が 35.0%と最も高く、次いで「公園や緑地などの整備・保全」が 31.8%、「リユース（再使用）・リサイクルなど資源循環利用の促進」が 30.2%となっています。

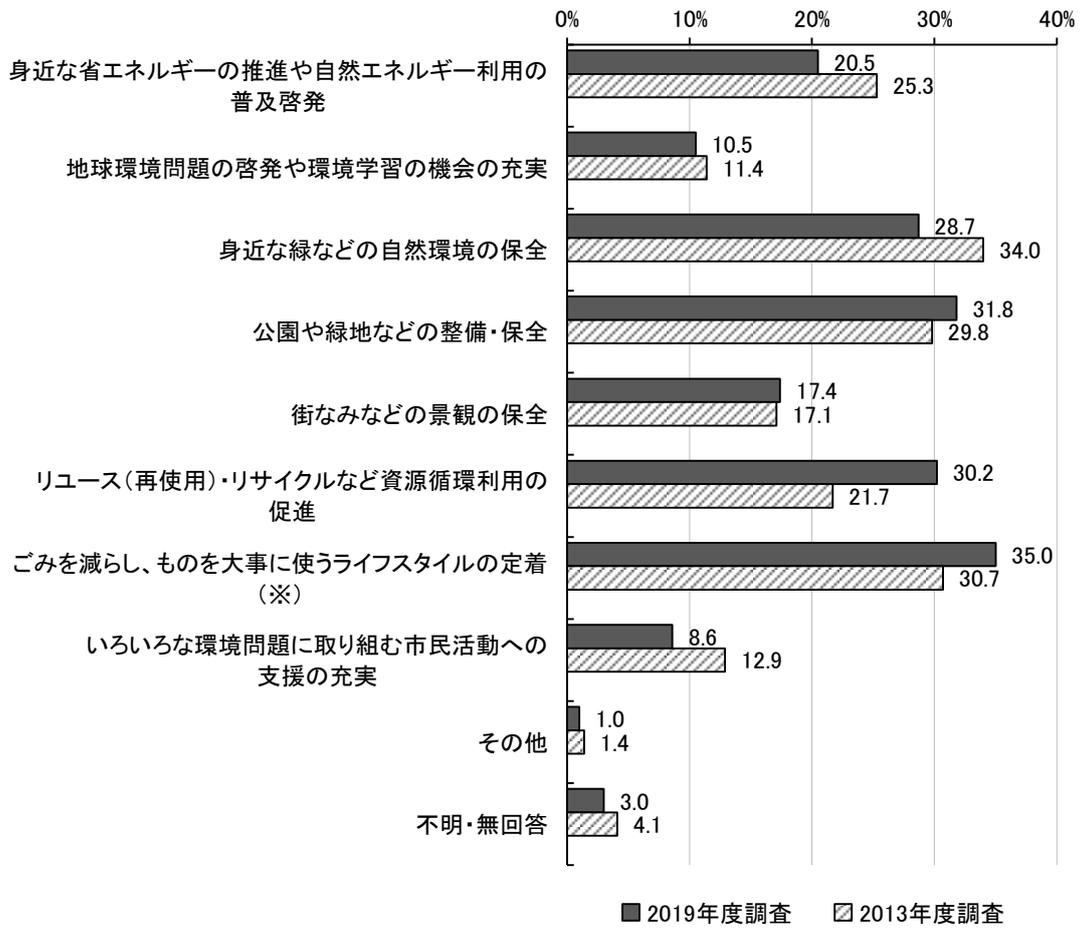
前回調査と比較すると、「リユース（再使用）・リサイクルなど資源循環利用の促進」等の割合が高く、「身近な緑などの自然環境の保全」「身近な省エネルギーの推進や自然エネルギー利用の普及啓発」等の割合が低くなっています。

全体(N=922)



主なその他回答	件数
省エネルギーや自然エネルギー利用の普及補助	1
市民全体への持続可能な社会に関する教育の充実	1
使えるものを欲しい人に無料で引き取ってくれるサービス	1
ポイ捨て禁止条例	1

◆前回調査との比較〔問 25〕



※2013年度調査の選択肢…「ごみを減らし、良いものを大事に使うライフスタイルの定着」

年代別でみると、『19歳以下』では「リユース（再使用）・リサイクルなど資源循環利用の促進」、20歳代から40歳代では「公園や緑地などの整備・保全」、50歳代以上では「ごみを減らし、ものを大事に使うライフスタイルの定着」の割合が最も高くなっています。

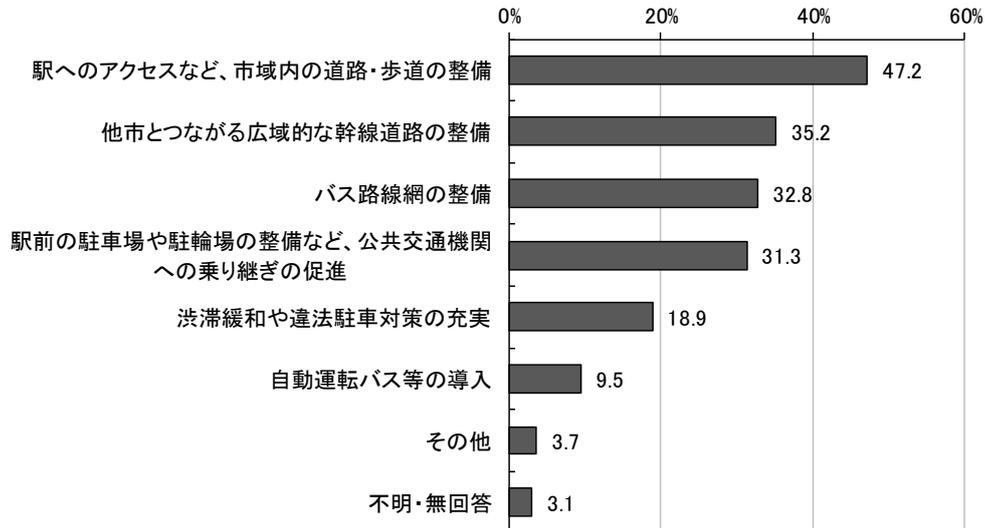
＜問 25 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	身近な省エネルギーの 推進や自然エネルギー 利用の普及 啓発	地球環境問題の啓発や 環境学習の 機会の充実	身近な緑 などの自然 環境の保全	公園や緑地 などの整備・ 保全	街なみなど の景観の 保全	
全 体	922 100.0	189 20.5	97 10.5	265 28.7	293 31.8	160 17.4	
年代別	19歳以下	21 100.0	3 14.3	2 9.5	7 33.3	8 38.1	2 9.5
	20歳代	74 100.0	11 14.9	8 10.8	19 25.7	31 41.9	19 25.7
	30歳代	84 100.0	16 19.0	5 6.0	25 29.8	44 52.4	19 22.6
	40歳代	153 100.0	41 26.8	17 11.1	37 24.2	55 35.9	29 19.0
	50歳代	164 100.0	39 23.8	12 7.3	49 29.9	44 26.8	23 14.0
	60歳代	150 100.0	35 23.3	11 7.3	47 31.3	43 28.7	25 16.7
	70歳代	188 100.0	28 14.9	25 13.3	56 29.8	46 24.5	33 17.6
	80歳以上	69 100.0	13 18.8	15 21.7	22 31.9	17 24.6	8 11.6
上段:件数 下段:%	リユース (再使用)・リ サイクルなど 資源循環 利用の促進	ごみを 減らし、もの を大事に使う ライフスタイルの定着	いろいろな 環境問題に 取り組む市 民活動への 支援の充実	その他	不明・ 無回答		
全 体	278 30.2	323 35.0	79 8.6	9 1.0	28 3.0		
年代別	19歳以下	10 47.6	7 33.3	- -	- -	1 4.8	
	20歳代	22 29.7	20 27.0	1 1.4	1 1.4	1 1.4	
	30歳代	26 31.0	23 27.4	2 2.4	- -	- -	
	40歳代	46 30.1	51 33.3	12 7.8	1 0.7	1 0.7	
	50歳代	55 33.5	60 36.6	12 7.3	1 0.6	6 3.7	
	60歳代	53 35.3	56 37.3	14 9.3	1 0.7	4 2.7	
	70歳代	52 27.7	75 39.9	24 12.8	3 1.6	7 3.7	
	80歳以上	7 10.1	26 37.7	12 17.4	1 1.4	6 8.7	

問 26 あなたは、交通の整備を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

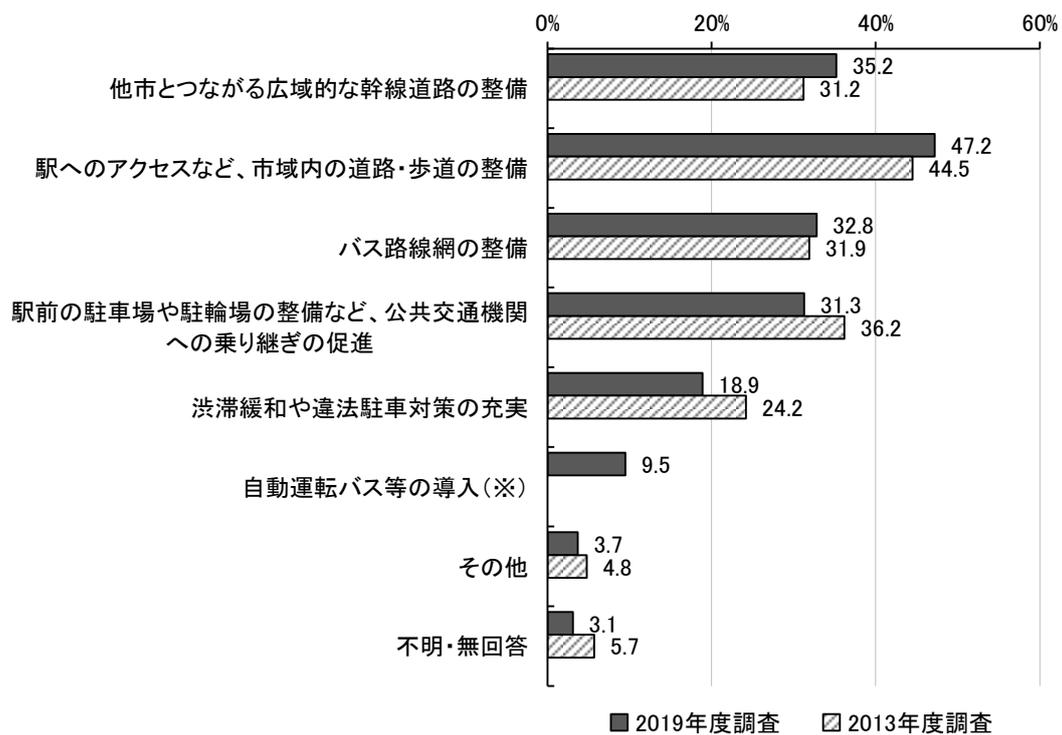
交通の整備を充実させるために今後力を入れるべきことについてみると、「駅へのアクセスなど、市内の道路・歩道の整備」が47.2%と最も高く、次いで「他市とつながる広域的な幹線道路の整備」が35.2%、「バス路線網の整備」が32.8%となっています。

全体(N=922)



主なその他回答	件数
高速道路の延伸	3
高齢者の公共交通の利用を促進するための補助(バスカード、タクシー券)	3
バスの増便、バスの充実	3
ガタガタな歩道の補修	2
自転車専用道路の整備	2
七つ辻交差点の安全と渋滞緩和対策	1
上原町交差点の渋滞解消	1
バスを小型化し、台数を増やす	1
医院間をつなぐ小型バス	1
高齢者等が買い物難民にならないような手立て	1

◆前回調査との比較〔問 26〕



※2019 年度調査のみの選択肢

年代別でみると、『40歳代』では「他市とつながる広域的な幹線道路の整備」、『80歳以上』では「バス路線網の整備」、それ以外の年代では「駅へのアクセスなど、市内の道路・歩道の整備」の割合が最も高くなっています。

＜問 26 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	他市とつながる広域的な幹線道路の整備	駅へのアクセスなど、市内の道路・歩道の整備	バス路線網の整備	駅前の駐車場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進	渋滞緩和や違法駐車対策の充実	自動運転バス等の導入	その他	不明・無回答	
全 体	922 100.0	325 35.2	435 47.2	302 32.8	289 31.3	174 18.9	88 9.5	34 3.7	29 3.1	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	5 23.8	10 47.6	4 19.0	8 38.1	9 42.9	1 4.8	1 4.8	1 4.8
	20歳代	74 100.0	19 25.7	45 60.8	20 27.0	23 31.1	15 20.3	5 6.8	5 6.8	1 1.4
	30歳代	84 100.0	31 36.9	43 51.2	17 20.2	22 26.2	27 32.1	8 9.5	2 2.4	-
	40歳代	153 100.0	71 46.4	64 41.8	48 31.4	47 30.7	32 20.9	10 6.5	8 5.2	2 1.3
	50歳代	164 100.0	72 43.9	76 46.3	40 24.4	57 34.8	25 15.2	12 7.3	10 6.1	4 2.4
	60歳代	150 100.0	42 28.0	75 50.0	52 34.7	56 37.3	28 18.7	18 12.0	2 1.3	5 3.3
	70歳代	188 100.0	63 33.5	86 45.7	74 39.4	59 31.4	27 14.4	26 13.8	4 2.1	6 3.2
	80歳以上	69 100.0	17 24.6	30 43.5	39 56.5	11 15.9	9 13.0	7 10.1	1 1.4	7 10.1

小学校区別でみると、『天野小学校区』『美加の台小学校区』では「他市とつながる広域的な幹線道路の整備」、『天見小学校区』では「駅前の駐車場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進」、『加賀田小学校区』では「バス路線網の整備」、それ以外の小学校区では「駅へのアクセスなど、市内の道路・歩道の整備」の割合が最も高くなっています。

＜問 26 小学校区別クロス集計＞

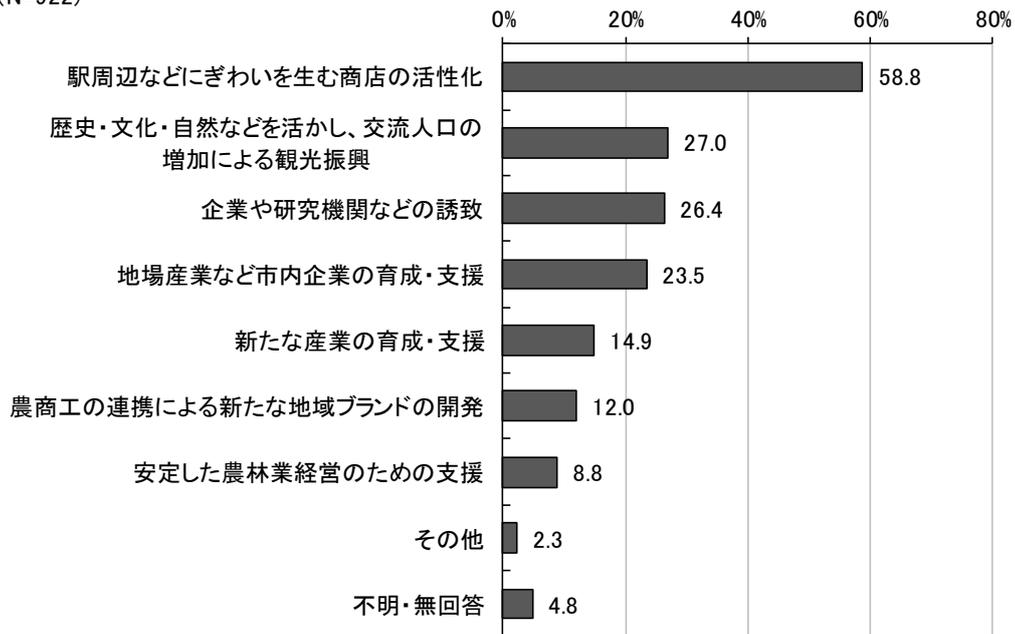
上段:件数 下段:%	合計	他市とつながる広域的な幹線道路の整備	駅へのアクセスなど、市内の道路・歩道の整備	バス路線網の整備	駅前の駐車場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進	渋滞緩和や違法駐車対策の充実	自動運転バス等の導入	その他	不明・無回答	
全 体	922 100.0	325 35.2	435 47.2	302 32.8	289 31.3	174 18.9	88 9.5	34 3.7	29 3.1	
小 学 校 区 別	長野小学校区	123 100.0	51 41.5	60 48.8	30 24.4	42 34.1	25 20.3	6 4.9	-	7 5.7
	小山田小学校区	62 100.0	24 38.7	26 41.9	25 40.3	18 29.0	15 24.2	7 11.3	2 3.2	1 1.6
	天野小学校区	41 100.0	20 48.8	10 24.4	18 43.9	12 29.3	7 17.1	4 9.8	2 4.9	1 2.4
	高向小学校区	43 100.0	12 27.9	23 53.5	16 37.2	13 30.2	7 16.3	6 14.0	1 2.3	1 2.3
	三日市小学校区	107 100.0	30 28.0	53 49.5	26 24.3	34 31.8	25 23.4	8 7.5	6 5.6	6 5.6
	天見小学校区	8 100.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5
	川上小学校区	66 100.0	20 30.3	36 54.5	16 24.2	20 30.3	10 15.2	8 12.1	4 6.1	3 4.5
	千代田小学校区	94 100.0	29 30.9	50 53.2	33 35.1	33 35.1	21 22.3	6 6.4	3 3.2	2 2.1
	楠小学校区	80 100.0	27 33.8	42 52.5	28 35.0	20 25.0	20 25.0	6 7.5	2 2.5	1 1.3
	加賀田小学校区	59 100.0	13 22.0	28 47.5	34 57.6	14 23.7	7 11.9	6 10.2	3 5.1	-
	石仏小学校区	51 100.0	19 37.3	23 45.1	17 33.3	18 35.3	7 13.7	7 13.7	2 3.9	1 2.0
	美加の台小学校区	75 100.0	36 48.0	30 40.0	19 25.3	25 33.3	12 16.0	10 13.3	5 6.7	1 1.3
	南花台小学校区	73 100.0	26 35.6	32 43.8	28 38.4	25 34.2	7 9.6	10 13.7	3 4.1	2 2.7

**問 27 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。
次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)**

産業振興・活性化のために力を入れるべきことについてみると、「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」が58.8%と最も高く、次いで「歴史・文化・自然などを活かし、交流人口の増加による観光振興」が27.0%、「企業や研究機関などの誘致」が26.4%となっています。

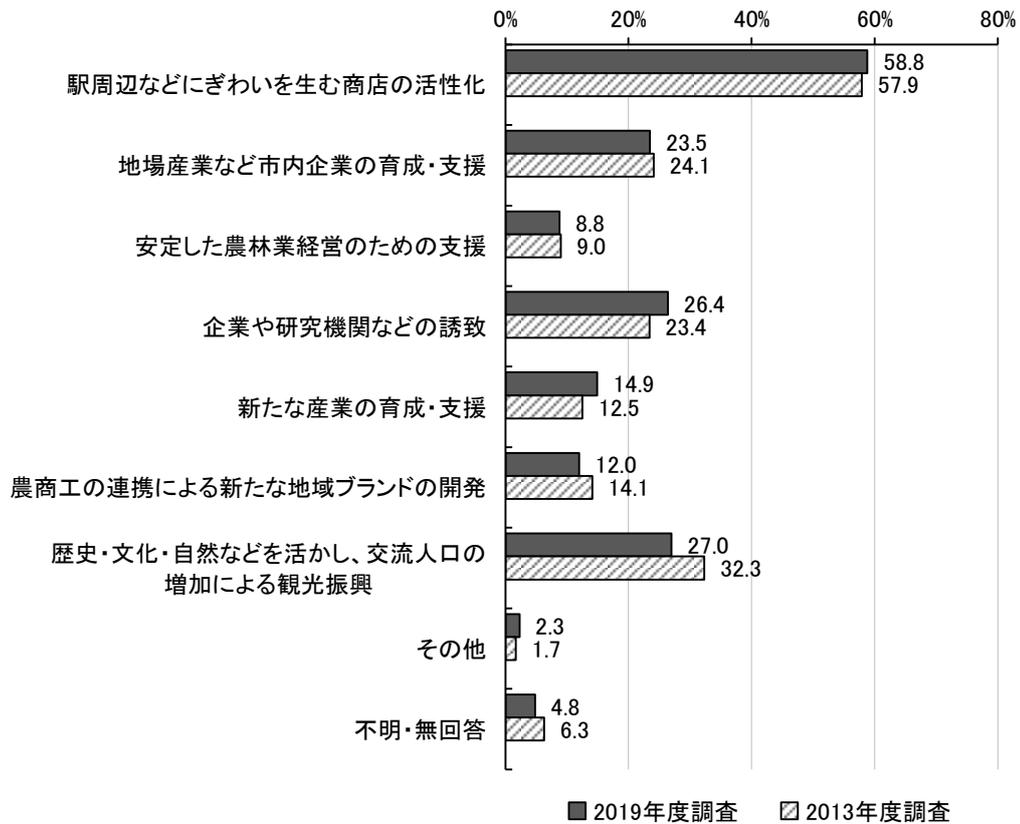
前回調査と比較すると、「歴史・文化・自然などを活かし、交流人口の増加による観光振興」の割合が低くなっています。

全体(N=922)



主なその他回答	件数
大型ショッピングモール、複合商業施設の誘致	5
大学誘致	2
くろまろの郷に温泉施設、BBQ 施設、スポーツ施設などをつくり、花の文化園とつなげて遊べるようにする	1
住宅地内に商店を確保し、住民を増加させ、地域全体の活性化を図る	1
農業の振興	1
農業地の有効活用、活性化	1

◆前回調査との比較〔問27〕



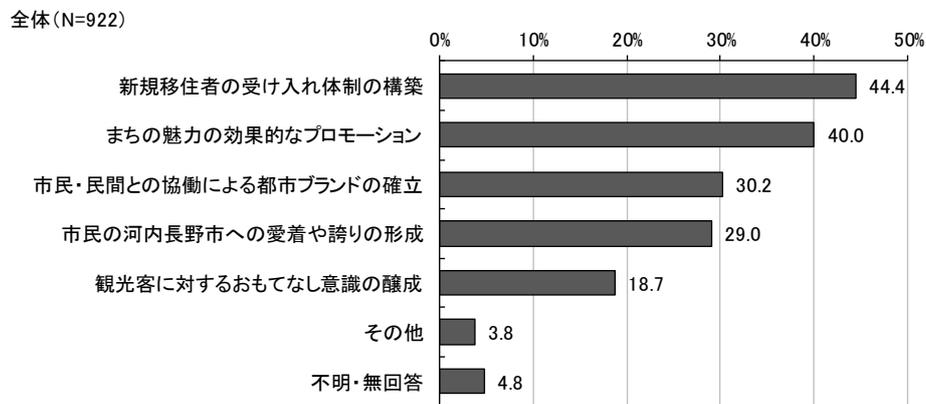
年代別で見ると、すべての年代で「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」の割合が最も高くなっています。

<問27 年代別クロス集計>

上段:件数 下段:%	合計	駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化	地場産業など市内企業の育成・支援	安定した農林業経営のための支援	企業や研究機関などの誘致	新たな産業の育成・支援	農商工の連携による新たな地域ブランドの開発	歴史・文化・自然などを活かし、交流人口の増加による観光振興	その他	不明・無回答
全 体	922 100.0	542 58.8	217 23.5	81 8.8	243 26.4	137 14.9	111 12.0	249 27.0	21 2.3	44 4.8
年 代 別	19歳以下	21 100.0	14 66.7	5 23.8	3 14.3	4 19.0	2 9.5	2 9.5	6 28.6	- 4.8
	20歳代	74 100.0	44 59.5	11 14.9	13 17.6	13 17.6	12 16.2	5 6.8	17 23.0	3 4.1
	30歳代	84 100.0	61 72.6	14 16.7	5 6.0	24 28.6	15 17.9	10 11.9	19 22.6	2 2.4
	40歳代	153 100.0	98 64.1	36 23.5	11 7.2	42 27.5	29 19.0	24 15.7	34 22.2	3 2.0
	50歳代	164 100.0	95 57.9	36 22.0	11 6.7	46 28.0	27 16.5	24 14.6	42 25.6	3 1.8
	60歳代	150 100.0	89 59.3	43 28.7	13 8.7	40 26.7	18 12.0	19 12.7	39 26.0	3 2.0
	70歳代	188 100.0	89 47.3	53 28.2	19 10.1	57 30.3	22 11.7	20 10.6	68 36.2	6 3.2
	80歳以上	69 100.0	40 58.0	15 21.7	5 7.2	14 20.3	8 11.6	6 8.7	19 27.5	-

問 28 あなたは、河内長野市の魅力を発信するためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えていますか。あてはまる番号2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

河内長野市の魅力を発信するために力を入れるべきことについてみると、「新規移住者の受け入れ体制の構築」が44.4%と最も高く、次いで「まちの魅力を効果的なプロモーション」が40.0%、「市民・民間との協働による都市ブランドの確立」が30.2%となっています。



主なその他回答	件数
治安の良さをアピールする	2
安全な住環境と自然保護	1
今の住人が快適に過ごせれば、人が集まってくる	1
観光客にまた来たいと思わせるまちづくり	1
充実した教育環境があれば、若い世代が集まる	1
豊かな自然を活かした景観整備	1

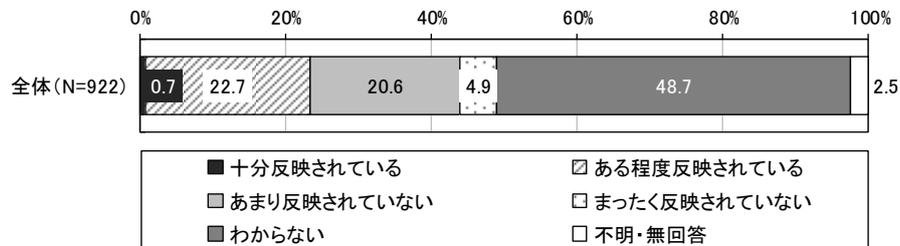
年代別でみると、『19歳以下』では「市民・民間との協働による都市ブランドの確立」「新規移住者の受け入れ体制の構築」、『50歳代』では「まちの魅力を効果的なプロモーション」、『80歳以上』では「市民の河内長野市への愛着や誇りの形成」、それ以外の年代では「新規移住者の受け入れ体制の構築」の割合が最も高くなっています。

<問 28 年代別クロス集計>

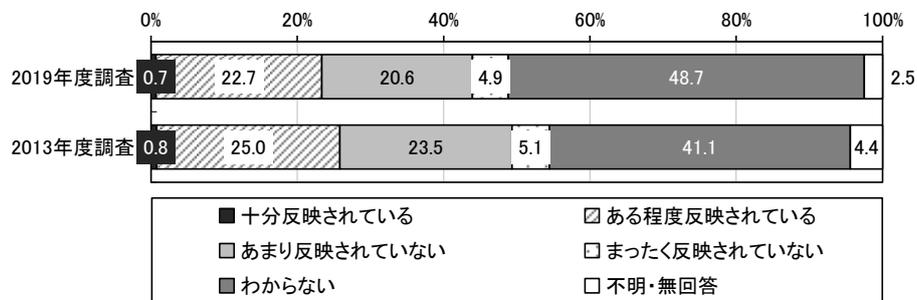
上段:件数 下段:%	合計	市民の河内 長野市への 愛着や誇り の形成	市民・民間 との協働に よる都市ブ ランドの確立	まちの魅力 の効果的な プロモー ション	新規移住者 の受け入れ 体制の構築	観光客に 対するおもて なし意識の 醸成	その他	不明・ 無回答	
全 体	922 100.0	267 29.0	278 30.2	369 40.0	409 44.4	172 18.7	35 3.8	44 4.8	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	3 14.3	11 52.4	7 33.3	11 52.4	3 14.3	1 4.8	1 4.8
	20歳代	74 100.0	21 28.4	17 23.0	29 39.2	36 48.6	15 20.3	3 4.1	3 4.1
	30歳代	84 100.0	27 32.1	24 28.6	34 40.5	44 52.4	10 11.9	5 6.0	-
	40歳代	153 100.0	35 22.9	54 35.3	57 37.3	80 52.3	29 19.0	6 3.9	2 1.3
	50歳代	164 100.0	38 23.2	54 32.9	69 42.1	57 34.8	35 21.3	7 4.3	12 7.3
	60歳代	150 100.0	38 25.3	46 30.7	66 44.0	67 44.7	26 17.3	3 2.0	7 4.7
	70歳代	188 100.0	71 37.8	53 28.2	75 39.9	81 43.1	33 17.6	8 4.3	10 5.3
	80歳以上	69 100.0	30 43.5	15 21.7	20 29.0	27 39.1	18 26.1	2 2.9	8 11.6

**問 29 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。あ
てはまる番号1つに○をつけてください。(SA)**

市政に市民の意向がどの程度反映されているかについてみると、「わからない」が48.7%と最も高く、次いで「ある程度反映されている」が22.7%、「あまり反映されていない」が20.6%となっています。前回調査と比較すると、「わからない」の割合が高くなっています。

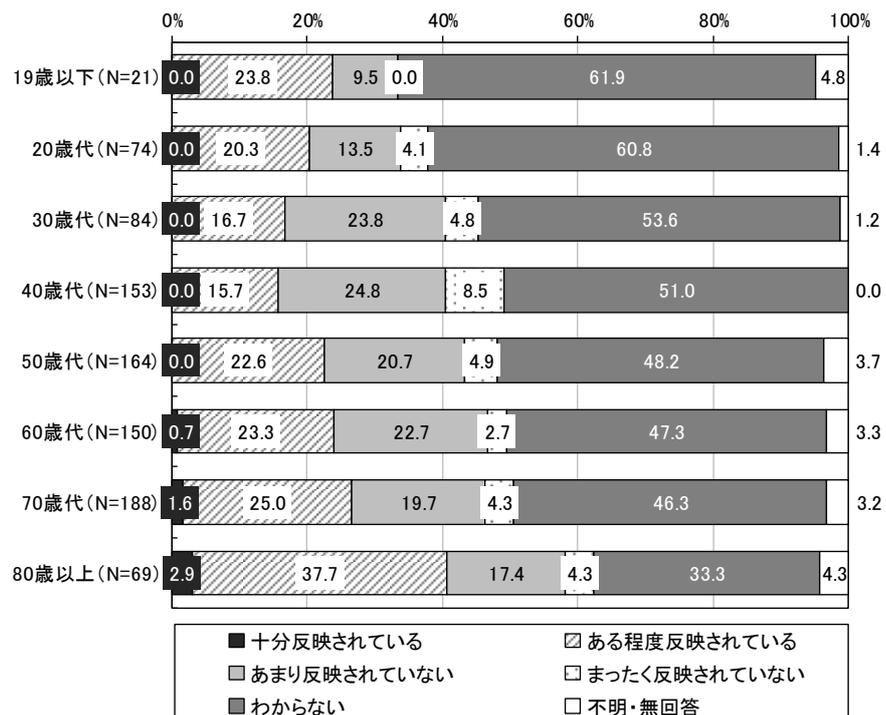


◆前回調査との比較〔問29〕



年代別でみると、『80歳以上』では「ある程度反映されている」、それ以外の年代では「わからない」の割合が最も高くなっています。

<問29 年代別クロス集計>

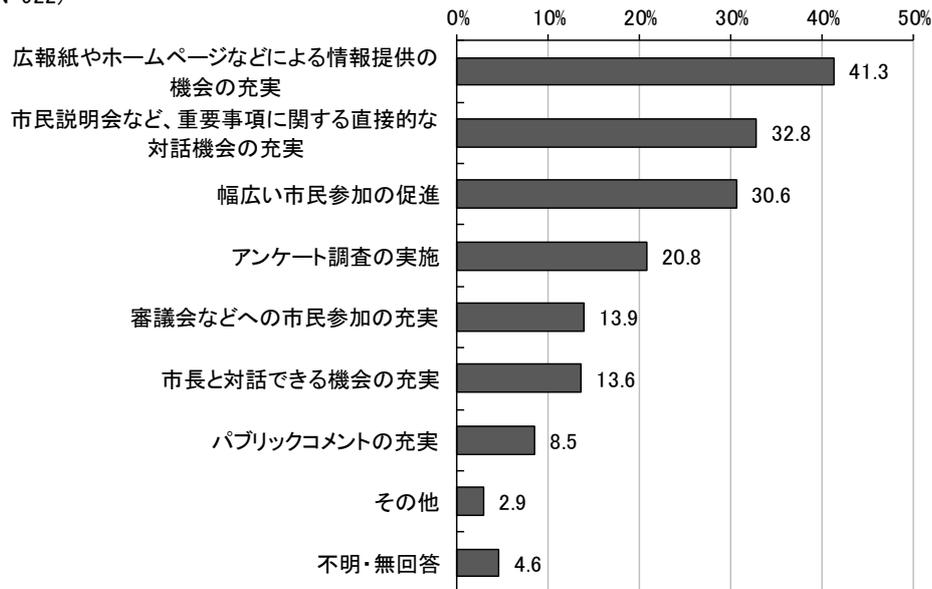


問 30 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

多く市民の意向を市政に反映させるために力を入れるべきことについてみると、「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が41.3%と最も高く、次いで「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が32.8%、「幅広い市民参加の促進」が30.6%となっています。

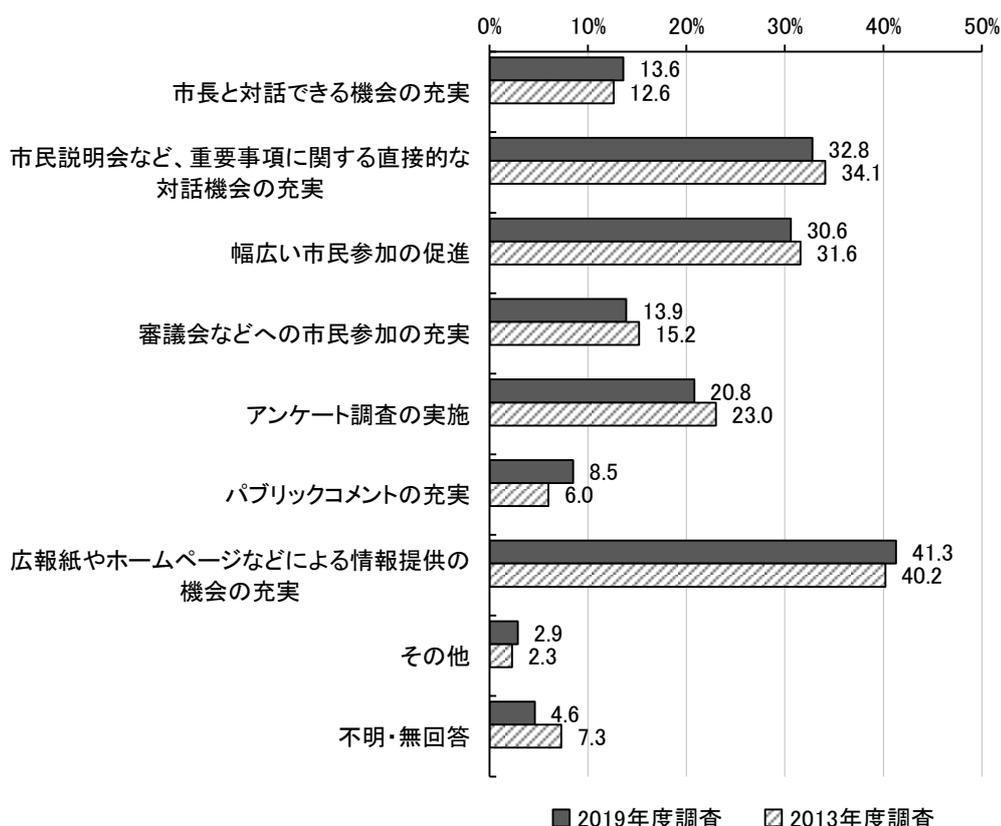
前回調査との比較では、大きな変化はみられませんでした。

全体(N=922)



主なその他回答	件数
市会議員・職員が市民の声を聴く(定期懇談など)	4
市民の意見を聴く機会の充実(自治会単位で井戸端会議、意見箱の設置など)	3
若い層の関心も取り込むため、Webによるアンケート調査の実施	2
市議会議員の頑張りを市民が評価し、給料に反映させる仕組みをつくる	1
市民の中で行政スキルを持っている人の登用	1
高齢者ではなく、働き世代・子育て世代に調査する機会が必要	1

◆前回調査との比較〔問 30〕



年代別でみると、『19歳以下』では「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」「幅広い市民参加の促進」、それ以外の年代では「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」の割合が最も高くなっています。

<問 30 年代別クロス集計>

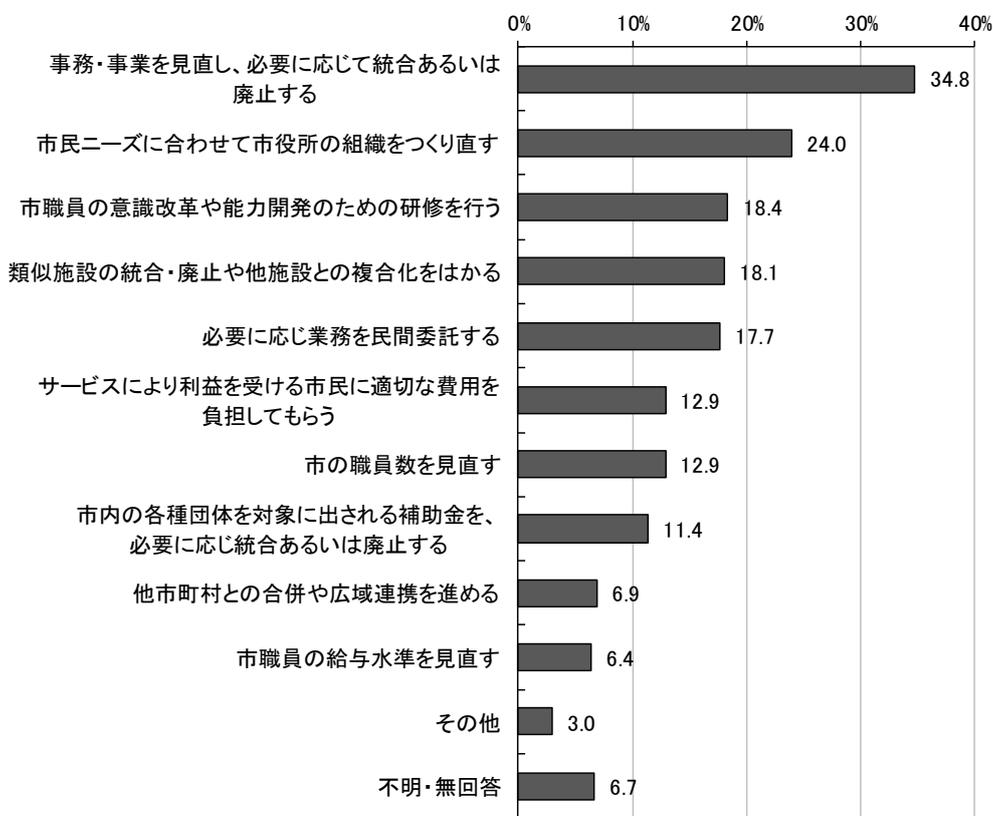
上段:件数 下段:%	合計	市長と対話 できる機会 の充実	市民説明会 など、重要 事項に関する 直接的な 対話機会の 充実	幅広い市民 参加の促進	審議会など への市民 参加の充実	アンケート 調査の実施	パブリック コメントの 充実	広報紙や ホームページ などによる 情報提供の 機会の充実	その他	不明・ 無回答	
全 体	922 100.0	125 13.6	302 32.8	282 30.6	128 13.9	192 20.8	78 8.5	381 41.3	27 2.9	42 4.6	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	3 14.3	7 33.3	7 33.3	3 14.3	6 28.6	3 14.3	6 28.6	- -	1 4.8
	20歳代	74 100.0	17 23.0	13 17.6	16 21.6	9 12.2	21 28.4	10 13.5	25 33.8	2 2.7	2 2.7
	30歳代	84 100.0	11 13.1	23 27.4	22 26.2	7 8.3	28 33.3	16 19.0	35 41.7	1 1.2	1 1.2
	40歳代	153 100.0	20 13.1	45 29.4	40 26.1	19 12.4	48 31.4	17 11.1	64 41.8	10 6.5	2 1.3
	50歳代	164 100.0	17 10.4	56 34.1	42 25.6	23 14.0	29 17.7	10 6.1	74 45.1	4 2.4	12 7.3
	60歳代	150 100.0	21 14.0	50 33.3	59 39.3	26 17.3	23 15.3	7 4.7	63 42.0	1 0.7	6 4.0
	70歳代	188 100.0	21 11.2	73 38.8	67 35.6	31 16.5	21 11.2	13 6.9	82 43.6	7 3.7	10 5.3
	80歳以上	69 100.0	12 17.4	24 34.8	23 33.3	8 11.6	14 20.3	2 2.9	26 37.7	2 2.9	6 8.7

問 31 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

効果的かつ効率的な行政サービスを提供するために必要な方策についてみると、「事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が34.8%と最も高く、次いで「市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す」が24.0%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が18.4%となっています。

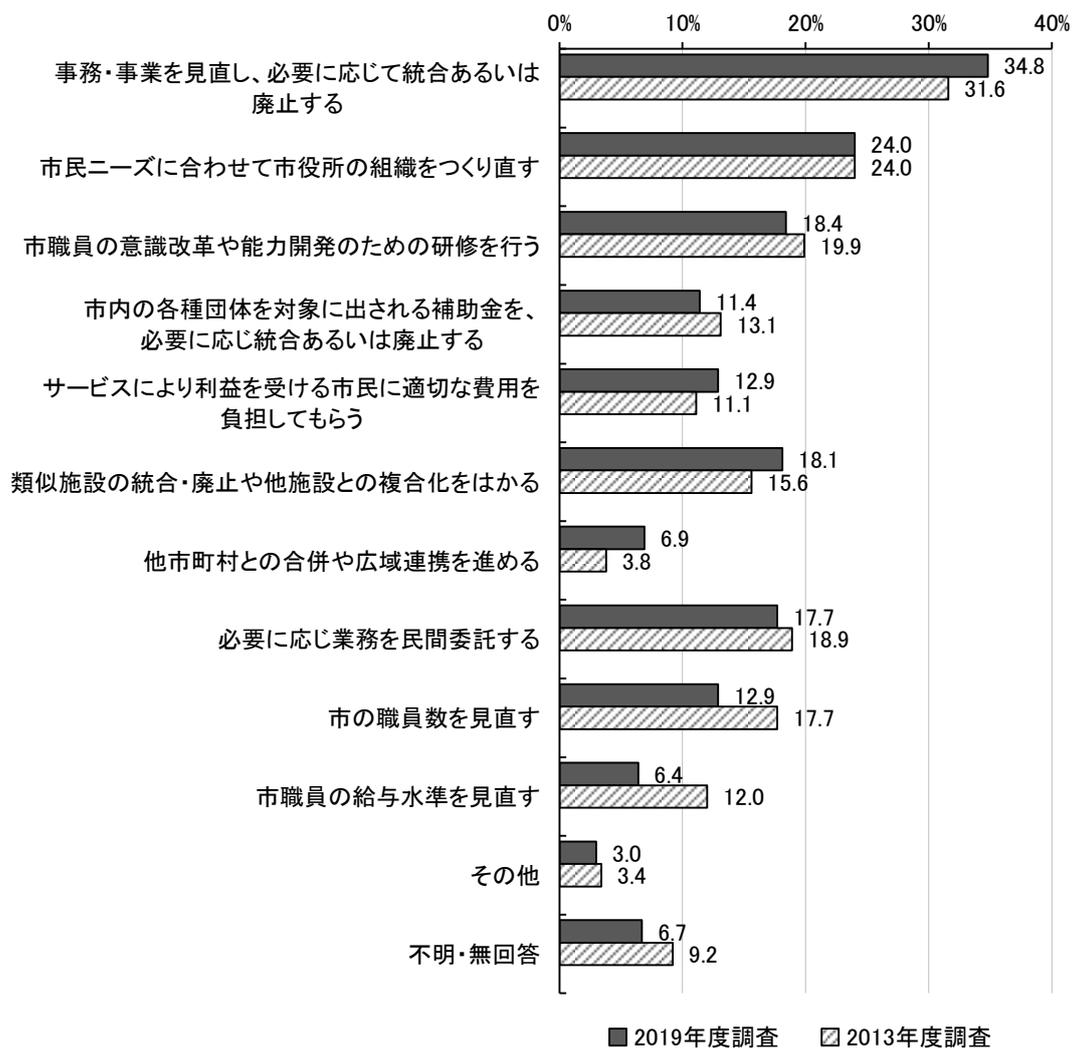
前回調査と比較すると、「市職員の給与水準を見直す」「市の職員数を見直す」の割合が低くなっています。

全体(N=922)



主なその他回答	件数
市会議員の数を見直す	2
老朽化した設備の更新により各作業の効率を上げる	1
市民との協働による市の負担軽減とサービス向上	1
安易な民間委託ではなく、スキルを持った職員による質の良い行政サービス	1
業務分掌を明確にし、職員の業務と責任を明確にする。一括管理する部門を設ける	1

◆前回調査との比較〔問31〕



年代別でみると、『80歳以上』では「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」、それ以外の年代では「事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が最も高くなっています。

＜問 31 年代別クロス集計＞

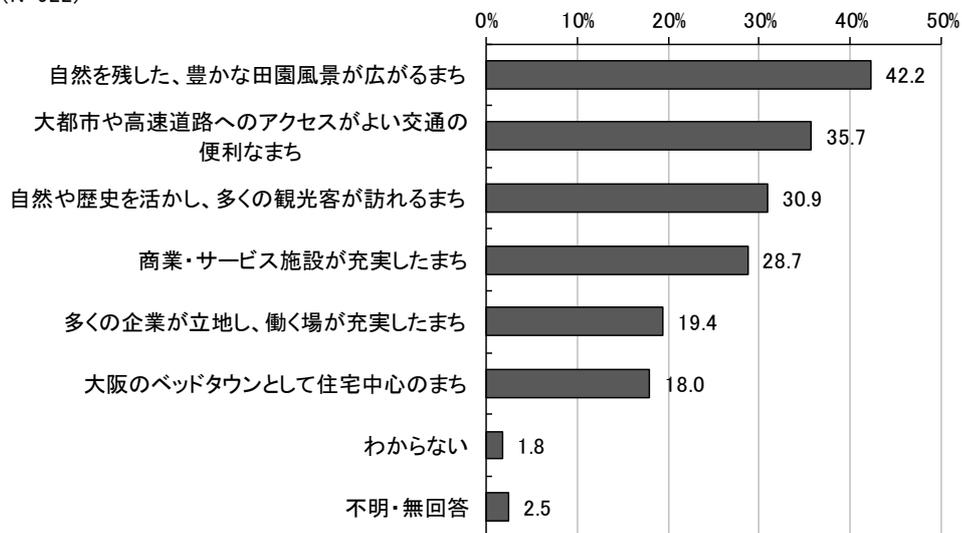
上段:件数 下段:%	合計	事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する	市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す	市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う	市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じて統合あるいは廃止する	サービスにより利益を受ける市民に適切な費用を負担してもらう	類似施設の統合・廃止や他施設との複合化をはかる	
全 体	922 100.0	321 34.8	221 24.0	170 18.4	105 11.4	119 12.9	167 18.1	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	10 47.6	9 42.9	3 14.3	2 9.5	5 23.8	4 19.0
	20歳代	74 100.0	26 35.1	16 21.6	7 9.5	8 10.8	12 16.2	14 18.9
	30歳代	84 100.0	29 34.5	21 25.0	10 11.9	9 10.7	15 17.9	12 14.3
	40歳代	153 100.0	54 35.3	37 24.2	26 17.0	16 10.5	23 15.0	29 19.0
	50歳代	164 100.0	66 40.2	33 20.1	30 18.3	18 11.0	19 11.6	28 17.1
	60歳代	150 100.0	49 32.7	43 28.7	26 17.3	25 16.7	17 11.3	28 18.7
	70歳代	188 100.0	64 34.0	43 22.9	45 23.9	22 11.7	22 11.7	40 21.3
	80歳以上	69 100.0	15 21.7	12 17.4	21 30.4	5 7.2	5 7.2	9 13.0
上段:件数 下段:%	他市町村との合併や広域連携を進める	必要に応じ業務を民間委託する	市の職員数を見直す	市職員の給与水準を見直す	その他	不明・無回答		
全 体	64 6.9	163 17.7	119 12.9	59 6.4	28 3.0	62 6.7		
年 代 別	19歳以下	- -	2 9.5	- -	- -	- -	1 4.8	
	20歳代	6 8.1	15 20.3	8 10.8	8 10.8	2 2.7	4 5.4	
	30歳代	5 6.0	20 23.8	8 9.5	6 7.1	2 2.4	4 4.8	
	40歳代	14 9.2	32 20.9	21 13.7	18 11.8	2 1.3	5 3.3	
	50歳代	14 8.5	29 17.7	21 12.8	7 4.3	5 3.0	11 6.7	
	60歳代	10 6.7	19 12.7	20 13.3	11 7.3	3 2.0	10 6.7	
	70歳代	10 5.3	30 16.0	26 13.8	5 2.7	11 5.9	12 6.4	
	80歳以上	4 5.8	13 18.8	13 18.8	2 2.9	3 4.3	13 18.8	

問 32 あなたは、河内長野市の土地利用などを含めた将来のまちの姿について、どのようになってほしいとお考えですか。あてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

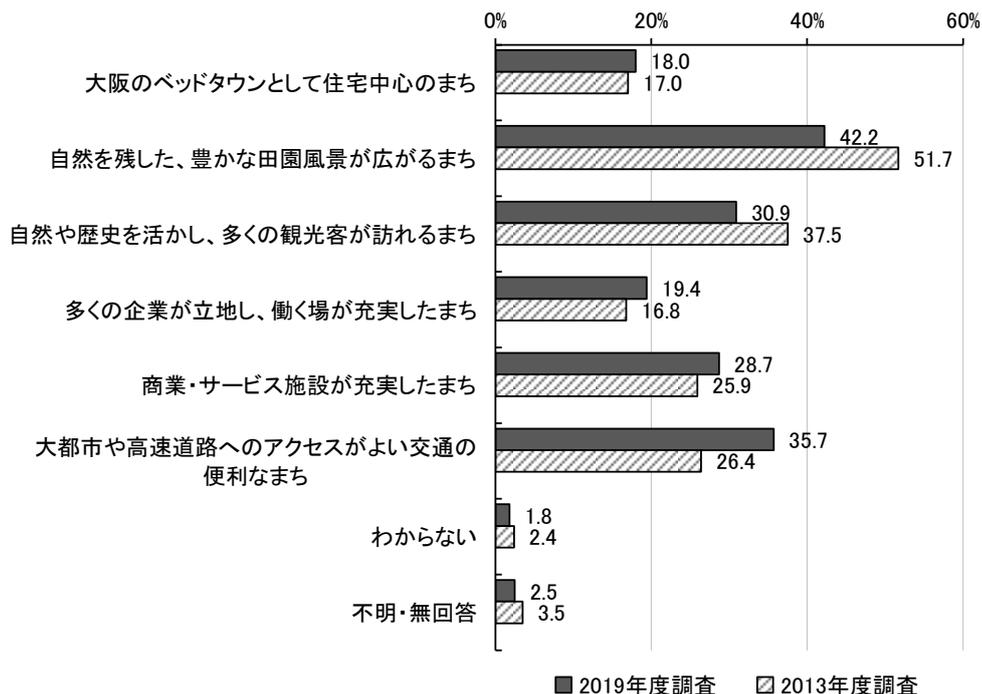
将来のまちの姿についてどのようになってほしいかについてみると、「自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち」が42.2%と最も高く、次いで「大都市や高速道路へのアクセスがよい交通の便利なまち」が35.7%、「自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち」が30.9%となっています。

前回調査と比較すると、「大都市や高速道路へのアクセスがよい交通の便利なまち」の割合が高く、「自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち」「自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち」の割合が低くなっています。

全体(N=922)



◆前回調査との比較〔問32〕



年代別でみると、『40歳代』では「大都市や高速道路へのアクセスがよい交通の便利なまち」、それ以外の年代では「自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち」の割合が最も高くなっています。

＜問 32 年代別クロス集計＞

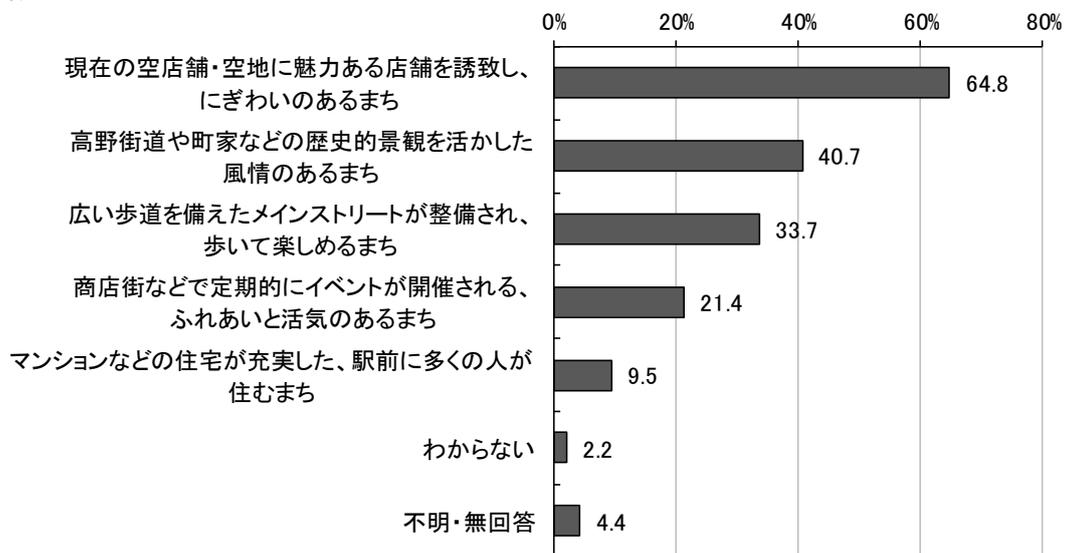
上段:件数 下段:%	合計	大阪の ベッドタウン として住宅 中心のまち	自然を残し た、豊かな 田園風景が 広がるまち	自然や歴史 を活かし、 多くの観光 客が訪れる まち	多くの企業 が立地し、 働く場が充 実したまち	商業・ サービス 施設が充実 したまち	大都市や高 速道路への アクセスが よい交通の 便利なまち	わからない	不明・ 無回答	
全 体	922 100.0	166 18.0	389 42.2	285 30.9	179 19.4	265 28.7	329 35.7	17 1.8	23 2.5	
年 代 別	19歳以下	21 100.0	3 14.3	14 66.7	8 38.1	1 4.8	1 38.1	8 4.8	1 4.8	1 4.8
	20歳代	74 100.0	19 25.7	29 39.2	21 28.4	13 17.6	25 33.8	23 31.1	1 1.4	1 1.4
	30歳代	84 100.0	21 25.0	36 42.9	20 23.8	12 14.3	30 35.7	29 34.5	1 1.2	1 1.2
	40歳代	153 100.0	24 15.7	53 34.6	47 30.7	37 24.2	57 37.3	62 40.5	2 1.3	- -
	50歳代	164 100.0	22 13.4	67 40.9	50 30.5	27 16.5	48 29.3	63 38.4	4 2.4	6 3.7
	60歳代	150 100.0	38 25.3	66 44.0	38 25.3	27 18.0	42 28.0	53 35.3	2 1.3	4 2.7
	70歳代	188 100.0	23 12.2	90 47.9	64 34.0	44 23.4	49 26.1	61 32.4	5 2.7	5 2.7
	80歳以上	69 100.0	13 18.8	29 42.0	28 40.6	15 21.7	8 11.6	23 33.3	1 1.4	4 5.8

問 33 中心市街地（河内長野駅周辺など）では、どのようなまちづくりを進めるべきだとお考えですか。あてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。（MA）

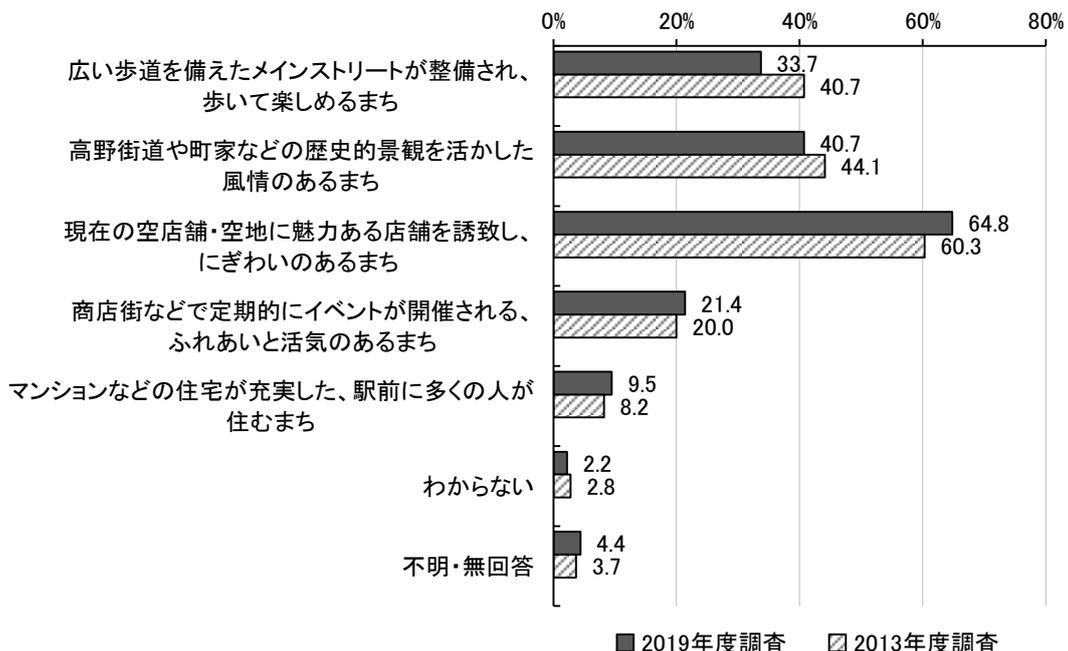
中心市街地ではどのようなまちづくりを進めるべきかについてみると、「現在の空店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち」が64.8%と最も高く、次いで「高野街道や町家などの歴史的景観を活かした風情のあるまち」が40.7%、「広い歩道を備えたメインストリートが整備され、歩いて楽しめるまち」が33.7%となっています。

前回調査と比較すると、「現在の空店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち」の割合が高く、「広い歩道を備えたメインストリートが整備され、歩いて楽しめるまち」の割合が低くなっています。

全体(N=922)



◆前回調査との比較〔問 33〕



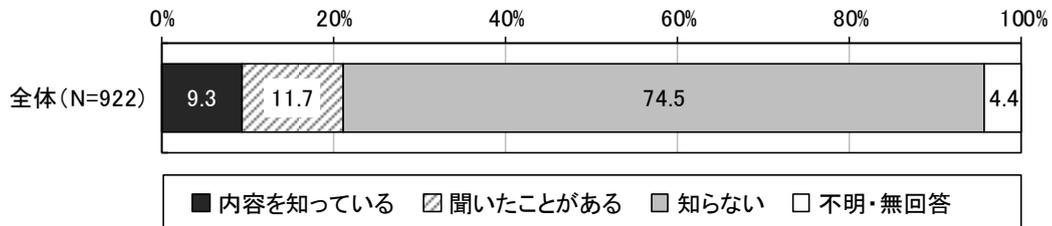
年代別でみると、すべての年代で「現在の空店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち」の割合が最も高くなっています。

＜問 33 年代別クロス集計＞

上段:件数 下段:%	合計	広い歩道を備えたメインストリートが整備され、歩いて楽しめるまち	高野街道や町家などの歴史的景観を活かした風情のあるまち	現在の空店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち	商店街などで定期的にイベントが開催される、ふれあいと活気のあるまち	マンションなどの住宅が充実した、駅前に多くの人が住むまち	わからない	不明・無回答
全 体	922 100.0	311 33.7	375 40.7	597 64.8	197 21.4	88 9.5	20 2.2	41 4.4
年代別	19歳以下	21 100.0	9 42.9	6 28.6	12 57.1	7 33.3	1 4.8	1 4.8
	20歳代	74 100.0	27 36.5	23 31.1	45 60.8	18 24.3	12 16.2	2 2.7
	30歳代	84 100.0	27 32.1	39 46.4	57 67.9	16 19.0	7 8.3	1 1.2
	40歳代	153 100.0	45 29.4	68 44.4	108 70.6	33 21.6	15 9.8	2 1.3
	50歳代	164 100.0	48 29.3	75 45.7	110 67.1	34 20.7	14 8.5	1 0.6
	60歳代	150 100.0	49 32.7	66 44.0	94 62.7	30 20.0	17 11.3	4 2.7
	70歳代	188 100.0	73 38.8	61 32.4	119 63.3	42 22.3	19 10.1	5 2.7
	80歳以上	69 100.0	31 44.9	26 37.7	41 59.4	10 14.5	3 4.3	3 4.3

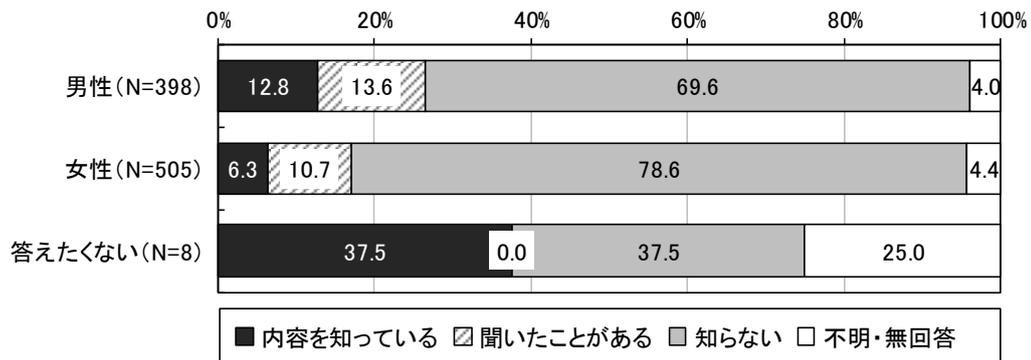
問 34 後期基本計画では、分野別計画の各施策と SDGs の目標を関連付けることを検討していますが、あなたは、「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(SA)

「SDGs」という言葉を聞いたことがあるかについてみると、「知らない」が74.5%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が11.7%となっています。



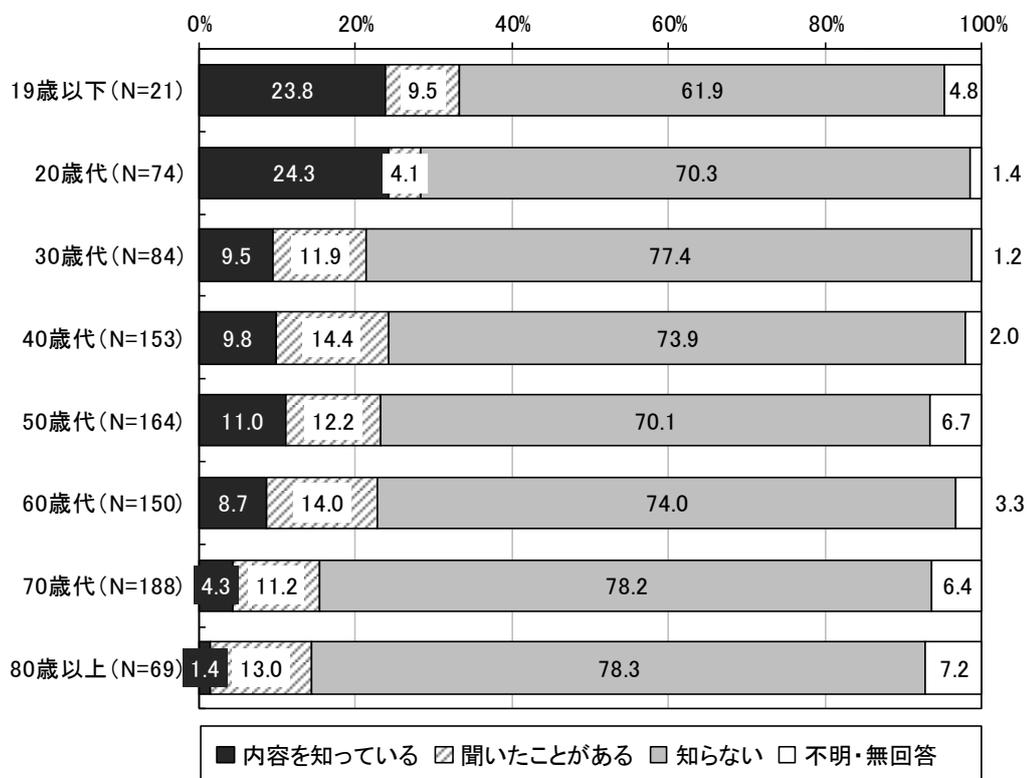
性別で見ると、男女ともに「知らない」の割合が最も高くなっています。「内容を知っている」「聞いたことがある」の割合は女性より男性の方が高くなっています。

<問 34 性別クロス集計>



年代別でみると、すべての年代で「知らない」の割合が最も高くなっています。20歳代以下では他の年代に比べ「内容を知っている」の割合が高くなっています。

＜問 34 年代別クロス集計＞



問 35 河内長野市をもっと住みやすいまちにするために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのご意見をご自由にお書きください。(FA)

【高齢者・高齢化社会・障がい者支援について】

主な意見
「お年寄りの町」と言われる。高齢者や障がい者が住みやすい＝市民が住みやすい町だと思う
高齢者の運転免許証返納が問題となり、社会実験として給付されているバスやタクシー利用助成制度には感謝している。単なる実験で終わらず、充実を願いたい
市と事業所との連携。例えば、老人の買い物サービスなど、市内のスーパーと連携し、サービスを充実させるべき
老人福祉を充実させないと、人口に対する老人率に見合っていない
高齢の親を持つ子どもも50,60歳代になっている。高齢者が入居できる施設の拡大・充実を図る。親の面倒を見る子どもに心労があり、疲れ果てている
高齢者への取り組み
介護をする働く世代への支援が必要。住みやすくするために、高齢者の多い河内長野市では、高齢者を支える世代を守るのだと思う
車に乗れない高齢者の買い物について、よい方法を考えてほしい
高齢化率府下ナンバー1という町はダメ
どの地域でも、日常的な買い物に行くのに困っている高齢者が多くいる。運転もできず、家族にも頼めない。コミュニティバスに乗るのも困難。そんな方たちがたくさんいる。少しでも安心して日常生活を過ごせるようにしてほしい
高齢化が進み、Webで何を発信しても半数の市民には伝わらない。市民だよりは捨てがちで、まずは河内長野市のことを自発的に知ろうとする心を育てるべき
もっと子育て世代が、市内で楽しめるイベントを増やしてほしい
高齢者が増え、若者が住める町になってほしい
人口が減少する中、中心市街地が多大な税金を使い整備を行っても、都市部に近い河内長野市民はそちらに流れていくから、今のままで充分。生活に必要なものは買うことができるので、便利である。山間地で生活している人々のことを真剣に考えないと、高齢化とともに、山や田畑は荒れ放題になり、インシシの被害が続出し、対策が急務である
とにかくお年寄りが多い市になっていて、活気がないと思う
免許証返納すると、駅前に出る、買い物するなど高齢者に対する移動手段の充実
少子高齢社会に市民参加できる政策を期待する
今後、高齢者の介護施設の設置
老人を働かす仕組みを作してほしい
高齢者が交通機関を利用しやすいようにしてほしい。堺市の友人らは、バス100円でどこでも行ける
今の河内長野に対するイメージとして、「お年寄りの多い市」「静かな街」のイメージがあるので、これをポジティブにとらえられたらいいと思う
独居老人への支援(声かけ、ゴミ出し、買い物や通院の支援など)
生協スーパーのお買い物マイクロバスが実家の方(田舎)に出ている。曜日を決めてスーパーを回るバスがあったらいいと思う。割引チケットなど捨てたりしているので、その分考えたらいい。チケットは送る、分ける、手間と費用もかなりいるので、やめること。大阪でも70歳以上バスは無料である
元気で活発な、明るい生活しやすい町へと願っている。高齢者が多くなると思うが、よろしく。いい町へととなりますように！
分譲地内の移動の店や、交通不便。高齢者は一人で無理。ツアーハウスのような高齢者住宅(施設)を増してほしい
河内長野市は、自然環境良好で、犯罪も少ない(警察に確認してください)住みやすい街と思うが、住宅地の住民の高齢化が進み、税収減少すると予測される。その反面、高齢者が増加し、市の福祉サービスの負担が増加すると予想される。この点の政策立案をお願いしたい
高齢者が多いので、施設の充実
高齢になっても将来安心して生活できる、住みやすいまち
市の中心部だけでなく、外堀の整備に重点を置き、まちづくりを進めてほしい。特に高齢化対策(交通・福祉対策等)が急務と考える
元気な高齢者が働ける場がある
小中学校の給食の無償化
高齢者もなるべく自活できるように
高齢社会になっていく中、行政、地域活動へ参加しやすくなればいいと思う

高齢社会の現状をみて、施設の充実とデイサービス事業所に対するいろいろなチェックをする
若い人が増えないのであれば、高齢者サービスを抑え、必要なものは高齢者からも徴収すべき。支えきれず、人口流出は防げないと思う。高齢者にも社会を支えてほしい
高齢化率ナンバーワンを誇りにできるような、年を取っても安心して住める街づくりをしてほしい
高齢化に備え、福祉の充実による、活気ある街並みを作っていくこと
高齢者が多い町…高齢者の住みよい優しい町を作っていくしてほしい
高齢化に伴い、配偶者と死別する人も多くなってきている。このような独居住まいの人を対象として、相談等の支援が必要。カラオケ好きな高齢者が増えつつあり、活動も活発になってきている。充実した施設や機器の整備、補助をしてほしい
年寄りの車の運転がひどすぎる！交通ルールの復習を、65歳以上は義務として受講できるものを作ってほしい
在宅介護をしている、家族の人などにも介護の講習や経済的な支援、手当などを支給する
核家族化が進み、高齢者や一人暮らしの人が多。交通や買い物など、高齢者や一人暮らしでも生活できるようにしてはならない。免許証を返納するのは難しいし、高齢者が自動車運転しなくても、不便のない地域づくりが必要
高齢者の免許を強制的に返納する代わりに、バス&タクシー乗り放題にする
老人会の活動が盛んで、母親も喜んで参加している。私たち60代も参加できる行事があれば良いと思う
バスの便が少ないので、堺市のように老人バスカードを発行してもらえるとうれしい
老人に、誰もがなってしまう。福祉の充実と、近所の人の見回りやお手伝い。まだまだ長生きしたいわ、と思える毎日を送ってもらいたいと思う
私は高齢なので、今回、11月号広報の中にあつた「フレイル予防」の中の「はじめませんか？ 気の合う仲間筋力アップ！」の活動は素晴らしいと思う。私も活用させていただきたい
高齢者が増加する中で、買い物に行くことが困難な地域への買い物バス等の運行サービスの検討
これからの高齢者に対する問題をどうするか？今すぐに答えが見つからずとも、対策が必要
免許証を返納したら、買い物等がちょっと不便になる。老後もしっかり自力で暮らしていけるような町になってほしい
高齢者の住みやすい町作り(市外から高齢者が移住したくなるような)
元気な高齢者にもっと市政に参加していただき、子どもたちとの触れ合いなど、心豊かな町になってほしい
少子化が加速する中で、高齢者にとっていかに住み続けていくことができる街づくりと、2世代、3世代と住み続けていくことができるかを、今からでも取り組んでほしい。高齢者にとって必要なサービスと、優しい町作りをお願いしたい
老後安心して過ごせると思えるような街づくりをしていただきたい
これからの高齢社会に伴い、医療機関の充実を徹底と、健康づくりに力を入れてほしい
高齢者や障がい者などが住みやすいまちに
老人など交通手段サービス等、もう少し考えてほしい
高齢者の増加に対する対策の強化
高齢者が住みやすい、または住むことのできる環境を整備
介護保険を利用せず元気で頑張っている高齢者にも、何か特典のようなものがあってもよいのではないか。外出することが元気の源なので、デイサービス等施設に行っている人たちと一律年間1000円では、少しおかしいと思う。
高齢者が増えているので、高齢者に優しいまちづくり。公共サービスの充実
高齢者がキラキラできる町。日中仕事をしていても安心して、高齢者が仕事または病院または体験施設または介護など、充実した日々を送れる町

【子ども・子育てについて】

主な意見
高齢者向けの設備の充実よりも、子育て世代に向けた支援に重視し、広く告知することが必要である
子どもがすくすく暮らせる街:実体験可能な遊具や広場の整備
滝谷周辺は、子育てに向いていない
保育園や幼稚園などへの入園に対し、補助金を出す
子どもが安心して遊べる、室内の広場
子どもの安全に対し、重要視すべき
市のイメージとして、高齢化した人口の町という印象がある。子育て世代や若者が住めるような、子育てしやすい町になるように期待する
若者がこの町で子育てしたくなるような、充実した教育や環境づくり。

<p>小学校の体育館を小学生のスポーツ団体が借りるのに、なぜ使用料が必要なのか？部活動として小学校が取り組まない現状を補って、ボランティアで活動している団体に援助金もなし、使用料を払わせるのは子育て支援の意味でも間違っている。10年以上前から思っているが、全く改善されない</p>
<p>子育てに対する環境が時代についていけないように感じる。小学校の運動会で、いまだに子どもと一緒に弁当を食べるとか、場所取りで深夜から正門で並ぶなど、他の市や府内では考えられない。今年は、親同士のトラブルがあってパトカーが来たと聞いた。おかしいことだと思う。時代の流れに追いつき、改善していく中で、中学校の給食導入などに力を入れてほしい。子育てする中で、住みやすくアピールすることができる</p>
<p>預かり保育への経済的支援</p>
<p>保育所を充実させ、若い世帯が子育てしやすい環境を整える</p>
<p>子どもの人口を増やす工夫</p>
<p>子ども医療費等の充実を図り、また子育て世帯への優遇を図り、他県、市、町、村河内長野へ移住したくなる取り組み。これにより、若年層増加により、市全体の高齢化、過疎化を防ぐ</p>
<p>どこに住んでもだが、同じ市内等近くに頼れる実家等がない場合、育児、仕事の両立が大変難しいため、働きやすさがあるととって住みやすいまちと思えるのではないかな？</p>
<p>若い人たち・子どもたちの姿が多くみられるような街となること</p>
<p>子どもの育成</p>
<p>若い子育て世代にこの町で暮らしたいと思える取り組み</p>
<p>「河内長野にはこのような制度がある」、と他市に住む人に自慢できるようなものが何もない。子育て世代により良い町作りをしてほしい</p>
<p>子育て世代への減税政策</p>
<p>老人福祉もいいが、子どもがいる世帯の手当等充実してもらいたい。インフルエンザ予防接種など、老人には補助があるが、本当に必要な小さな子供にはないのは、どうかと思う。先ほど、病院で接種した時、子どもの二回目の接種に悩んでいる方を見た。お金と相談してまた電話します、と言っていた。その前の裕福そうな老人は、補助が出ているらしく、「安くてうれしいわ」と言っていた。明るい未来のためには、これからの世代にお金を使うべきだと思う</p>
<p>子どもの数が減ってきており、1クラスの学年もあつたりする学校もあり、中学の部活の数が少ないので、小学校・中学校の校区の見直しも検討してほしい</p>
<p>子どもがいる世帯が優遇されるまち</p>
<p>昔の～ヶ丘の高齢化等により、子どもが減る。子育て世代が住みたくなる支援、小中学校の学力の向上（秋田県や石川県を見習う）、それに必要な教育、教員の採用・増員。経済的支援を、他を参考にしつつ、慣例に縛られない方策実施が急務</p>
<p>自然保護を継続しつつ、若い子育て世代が住みやすい魅力ある都市づくりが必要。特徴ある都市</p>
<p>子育て、教育にもっと力を入れるべき。高齢者よりも子どもへ予算を投入しないと、河内長野市の未来がない</p>
<p>育児支援</p>
<p>大学生の経済的支援</p>
<p>子どもが遊べる場所の充実</p>
<p>子育て世代の支援</p>
<p>子育てがしやすいような、母子学校や説明会を開いてほしい</p>
<p>子育てをしている立場として。居住地によって小学校、中学校が決まっており、そこまでの通学を考えると、遠かったり、危ない道を通らなければならなかったりと、不安に思うことがある。学校間格差が生まれるという危惧があるのもわかるが、「未来の日本を支える一員を育てるため」という視点から、学区の緩和を検討してもらいたい。また、働くママの姿を見て、「将来の私（私の妻）の姿」に対して希望を持ってもらえるような環境になってほしい。女性が社会に出て働くことを推進している中、現在の子どもにとっては、働くママは珍しくなく、自分の将来を描く際のロールモデルとなるはずである。子育てをしながら働くことができる、働いていることで生き生きしているママの姿を見せることは、子どもたちにとっても大切な財産となり、もしかしたら少子化を止めることにつながっていくかもしれない。家庭内のワークライフバランスが取れる環境づくりに取り組んでもらいたいと思う</p>
<p>子育て環境</p>
<p>子育てがしやすいまち。ここで子育てがしたいと思えるまちにしたい。そのために子どもたちが安心して通える通学路や防犯に力を入れていった方がいいと思う。お年寄りの方が多いように、その年代の人にも安心して暮らせるまちへ新規で住む子育て世代のための、働きながら子育てしやすい施設づくり</p>
<p>子育てしやすい町</p>
<p>子育て環境を充実させる</p>
<p>・“妊娠から出産、育児へと、切れ目のないサポート”について、本市では、ママパパ教室や、子育て支援拠点による子育て支援活動の数は充実していると感じる。しかし、妊娠期からの切れ目のないサポートを目標としているのであれば、“個別に”継続して相談にのってくれたり、対応してくれる人の存在があると安心できる。例えば、母子手帳発行時</p>

に、担当の人を紹介してくれると嬉しい。そういう人が居てくれれば、誰に相談したらよいのかもわかりやすい。その人と関係を築いていく中で、さらに、気軽に相談できるようにもなっていくのではないかと考える。(そういうシステムもすでに存在しているのかもしれないが、明らかに支援のいる人だけでなく、すべての母親を対象としてほしい。一見問題がなさそうに見える母親でも、一人で抱えていることもあるのではないかと)

・子ども医療費助成事業について、“対象年齢を拡充して”られていることはありがたい。大阪府下で統一されているのかもしれないが、例えば和歌山県では、子ども医療費は無料であると聞く。「子育てしやすい町」として口コミで評判の隣接市の狭山市や、子ども医療費無償の和歌山県に挟まれている本市に、子育て世帯を呼び込むために、子ども医療費無償化はできないものだろうか。府下で統一されているのであれば難しいのかもしれないが、無償化できれば、河内長野市での子育てに関する魅力は大きくアップすると感じる

・受動喫煙について、河内長野駅の陸橋や、市内各駅周辺の歩道で、煙草を吸っている人が多い(歩き煙草の人が特に多い)。子どもの受動喫煙を考えると、大変悪い環境にあると感じる。受動喫煙は、子どもだけでなく、大人の身体にとっても悪影響である。妊婦さんが、喫煙者の煙を浴びている姿を見て、ぞっとしたことが何度もある。河内長野市の条例がどうなっているのか、調べられていないが、条例で禁止されているのであれば、もっと取り締まりを強化すべきではないか。もう『敷地内』禁煙だけでは、子どもへの影響はカバーしきれないと思う。条例が“禁煙”と定めていないのであれば、国が禁煙を進めている中、時代に合わせた対応をしていくべきではないだろうか。大阪府が行うことよりも、先駆的な対応をすることで、河内長野市の子育て環境は魅力的なものになると考える

子育て支援

【若者について】

主な意見
若者が多く住む、活気ある街づくりをする
若者が住みたくなる町づくり
若者が住みやすい町づくり(補助金の見直し)
若い人たちが帰ってこられるように、お店など遊べるところなどがあればよいと思う
魅力ある企業や学校が増え、若者が住みやすくなること
若者が集まり、子どもが元気で、高齢者が生き生き過ごせる市に
私の地域でも空き家が増え、若い人・子どもが少ない。高齢者にも住みよい町にしてほしいが、とにかく若者が住みたいと思えるような、教育の充実、子育て支援(中学校の給食など)、空き家を安く貸すとか、若い人が増えれば、お店も増えるであろうから。働く場所も必要かもしれない
若い人が住みやすく、賑わいのある町づくり
市も高齢化が進んできているので、若い人たちがもっと河内長野で暮らしたいと思えるような、自然だけではなく、もっと魅力のある市になったらいいと思う。でも、高齢者も多いので、手厚い福祉サービスも必要だと思う
若い人たちが住みやすい町にして、子どもたちが増えるような町
人口減少、高齢化が進んでいる現状を少しでも和らげるため、若者が住みやすい町にすれば、河内長野に住みたいと思える人が多くなると思う
これから大人になる若者の意見も、どんどん取り入れてほしい
高齢の街になってしまっているのは仕方がないが、若者に魅力のある町、賑わいが全くないと感じる。何をしても他市に比べて遅れている。町を活性化、を考えてほしい
公園や広場を作ったり、中学校の全員給食を実現して、若い世代が住みやすいようにしてほしい
和泉市のように若い世代の方々が住みたいと思えるような街づくりがないと、どんどん高齢者世帯が増え、若い世代の負担が徐々に増す。自治会の仕事など、不公平感を感じる場面がある
若者が魅力を感じる街に
若い人たちも楽しめるような施設が必要だと思う。今のままだと他県・他市へ流出してしまい、高齢者ばかりになってしまおうと思う
若い人が住みやすい街なら、芸術家が住み、展示会が行われる
多くの空き家等の活用を促進し、若い世代の人口を増やしていかなければ、街は活性化しない。高齢者も大切だが、若者に向けた施策をどんどん提案・実行してほしい
高齢者が多く、そこにお金を使うより、若い人やその子どもが喜ぶお金・人・施設の使い方を考えないと、自然豊かな墓場になる

【移住・定住・人口について】

主な意見
移住者を引き付ける仕掛けが必要。豊かな自然を生かした街づくりを期待する
若者達が好んで居住できるよう望んでいる。そのために、自然環境に恵まれていることを他市にPRする
若い新婚世帯に補助金を出し、居住誘致する
人口減少は仕方がない。市のブランドを作り、質の向上を図る
外部からの人を受け入れ、活気を生み出す
マンション建設(駅前・駅近)で、人口増加を目指す
子どもが生まれても、高齢になっても、安心して暮らせる町が人を呼び、活気がある市になれるのではないか
若い世帯が移住してくるようなまちづくり
高齢者が住みやすい街、若い方が大阪市内に出でいかないように魅力のある町づくりをお願いしたい
駅前の好立地にマンション等を整備し、人口流出を防ぐ
河内長野市のことは好きだが、次の点が改善されなければ市外への転出を考えざるを得ないと思う。 ・高齢者が多すぎる ・子どもの減少率が著しい ・若年層が住み続けづらい ・交通手段として車を持っていないと生活できない これらを少しでも解消していくような方針を出してもらいたいと思う
人口減に歯止め。学校の誘致等で町の活性化
かつては高所得者が〇〇台に家を建て、大阪市内で働くというスタイルだったが、彼らはリタイアし、家を安値で売り転出していき、今残っているのは親との同居か老人という人が多い。本気で子育て世帯の人口を増加したいなら、保育施設を駅前に建て、夜9時まで保育可としたり、病児保育の施設を作るなど、できることは山ほどあるはず。若い世帯がいないと、企業誘致もできないし、街の活気もなくなっていく。人口構成上仕方がないのかもしれないが、極端に老人ばかりに福祉が施されているように思う
人口を増す
少子化対策として、若い世代の増加・子どもの増加
人口を増やすための政策…「難波から電車で30分」と、意外と便利な土地であることは、府内他市の人にはあまり知られていない(自虐的ですが…)。北摂より地価も安く、広い一戸建ても手に入れやすいことなどを、梅田のビッグマン前の広場などで広くアピールしてみてもどうか。空き家対策、住宅開発も率先していただき、活気のある河内長野市になれば、防災や防犯分野でも、満足度の高い町になると思う
人口増加のためには、新規移住者への補助が必要
30数年前に開発された住宅団地の高齢化が進んでいるようである。若い人たちが少し入居している地域もあるようだが、もっと若い世代が増えるような魅力のある施策が必要だと思う。近隣の和泉市は人口も増え、活気もあるように思う。市同士の交流等で参考にされたいと思う
産業を発展させて、人口減少を食い止めたい。会社が橋本に移転するのはなぜか？
地域によっては、高齢化が進んでいる。また、空き家も増えているので、そういう場所に若い世代の方が来られたら、活性につながるかと思う
住みやすいまちにするのも大事だが、そのためにはある程度の人口の維持が必要だと思う。そのためには、若い人たちに住み続けてもらい、さらに他市からの人を呼び込める魅力が不可欠である。将来のことを考えると、若い世代に向けた施策を充実させた方が良くと思う
税金を増やすための方策を推進する必要があると思う(団地の空き家に新規移住者を誘致するための優遇措置)
官民一体となって安全な街づくりを推進し、安全で住みよい街であることをアピールして、より多くの住民を誘致する
人口増をしなければ、活性化しない。他県からの移住を進める
高齢者が多いので若い家族たちに住んでもらえる市を目指してほしい。小学校も生徒数が減り、町中に活気がなくなるのは、商業も減退し、人口の減少につながるからである
河内長野というと、他市の方はすごく大阪市内から遠い、和歌山近くといったイメージがあるようで、なんばまで電車1本、泉北の方と変わらないんだという交通の便利さを広く知ってもらい、若い世帯にたくさん住んでもらうことが大切だと思う。観光よりなにより、子育てしやすい町。都会までも出やすいということをアピールし、住宅地として拡充するべきである
若い人たちを呼び込めるような、活気ある街になってほしい。それには、大きな商業施設も必要だし、道路も整備し、住環境も空き家の利用とか、今の府ではナンバーワンの高齢化の状態をこのままでは、ますます市として衰退していく危険がある
若い人たちが住みたくなるような施策を他都市よりも先に実施し、定住させる必要がある。子育て支援の一層の強化をし、他との差別化を図り、全国的にPRする。人口を増やすことで町自体も活性化し、お年寄りとお若者が共に住みやすい

町になるとよい
他市から若い年代の人たちが住み着いてくれたらありがたい。それには、子育て世代に魅力的な街づくりを希望する。例えば、空き家住宅を低額料金を提供したり、農業や林業などに就きたい若者には支援するなどである
歴史的にも文化的にも、環境的にも素晴らしいところであるので、若い世代の方々に住んでいただけるようなアイデアを、若い方々に募って、日本中に発信することが必要かと思う。地域力・ご近所力で、小さな単位での助け合いの輪が広がるように、皆で考える場、きっかけが必要か考える
他の市からの受け入れ強化
これから先、どんどん高齢化が進んでいってしまうと予想する。新しく、河内長野に住みたいという魅力を出し切れていないと思う。広い土地を利用しての、一大スポーツ産業(Jグリーンのようなもの)があればよいと思う
これから河内長野に住みたいと考える人を増やし、もっとその人たちが住みやすいと感じるにはどうすればいいか予想し政策を練る
いろんな問題を解決するには、税収による資金も必要となるが、人口が減り続けているこの町には将来性がない。家さえ売れば、今すぐにも出ていきたい。住みやすい町にするための意見は、出すだけ無駄だと思う
最近の河内長野は、人口が減って活気がないと思う。活気を取り戻そうとしても観光などでは難しいと思うので、団体競技スポーツのチームを誘致するとかして、市民の人が応援できるようなチームがあれば良いと思う
河内長野駅前をもっと整地して、金剛駅・堺駅のように若い子の住むエネルギーのある町にしてほしい。他市の人と話をしても、河内長野は昔のままだなあ、とよく笑われる。土地を広く使って若い人を呼び込んでほしい。本当に河内長野は寂しい町である
人口増加
若い人が増えるような取り組みと、高齢者が安心して暮らせるようにしてほしい
人が集まってくるような、環境づくりをお願いしたい
豊かな自然や農業、文化遺産など、都会にはない魅力をもっと押し出して、若者や移住者を集め、活気ある街づくり
市の活性化のためには若い子育て世代に移住してもらうことが必要ではないかと。河内長野に住む魅力をわかりやすくPRできたらなと。となりの富田林では妊娠から家事ヘルパーを市の制度で利用できる。そういう具体的に使える制度を充実させてほしい(正直ファミサポは使いにくいので)。他の市より一歩先んじた制度があれば、PRしやすいのではと思う。学童保育などで特色を出せたらいいのと思う。働く女性が多く、放課後の子どもの過ごし方は大事かと思うので、そこに人件費をかけて、手厚くしてほしい
毎月人口が100人くらい減少しているようだが、隣の市と合併するとか…
住みやすく魅力あるまちづくりをどんどん進めてほしい。人口も少しずつ減ってきているし、まちとして元気がなくなってきているように感じる
安く買えたり、借りれる一軒家があればのびのびと子育てをしたい新規移住者が増えると思う。人口が増えれば活気も出てくるし、産業もうまれるのではないか
人口減少に歯止めをかけるための、若い家族の補助

【健康・スポーツについて】

主な意見
健康的に暮らせる街：遊歩道やウォーキングコースの設置、テニスコート、小グラウンドの拡充
三日市町のサンプラザ側に喫煙ルームを作してほしい！改札前のベンチでタバコを吸っている方がとても多い。禁煙ポスターをたくさん貼っていただいているが、全く効果がなく、禁煙ポスターの下で堂々と吸っている。喫煙ルームを作れば、吸う人も吸わない人も嫌な思いをしないと
スポーツ施設ひとつについても、新池、赤峰、下里と空いている場所にバラバラ作る、一体的な構想のもとに作ったといえない。ましてや荘園のテニスコートなど、駐車スペースも少なくコートはひび割れ、雑草が生える、日よけ、雨宿り場所もない。あれでオーパス抽選コートは情けない。使用頻度が少ないのは当たり前である！
三日市駅東から延命寺下間(約2.4kmある)をウォーキング、ランニングコースとしてメートル表示を道路脇に建てたらいと思う。毎朝ウォーキング・ランニングをしている人が20人以上いる。故に表示があると、自分の秒速がわかって良い。高校生のランナーが育ってほしい
幅広い年齢の人が住むようまちづくりをしてほしい。スポーツ対応の設備の増設など
スポーツ施設が充実したものが欲しい。野球場が特に少ないと思う。寺ヶ池球場では少し古すぎると思う。税収を増やすためのスポーツ施設駐車場の有料化にはびっくりした。反対

【救急・医療・福祉について】

主な意見
夜間診療がある、内科・眼科・耳鼻科・外科・皮膚科等、安心して暮らせる地域が希望。16時までや19時までではなく、その時刻以降に診察可能であれば心強い
仕事で河内長野市に移り住み、現在は年金暮らし。これまで救急車で搬送されたことが数回あり、近隣医療機関がなく他市に搬送された後、別の病院に転院した。意識のない状態で運ばれ、医療費をごまかされているのは明らか。高額医療請求窓口でも担当者は最悪だった
緊急時での対応可能な医療機関
買い物弱者対策として巡回販売車制度が導入されているが、広範囲での導入を図ってほしい
子どもが利用する病院の充実
医療の充実(近代病院移転後の救急対応が不安。南医療センターのみでは、対応が困難だと思う)
市の内側に焦点を当てるだけでなく、大阪市内から世界遺産の高野山に向かう通り道にあたるため、海外の人も含めた市外の人にも存在感ある市になればいい。全国にある似たり寄ったりの商業施設を目指すより、高齢化を見据え医療を充実させ、安心して死ぬまで住める地域が理想である
大病院がほしい
急病で救急車を呼んでも、一時間以上受け入れ先の病院が見つからず、放置状態だったことがあり、近大病院もなくなり、この先不安が強く、すぐに受け入れてくれる病院が欲しい
新婚家庭、子どもがいる家庭だけではなく、高齢家庭、離婚後の女性にも、経済的支援が必要である
住民健診、胃はバリウムか胃カメラ(費用個人負担何割か?)で選べるようにしてほしい
総合病院がないこと
バリアフリー化
病院の数
狭山の近大病院がなくなるそうで、手術・重要病気の場合今までは通いやすかったが、遠くになり、年寄りには通えないため、何とかならないか?だから、南大阪医療センターの充実をお願いしたい
救急搬送時の不安を解消させる。救急車はすぐに駆け付けてくれるが、受け入れ先がなかなか決まらない。対応できる病院の刻々の情報を入手できるシステムの構築が必要。近畿大学病院の撤退後の不安を減らす
以前、高齢の親が大手術後退院した時、ケアマネ、訪問看護、ゴミの個別の収集など、大変お世話になった。連携してサポートしていただき、介護する身として、精神的にとても支えになったこと、感謝している
小児医療、救急医療、本当に必要な世帯への経済的支援の充実
急患の病人を受け入れてくれる病院(夜間・休日)を増やす。
少子化対策も必要だが、まずは安心して暮らせる福祉サービスの充実を…(デイサービス、年金、公共交通の充実など)。病気の親を抱えて、自分の仕事もなかなか続けられず…いずれご相談させてもらうことになると思っている
これから一人住まいの家が増えると思うので、入院等の支援、病院等の推進
特定健診の項目に、60歳以上の場合、視力検査と聴力検査を追加していただけたらありがたい
救急車を呼んだ時、病院の受け入れがなかなか無くて困った
心の専門家の配置
医療機関を充実させ、高齢者にも子どもにも対応できるようにする
周辺町村との様々な面での比較。医療費の補助など。税金で違いはあるものの、子どもの医療費で大きく違いがあった。実体験で
診療所などへの予約診察の提案など
福祉制度の充実
福祉が充実し、住みやすい街づくり
高齢者医療の充実
高齢者にも子どもにも優しい町。福祉が充実した町
病院の充実

【教育について】

主な意見
教育の質の向上
小中学校の横のつながり
学校の緑の環境を良くする
町の資源として発展しうるのは教育である。他市と比べ、教育に費やしている予算は高数値だが、教育現場では教員数がシンプルに枯渇し、教員はすり減り疲弊している。教員数を増やす方向に予算を与えられれば、教員一人当たりの労働時間・負担が減り、子どもに与えられる教育も向上するのではないか
河内長野市は、教育自治体として登録し、教員数が多いことが知れ渡れば、優秀な人材確保に繋がる。質の高い教育・人材教育・国際教育などを通じて、考える力のある市民が育ち、持続可能な発展をする市として、豊かになるのではないか
若い人が定住できるように、教育・環境を整えてほしいと思う
小中学校における支援教育の充実(人的環境など)
学校のレベルを上げる
将来のために子どもが市外の学校を目指すのもわかるが、何とか地力のつく教育施設(高校まで)の実現は無理か
子どもの小学校が1~2クラスだったので、将来的に廃校の不安も感じている
公立小中学校の統廃合による大規模化。スクールバスの運用(1校1000人程度)
河内長野の未来のために大学校が必要である
現在の小学校、中学生に対して先生と学校の対応が行き届いてないと思う
学校に関しては、他市より文化的行事やスポーツ参加の機会がない
何より、小中学校の治安と教育の質がとても悪いので、早急な対策をお願いする。学校のような地域のシンボリック建物がこうだと、周りまで環境が悪くなる
高齢化が進み過ぎて、子育て世帯中心よりは、高齢者世帯中心になっているように思う。どちらも大切だが、マイノリティである子どもの環境を第一に考えることが、今後もっと住みよい町になると思う。「教育のまち 河内長野」。学力重視ではなく、自然を活かした体験学習や地域とのふれあいを通じた学び等、市内(都会)ではできない学びを売りにしてほしい。これからの時代を生き抜くための自立学習、探求心をはぐくむ教育を行ってほしい。また、小学校のクラス編成に不満がある。もっと少数制で、子どもが主体性をもって調べたり発信したりできるよう、お願いしたい
教育、文化環境を充実させるべきだと思う
子どもたちが成長していくうえで様々な能力を持ったとこを活かせるような教育をする学校をつくっていく。これからの人たちが住みよい町にしていく。小さい子どもたちが増えれば、徐々に活気が出てきて、高齢者にも住みよい町になると思う
児童・生徒に対する道徳観・倫理観の養成
学校の教育に、さらに注力してほしい。新しく来られる人たちに対して、魅力ある学校があるならば、市のいい宣伝になると思う。現状、学力水準があまり高くないように感じるのは、私の思い過ごしだろうか
小中学校の給食を、子どもたちの満足できる形になれば、と思う
・高齢化が目に見えて進んでいる。子どもの声を聴くことがない。子どもの元気な声は、街の活性化につながる ・子どもたちの夏のラジオ体操の期間が短すぎる。朝から「うるさい」という年寄り、この町から立ち去るべきだ ・「いじめ」問題、学校職員や教育委員会は、頭を下げる前にもっと連携して事前に抑えるよう、しっかりしてほしい
子育て世代なので子育ての事ばかりに目が行ってしまうが…公立幼稚園をなくすのは、どうかと思う。私立に空きがあり、無償化も始まったが、私立は給食費や雑費もかかる。また、公立の幼稚園は公立の小学校と連携できるという利点がある。公立幼稚園は、休園させるのではなく、園児の預かり時間数を増やしたりして、園児を増やすことを考えるべきだったのではないかと他市はどのように工夫している
今の自然環境などは残しつつ、子どもを育てる環境をよくし、人が集まりやすい地域にすること。まずは中学校の給食の開始を望む
子どもへの教育の充実
教育の充実
子どもの交通マナー、特に自転車走行のルールがひどい。高齢者が自転車で道路を逆走している。高校生がバイクで夜に歩道を走行していた。学生に社会常識の教育を！ いじめ問題には教師より警官から指導！学校教師の質が低すぎる。社会常識、礼儀の欠落。特に女教師には失望している。言葉遣いが悪すぎる。正しい日本語を話してほしい。タメ口は生徒に近づく手段じゃないし、見苦しい。父兄にまでタメ口とは…
中学校での給食、全員が頼みたくなくなるようなおいしいもので、購買で買えるもの(おにぎりなど)を充実させてほしい。お弁当を注文できるシステムなどもあればうれしい

【自然・景観・歴史・文化について】

主な意見
豊かな自然は残すべき
アンケートの趣旨とは離れるが、だんじりについて意見したい。地域の昔からある秋祭りは全国各地にあり、年代を超え協力して行う大切な行事だと思う。しかし、国道を一時的に止めるのなら理解はできるが、迂回させ進入禁止にし、迂回ルートの案内に説明もまともにできない地元の男性が、面倒くさそうに警棒を振っていた。地元民なら抜け道のようにわかるルートでも、他県他市の人たちが和歌山方面に向かう際、だんじりに遭遇し、住宅街を迷われ誰の理解も得られず、反感を買うことになる。だんじり周囲のことだけでなく、影響を及ぼす全ての面にも対策を講じるべき。無理ならば、だんじり曳行の範囲を縮小すべき。まったく興味のない人達からすれば、だんじりなど反社会勢力の目立ちたいだけの迷惑行為にしか見えない。試見曳き1日だけで充分である。秋の気持ち良い季節を台無しにされ、不愉快である。地域任せにせず、行政で交通整理を積極的に参入して徹底してほしい。改善を願う
自然と観光資源を活かした、活気ある街づくり
自然環境が多く含む町にすること
都市に近く、自然も多く、住みやすい市であると思うが、便利さの上に便利さを追及するのではなく、古いものにも良さがあることを知る。先人の工夫など“発見”できる魅力的で、人生を楽しめる豊かな所になってほしい
地域にある神社での神事をきちんと行う
河内長野市は貴重な自然が多く残っているが、市のあらゆる情報を見ても皆無と言っていいと思う。市民の皆さんに知ってもらおうのが良いと思う
街並みの景観などを重要視してほしい
自然をもっと活かす
文化度が低いと思う
今現在、自身健康で、車の運転できるので、駅からのバスも日中少ないが、駅から4キロくらいのところに住居あるが、特に不自由感じない。駅前に駐車場も借りているし、空気のきれいなこの町での生活、満足している。足も年の割に歩けるし、少し高台にある自宅は夜景もきれいだし、冬の金剛山には夕日が当たり、ため息出るほど素晴らしい。台風の影響も山のおかげで厳しくなく、雨の冠水も心配なし。異常気象これからも続くと思われるが、この辺りはありがたい地域と満足している。少々の不便より、空気もきれいなこの町に居続けたいと思う今日この頃である
自然と歴史的景観の維持
自然を活かした街づくりを進める
歴史、文化遺産をアピール(説明板等の充実)する
文化芸術活動への援助
一部の方のみ楽しんでいるお祭りなどは、文化ではない
ヤンキー層とその子どもによる景観とイメージの悪さから早急に脱却してほしいので、そういった層への再教育という意味でも、「だんじり」などのコンテンツは別の市に集約されてもいいと思う。私の職場も多大な迷惑をかけられていて、応援したいと思えない
自然をたくさん残したベッドタウンにすること
河内長野といえば〇〇だ、と答えられる街づくりを期待する。文化、歴史が点在しているのだから
自然が多いので、その特色を活かした街づくり
だんじりなど、迷惑行為が目につく場合は指導し、どんな人が見ても楽しめるようにすべきだと思う
自然環境は今の状態を保てるようにしてほしい
転勤等で他府県に移住したことがあったが、戻るたびに河内長野の水のおいしさと、自然が多く空気がおいしく感じられた。よい町である
昔からの風習(祭りなど)がもっと活気あるように。関わっている人たちも、そうでない人も楽しめるようなイベントがあればと思う
自然を活かして、いいところを外に発信してほしい
外から来た者にとっては、だんじりに参加することは苦になることもある。参加者も減り、地域でのだんじりを続けることの意がわからない。まつりの通行止めは不要かと思う。無理せず止めてもいいのでは？
新しいことへもチャレンジしていただきたいが、河内長野ならではの歴史を大事にしながら緑豊かなまちづくりをお願いしたい
自然を活かした都心に近いトレッキング地

【防犯について】

主な意見
一旦停止などをしない車が増え、モラルの低減が見受けられる。防犯カメラを多く設置し、市民の意識を高め犯罪を減らせれば、住みやすくなる。実際に、自宅の敷地内に不審者が侵入し、植木鉢を盗まれた
野作公園近くは、暗い
寺ヶ池公園の遊歩道に外灯が少ない
防犯の設備や子どもたちの安全、および安全に遊べる自然環境
安全面からは夜にまだまだ街灯がない道など多々あり、安全面から対応が必要
防犯の充実

【防災について】

主な意見
災害時、避難場所まで歩行困難なため考えてほしい
川の近くに住んでいて、二度あふれた。役所へ何度も工事を依頼するが、順番もあり未だにそのまま。台風が来るたびに心配になる。定期的に地盤調査などし、ブロック塀も高くしてほしい
近年、大雨洪水の被害が毎年のように全国で起きている。河内長野市の中心部は、段丘という特殊な地形で、川の氾濫は少ないと思う。しかし山間部は土砂崩れ被害は避けられない。特に地域の孤立が問題である。そのためには、早期の避難情報と避難場所および安全避難路の発信・周知が必要と思う。
台風、大雨など、土砂災害が起きている地域は、即に対応し、市民を安心させることが重要！市での予算などの問題もあるが、災害には市をあげて取り組むことにより、市民も、「よくやってくれてる」という声があがってくると思う
災害に強いまちづくり
とても難しいことだが、自然災害に強い市を希望する
急に動けなくなったり、災害で助けてほしい時などにすぐに通じるベルの設置を考えてほしい
住宅地内居住者は高齢化が進み、なおかつ坂道が多いため、災害時に誰が救助・誘導するのか、組織ができていないので、具体化して有事に備えることが必要
台風等の際、避難の放送が流れるが、何を言っているのか全く聞き取れなく、毎回残念に思っている
自然が多い町なので、台風・地震が起きたときに、山崩れ・古い木の倒れないように事前に防ぐ必要があると、自動車に乗っているときに思う
「住みやすさ」に着目すれば、現状で及第点だと思う。少ない予算で高齢者福祉、子育て環境、インフラ整備、観光開発等に取り組む前に、まずは安全第一と考える。防犯、減災
・市民の安心安全を守るための対策の強化 ・災害から市民を守るための対策の強化
災害に対応する施策
台風や地震などの自然災害が増加する中で、災害に強い町作りの実現が望ましい。特に最近の気候の変化、変動等

【交通安全について】

主な意見
信号のない交差点に毎朝交通安全の方が立ってくれているので、ぜひ続けてほしい
街灯や信号をもう少し増やしてほしい

【商業について】

主な意見
商業施設が必要。他市から来ると思う
大きなショッピングモールがほしい
週末に外出したくなるような、ショッピングセンターがほしい
河内長野駅前商店街のシャッター街は、早く明るい商店街にする必要がある。昼間でも暗くて気持ち悪い
大型商業施設が一つもない
イオンなどの商業施設がない
便利さ、活気

駅前商店街の充実
身近に買い物ができる施設を増やす
買い物が便利になるように、高齢者・妊婦・小さな子どもがいる人でも困らないようにする
運転しないので、駅近に飲食店や大型ショッピングセンターが欲しい…どうしてサンプラザばかり？
ららぽーとのような大きな商業施設があればよい
過疎化しないように、もう少し企業や商業の充実が必要
人が集まるところが少なく、商業施設等の取り組み
一番に、駅前をもっとにぎやかにしてほしい。ノバティの中のお店も少なくなる一方である。もっと店を増やして、人がいっぱい集まる河内長野駅にしてほしい。服や雑貨他、都心に出なくても買えるようにしてほしい。若者がもっと集まる駅にしてほしい
ロードサイド店誘致
駅前商店の活性化
活気ある商店街を興す
イオン等の商業施設誘致
駅周辺に活気を、駅から離れたところには緑やレジャーランドを
駅の空き店舗をきれいにしてほしい
河内長野市にもショッピングセンターが必要。センター内に商店を募集。駐車場が問題
空いている土地や店舗がもったいないので、有効利用してほしい。大矢船にコンビニが欲しい。歩いていけるお店がないため
10数年前に河内長野に越してきたが、河内長野駅前の活気のなさが全く変わらず、駅前商店街も閉まったままで、なぜ開発をしないのか？今はお年寄りが多く、若者が定着しない市だが、電車一本、30分で難波や天王寺に行ける便利性を売りに、ベッドタウン化させても若い家族が住みやすく、商業・サービス施設なども作り、明るく活気のある町作りをお願いしたい
私が思うには、貸店舗などの家賃が高すぎる。大阪市内でもこんなに高くないと思う。だから町も発展しないと思う。地主がもっと家賃を下げてくれたら、いろんな意味でもっと町が活気づくと思う
私はメインストリートでお店をしていたが、家主様より、家屋が古くなり、光熱のインフラも古くなってしまい、閉店した。やはり、河内長野の顔というメインストリートは、いろいろな方に疑問の声を聞く。今は、ボランティアなど人の中に入り、間口の広い人間づくりしたいと思っている
市の顔、駅前、商店街を魅力のある商店を導入する
以前にあった専門店がなくなり、商店街がなくなり、大型店ばかりで残念である
大型ショッピングモールをつくる
自然を活かした商業施設
河内長野市は高齢化が進み、病院・商業・施設はどんどん増えてはいるが、若い世代(子育て世代)は住みにくいなと感じてきている。子どもが小さいうちはあまり遠くにも行かず、しかし河内長野市内だけでは必要なものがそろえにくかったり(売り場、店がない)、外に出ていくような魅力的な場所も活動もない。子どもたちの遊べる場所もない。空き家、空き地が目立つ。子育て世代がもっと外に出られるよう、商業施設などの誘致、計画があってもいいのではないかな。小中学校の授業でも、河内長野の未来などの内容を取り入れてもいいと思う
河内長野市以外の大阪府内の人でも、河内長野市を知らない。私は九州出身だが、知らないという人に、何が魅力か伝えることができない。それほど、この市は何もない。18年ほど住んでいるが、何も変わっていない。一刻も早く駅を整備して、和泉市のように活性化してほしい
ショッピングモール等、出来ればよいが
商店街を活性化させる
河内長野駅前商店街に商店を誘致して、活気ある駅前が必要と思われる
ちょっとしたプレゼントを買うにも、市内では済まず、ららぽーとや難波のデパートに行かなきゃ…ってことを感じていたので、駅前の商業施設が充実するとうい
・河内長野市にパチンコ屋はいらないと思う ・ノバティながのに、もっとたくさん人が集まるようになればいいと思う ・河内長野駅、改札出たところも、いろいろなお店があれば良いと思う
イオンモールのような大型商業施設や外食産業を増やしてほしい
ショッピングセンターなどの充実・誘致
河内長野駅周辺の商業施設等の賑わい。今のままでは中途半端のように思う
河内長野駅前の商店街をシャッター街にしない、公金補助をして開発してほしい

河内長野市は「年寄りのまち」のイメージが強く老人には福祉が充実しているように思う。もっと若い人や子どもが多く住むようになるために、イオン等いろいろな複合施設を多く含んだ建物の誘致してほしい。
駅中のショップに老人向けと思われる詐欺まがいの店が出たり入ったりして、見ていて恥ずかしい。南河内の空き店舗が気が付けばそんな店ばかり入っているので、老人の数が多すぎるのも問題だと思う。行きたいと思う店や場所が減っているので、南河内全体的に再開発されてほしいと願っている
河内長野駅付近が活気がないように思えるので、商店街の育成や活気づけてほしい
駅前に店舗を誘致して、賑わいのある町にすること
各駅前の商店及び周辺の商店の空き家が多いのを統合、少なくする。あらゆる商品の多様化により商店を増加することと、定着することが重要である。河内長野市より発見して買い物しやすい方法も考え、サービス割引を多少とも市が負担して、市民の集客を考えること
もっと駅周辺に施設や商店を充実させるべきだと思う。自然が多く、住みよい町だが、駅周辺の利便性が悪く、他市からはなかなか人が来ないと思う。ホールも駅から遠い。駅周辺はどんどん活気がなくなっている気がする。高齢者が多くなってきたし、高齢者が歩いて活発に動ける町であってほしい
買い物をする商業施設も少なく、和泉市や堺市まで行くことが多い。このままでは、どんどん高齢化が進んでいくと感じる。若者向きの街ではない
開発予定の地域に、大型ショッピングモールができればと思う
河内長野駅前を、商業や娯楽施設などで人が集まれる場所に。大阪府では大きな市であり、近鉄・南海と電車も便利なので、和歌山や奈良からも遊びに来られる大きなモールなどがあればよいと思う。大阪市まで行かなくても、いろんな人が楽しめれば、自然と人が集まり、山も自然も残し、景気が良くなると思う
大型ショッピングモールの誘致
駅周辺の商業施設の活性化や、若い年代・世代が住みやすい住環境・制度の整備
駅周辺の商業施設が閑散としている
自然を残す部分、商業施設など、若者が集まる部分の両面を作るようにすべき。映画館やイオンなど
ショッピングモールなどの施設があればもっと活気あふれるまちになるのではないかなと思う
他市からも来やすい総合商業施設、駐車場、デザインを他所のを参考に、早急に作ってほしい。高齢者ばかりでは行政も生活も成り立たない。机上の空論ではなく、現場を歩いて真剣に将来を考えてほしい。保身ばかりに思える。外から動きがわからない
老若男女、子どもたちが集まってくる、イオンモールみたいな大きなスーパーを誘致して、市内の商店の人たちを入店してもらって活性化させる。もともとあるスーパーが、はじめは打撃を受けると思うが、それぞれに個性のあるやり方であれば人は寄ってくるし、楽しい町になれば住みやすくなると思う
千代田、長野、三日月市駅周辺は寂しくなっているから、若者も楽しめるようにしないと、人口減少が続くと思う
商業施設等を増やし、買い物をしやすくする
郊外によくあるアウトレットモールのような、自然とともにショッピングも楽しめるような施設を作ると人が集まりにぎわう
買い物など日常生活に便利であること
駅前を整備してほしい。一步裏に行くと、商店街はシャッターが下りて、暗い。駅に行く道は細く、いつも混んでいる。ノパティには、魅力のある店が少ない。あいつのクーポンなど、子育てする人にはお徳なこともあるが、子どもを連れて食事ができる場所や店が少なく、ベビーカー対応になっていない店ばかりなので、子どもを連れて駅前に遊びに行こう、とはならない
商業施設の充実。今は買い物が少し不便
交通アクセスと商業施設(モール)を誘致し、住みたい・住みやすい市にしていきたい
駅前に人が集まり、ノパティながのがもっと売れる店を入れることで、どうぞ、高層化店舗にしてほしい。市議会でも話が上ったとおり、河内長野の顔として売れる
河内長野駅近辺、三日月市駅近辺に憩える喫茶、食堂などが少ない。少し歩いても、洒落たお店が4~5軒あるような町にしてほしい
歴史的景観を壊さず、自然を残しながらも商業施設の充実。ただし、人が集まるのはいいが、高層住宅などで町全体の田舎的なのかな雰囲気を壊されないよう、配慮が必要
商業にも力を入れてほしい
商業施設の充実
商業施設、ショッピングモールなどの誘致をして、賑わいのある町、税収入が安定するような町になってもらいたい
閉店する店が多い。生活に必要な店が閉店すると、ネットや都心利用に頼らざるを得ない。100均やスーパーにはないものが多い。町の手芸店、雑貨店、文具店がない。ネット利用しない高齢者は遠出もしない
商店街も閑散としていて活気がない
駅や公共施設にもっともっと人が集まるようにしてほしい
河内長野駅、三日月市駅周辺の活性化

駅前をもっと活気がある場所にしてほしい
大きな商業施設が欲しい。働く場所も増える
もっと河内長野駅前の活性化が必要で、市民が喜ぶ街並みを
スーパーの場所が、どうしても車が必要なところが多い
駅前の開発。大型商業施設の誘致など、買い物のしやすい環境整備
商業施設の誘致
商業施設の充実

【レジャー・娯楽について】

主な意見
駅周辺にはあまりお店がなく、駅についてもあまり他県にもアピールできるところがない。行楽と言ってもサイクルスポーツセンターくらいしか思い浮かばないので、何か駅周辺(商店街やノパティながの)で映画館やボウリングなどの施設があればよいと思う。自然が多い、食べ物(農作物や果物)がおいしいところは自慢に思っているので、もっと力を入れてほしい
他府県からでも若い人を呼べる活気のある街に…。大型ショッピングセンター、ライブやコンサートのできる野外ステージなど
アミューズメントパークをつくる
狭山池まつりのような、大きなフリマを開いてほしい

【農業について】

主な意見
自然環境を活かした農業の育成
今ある自然を活かして、農業の活性化をし、河内長野ブランドのものを作ってネームブランドを確立することが必要だと思う。そのために農業する人の手当などを行い、農業に取り組みやすくすることが大切だと思う。私は居住地を聞かれて、「河内長野」と答えても、知らない・どこにあるかわからない人が多いと感じるため、名前が有名になれば、この町に来る人・住む人がいづれ増えると思う

【地場産業について】

主な意見
伝統工芸品等で、働く場をつくる。収益で、古い施設を改築する
歴史・文化の観光資源について、魅力付けを行い、交流人口を増やし、地場産業を盛り上げる
高向の道の駅「あすかてくるで」は大阪市内の友人も時々利用するくらい人気がある。農家の方も売る場ができるので、こういう場がもう少し増えたらいいと思う
新たな産業の育成、支援の強化
産業の充実
地場産業の振興

【観光・PRについて】

主な意見
観光と住民が上手く結びついて、落ち着いた町だと思う。三重県伊賀市がお手本になるのではないかな
イベントやマルシェが多いのに、市内外への広報が弱すぎて知られていない
観光地に出来そうな所が弱く、力を入れるべき
観光の町にしてほしい。寺ヶ池公園は他市には無いしょうが園があるが、整備がされていない。名所はたくさんあるが、市民に活用されていない
ホテルの誘致を行い、観光客を増やす
観光に来たくなるような施設
河内長野市は奥河内とアピールされているように、自然豊かな市だと思うが、景観や環境そのものを守り、「町の資源」として保全し、観光業へと繋げていく動きが無いのは残念。大阪中心部まで電車で30分弱と好立地で、自然を売りにし

た観光業から市の発展を目指すことができるのではないかと
JR大阪駅に河内長野市のアンテナショップを作り、観光PRをする
空き家を改築し、店や宿泊施設を新しいスポットにすると、人が集まり活気が出る。インスタグラムにアップされると、人が来て良いと思う
府外への河内長野の魅力発信！
くろまろの里のPR活動
天見などにある秘湯を使って、レジャー客を呼ぶ
観光事業の強化
観光地にするために、ホテルなど宿泊施設の充実や商業施設の充実
ネット、TVなどの宣伝活動強化
ちょっといいな、と思える魅力を、何かいろいろあるといいと思う
観光としてはかなり頑張っているが、市の広域に分散しているので、なかなか難しい。ノバティ平面駐車場あたりを中心に、各観光名所へのターミナル機能を持った場所を作れるといい
観光事業への積極的な取り組み
観光事業に特に力を入れて取り組んでほしい
市のことをもっと内外にアピールすべき。自然も歴史も豊富に存在するので、あとは発信力次第。景観を活かした、ドラマ等の撮影現場誘致。外国人観光客を取り組むためにも、SNS、Youtubeでの発信に力を入れる(出身の有名人を出すとか…)
観光客の誘致を重要視してほしい
観光客の訪れやすい町、観光スポットの対外的PR強化
「河内」のイメージが最悪なので、ぜひ「大阪長野市」に改名してほしい。くろまろの里に温泉、BBQ、スポーツ施設、キャンプ場などを作り、花の文化園と一体化する。高野街道をきれいに整備して、いろんな店を誘致して、PR、名所化する。市内のきれいなところ(美加の台の桜など)をHPにアップする、名所化する
住みよい町、河内長野をもっとアピールしてほしい
歴史を活かした観光
くろまろをもう少し充実させるべき。個人的に和泉市の葉菜の森にしか行かない。くろまろ、つまらないから
市民の高齢者の割合が高く、税収入が今後増える見込みがないと思われる。河内長野の魅力は、やはり自然に恵まれた観光地であること。大阪府下であること。東京近郊の方が訪れる、高尾山のように観光客がひしめくような場所となり、お金を落としていてもらえるような市になってほしい
もう少しイベントを増やし発信し、河内長野に来たい！行こう！と思う人を増やしていけたらと思う。これからもよいまちになるように、応援している
河内長野駅前の観光案内所内の係員の対応が上から目線で、態度が悪くなかった。接客対応の教育が必要と思われる
奥河内という呼び方は嫌いである
現在以上に当市の良さを外部に対してアピールし、住民の増加、観光客の増加を図ることが必要と思う
ベッドタウンのような都心部への憧れは捨てて、重要文化財を中心とした伝統のある観光
観光客を増やそうと思っているのであれば、ホテルなどの宿泊施設の充実が必要と思う
私は、河内長野市の歴史が好きなので、観光で栄えてほしいと思う。国内外問わず、河内長野市の観光や、自然を求めて人でにぎわってほしい。最近道路も整備がなされており、便利でよい一方、河内長野市は自然も魅力のうちであると思うので、自然もある程度残してほしい。石見川など
河内長野を舞台としたアニメの制作
若者が主体となって、歴史や自然の良さを発信し、人が訪れたいくなるような街づくり！ポイントは、高齢者が若者の意見を否定せずに受け入れること。知恵を貸すことと、邪魔をすることは違う。決して老害にはならず、若い力を尊重し、活気あふれるまちになってほしい。程よく商業施設が整った、歴史あるまち
人、物、情報などが集まるまち。そのためのファンダメンタルの充実および情報発信。当市の知名度UPの具体的な取り組み推進等。当市の資源の投入について、集中と選択に心がけ、ビジョンを明確にして委縮することなく大胆積極的に
全国に発信できる町おこしが必要では？
企業誘致、駅前等に魅力ある集客施設を誘致し、人口流入を促進する。そして観光資源を整備し、多くの人に訪れてもらえる活気ある都市を目指してほしい

【企業、研究機関等の誘致について】

主な意見
大企業誘致は必須である。税収と雇用を増やし、住民を増加させることで活性化される
道路の状況や幹線道路際の空き地など、他市へのアクセスを利用しつつ、企業進出を図ることができればと思う
学校等の誘致→学園都市
企業、教育機関の誘致！
難しいと思うが、大学誘致などで若い人が行き来する街になれば素敵だと思う
公害のない企業の誘致
企業を誘致し、税金を下げ、河内長野に住みたいと思うような河内長野市にしてほしい
企業誘致
大手企業(工場等)を誘致し、市内で働ける環境づくり+税収増
企業を誘致する。そして、住み続けられるような河内長野に
大学とか、企業の誘致とか、人が集まるような町に。若者が住みやすい町に
税収のためには、企業誘致が必要
企業等を誘致し、市の活性化を図ってほしい。まとまった土地に和泉市のテクノステージのような企業を誘致すれば、河内長野市の認知度が上がり、財政も税収で潤うのではないかと。市民も働く場が増える。そのためにも、高速道路が河内長野市につながればよいな、とも思う。企業が誘致しやすくなる。市民も高速道路が利用できれば、住みやすさも上がるし、観光客も来やすいと思う
教育機関、研究施設を増やすこと
企業をもっと誘致して、働ける人が住みやすくしてほしい
外食産業の誘致
最も必要なことは、企業・商業施設の誘致で、それに成功すれば市が抱えている諸問題は解決する。また、駅直結マンション、駅近マンションの建設の誘致も重要。ライフスタイルの変化により、共働き世帯が増えているため、広い一戸建てより駅に近い物件が人気。駅前に大型マンションや複合施設ができれば人口増、商業施設増が見込まれる。中途半端な規模でなく、大型開発が必要
大企業の支店、営業所、工場の誘致。大学の研究所の誘致。関西サイクルセンター級の遊技場を作る。などで税収を上げる。若返りが必要
企業誘致
老人層が働ける企業を誘致し、老人が子育て支援ができるような組織を作る。そのために病院、医療施設も充実してほしい
税収を得るため、もっと企業の誘致に力を入れる必要がある
いろいろと小手先で交すことも重要であるが、企業誘致、既存産業の育成など、税収を増やすことが大事ではないか。そこから人口・雇用が増え、市の状態が良くなっていくのではないかと。ハードルの高い課題と思うが、有能な方々もたくさんいると思うので、頑張って結果を出してほしい
歴史や文化を活かすなら、有名大学や企業の誘致
緑と静かな住居環境、研究機関のある町に
積極的に企業を誘致して活性化してほしい！

【雇用について】

主な意見
市内で働く場所を！（企業誘致）
職場の離職率が非常に高い。原因は様々ではあるが、給与の低さもある。他市では実施されている家賃補助が無く、一人暮らしをしながら働く人達はギリギリの給与で過ごし、精神的・肉体的にストレスがあり辞める人もいる。何らかの補助があれば、ストレスの軽減になるのではないかと
働ける場所があればいい
自然がいっぱいで素晴らしい河内長野市で、大好きである。もう少しみんなが働ける産業が欲しい。年寄りが多くなり、若者の活気ある街づくりになってほしい
娘が仕事を探しているが、堺より遠に行かないとなかなか無いようである。もう少し仕事があればよいのだが
働く場所を増す
子ども世代が今後も住み続けるための働く場所を確保し、充実した経済支援と保障をしてもらえるといいと思う

新規移住者を増やすための就業場などの充実
若い人の働ける場所、企業づくり
働く場所があれば良いと思う
市内での就業企業が少なく思う。個々に対する意識が薄く、個々に合った企業を完全すべきだと思う
市に予算がたてられる収入ができるよう、市内で働けるよう物づくり。農業だけでは無理。近隣都市と力を合わせて、何かできないか
働く場所がずっとあれば暮らしていけると思う
働く場所
河内長野市内で企業など働ける場があれば、よりうれしいと思う
緑が多く落ち着ける町なので、多くの人が働ける活気ある町になってほしい
これからの社会を担う、高校・大学生の支援、働き世代への支援、片親への支援、医療費の支援を、収入にかかわらずしてほしい。その人たちが活性化すると、市はよくなる。高齢者が多いのはわかるが、高齢者、非課税世帯が優遇されすぎ、はびこり過ぎている。税金を納めている人をもっと大切にしてほしい。元気な高齢者で、農林業をし、若い世代で学力UP・スポーツに力を入れ、育成したらよい。働けるのに働いていない人の職の提供につなげて、税収に繋げたらよいと思う
老人が多いので、その人たちの雇用が促進できるモデルタウンへ

【公共交通について】

主な意見
高齢者のために、運賃の安いコミュニティバスを充実させてほしい
バスなどの交通網の整備が必要
電車のアクセスの良さをアピールしているか。方法は思いつかないが、考えてほしい
臨海部へのアクセスを良くするには、鉄道が重要となる
南海電車の経営者が変わる。南大阪エリアの人口流出は、南海電車の利用しづらさと、運賃の高額が理由
モックルバスの路線を増やしてほしい
モックルバスのような、気軽に安く利用できる交通手段の確保
まずはバス路線の充実
高齢者対策、施策の充実(特に交通手段)
河内長野駅や三日市駅までの送迎で、特に雨の日は車の渋滞が多く、バスの本数を増やしてほしい。また乗り合いタクシー等、低価格で利用できるものを考えてほしい。駅までのアクセスを充実させてほしい
向野町にバスが通れば、非常に住みやすく便利になる
市内では毎日訪れたいような、魅力的な場所が多くある。車が無くても気軽に行動できる交通機関があれば、活動的になれそうです。また徒歩範囲内で、朝昼晩食が食べられる居場所を開業できるような支援があれば、笑顔が増えると思う
病院までの交通の便が悪く、見舞いや付き添いが大変。また退院後の通院も大変
自然がありよい町だが、車がないと不便。バスの本数が少なく、外出する気になれない
不便な地域やバスの本数の少ない所も公平にモックルバスを！
バスじゃなくワゴン車でいいので、気軽に外出できるようにしてほしい。交通の便が悪すぎる。車が無くても住みやすい町にしてほしい
公共交通の充実
交通の便を利用しやすくしてほしい。バスの回数が少ない。買い物等…
高齢により、原付バイクを廃車にしたので、市長と対話、イベント、講演会等言われても、交通の便が悪いので、何も参加できない。大矢船から、美加の台の住宅地を結ぶ市営バスを走らせて、体育館・駅・ホールなどに便利にほしい。元気な老人力のことをもっと考えてほしい
もっと交通の便をよくする
駅までのアクセス(バスなどを増やす)
市民の重要な交通機関である南海電車に、市民の安全を損なうような事案が起こった際は、きちんと意見していただきたい。駅の無人化の際、何も南海電車に反対との話をされていないと聞いた
ある程度満足しているが、交通の便(車)が不便
私は今のところへ引っ越して20年余りになるが、バスも通ってないし商店も全くなって、スーパーも駅も遠く、不便で困る。千代田から東の方は全く商店もないし、山手の方もスーパーがないし、車がないとどこへも行けない。バスとスーパ

一が早急に欲しい
交通網の充実した住居に(免許返納等で)
交通の不便な、駅から遠い住宅に向けてのバス路線の工夫、運賃等も高いと高齢者の方は買い物に出にくくなる。バス運賃、高齢者には100円とか。年金生活者にやさしい行政であってほしい
交通が不便な地域には、バスが充実できないなら駅前駐車・駐輪場の拡充も含め、地域ごとに合ったサポートが必要。特にコンビニ・スーパーなどから1km以上の「道」の距離がある新興住宅地は、住環境もよくはない。そういった小さなエリアごとに利便性を見ていき、補助していくことが、市の魅力向上につながると思う
南海を利用するしか方法はないので、駅近にもっとパーキングが増えて、料金もリーズナブルだと助かる。南海の運賃が高すぎる。競合がないので、調子に乗り過ぎ
路線バス、コミュニティバス等の充実
交通の便が良い街にしていきたい
市内の交通網を便利に。河内長野市は地形的に、地震以外の自然災害には比較的恵まれたところかな？大阪市内との利便性。商業地あり、ベッドタウンであり、避暑地もありと叶えられる、素敵な市になってほしい
バスなどの交通の便が良くなってほしい。車を使えなくなっても、住みやすい町であってほしい
汐ノ宮駅周辺にアパートなどが建って、人が増えているのに、スーパーマーケットがない。汐ノ宮の駅は無人駅であるが、結構な人が利用しているし、障がい者の方も多く利用しているのに、無人駅のままなのか？
電車の本数。小型バスの本数
年老いて車を手放してもあちこち出かけられるよう、昼間のバスの本数を増やすか、代替りの移動手段を整えてほしい
バス停を増やす
市内へもっと利便性をよくすべき。最近夫婦共働きが当たり前なので、どうしても勤務先に近いところに引っ越してしまいがちになる。そのため、河内長野の過疎化が進んでしまう
車がなくても住みやすい町になればいいと思う
電車賃からみて、河内長野市には住みにくいと思う
今は車を乗り回せるけど、車がないと暮らしにくいと思うことがあるので…でも、自然が美しいことと、交通網の充実や便利さを両立させるのは難しいかな
高齢者が多いので、バスやタクシーなど移動手段を増やすことが必要だと思う
山間部住宅地の交通(バス)の充実。住宅を巡回するバスの運行(高齢者対策)
駅から結構離れて住んでいる方も多いので、バスの本数やモックルバスが住宅の方まで来てくれると便利になると思う
居住区と駅を結ぶバス路線等の交通路線の確保
市民の足となる路線バス(タウンバスも含む)の増発。バスを1サイズ小さい型にしてはどうか
市が広いので、交通網がもっと細やかに張り巡らせてほしい。高齢になると、坂道がきつくなり、バスがもっと便利に気軽になれば、外に出ることが可能になる。活動拠点も増やすことで、行く気が起こる
高齢に伴い免許証返上し、これからはバス利用者も増えるのでは？バスの運行回数等、減らさないでほしい
学生の私にとっては、一番困っていることは通学面で、朝のバスの多さは大丈夫だが、お昼や夕方ごろはすこし便が少なく、人も多く乗れないことがあり、困る。あと、高齢の方にとっての移動手段はバスしかないので、少し休日も増やしてほしい。あと、スーパーや飲食店に行くまでの道は高齢者にとっていつも遠そうで、田舎を痛感している。でも、素敵な町である！
私たちはバスも一日少ししかない。病気になっても車が乗れないため困っている。すごく。長野までタクシーで4000円ほどかかる。介護1でもタクシーはあまり安くならない。今の悩みである
河内長野市内の交通を担っているバスの料金が、高額である。南海バスの料金を低額にしてほしい。車の免許を返納されたお年寄りが、周りに大勢いらっしゃる。高齢の年金暮らしの方にバス券をプレゼントしてあげるとか、高齢者の方が町へ出やすいように。家に閉じこもらないように。それも、市としての政策だと思う
病院が多くあり、便利。買い物もしやすい。今、近大によく行くが、図書館ぐらいいから、直通バスが出たらうれしい
安価に利用できる交通網の整備
自家用車なしで暮らすための交通手段
交通が便利で活気あるまちづくり
バス路線の件。南花台→河内長野駅へのバスは、市役所経由としてほしい。市役所周辺は施設が多く、いろいろと便利。モックルバスは、使いにくい
バスの本数を増やしてほしい
高齢になり、車が乗れなくなった時の移動手段。土地柄、車が必需品なので…
南海電鉄にも働きかけて、無人駅の解消を働きかけてほしい
公共交通機関をさらに充実させることが必要だと感じる

坂道が多く、高齢者の移動が困難である。歩道の整備や気軽に乗りやすい小型バスなどの対応が必要ではないか？
個人の車がなくても、不便なく生活できる街であること
働く場所、買い物する場所、子どもが遊べる場所がない。交通の便が少なく、山を切り開いて住んでいる。高齢者など、買い物にも行けない状況。子どもが自立し、定年を迎えるころにはこの市を出たい
南海電車の時間短縮など
スーパーを回れる便利な定期バスが欲しい。地域によっては、バスで行けないスーパーがある。バスの運行計画の見直しの必要あり
交通の利便性、安全性
交通など、日常生活の便利さの充実に力を入れてほしい。将来、免許返納したいと思っても、現状では不安である
市内への交通の整備。下里サッカー場より下里口へのバスの運行
大型バス→小型バスの切り替え
市内をぐるりと一周できるようなバスの導入(観光地を回る小型バスなど)
最近若者たちがどんどん減ってきている。その理由の一つに、バス路線もなく、最寄りの駅までのアクセスは二輪車で、雨の日は大変である。駅前に公営の安価な駐車場があれば、若者の減少も少しは防げると思う
気軽に利用できる交通機関(バスなど)の促進
河内長野発の最終バスの時間をもう少し遅くしてほしい
モックルバスに乗るのにそこまでバスで行き、乗り継ぎの時間のロスもあって困っている。モックルバスのコースを増やして、地元まで回ってもらえたら大変助かると思う
高齢化社会に向けたバス交通の整備
ベッドタウンとして交通網を整備する
坂が多い町で移動が大変なので、移動が楽にできるように何かあればいい
交通機関の充実
公共交通機関の乗り継ぎの促進
都市(難波)からのアクセスがもっと短い時間で、電車賃をもう少し安くできないか
バスの本数が少ないと思う、と同時に料金も高い方と感じる。もう少し安いのなら、本数が少なくても納得できると思う
交通整備
市内は広いから、目が行き届いていないところも多い。議員によって努力はなされているが、まだまだ不満がある。市に魅力を感じない。高齢者が多い市の割に、交通不便だと住めない。芸術や文化などが充実していない。冷たい市だと思う
交通機関、高齢者の日々の買い物。例えば一時間ごとに小さなバスを走らせるなど
観光客を呼び込むにしろ、住民に居住してもらい続けるためにも、大都市へのアクセス、市内の駅へのアクセスの充実が必要

【道路について】

主な意見
道路の整備が必要
ベッドタウンとして若い世代に住んでもらうためには、高速道路へのアクセスが必要
河内長野市は高齢化が進み、空気は良いが坂道が多い。車を手放したらバスや自転車の活用となり、優しい町づくりを希望する。新紀見トンネルに向け、工事が進んでいることは嬉しい。後は高速道路へのアクセスを改善してほしい
歩道・車道を歩きやすく、自転車がスムーズに走行できるようにしてほしい。段差が多すぎる。道整備が上手ではない。老人道にしてほしい
高速道路を敷くことにより、他県・他市から人を呼び込むことができる
高速道路
南北の高速道路新設と、310線の拡幅
高齢者や子どもが安心して歩ける歩道の確保
自転車が安全に走行できるよう道路の整備をする
高速道路へのアクセスが良い交通の便利さ！
道路の道幅が狭く、車の渋滞が多い
道が狭く汚い。段差もあり、小さな子どもには危険である
住宅地から高速道路や幹線道路のアクセスを増やせば、人も増え若返りも進むはず

滝畑ダムへの道が、狭くて危ない。自然をアピールする河内長野であれば、整備したほうがいい
広域的な幹線道路の整備を行えば、移住者が増えるのではないかと
高速道路をつなげてほしい
市の玄関である河内長野駅からラブリールホールへの道路拡張
アクセスの充実
・高速道路の誘致 ・上原町170号・371号の交わる場所にバイパス
車椅子やベビーカーが安心して通れる歩道の整備
無駄な道路整備が多い。他にやるべきことが多いと感じる
和歌山、奈良へのアクセスの充実や整備
坂道が多いので、歩道を広くして、自転車と歩道を分けてほしい
交通の便(高速など)整備
高規格道路の整備により、地域の利便性を上げ、産業・商業の施設誘致を進める
歩道が、デコボコが多く、孫も自転車で二度も転び、外傷をした。他市に比べて整備が悪いように思う
早く高速道路を河内長野へ。外環に高速を
渋滞をなくして
交通アクセスの充実
高速道路は数年前から話はあるようだが、開通に向け進めてほしい
道路を整備して、交通のアクセスをよくすることが必要である
歩道を歩くことが多いが、デコボコがあって非常に歩きにくいところがある
高速道路へのアクセスが良い、交通の便利なまち
高速道路の近道をしてほしいと思う。現在高速入り口は、三宅と美原の二か所しかないため
市に引っ越しするときは伊丹空港が廃止され、関空に一本化されるという話があった時期だった。これからは大阪の南の時代が来ると思い引っ越してきたが……今は関空へのアクセスも悪く、陸の孤島である(伊丹の方が早い)。まずは人口を今の二倍以上にしてからである
道路の拡充
人口が流出しないように、交通等の整備(南海のダイヤ改定のたびに車数が減る)
・割れ目のある道路、もう少し道路整備してほしい ・路側帯が消えているので整備してほしい
大阪南部高速道路の早期実現を期待する
住みよい環境、そして寺など観光資源もあるので、河内長野へ来ていただきやすいように、道路などのアクセスを整備してもらえると、もっと便利で住みよい街になるのでは。河内長野は、近くて便利などころではないかと思う
歩道のボコボコや、歩道がないところは、整備があった方が安全。子どもを乗せて自転車で通っても、安全な道
高速道を河内長野にも作ってほしい
高速道路など、広く他地域とつながる道路の開発がない限り、発展は困難と、多くの人から聞く。古くからの地権者が開発を阻害しているとも聞か…
交通施設
道路の整備
高速道路へのつながり、幹線道路の整備
交通手段の充実と、高速道路がなく遠すぎて不便なので、せめて行きやすい道を早く作ってほしい
河内長野から西名阪、阪神高速、阪和自動車道に行くのにそれぞれ30分以上費やす。何とかいい方法はないものか？
市外からの客を流入するための道路交通網の充実(高速道路等)
狭い道を広くする
道路幅をもう少し広くすること
高速道路へのアクセスの充実等
高速道路への直結できる道路が欲しい
大阪市内への交通アクセス(高速道路)
道路環境等の充実
道路を整備する

河内長野駅前→ラブリールまでの道路整備
河内長野に越してほぼ1年だが、とても住みよくなり入っている。しかし一方で、大阪市内へのアクセスや高速に乗るまでの遠さには不便を感じている
高速道路が必要。各主要都市とのアクセスが良いこと
高齢化に備え、道路・交通網の整備による、活気ある街並みを作っていくこと
歩道を歩きやすくするための整備をよろしく
道路交通網の整備など市民が住みやすい町作り
道路(特に歩道)の整備
高速道路が必要
高速道路が近くにできてほしい
・河内長野駅からラブリールの歩道が危ない ・千代田駅周辺の歩道をきれいに。誰に見られても恥ずかしくない、きれいで自然が豊かな街づくりが必要 ・通学路の安全対策の見直し
歩いていて不安になる道路は、何とかしてほしい。狭い道路でかなりのスピードで走行する車も多い
幹線道路に限られているのと、車生活をしている人が多くあり、一定時間に渋滞が必ず発生するところがあるので、信号の間隔など、今可能な工夫も含めて動きやすい環境になればと考える。なるべく外環に高架で上に高速を考えていただくとか、高速へのアクセスが最短になれば便利である
高速道路を河内長野市まで通す
高速道路の整備
交通網も大事だが、単なる通過都市にならないようにする
緑豊かなところが大変魅力的な町である、歩道が狭く、段差があり歩きにくい
高速道路へのアクセスのしやすさ、一般道路の整備を急ぐ
荘園町より赤峰までの道は急坂、カーブ、狭い自転車は通りにくく、歩くのは年配者にはきつい。車はやめたいが、やめにくい原因である
高速道路をつくる
高速道路の乗り口・出口があればよい
古い住宅地の道路整備
高速道路を通してほしい
外環や310号線の拡充
交通アクセスの良さ
早い時期の高速道路インターチェンジの設置
310号線の渋滞を何とかしてほしい
誰もが安心して歩ける道路、バリアフリーの町
細い道が多いので一方通行や自動車の速度制限ができるような細い道路の路面改善など必要。ロードミラーの増設
交通アクセス、道路整備
地味すぎる。道路が最悪
市内の道路整備
他市へのアクセス悪すぎるので、改善できるものならすべきかと思う
道路を広く。安心して外を歩けないところばかり
駅前の道が狭い
新築の家が多くできていく中で、道路の数が少ない。371号線、170号線の2本のみがメインなので数を増やしてほしい。
車いす、老人バギーでも安全な道。夜道の足元が見えない歩道をなくす。役員が河内長野市で暮らす。小さな事とは思いますが...
車を運転する人も、バス等交通機関を利用する人も、ストレスなく移動できる道路環境・交通網の整備

【公園・緑地について】

主な意見
子ども達を楽しめる、広い公園がほしい
市内の公園や街路樹などの整備
公園の整備を行っている造園会社だが、作業終了後に作業の確認をした方がいい。見える場所だけの作業になっている
公園の整備
犬を飼っているので、市でドッグランを作してほしい
私たち一家は他市からの移住である。大阪市内へのアクセス・場所も考えつつ、自然と近い暮らしをしたいと河内長野へ移住した。小学生の子どもは天見小学校へ通っている。人の暮らしと自然を身近に感じている。自然の保全には、たくさん的人力と費用が掛かかっている。だが他市からの移住では、大きな魅力であったえぼしがた公園、長野公園、観心寺周辺によく行くが、いつもきれいに整備されているのに感心している。整備されているからこそ、四季の美しい景観を楽しめている。住んでいる近くにこんなきれいな公園があると、河内長野に住んでよかったと思う一つである
公園をもっときれいにしてほしい
公園等の整備を行い、市民が集える場所づくり
長野公園の遊具は子どもも好きであるが、公園近くに駐車場があると助かる
週末に市外へ遊びに行こう、ではなく、河内長野市民が市内でのんびりゆっくりしたいなあ、河内長野市内にお出かけ（ピクニック、サイクリングなど）して、また一週間頑張れると思うようなまちになればいいなあ、と思う。そのためには、公園の充実、サイクリングやハイキングロードの充実が必要

【市街地整備について】

主な意見
中心市街地の整備
美加の台駅前の整備
中心市街地が河内長野駅周辺とは思えない。開発をした方がいい
ラプリーホール、キックス等の駐車場の拡張を希望する
河内長野駅東側の開発。長期ビジョンに向けて、段階的に市民・関係者の英知を集め、長期ビジョンを構築する
河内長野駅周辺を整備して活性化させ、人が集まるようにする
ラプリーホールの駐車場の充実
駐車場を増やす
駅前開発。にぎやかにする。住居と商店のバランス
駅前なのに通りに人が少ない。商店街を魅力的にするには、魅力ある品をそろえている店を誘致しないとけないと思う
市街化調整区域の縮小
駅周辺の街並みの整備
河内長野駅周辺の商店街の活性化
駅前開発に年月がかかり過ぎ。ノパティも空き店舗多数。店舗の入れ替わりが早く、若者は素通りの商業施設になっている。残念な状態である
千代田駅を中心とした地域を市の活性化の中心に再開発を考えていく。河内長野駅ではどん詰まり感がある
駅前商店街の整備
河内長野駅、三日月駅のロータリーがもっと広くするべきである
千代田駅周辺をもう少しにぎやかにしてほしい
河内長野駅前開発が中途半端。狭いがんだ土地にマンションを建てて、その周りは古いまま。環境が良くなれないと思う。広くまとめて整備した方が、環境が良くなる。人の動きが増える。にぎわうと思う。今の駅前には面白くない
駅周辺の活性化
駅前整備
開発する区域と残す区域をバランスよく。メリハリをつけて、思い切りよく手を付けてほしい。テクノステージみたいな開発も必要かもしれない。市域をデザインしてほしい。今あるものを活かす方法（ダム釣許可と整備など）
自然と調和した都市計画や整備を今以上に推進してほしい

【住宅について】

主な意見
自然も多く、子育てには良い環境だが、空き家が多い
空き家の取り組み
ニュータウン計画
空き家のアパートが多く、何とかならないか。通学路に倒れそうなブロック塀とアンテナがあり、台風時にアンテナが倒れてきた。誰も住んでいないのならば撤去してほしい
今ある資源(空き家など)の有効活用に注力する。古くとも魅力ある、落ち着いたまちづくりは十分可能である
空き家対策
住んでいる場所によって異なると思うが、自分の場合で考えると、バスが一時間に1～2本しかなく、駅まで4～5キロあり、近くで買い物できる場所もなく、車で出かけるときも高速入り口まで10キロ以上あり、市内でも住む場所によると思うが、駅付近に住みやすい住居を市の援助も入れて設けて、過疎地域から優先的に転居できるようにしてほしいかが
空き家対策。自治会に任せず、人員を配置して、所有者に家の管理を徹底させる
空き家をもっと活用すべき。他の田舎のように
人生住居二毛作。若い世代は広く環境が良い、レジャー・スポーツ充実の山の住宅ゾーンを。高齢者は商業(主に食品)・医療施設充実の住宅ゾーン
空き家、空き地の活用
売り出し中の中古物件を含め、築年数が長い家は市が管理する。悪質なハウスメーカーを市で把握しておく
住宅地の再開発
空き家を多く見かけるので、その対策をしていただきたい。将来ゴースタウンにならないためにすると、もっと住みやすく居心地がよくなるかと思う
空き家対策
空き家、空き地の整備
空き家の雑草など、放置されているところが多く、景観・衛生的によくないので、近所の人よりも、市から声をかけてもらいたい
バブル期に開発された、多くの戸建て住宅の空き家問題
空き地等使われていない土地をもっと有効活用することができればと思う。市としては、桃や梨などの特産品、すだれやつまようじなどの伝統工芸、歴史的建造物が多くあるので、誇りに思う
人口が増えないのは、空き地がないのと、使っていない古い空き家が多く、外から移住できないからである。市がお金をかけてでも、空き家を更地にし、新しく家を建てられるようにするべきである
一戸建ての空き家を賃貸として貸すなど、積極的にしてほしい
市が主導するニュータウンづくり

【生活環境について】

主な意見
煙草や犬の糞の処理
夜間に学生が目立ち、治安や環境が悪いように感じる
以前大阪市内に住んでいて、河内長野のゴミのシールが、白の袋45リットル、青の30リットルで、家庭ごとにシールの枚数が少ない。必ず足らなくなることが多いので、もっと枚数を増やしてほしい。できれば、白の45リットルをシール一枚とかにしてもらったら、ストレスなくゴミが捨てられる。一番の不満である
コンビニやATMの数もとても少ない
歩道脇のコンクリートの劣化により雑草が生い茂り、年二回の大清掃では対応しきれず、景観が悪化している。市民と共同で補修を進めてもらいたい
暴走族をなくす
上下水道整備ができていないので、生活しにくい。排水で困っている
夜中のバイクの暴走の取り締まり強化！安心して眠れない
水道代が高い
ゴミ収集場所は自治会ではなく、家の近くの場所を自由に利用できれば良い
庭の掃除を安くできるようにしてほしい
プラスチックゴミの回収回数を増やしてほしい

住民が生活しやすい環境が大切だと思う。特に買い物難民が出ないような工夫をお願いしたい

【協働について】

主な意見
行政・市民・事業所との協働の質の向上を図る。目指すは米国オレゴン州ポートランド！
自然を残した(活かした)住みやすい安全なまちづくりが良いと思う。市民が、積極的まではいかなくても、参加しやすい、ともに作っていくというスタンスで、まちづくりを進めていくのが良いと考える
笑顔と楽しい会話が多いまち(ストレスを感じないまち)。スーパーマーケット、コンビニが歩いて15分以内に計画できるまち。街路樹の落ち葉のないまち(各個人がゴミ袋を持つ心構え)。横断歩道でスピードダウンする、「心の余裕」を持つまち。市民各々が責任と義務を自覚し、行動する
市と市民、関係者がもっと話し合い、合意形成を行い、行政を行うことが必要で、一部の人たちの意見・意向だけで進めない。職員、管理者の教育が必要
行政と市民の協働や、地域活動の推進のためには、そのコーディネート、中間支援を行う人材、組織の役割、重要性が一層理解され、この部分にも経済的支援が必要だと認知されることが求められる
若い世代、子育て世代、高齢者世代。それぞれの世代のニーズに合わせたサービスが受けられる。どれかの世代に手厚いサービスにならないように、みんなが満足・ほぼ満足して生活できることが必要。市民がそれらを助け合っていくことが理想
意欲のある市職員と市民協働の社会活動が見える市になってほしい
個人個人ができること、行政と力を合わせてできること、確かにあると思う。個人でも無理せず続けられることは小さなことだが、一つ一つ拾い上げて始められたらいい

【地域コミュニティ・交流について】

主な意見
地域住民のつながり強化！
自治会の活動について。慣例にとらわれ、意見を聞こうとしない。要らない行事が多いので、精選させるべきだ。特に若い世代は、地域の活動に負担を感じている。空き家が多くても住みながら一因でもある
自治会費を振り込み制にする
「地域の助け合い活動」。私は主人の通院で10年間、亡くなってから自分の通院で3年間医療センターに通っている。隣町の支援活動(有償ボランティア)で送迎していただいたが解散され、今は朝7時台のバスで月1度通院し、体の負担が厳しい。送迎支援していただければ楽になるのだが、お願いできないか
私のようなものでは、子育てばかりで外の様子もあまりわからないが、私なりに今後もう少し地域活動に参加していきたいと思う
今のままでいいと思うが、もう少しイベント制のものがあってもいいかなと思う
向こう三軒・両隣が仲良く生活できるまちになっていくような施策展開をお願いしたい
地域内の新たな活動が生まれているようである。町内の自主防災や、エコレッジプロジェクトなど、市としてもいろいろな後押しをしていただいて、よりよい活動になるよう希望している
身の回りの方々と連絡を取って話し合い、知らせ合いすることが、大事だと思う
地域活動等、大切なことだとは思いますが、仕事をしていると、休みに用事がたまっているため、参加するのは難しい。日中はもちろん参加できない。いろいろな活動が当番制となり、仕事を休んで参加しないといけなくなると、仕事にも行きづらく、活動に行かないと近所の人ともうまくいかなくなってくる。そうすると、私にとっては住みにくい町になってしまう
もっと市民同士が出会える、楽しめるイベントや機会を考えてほしい。お見合いパーティとか
市民の交流
「住みやすいまち」というのは、人間関係が大切だと思うので、市民同士の交流や助け合いができる場を増やしてほしい

【行財政について】

主な意見
目的を1本化し、メリハリのある明るく優しいまちづくりを期待している
住みやすい町にしてほしい
働けていない人も働いている人もみんな、同じように生活できるような市にしたい
市の職員は「府に言え」と言う。困っている人には、法律内で優しく間違っていないことを説明して、行動してほしい。転

入者が増えると思う
税金が高すぎる
市役所職員を少なくする努力を！！
役所との縦のつながり
住民中心で考える
「人・自然・歴史文化輝くふれあいと創造のまち河内長野」と銘打っているが、まずは人を一番に育てるべき。後から自然や歴史等を考えるべき
環境・交通・産業・行政等、全ての面でも向上していけるような街づくりをしてほしい
河内長野市長や職員の仕事内容を市民が知れるといい。何をやっているのか、わからない面がある
婚姻届けを提出した際、市役所の職員から「おめでとう」の一言もなかった。羽曳野市から引っ越してきたのに、もう少し愛想よくしてくれたら、住みやすい町になるのにと感じた
市からの郵便物が多い。特に高齢の一人暮らしになると、威圧感を感じる。悪気無く、手続きや支払いが滞り、日常に支障が出始め、引きこもりになっていることもある。そうなる前に、市の職員が出向き説明してほしい。一人ひとりを大切に、福祉の手を差し伸べてもらえれば、河内長野市で笑顔で長生きしたいと思えるように感じる
市民が何を求めているのかを行政は真剣に考えてほしい。10年・20年後の町の未来像を描けるような町づくりを希望する
社会保障や安全に関わることを優先にしなければいけないが、財政・人口減を考えると、シンプルなまちづくりになるかと思う。“コンパクトシティ”、自然に囲まれ心豊かな「まち」でいいかなと思う
住民目線の行政の実施
家だけが気に入って、引っ越して来たら、学校給食もなく、バスも通ってなく、島流しにあったような思いであった。あれから40数年、ご近所の方々に支えられ、共働きで子育ての日々。現在はバス停も近く、ご近所とも惣菜をいただいたり、お茶に呼ばれたり、幸せに暮らしている。老々介護の生活だが、住んでよかったと思う。働き盛り～老いの住家になるまで、こんな町で住み続けられる優しいまちづくりを若い市長さんをお願いしたい
市議会議員と役所の職員の実行力が、いろいろな面で必要と思う。理屈は多いが、行動が遅い
職員の意識改革！
基本計画、SDGsといった、開発目標とか世界の問題等といった、とてつもない大目標(とてもできないと思われる)より、河内長野市が生きていくための、コンパクトな計画・市民に分かりやすい目標を立案すべきと考える。大目標は、国や府が考えればよいことであると思う。第一、大人の市民は基本計画自体知らない方がほとんどだと思うが、私だけだろうか…。総花的な目標、計画でなく、何かに特化した施策の進め方も一方かと
市長さんは、一生懸命河内長野市の知名度を上げるために頑張ってくださいなのが伝わってくる。頑張ってください
過去のことはあるが、市制60周年の際、“だんじりパレード”をされたが、財政に余裕がないのに、なぜあのような無駄遣いをするのか。また、一部の市民だけが参加する行事をすることに納得がいかなかった。市外に住む方からは、“河内長野は、いまだに一部の地元民の意見を反映し、市政が進められているのではないか？”と言われ、恥ずかしかった。職員の意識の改革をお願いしたい
この市民アンケートを作成したあなた方の家族や友人がいつでも笑顔で住める市にしてほしい
市役所の手続きが遅い
物価価格が安定した、生活費出費が少なく生活できるようになってほしい
・全自治体の中で、これがNo1といえることを教えてほしい。せめて、大阪府下で。評価項目、その実態、評価基準も。 ・上記の中で、ベスト3にも入らない項目は何か。 ・市が考えているすべての項目をまず市民に知らせよ。市のレベルがわかる。テイクテイクは不可！
近隣市町村との連携を強化し、広域行政あるいは合併等を推進して、行政の効率化、住民の利便性の向上などに注力していただきたいと思う
市役所に目安箱の設置を
市名のイメージを変えるための努力。河内＝品がない、ガラが悪い、粗暴
河内長野市に住んで、45年以上になる。おおむね満足している。特に、市長さんが変わってからは、明るく、わかりやすい発信をしていただき、河内長野市への希望を感じている
企業は、100人の秀才より1人の天才だと思う。どこの市町村も、みな同じことをやっているように見える。将来について、芸大の学生さんたちに、アイデアを出していただいたらどうか。ダメでもともと、いいアイデアがあれば儲けもの
住宅開発から50年近くなっているので、世代交代しやすくする条例の設定(住民税、固定資産税等の軽減)
市職員にすべてをまかせるのではなく、市民それぞれ個人でできることは各人でやることで、行政サービスを有効的に分配する
住民がどのような市に住みたいのか、今の市に不満なら原因を分析し、市民ニーズを適切につかみ、市民本位に市政を考える職員を増やし、質の高い行政サービスを行うこと。金がないからできない、と思考停止するのではなく、工夫を行いよい市政にすること

議員定数は5000人に1人で固定。定数は人口で自動的に決まる
国が取り組んでいないけど、やった方がいい、当たり前のことをすれば、十分だと思う
市職員一人一人の意識改革、能力のレベルアップが必要
新しいことを取り入れて、住みやすい街にすることも大切だが、暮らしにくく感じることを一つ一つ確実に対策することで、平均レベルが上がるという考えもありかと。大きな変化より、着実な改善を望む
何かをするためにはお金が必要である。第二の夕張にならないように、税金を落としてもらえることを考えてほしい。和泉市、富田林市、橋本市のような見本があると思う
「あやたホール」の広報紙には、不必要な記事が多い。内容が乏しいのに、地域に全戸配布する必要はないと思われる
河内長野市行政改革を含む、市会議員定数を10人～14人にする
市長が勇気をもって立ち上がったときの気持ちで、河内長野市を変えることである
役所、また駅前に何か所か、大きな絵馬みたいな広告を設置し、いろいろな世代の人に意見および感想を述べてもらい、また市以外の市民および観光客などの、絵・言葉を乗せて、インターネットで配信し、少しでも河内長野市に住んでよかったとか、また来てみたいと思うようにすることがいいかな。よその市にないようなもので！
市民生活が活性されるプロジェクトの構築
公共施設の充実
市政について、こちらから知ること、また市政側からの発信の双方向でのコミュニケーションが必要と思う
活性化と言っても、一部の人が盛り上がりお金を作っているイメージでしか、普通の市民は感じていない。そうしないとみんな出ていってしまう。もっと普通の市民の声を聴いた方がいいであろう
市の設備(体育館、公民館)を新しく使いやすくしてほしい。市民税を安くしてもらいたい
何か一つでも、他の市町村にない施策
現役世代の車税を軽くする。無料自転車があるように、無料自動車を作る
地域の強みを活かした政策
各方面で強力な指導力を有する人材の育成
このアンケートの意図するような精神を、住民に植え付ける施政側の平素からの根気良い啓発・啓蒙活動・教育が期待されていると思う
高齢者、障がい者、子どもたちが過ごせる施設を多く作り、市は市民と向き合ってもらいたい。何でもかんでも民間委託にしないこと
高齢者や若者が共存共生する、安心・安全・健康に生涯暮らせるコミュニティ(住居、食事処、商店、医療機関、健康運動施設、娯楽文化施設等)が整備されたコンパクトな街づくり
市でプロジェクトチームを作り、大胆な発想でいくつかの案を作り、市民に投げかける方がいいと考える。優先順位をつけ、2～3年に一件めどをつけ、次に進む。その間市民への報告、聴取等を行い、市と市民が着実に住みやすい町に向け進んでいる姿を見せるべきと考える
もう少し、市長が弁を期すこと
無意味なアンケートを集めて、机の上でしか物を考えない、典型的な公務員の上層部がすべていなくなり、市民と直接接している人を大事にする市役所になること
・市職員が各家庭を回り、本音の声を聴き、市政に反映させる ・財政面の改善で、市民に不安を与えない ・市職員の出張、市会議員の視察旅行などの見直しを行い、経費節減に努めること
福祉等を充実させるためにはお金が必要！加えて、大阪市のような市職員・議員の報酬見直しをすべき
古い考えの市議を外す
一人一人の意見を大切に、厳しい財政状況があるかとは思いますが、すべてできないではなく、見直すところは見直し、適正な支援をしてほしい
コンパクトシティ化。高齢化の進展により、市域が広く、交通の便のよくない河内長野市では、いずれ移動困難が大きな問題になると予想される。南花台は、区域内でいろいろな用を済ませるが、坂が多い。もう少し知恵と工夫が必要と思う
住民に対するリサーチと、結果の反映
市民全員が平等に暮らせる街づくりが必要かと思う
河内長野市は、都市と田舎が程よくミックスされた町だと思う。その絶妙のバランスを今後とも維持・発展させてほしい。また、住民には多くの才能や意見を持たれた方も多い。その人たちが活躍できる場や機会を増やす手立てを今後とも考え、実施してほしい
様々な要望を吸い上げて、実行してほしい
他市にはない住民に寄り添った政策。TVに取り上げられるようなくらい
活気ある街にすること、安全なこと、子どもやお年寄りが住みやすい街。またファミリー以外の独身者などにも、住みたいと思わせる街づくり

市民サービスの充実
IT化を進めることと、住みやすい町作り、市の職員を増やして細かなサービスを進める。不要な事業、補助金は廃止し、選択と集中を進めるべき

【アンケートについて】

主な意見
このアンケートを通じて、中学生まで河内長野市が行うイベントなど積極的に参加していて、楽しかった気持ちを思い出した。大学生になりバイトが忙しく、市内で遊ぶことは無くなったが、河内長野市のことは好きで誇りに思っている。大人になれば都市に住むとは思いますが、年を取り落ち着いたら戻りたい
アンケートはマークシートにしてはどうか？手間では？経費の都合かもしれないが…
今回のアンケートは専門的過ぎて、老人には難しすぎる
今回のようなアンケートを、回答者を増やしてはどうか(5000~10000人)
市民の声を聴くために、せっかくやっているこのアンケートが、質問が多くて少し大変だった。もう少し簡潔だと、たくさんの方が答えられると思う
アンケートの言葉の中に、行政ならではの言葉が含まれており、質問の内容がピンと来ないものもあった。もう少し一般人向けにかみ砕いた表現も必要だと思う
このアンケートの費用は無駄である。しかも長い
アンケート、内容が多くて難しかった
設問が多すぎる
本件の質問事項がちよっと多いように思われる。最後までやったが、疲れた
働く若者世代の声を直に、直接、聞くべき。アンケートとかふわふわしたものではなくて
定期的に簡単なアンケートを実施して、市民の意見を取り入れてもらえるようにする